

史料館所蔵史料目録 第69集

信濃国松代真田家中依田家文書目録

(その1)

平成12年 3月

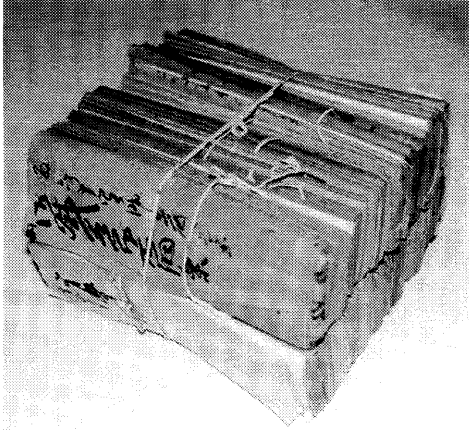
史 料 館

史料館所蔵史料目録 第69集

信濃国松代真田家中依田家文書目録

(その1)

[口絵1-1]



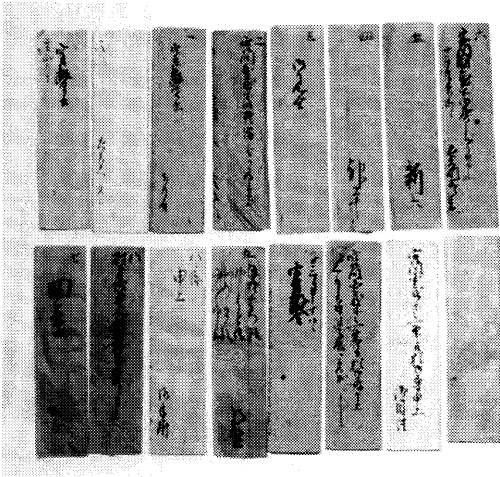
(No.834)

[口絵1-2]



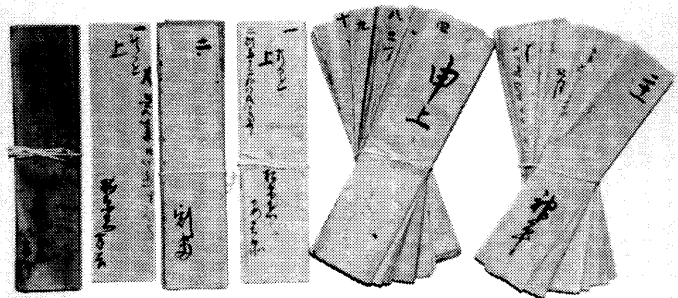
(No.834-1~27)

[口絵1-3]



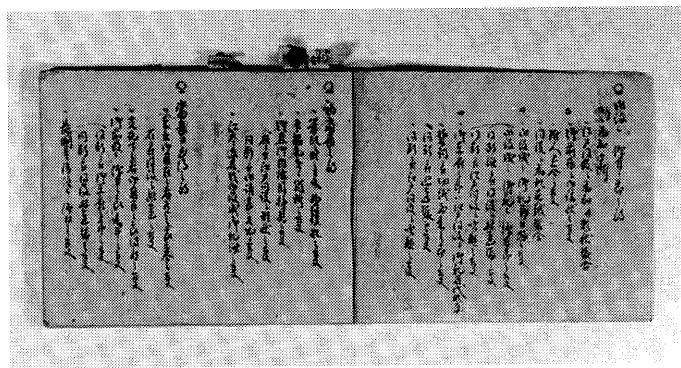
(No.834-1-1~14)

[口絵1-4]



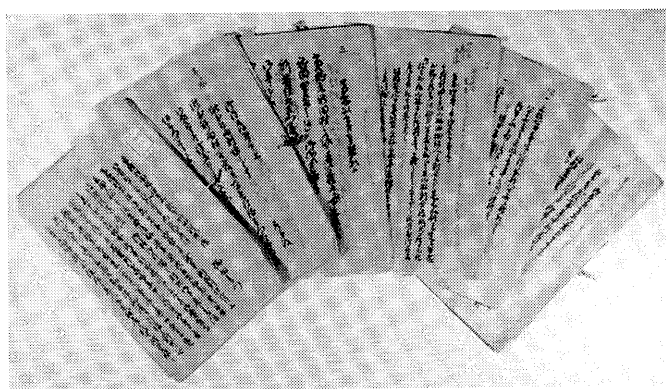
(No.834-13)

[口絵2]

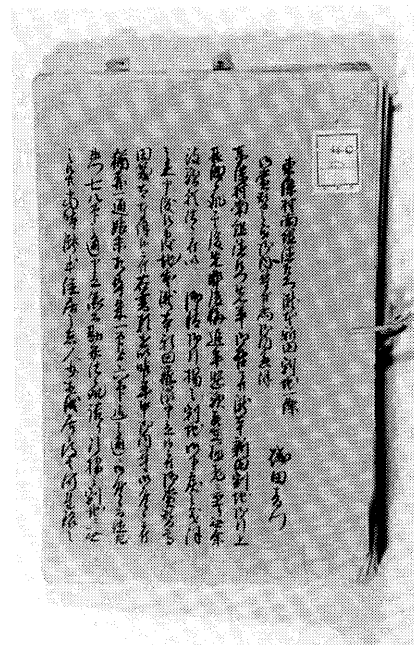


(No.111)

[口絵3]



(No.375)



凡 例

- 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第69集として「信濃国松代真田家中依田家文書目録（その1）」（文書群記号：44C）を収めた。
- 文書群を発生させた組織や集団のあり方に留意し、史料群の内的構造を復元することに努め、その結果をふまえて大・中・小・小々の項目を立てて編成配列した。目録上では各項目の境目に横線を引き区切りを明確にした。また、各項の肩見出に大・中・小の項目を記し、各文書の階層中における位置を把握できるように配慮した。
- 項目中の文書の配列は、原則として年代順とし、年欠文書は末尾に配列した。但し、一括史料で、分割して掲載することが不適当な場合は、史料の配列順に従った。
- 本文記載はほぼ、(1) 表題、(2) 作成者または差出人、(3) 宛名、(4) 作成年月日、(5) 形態・数量、(6) 整理番号の順である。ただし、表題以外の注記（内容補記、紙質、保存状態）は(3) 宛名と(4) 作成年月日の間に記した。
- 表題は原表題のあるものはそれを採り、ないものについては（ ）を付して内容・形態に応じて仮表題を付与した。一括史料は仮名称を付与し、個々の史料は1字下げとして表記した。
- 作成年月日は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年次については、（ ）を付した。
- 史料の形態は、冊子型史料では、半（半紙縦折判）、美（美濃縦折判）、横長半（半紙横折判）、横長美（美濃横折判）、横半半折（半紙横折紙半折判）、横半列（半紙横折紙列帖装）などの略称によって原書の大概を示した。こうした表記の詳細については、『史料館所蔵史料目録』第50集の解題を参照されたい。書付型史料は、縦紙、折紙、堅切紙、小紙、縦継紙、横切継紙、巻紙などと表記した。また、絵図類は、縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。さらに綴られた史料の場合は、「24～26合綴・1冊」「紙縫一括」などと、その構成を示した。前者は該当史料が3冊一綴のうちの1冊であることを示し、後者は該当以下の枝番が一括であることを示す。なお、枝番が続く場合は最初の史料にのみ示し、あとは省略した。
- 史料の利用にあたっては、解題を参照されたい。
- 本目録は、山田哲好が担当した。

総 目 次

口 絵

凡 例

総目次

信濃国松代真田家中依田家文書目録（その1）

本文目次	1
解 題	5
1. 依田家文書の伝来と整理の方針	5
2. 依田家の来歴と文書群の概要	6
3. 文書群の構成	12
依田家	
(1) 知行所	12
(2) 役 職	13
(3) 勤 役	18
(4) 規 式	19
(5) 褒 賞	19
(6) 家 政	19
(7) 家計・経営	19
(8) 記録・学芸	20
目録本文	29

信濃国松代真田家中依田家文書目録（その1） 本文目次

依田家	29
知行所	29
宛行	29
知行所免相目録	29
年貢・小役	31
年貢・小役／勘定目録	31
年貢・小役／皆済目録	32
役職	33
任免	33
誓詞	35
役附・役料	36
登城召	36
御用召	37
御供召	38
御代官	38
御目付／御目付条目	
御目付小条目	
勤方	
勤仕録	
規式	
役儀	
公儀借財	
御供	
御代参	
法事	
公事	
城内取締	
諸取締	
儉約	
困穀	
検見	

祭 礼	
服 忌	
通 行	
家 中 (取立、役儀、跡式、一件、行状、出奔、賞罰、着服、普請、 調書、諸願、諸伺・諸届)	
中野・中之条陣屋	
下目付加役	
町 方	
在 方	
諸 届	
調 書	
江戸御用状	
日 記	
手 控	
風 聞	
留 書	
御目付加役	94
学校懸	94
弓 術	
劍 術	
槍 術	
兵 学	
兵 法	
砲 術	
家扶局／辞令・命令	100
出納簿	
日 記	
その他	
海軍省	103
辞令・命令	
戸籍取調掛	106
勤 役	106
大手門番	106
小絵図	
松原者	

海防	118
行列	
太田陣屋	
御台場	
和宮下向警衛	124
防長征討	127
北越戦	127
京都警衛	128
大坂警衛	129
規式	131
家督	131
改名	131
献上	131
拝領	131
諸願・諸沙汰	132
褒賞	133
賞詞	133
御賞	133
家政	135
系譜	135
履歴	135
縁組	135
親類	136
葬儀・法事	137
家作・普請	138
諸届	138
旅行	139
湯治	139
書状	140
家計・経営	142
帳簿	142
諸費勘定・請取	143
藩札	145
経営	146
記録・学芸	146

諸記録	146
風聞・聞書	150
蔵書	151
蔵書目録	153

信濃国松代真田家中依田家文書目録（その1） 解題

1. 依田家文書の伝来と整理の方針

本目録に記載した依田家文書は、信濃国埴科郡松代（現長野市松代町）依田家の原蔵にかかり、1969年に当館が譲渡を受けたもので、本目録は、依田家文書総数約4,200点余の内、約3,064点を（その1）として刊行するものである。

本文書群は、1969（昭和44）年度の3番目に当館に受け入れたことで、文書群記号44Cを付与し、仮整理をしたカード目録で閲覧利用に供してきたものである。このカード目録は1～886番で、778番までは概ね1点ごと処理されているが、779番以降は、例えば「No.780 依田氏辞令類 113通」、「No.834 目付関係書状 138通」、「No.857 御台場関係史料 1袋」というように、主として書付型史料を一括処理して整理用封筒に入れただけの状態であった。また、このカード目録に依拠し、既に中性紙整理用封筒に個々の整理番号を付与して装備を行い、かつ一括処理していない778番までは原本にラベルを貼付してある。今回の整理に際し、最も苦慮したのはこの一括処理の約2,000点の書付型史料である。本文書の一括処理法は、もともと関連文書を収納するための袋や紙縫単位のまま処理されたものと、関連文書を寄せ集めたものがある。後者の方は厳密に行われたものでなく、詳細に見ていくと明らかに多様な内容の文書が混在していることから、当館に受け入れた時点での原状も崩れているものと考えられるが、その程度については現在知る術がない。一方で元のまとまりのまま処理されていることから、仮整理の番号と配列順を尊重し、新たに番号を付与していない。したがって、整理番号は、仮整理番号を親番号として採用し、以下のレベルは枝番号や孫番号を付与して目録上に反映させた。ただし、明らかに混在されたと判断したものは、しかるべき文書発生組織や同一案件の文書に移動させたが、元の配列は、整理番号に反映されているので復元可能である。

本目録（その1）に収録したのは、①依田家の役職に伴って発生した文書群の内、個々の内容から判断して目録編成が可能となった分と、②依田家の家政や家計等に関わる私的文書である。本来2分冊は利用の不便さから極力避けるべきであるが、諸般の事情で分冊となったことをご了解いただきたい。

なお、本目録には原本でなく、収集した時点での複製物（湿式コピー）も収録してある。その点数は12点で、慶安3（1650）年の「知行宛行状」をはじめ、依田家の「系図類」（2点）と「佐久間修理御咎関係」（7点）、「真田家譜」、「幸教公御上京御供日記」である。これらは譲渡に際し、依田家のご意向で手元に残されたものと推察されるが、今回の地元依田家の調査では原本の確認はできなかった（4年前に屋敷建替に際し、文書を収蔵していた現存する蔵に家財道具を詰め込んだままであるとのことから、調査できなかった）。

2. 依田家の来歴と文書群の概要


まず、依田家の略系図を、「依田氏家系」(No.765、複製物)に拠り解題末尾に掲出した。依田家の祖は、武田氏の家臣で天正9(1581)年駿河高天神城の籠城戦で討死した相木市兵衛常祐の子采女祐から出た依田兵部の後裔で、中興の祖を依田又兵衛という。又兵衛の生年は不詳だが、当初は更級郡桑原村に居を構え、歿年は万治3(1660)年である。この又兵衛に対し慶安3(1650)年8月15日付で、初代真田信之から以下のように、高百石の知行朱印状(No.761、複製物)を宛行われている。

為扶助百石之地

宛行訖全可領

納者也如件

慶安三年

八月十五日信之 

依田又兵衛殿

依田家は慶安3(1650)年高百石の知行取となり、以後版籍奉還までその知行高に変化はない。その知行所村附は、高井郡大熊村46石、更科郡小森村30石1斗9升2合、水内郡小鍋村千木組23石8斗8合である。ここに「知行所免相目録」の初見である文化6(1809)年分(No.779-30)を掲出する。

^(異筆)
文化六年巳年

依田木工右衛門殿

高百石

内訳

一高拾三石八斗八合 小鍋村

一高貳拾六石壹斗九升貳合 大熊村

一高拾石 小森村

ノ五拾石 御借高

貳ツ三分

一高拾石 小鍋村

取昫九俵壹斗

三ツ

一高拾九石八斗八合 大熊村

取昫貳拾三俵三斗八升四合八夕

一高貳拾石壹斗九升貳合 小森村

内

壹石四斗七升八合 跡々永引

四斗三升六合 古堰形卯三年引

式ツ八分

残拾八石式斗七升八合

取昶式拾表式斗三升五合七夕

本知百石内

高合五拾石

取昶合五拾三表式斗式升五夕

本途三ツ五分昶七拾表 御納可被成候

本途三ツ五分昶内取昶引

不足拾六表式斗七升九合五夕

口昶式斗四升八合四夕

本口合拾七表式升七合九夕 上原友左衛門と

御請取可被成候

渡辺友右衛門印

巳十二月

綿貫五郎兵衛印

菅沼九左衛門印

これによれば、知行高100石の内、半知借上で50石は藩へ供出、残りの50石を直接支配している。3か村の免率による取昶は53俵余であるが、藩で定めた平均免率3ツ5分免での収納昶は70俵、差引16俵余の不足となり、これに口昶を加算した本口昶合計17俵余は、藩から蔵米で補給されている。因みに上原友左衛門は代官、発給者3名は郡奉行である。なお幕末には蔵米からではなく、例えば「当不足表来ル廿六日於御勘定所代金を以相渡候間、御受取可被成候」と代金での受取を指示する短冊状の切紙が添付されている。

さて依田家の松代藩士としての役職であるが、中興の祖又兵衛から3代政之進までは史料的な裏付けがなく何れも不詳である。政之進の代から松代城下の馬場町に移住し、現在に至っている。その後の四代忠英（縫之進）以降、役職任免関係史料によりその変遷をまとめたのが〔表1〕である。

依田家の役職は、御番入・御目付、弘方御金奉行・元方御金奉行・御納戸役・御役場方御番士、御代官・御警衛方物頭・御目付加役・学校懸などがその主要な役職で、本文書群は、その大部分がとりわけ甚兵衛（又兵衛）、源之丞、政之進（忠之進）が歴任した役職に関わって伝来したものである。すなわち甚兵衛については御代官、御目付の他、幕府の勤役として松代藩が拜命した大手御門番（寛政元（1789）年から天保10（1839）年）に関わり多くの史料が存在する。次の源之丞も御目付加役の

[表1] 依田家役職任免一覧

() 内は史料番号

第4代忠英 (縫之進、縫殿進)		
享保5年10月朔日 享保16年9月23日 宝暦2年8月15日 3月28日 10月29日	小幡助市組御番入 任御目付役 任弘方御金奉行 任御金奉行 御役御免	(No.780-2) (No.780-1) (No.780-7) (No.780-3) (No.780-8)
第5代忠興 (清左衛門)		
宝暦13年11月朔日	鈴木治部右衛門組御番入	(No.780-4)
第6代忠貞 (縫殿進)		
(寛政9年)5月29日 寛政9年8月25日	家督 玉川左門組御番入	(No.780-5) (No.780-6)
第7代利貞 (木工右衛門)		
寛政10年2月21日 寛政10年4月19日 文政3年6月18日 文政9年9月4日	養子家督 祢津丈之助組御番入 任御納戸役 免御役	(No.780-9) (No.780-11) (No.780-10) (No.780-14)
第8代忠順 (甚兵衛、又兵衛)		
文政9年11月11日 文政9年11月晦日 文政10年正月15日 文政10年正月15日 天保3年正月28日 天保4年正月15日 天保5年7月25日 弘化元年5月26日 弘化3年12月5日 弘化4年7月18日 嘉永元年8月8日 嘉永5年5月2日 安政2年正月5日 文久元年11月15日 元治元年5月14日 (年不詳)	家督 藤田典膳組番入 任御役場方御番頭支配 任御役場方御番士 免御番勤 祢津神平組番入 任御代官 免御役、原準之助組番入 任元方御金奉行 役替任御目付役 免御役、任御役場方御番士 任役場方物頭使役兼帯 任取次役使役兼帯 任御警衛方物頭兼帯 太田陣屋詰 任太田御陣屋敷御普請奉行、御徒士頭、 御武具奉行心得	(No.780-67) (No.780-110) (No.780-108) (No.780-109) (No.780-117) (No.780-115) (No.780-68) (No.780-112) (No.780-64) (No.780-62) (No.780-116) (No.780-111) (No.780-101) (No.780-77) (No.780-76) (No.780-79)
第9代利継 (源之丞)		
嘉永6年5月28日 嘉永7年8月26日 安政5年3月22日 元治元年6月12日 (年不詳)	出浦民部組御番入 任御目付加役 任御目付 (『真田家家中明細書』) 任学校懸 任学校砲術教授方助	(No.780-20) (No.780-18) (誓詞No.780-19) (No.780-24) (No.780-22)
第10代稠美 (政之進、忠之進)		
文久2年正月晦日 元治元年4月11日 慶応元年5月21日 慶応2年11月24日 明治2年12月13日 明治4年10月9日 (明治8年) (年不詳) *慶応3年10月	御番入、太田陣屋詰 御警衛方御番士 免御警衛方御番士、恩田織部組番入 家督 免文聰院様御近習役 任戸籍取調掛助 東京真田邸家扶局御家従 (史料館受託真田家文書「明治22年東京本邸日記」 No.282) 任第4区仮副戸長 政之進を忠之進と改名 (『真田家家中明細書』)	(No.780-45) (No.780-41) (No.780-40) (No.780-58) (No.780-57) (No.780-54) (No.780-53)

[表2] 依田鎌次郎（忠致）履歴

() 内は史料番号

慶応4年4月13日	任学校砲術御用（世話）	(No.786-3-1)
明治2年11月22日	免足軽砲術世話方	(No.786-8)
明治3年6月25日	任兵学二等助教	(No.786-21-2)
明治5年3月25日	任兵学二等助教	(No.786-16)
明治5年5月2日	海軍省等外一等出仕	(No.786-15)
明治5年11月4日	海軍省武庫司等外一等出仕	(No.786-19)
明治7年12月20日	任司砲	(No.780-1-6-5)
明治7年12月23日	海軍武庫司14等出仕	(No.780-1-6-10)
明治8年1月28日	貯蔵弾薬取調長崎海軍武庫14等出仕	(No.780-1-6-1)
明治8年5月6日	武庫14等出仕兼車務掛	(No.780-1-6-2)
明治8年7月21日	長崎海軍出張所交代につき帰郷	(No.780-1-6-3)
明治8年5月8日	兵器局出仕	(No.780-1-6-4)
明治8年9月9日	任倉庫課（砲器掛）	(No.780-1-6-6)

後、御目付を勤仕し、文武学校懸に就いている。また京都、大坂警衛にも出仕し、慶応元（1865）年正月に帰国して間もなく死去している。政之進は海防警衛のため太田陣屋に詰め、明治以降は戸籍取調掛、東京真田邸家扶局の御家従を長期間勤めている。また政之進の弟鎌次郎（後忠致に改名）は明治5（1872）年から海軍省に出仕し、その関係史料も多く、その間の任免や履歴に関する史料がまとまっているので参考までに〔表2〕として掲出した。

以上の経歴を重視して、本文書群の目録編成作業を進めた（詳細は次章）。

本文書群で最も特色があるのは、御目付役に関わったの調書類、評議書類、御尋物答書類である。これらは、断片史料もあるが、何通かが1組みとなっているものが多く、その構成は多いもので数十通になる。この数十通もさらに紙縫で括っている場合も多い。こうした組み史料は特定の案件をまとめた例が一般的であるが、担当した部署で取り扱った史料を一括して袋に入れて保存を図ったものもある。具体例として、No.811の袋の上書に記載された案件名と数量を示すと以下の通りである。

- 慎繰出并離縁親元へ差戻（3通） → 慎繰出并離縁差戻関係書類
- 祭礼乗馬着服之事（4通） → 祭礼乗馬之者着服関係書類
- 御役所炭油之事（4通） → 御役所諸品減略関係書類
- 寺院坊主共御咎之書抜（1通） → 坊主共御咎之書抜
- 御武具方御武器調立会之事（2通） → 御武具方御武器調方関係書類
- 御城内逆上物^(マ)入候一件（30通） → 御城内逆上者侵入一件関係書類
- 同引橋番所出火之事（3通） → 二之丸引橋御門番所出火関係書類
- 御殿焼失御咎書抜（4通） → 御殿焼失関係書類
- 御用紙証文之事伺（1通） → 御減略中御用紙証文之義伺
- 御城内御締筋申立之事（1通） → 御城内向締筋御尋ニ付返答書

以上のように、小単位のまとまりは1～4通から30通までがあるが、数量の多寡はまとまりの性格とは関係ない。ただしこれまでの伝来過程で、様々な要因で原状がくずれ、無関係の文書が混在している場合も多い。したがって、目録編成に際しては、個々の文書が本文書群に存在する事由を意識し、個々の文書を発生させた集団や組織に留意して編成したつもりである。

これら小単位のまとまりは、前述した袋書にあるような適当な名称を付与する必要があるので、袋書があるものはそれを参考に、上記→印以下のように、また袋がない場合も適宜名称を付与した。以下にその具体例をあげてみよう。

No834は、全て書付型史料で総数145点で、①全体は紙縫で括られ（口絵1-1）、その中は②紙縫の15束とバラ12点で構成されている（口絵1-2）。さらに紙縫1束もいくつかの③紙縫の束で構成されているものもある（口絵1-4）。まず①の全体については、御目付役の職務遂行上、作成された書類であることに共通点はあるものの、②レベルの内容は実に多様である。数例を挙げれば、宮川国蔵宅にて博奕興行一件評議書類、公儀の着服制度改革に伴う在所での対応についての評議書類、東條村での野火不始末一件調書類、家臣御咎関係書類、松原者（＝足軽の下役として江戸城大手門番警衛に従事する雇い人）役割不行届一件評議書類などである。整理にあたり、①レベルを基準にすれば、御目付調書・評議書類と名称を付与できるが、②レベルが多様であることから検索の利便を考慮し、この②レベルの内容を重視することとした。

さて小単位の②レベルの名称で、袋書がない上記の場合、どのように付与したかについて述べる。No834-1（口絵1-3）を例に、「端裏書」部分のみを示すと以下の通りである。

- 834-1-1 「穿鑿書 亥正月」
- 834-1-1 「不用もの 忠左衛門差出」（1-1と同文）
- 831-1-2 「一 穿鑿書 下目付」
- 831-1-3 「二 宮川国蔵等御咎筋之義御尋ニ付申上」
- 831-1-4 「三 御見合」
- 831-1-5 「四 神平」
- 831-1-6 「五 新六」
- 831-1-7 「六 宮川国蔵等御咎之義ニ付申上
十二月廿五日 長谷川三郎兵衛」
- 831-1-8 「七 回章」
- 831-1-9 「八 村方博奕人別取締方御尋ニ付申上」
- 831-1-10 「八ニ添 申上 御手附」
- 831-1-11 「九 伊野右衛門様
助之進様 将監
采女様
婦一郎様」

831-1-12 「子三月十八日

穿鑿 』

831-1-13 「宮川国蔵等之一条ニ付猶御尋申上

子三月廿四日 但馬殿へ差出」

831-1-13 「宮川国蔵等之一条ニ付猶御尋申上 御目付」(1-13と同文)

831-1-14 (記事なし)

この一括の史料は、1-1文久3(1863)年正月下目付の穿鑿申上書で博奕の事実はないとされていないが、1-2同年12月下目付の穿鑿で事実が確認されたことに端を発した一連の評議書類である。中には評議のための先例として「御見合」(1-4)、さらに公事方御手附の博奕取締についての答申と博奕手合人別取調が添付(1-9、1-10)されている。最終的には家老矢沢将監の同役への回状(1-8、1-9)により、翌元治元(1864)年国蔵は番勤御免、閉門を仰付けられる。この一括史料は端裏書を参考に「宮川国蔵於宅博奕興行一条評議書類 紙縷一括」として標記し、個々の史料の表題も一般的には「端裏書」と称されている部分の記事が大きな手掛かりとなるばかりでなく、重要な情報源となる。前掲例では、書類整理のために付与された「一」～「九」の番号などである。特に本文書群の御目付役に関わる書付型史料に類出する。これは、藩主真田家文書の龐大な評議関係書類も同様で、その一部が既に目録化されている。特に「信濃国松代真田家文書目録(その3)」(『史料館所蔵史料目録 第40集』1988)での「端裏書」の扱いは「巻上ゲ上ワ書」とされていて、その根拠は以下の通りである。

「書付類は、一般に奥から巻いて平に伸した形状をもつが、その外側となった部分に宛名や注記などを記すことが多い。この部分は本文に対し裏面に当たるので端裏書などと呼んでいるが、近世史料にはそれでは適切でない事例がある。確かに料紙の裏面ではあるが、そこに記された記事によっては、その部分だけに別の性格が生じている。書状の例をみれば最も明確で、この部分に宛名と差出署名を記しており、決して裏書とはいえない。いわば封紙または包紙を省略した形式の表テ書とみなすべきものなのである。これを「巻上ゲ上ワ書」と命名した根拠は、この部分への貼紙を「巻上附札」と記していることに基づき、書状にも援用することを考慮して総称として上ワ書を採用した」

とあることから、本目録ではより簡略に「巻上」と目録上に表記した。ただし、この「巻上」の記事は当時の担当者自身が記述しているため、簡略な記述が多く、「巻上」記事をそのまま採用できないことも多く、その場合には「巻上」記事を基本としながらさらに内容を補記した。但し「巻上」記事を目録上で全てに表記することは、煩雑となるため避けた。しかし、本文からは得られない情報が「巻上」記事にある場合に限って、例えば、巻上「文久元年西9月12日夕八半時頃采女殿江差出候控」というように採録した。なお、凡例に示した基本的な標記事項である(1)表題、(2)作成または差出人、(3)宛名、(4)作成年月日を本文からでなく巻上から採用したことが多いが、個々に採録根拠を明示すると煩瑣となること(表題と作成は巻上、宛名と年月日は本文など)、あるいは巻上記事を全て標記することも本文からの採録情報と重複することなどから、いずれも省略したことをお断りしておきたい。加えて御用状での勘返状は、「御用状(〇〇〇)并勘返状」と標記した。

一方で書付型史料は断片的なものが多いことも指摘できよう。したがって単独ではその書付が実質的に意味する歴史的な事実について理解することは困難を極める。しかし、実際に授受され何らかの機能的役割をした「生」の史料である。であるが故に当該史料の存在の具体的様相を示していると理解すべきであろう。本文書群の料紙を例にとっても、最も多いのは灰色宿紙で粗末なものが多用されている（宿紙については全て色を含めて表記）し、巻上に「不用」と記載され、反故扱いのものまで存在する（前掲834-1-1）。このような残存形態から当時の、特に松代藩のみならず、藩士としての依田家の文書行政の多様な様相を引き出せるのではなかろうか。

3. 文書群の構成

まず本文書群の全体構造について述べることにしよう。本文書群を、依田家、藩主真田家、藩政の三つのサブグループを設けた。

藩主真田家は、系図、系譜類や家格、縁組に関わるものが主で、これらが依田家文書に存在する理由が確定できなかつたものである。藩政は、その中心は法制に関わるもので、幕府の御触や郡中、家中への触、太政官・県布達類などである。藩政という観点に立脚すれば、依田家の公的記録類も、当然松代藩政を依田家の役職に関わってその一端が反映されている性格のものであるが、藩庁記録とは異なり、一藩士としての役職や機能に関わって存在していることを最優先すべきと考えたからである。なお、家中への触や演説の史料は依田家にも散見される。例えば「儉約一条御書下書類」の中に儉約触が、「祭礼着服一件関係書類」に着服儉約触が存在するなどである。しかしこれらは個々の案件を検討、処理する過程で機能しているものである。したがって藩政に編成したのは、単独で存在するものである。ただし、この中にも内容的に依田家に編成した案件と関わって存在するのではと首肯できるものもあるが、仮整理の原状（親番号）を崩して再編成することに積極的な意味を見いだせなかつたための措置である。そして本目録（その1）には、依田家に編成した分を収録した。

この依田家を、松代藩士として様々な役職を勤仕した過程で送受された、いわば公的記録類として（1）知行所、（2）役職、（3）勤役、（4）規式、（5）褒賞、そして私的記録類として（6）家政、（7）家計・経営、（8）記録・学芸の八つのシリーズレベルに編成したので、以下にそれぞれの内容を概観してみよう。

（1）知行所

松代藩は、元和8（1622）年信之が入封以来、一貫して地方知行制を実施している。この地方知行制を幕末まで存続させたのは信濃国では松代藩だけである。松代藩家臣団の総人数は時代により若干の差はあるが、凡そ1,900人前後で、この中で知行取は凡そ250～260人前後、藏前取は凡そ1,650人前後である。この知行取＝地頭の総知行高は凡そ5万石で、50石以上300石以下が9割で、中でも依田家同様100石台が最も多い。知行所関係史料については、宛行、知行所免相目録、年貢・小役、年貢・小役勘定目録、年貢・小役皆済目録の各項目を設定した。宛行は慶安3（1650）年の1点（複製、No. 761）のみで、知行所免相目録は文化6（1809）年を初見に33冊あり、依田家の歴代順に配列した。年

頁・小役については、知行附3か村の覚帳や控帳（3冊）と、各村単位の勘定目録（21冊、但し安政2（1855）年分1冊は3か村分）と皆済目録（29冊）である。

（2）役職

この役職は、依田家が歴任した役職に関わって発生した史料で、任免、誓詞、役附・役料、登城召、御用召、御供召、御代官、御目付、御目付加役、学校懸、家扶局、海軍省、戸籍取調掛の各項目を設定した。点数は本目録収載の6割を占める2,000点余である。

任免、誓詞、役附・役料、登城召、御用召、御供召については、依田家歴代順に配列した。これらは役職任免に関わる一連の史料で、一例を示せば、甚兵衛は弘化4（1847）年に役替で御目付役に発令（No.780-62）され、御役附足軽5人が御預け（No.780-63）になっている。次の源之丞が安政5（1858）年御目付に任ぜられた時点で、御役附足軽5人（780-16）、御役料玄米3人扶持が支給（No.780-17）され、さらに役向の誓詞血判（No.780-19）が行われることになる。

御代官は甚兵衛が天保5（1834）年7月25日から弘化元（1844）年5月26日まで勤仕したもので、点数は少ないが、役向のための手控や村方規定や願書留がある。また、享保13（1728）年の代官誓詞「神文前書」（No.770）があり、これには同年以降、天保11（1840）年までの「御代官誓詞神文之年号月日」が付記され、これによって代官名が一覧できる〔史料-1〕。

次の御目付は、依田家が松代藩士として勤仕した役柄としての特色を最も示しているもので、松代藩における御目付制の具体的様相を知ることができる。この御目付を、勤仕そのものに関わって御目付条目、御目付小条目、勤方、勤仕録を編成した他、以下は御目付が様々な案件に関わっての調書、意見書、申立書、評議書、答書類で、個々の案件の内容により規式、役儀、公儀借財、御供、御代参、法事、公事、城内取締、諸取締、儉約、困穀、検見、祭礼、服忌、通行、家中、中野・中之条陣屋、下目付加役、町方、在方、諸届、調書、江戸御用状を立項し、さらに日記、手控、風聞、留書を置いた。

松代藩の御目付制は、大目付—御目付—御徒目付—下目付という体系をなしていた。定員数は大目付1～2人、御目付8人程度であるが、御徒目付・下目付は不詳である。御目付は御徒目付、下目付などを下僚として使い、御目付一人当たり、御役附足軽5人程度を使役し、御役料として玄米3人扶持程度が給されている。御目付には御目付役所、御徒目付には御徒目付役所がある。大目付は儀礼中心の式部官的な存在で、御目付のように活躍はしていない。それは、本文書群での評議書類でも大目付は積極的に意見を述べたり指図をしていなく、御目付の答申をそのまま採用するケースが多い。この他に史料的には小人目付、調役の名称が散見される。調役が目付宛に調書を提出している例がみえるが、これは下目付の下僚なのか、下目付らが調査に当たった場合を指称したものかについては不詳である。御目付の職務内容は、家臣団及び諸役人の政務に対する監察検断、評定所式日出座、用番家老「日記」の記帳及び布令の伝達などが主であるが故に、藩政の動向なり性格を窺いうる点で、単に司法的史料としてだけではない意味を有するものである。以下、紙数の関係で注目される史料について解説する。

御目付の任務については、嘉永4（1851）年の「御条目」（No.773-2）と「御小条目」（No.773-1）が

あり、御目付就任に際して家老より目付に交付され、退役の際に藩へ返却される。まず「御条目」は全文9か条より成り〔史料-2〕、御目付の重要任務に属する家中侍及び諸役人の政務に対する監察検断事項を挙げ、これに違背した者があった場合は、目付は早速家老に申達すべきことを規定したものである。さらに同年の「御小条目」〔史料-3〕は、「御条目」が一般的規定であるのに対し、目付の職務を具体的・実務的に規定したものであって、全5か条より成る。特に注目されるのは第1条の規定で、御目付が藩法の遵守を前提とし、「御条目」、「御小条目」の厳守を負わされていることと、隠密事項は家老共や近習用人といえども、他言を禁止されている点、藩主が政務直扱いの場合か否かによつての対応も規定されている。さらに、第3条で申達は御目付仲ケ間の用向協議や共同責任を本則としている点と一人の判形にて単独申達を認めている点である。

勤方に関しては心得留類で、特に安政5（1858）年「差向心得之記 全」（No111、口絵2）は、源之丞が御目付役就任に際してのもので、御役被仰付候節、初当番、当番日の心得の他、御目付役仰付之次第など詳細な記事がある。また様々な書類の送受についての書止文言と上書例、家中の諸届の案文など多彩な内容で、松代藩における文書書式の実態が示されている。さらに天部に和紙見出もあることから常用されていたと考えられる。

勤仕録は袋入で、その中がさらに内容ごとに紙縫で括ってある例が多く、様々な儀式や礼式に関わつての個別ではなく一般的次第に関するものである。

規式は、御目付役を仰付られた際の手順や様々な手続き、演説の連名、御酒頂戴、御判物到着、寺社への朱印状渡などの他、家老鎌原伊野右衛門内密御書下洩一件書類がある。

役儀は主として江戸下目付の役儀訴訟や御賞に関するもので、他に「（山里高札、諸張紙留）」は黒野紙を仮綴したもので、朱で通し番号（1～41）が付与されている。その内容は、1山里高札場所覚（41か村名書上、7高札文面）、2御厩町清須町木戸張紙覚、3御台所前番所張紙覚、4上之水之手番所張紙、5中水之手番所張紙、6御馬場先番所張紙、7中御門番所張紙、8東不明御門番所張紙、9引橋御門番所張紙、10南御門番所張紙、11下水之手番所、12我妻番所、13車橋御門番所、14中之口番所張紙、15御広間張紙并御番士休息所張紙、16御用部屋入口等張紙并小僧役休息所張紙、17御普請奉行役所張紙、18御勘定吟味役所張紙、19御吟味役所張紙、20御金奉行御納戸役所張紙、21御奥元メ御奥支配詰所張紙、22御台所目付役所張紙、23御買物役所張紙、24御勘定吟味役所番人并御納戸番人、25御武具役所張紙、26大御門番所張紙并三丸番所張紙、27御徒目付役所張紙、28御普請方元メ役所小頭共并棟梁御大工共、29道橋奉行役所張紙、30御両宮番所張紙、31火之見張紙、32長国寺御霊屋番所張紙、33大英寺同断、34評定所張紙、35赤坂矢代両船渡船賃定之事、36関崎船渡高札之事前同断、37御荷物会所掟書之事、38御預所役所張紙、39伊勢町御用地建札之事、40御目付役所張紙、41学校番所張紙である。各所での張紙が書留られていることと、御目付をはじめとする専用の役所の存在が確認できる。因みに40御目付役所張紙では「明和九年辰十一月御役所御張紙左之通御渡有之 其後書換有之 御目付役所江罷越致雜談等候由相聞候、此末右体之者有之候ハ、名前可被申聞候 寅六月」と簡素なものである。34評定所張紙からは、寄合は毎月2日、6日、11日、19日、25日で、出座は2日と19日で、家老・中老・大目付・寺社奉行・郡奉行・町奉行・目付である。

法事では、感応院（幸貫）7回忌関係書類がまとまっており、法事世話番心得、前日詰番心得、詰番名面をはじめ、演説や不参者、拝礼献上の取計について先例を調べ上げている。

城内取締は、逆上者侵入、御門番所出火と御殿消失一件書類である。

諸取締は須坂悪所場弊害評議書、医師に対する謝物関係書類が主である。

儉約は、家中儉約の他、御役所諸品減略関係書類では御用紙に関わって書式減略、また江戸土産餞別の節儉まで評議されている。

祭礼では、開善寺での大般若修行申立、諏訪宮御柱神事執行についての評議書類の他、祭礼の際の着服関係書類が主である。

通行では、板橋宿過人馬継一件関係書類、御関所并江戸出口番所印鑑（模様替）一条関係書類がまとまっている。

家中に関わって、個々の案件の内容により取立、役儀、跡式、一件、行状、出奔、賞罰、着服、普請、調書、諸願、諸伺・諸届に編成した。取立は大銃方と御役者取立に関するもの、役儀では御武具方で勝手に短刀を処分したことに対する調書類がある。

家中／一件で特に注目されるのは、佐久間修理（象山）一件＝異国船渡来一件と藩主の仮養子一件関係書類である。この事件の概要は以下の通りである。第8代藩主幸貫が佐久間象山らを登用し、新政策を進めるが財政的窮迫を招くことになる。これに対抗する保守派の反対機運が高まり、嘉永4（1851）年5月、家老恩田頼母とその一派（家老河原舎人、山寺常山、佐久間象山）が退陣、家老真田志摩とその一派（家老鎌原伊野右衛門、長谷川深美）が政権を掌握する。翌5（1852）年幸貫から孫幸教（18歳）の藩主就任を機に、真田派は専権を振るようになり、恩田派の反対機運が激化する。このような緊迫した状況下で、嘉永6（1853）年異国船渡来一件が起きる。6月3日の米艦来航に際し、象山は江戸家老望月主水と謀り対策を進める。それは江戸藩邸の防備を固め、国元に対し軍兵の出府を命じ、軍義役に任せられ、藩主に説いて幕府へ内願書を差し出し、さらに老中阿部正弘に面会し、品川御殿山の警備の内諾を得る。国元から出兵するが、途中で中止命令を受ける（米艦退去）。この一連の出兵、御殿山警備に反対の真田派の家老鎌原伊野右衛門、郡奉行長谷川深美らは江戸家老望月主水を動かして老中阿部正弘から内願書を取り下げ、象山を罷免させた。これに対して恩田派は、藩主幸教に子供がなく、真田志摩が自分の子を仮養子とし10万石を乗っ取ろうとする画策の風説を利用し、9月24日象山は御目付一場茂左衛門を同道させ八丁堀御殿松平越中守（桑名藩主、幸貫の兄）に面談して周旋を依頼する（No758）。結局、同（1853）年10月に真田志摩を失脚させるとともに、家老鎌原伊野右衛門、郡奉行長谷川深美も免職となり、恩田派が復権し、象山は軍議役兼督学として復活した。その後両勢力は交互に政権を交代して幕末に至るが、この間、象山は吉田松陰密航事件に連坐して、翌安政元（1854）年9月18日に松代に蟄居を命ぜられる。幕府から解かれたのは9年後の文久2（1862）年12月29日である。この後象山は公武合体の立場で京洛に活躍するが、元治元年7月11日、京都三条木屋町通りで刺客によって暗殺される。

本文書群では佐久間修理一件書類は5つのまとまりで構成されている。佐久間修理八丁堀願立一件取調書類（No749～760）は御目付が中心となって当事者からの調書、申上書等があり（鈴木寿「目付

考」(『史料館研究紀要』第3号、1970)に翻刻)。

家中／着服では、公儀の着衣服制度改革に伴って在所での対応についての評議書類である。

町方は伊勢町市川惣兵衛、西木町惣兵衛の御賞筋関係である。

在方は、御賞筋や一件書類であるが、中でも東條村南組徳左衛門瀧本新田割地一條関係書類 (No. 634、375 (口絵3)、849) は注目される。この騒動の発端は安政6 (1859) 年4月の東條村南組の村役人の縫書から始まる。埴科郡東条村南組左源次 (のち徳左衛門と改名) は文政3 (1820) 年以來瀧本新田 (東条村分地笠原山) の開発世話役を引き受け、その功績で開発場の割地を配分されたが、同人は開発不出精で立木の伐採だけで、その上素行不良であったことから文政10 (1827) 年にその割地は没収され、手鎖、村預け、過怠夫1年半の仕置を受けた。ところが32年後の安政6 (1859) 年になって突然徳左衛門から没収割地再下附の嘆願が出されたが、地元瀧本新田でこれを拒否した。しかし、郡奉行の高田磯太はさしたる審議もせずに強引にこの嘆願を許可してしまった。実はこの返還許可は徳左衛門の親類筋の藩士 (堀内権左衛門) の権勢を背景にしたものであった。そのため強引な割地返還に対して瀧本新田は強行に反対したのである。この処置に窮した高田磯太は、土地返還の代わりに「御賞替」として徳左衛門に対して地代金20兩相当の郡役免除等の案を家老に上申した。結果としてこの上申が高田磯太を窮地に陥れることになる。即ちこの上申を受けて家老の赤沢助之進は高田の同役磯田音門に対してこの問題の再調査を命じた。結果は徳左衛門への「御賞替」の沙汰は破棄され、高田磯太は翌米延元年5月に預所郡奉行に左遷され、また黒幕堀内権左衛門は安政6年11月臨時評定所の裁定で玄米1人扶持御引上、永給人格に引下げ、隠居逼塞の御仕置を受ける。以上のように、新田割地の所持問題が、小規模ではあるが藩役人の疑獄事件に発展した例である。なお、この一件書類は、「信濃国松代真田家文書目録 (その1)」(『史料館所蔵史料目録』第28集) に1点 (124頁、う1378)、「同目録 (その4)」(『同目録』第43集) に36点 (45頁) が収録されている。特に後者は本文書に存在しない関連史料がある一方で、真田家文書では原本に整理番号が付与されていないため目録上での配列が本文書とは異なっていることを指摘しておきたい。なお本文書に限って存在するのが2点ある。さらに、本案件については真田家文書の「家老日記」「那方日記」「御目付日記」等でも記事が確認できないことから、書付型史料の意義を考える上で重要である。

風聞の「(須坂表并近在風聞書)」(No.870-2) は、須坂藩家老野口源兵衛・河野連による藩政改革の記録である。野口は越後国村松藩から養子に来て以来、藩主直武の寵愛を得て台頭した人物で、故に大胆な改革を進めようとした。まず須坂の道海淵に金貸会所を設置し、領民に高利で貸付て金利を稼ごうとした。この会所の資金は御用金として領民に課し、金額に応じて苗字、帯刀を許し、町村役人、取締役などへの昇格を乱発する。さらに土木建設事業を積極的に進め、町家、田畑を潰して拡幅整備を行ったが、家中には野口らの独裁への批判が高まり、領民は賄賂政治と貢租、夫役の重課を恨むようになる。「安藤対馬守様狼藉一条関係書類」(No.843-1~12) は、文久2 (1862) 年1月15日、水戸浪士平山兵助ら6名の尊攘派が江戸城坂下門外に、老中安藤信正を襲い負傷させた事件に関するものである。

留書は文政6年正月を初見として幕末までかなりまとまってある。これらは公儀よりの御触の写し

や家中触が主であるが、他に御目付日記と同内容のものが混在しているため、「留書」とした。確かに公儀触や家中触の中の3点には巻上に「御条目書抜」と表記されているものもある。これに関して、巻上には「御条目書抜」と表記されていないが例えば、安政5（1858）年2月晦日、摂州西成郡高畑村主人殺害九郎兵衛の人相書の記事（No875-2）があるが、「御目付日記」には「…人相書写云々文略、委細御條目記=留有之」とある（「御目付日記」には同様記載が頻出する）ことから、「御條目留」「御条目書抜」などと称すべきものであるが、内容的に条目に限ったことでなく、家中の様々な案件も混在していることをお断りしておく。

御目付加役は、源之丞が安政元（1854）年8月に任ぜられたことによるもので、勤方日記類がある。同役は、ほぼ5人の御目付のうち当番（本役ともいう）一人宛が日番となり、これに4人の加役（＝御目付加役）のうち一人宛が日番で補助する形式をとっている。

学校懸は源之丞が勤仕したもので、具体的には学校砲術教授方助を勤めている。松代藩校は6代真田幸弘の代に菊地南陽を江戸から招聘して宝暦（1758）8年に殿町に稽古所が創設される。その後一時中断はあるものの文化3（1806）年に焼失、同年11月清須町に学問所として改称再建される。文政6年に松平定信次男幸貫が藩主に就任したことで、藩政改革のひとつとして軍制改革が進められる。天保12（1841）年6月に老中となり、翌13年には土井利位とともに海防掛となっていることから関心が高かった。この間、幸貫は学校建築を計画、嘉永4（1851）年に鎌原伊野右衛門と小山田壱岐を文武学校掛右創業普請総奉行として着工させ、安政元（1854）年6月完成、翌2年4月仮開校となった。学校懸は武術に関わる記録が多く、弓術、剣術、槍術、兵学、兵法、砲術に編成し、これらに含まれないものは、学校運営に関わるものとして最初に配した。中では砲術が多く、特に演習の際に源之丞は「佐久間修理行司」として関与している。なお、ここには上記武術に関わる指南書類（含版本）がある。その中には明らかに依田家の蔵書も含まれているが、「松代文庫」の蔵書印が捺されているものもあり、明確に両者を区別することが難しい。したがって、この学校懸には、その運営に関わるものと武術に関わる全てを配したこととして理解されたい。

次の家扶局は、真田家東京本邸に置かれ、依田稠美が家従として勤めた関係のもので、この中を辞令・命令、出納簿、日記、その他の各項を立てた。これら史料の残存状況からして、稠美は明治8（1875）年から同33（1900）年まで勤めたと考えられる（史料館受託真田家文書には、東京本邸の日記があり、その明治22（1889）年12月22日の記事（No282）に、稠美に対して御賞（黒羽織）下付の理由は「本年迄十五ヶ年精勤」とあり）。なお、ここでの日記は、真田当主が鎌倉や別邸のある那須塩原へ遊猟、遊覧、湯治に行った際の御供の記録で、鉄道料金や料理の献立等まで細かな記事がある。

海軍省は忠致（鎌次郎）が明治5年から出仕したもので、辞令・命令類以外の諸記録は最初に配した。出仕中、長崎や横須賀に勤務した関係史料、特に兵器局に所属したことで兵器調書類や図面、弾薬製法など関係史料がある。忠致は明治9年10月東京芝区新桜田町の寄留地にて28歳で死去している。

戸籍取調掛助は点数は5点で少ないが、忠之進（稠美）が明治4年から勤めている。

(3) 勤 役

ここには、いうまでもなく幕府に対する義務負担に関わってのもので、大手門番をはじめ、海防、和宮下向警衛、防長征討、京都警衛、大坂警衛、北越戦を配した。

真田家が参勤出府した際に勤める江戸城本丸・西丸の大手御門番は、寛政元（1789）年から天保10（1839）年までに数度にわたり勤士している。特に依田忠順は文政10（1827）年から御役場方御番士となり大手御門番に就いたことから、関係史料が多い。「大手勤士録（No.90）」「大手御番所御使役勤士録（No.92、No.112）」「大手番所勤方（No.51）」「（大手御番所勤方覚）（No.88）」「勤方万事扣帳（No.89）」「大手御番所万端心得（No.104）」「諸御門番所御法令書（No.620-11）」など勤士録関係が主である。特に「大手御番所万端心得（No.104）」の内容は、大手勤番被仰付候節⁵交代迄之心得、御武器物頭御出番之節、御退番之節、面番代り平士御出番之節、歩士出平士御出番之節、平士中代り、跡出、先帰、御番所⁶而昼之心得、夜中心得、箱番之心得、御鍵番、御帳役、不寝、御成之節、平伏、人払、御使者、御給仕、内番、鶯之首立番、鶯之首見廻り、下馬外固、山王祭礼之事、用意之品、振合覚等の記事があり、各項目には竹箋の見出が付いている。また、大手門番役向関係小絵図もまとまっており、これらは大手門番の実態把握が究明できる基本史料であることと、かかる基本的史料は真田家文書には見い出せない点でも貴重である。なお、この小絵図のまとまりの中に文久元（1861）年の和宮下向で和田宿から沓掛宿までの行列先・後警衛に関する絵図3点があるが、明らかに混在したものと考えられるので、「和宮下向警衛」に配した。

松原者は、足軽の下役として江戸城大手門警護に従う雇人で、毎年約100人を割当てている。これを松原者と称するのは、「右松原詰ト唱へ候義ハ、先年御上屋敷桜田御門内土手ノ松並木下⁷御長屋アリテ右を拝借仕、右百人松原部屋ト称シ御奉公相勉メ候義⁸御座候」（真田家文書「旧足軽禄高引直上申書」あ98）ということである。松原者部屋頭不正一条書類は、部屋頭衰助が松原者御手充金1両増を3朱程不足に渡した廉で御役御免の処分を受けたことに対する總書に端を發した一連の評議書類がある。

海防は、嘉永7（1854）年2月、ペリーの再来航を機に幕府は応接の場所を横浜に設けた際に、松代藩は小倉藩と併にその警衛を命ぜられ、江戸家老望月主水を総督に、佐久間象山を軍議役として臨んだ。また、幕府は異国船の渡来が多くなったため、これまで江戸湾の入口を重点に大砲を設置する台場を築いてきたが、警備の重点を江戸城に近い内海に移し、品川沖に11カ所の台場を新たに建設しようとした。松代藩は第6番台場警備を、安政元（1854）年から慶応4（1868）年まで請負い（途中福井藩・高崎藩に代わる）、文久元（1861）年から元治元（1864）年までの一時期台場警備から本牧警備もしている。依田忠順が海防御人数臨時出役、太田陣屋（横浜）詰を命ぜられていることから関連史料があり、海防、行列、太田陣屋、御台場に編成した。

和宮下向警衛は、文久元（1861）年の下向に際して、行列先・後警衛として信濃の諸大名に課され、松代藩は和田宿から沓掛宿までを担当した。依田利継が御目付として関与したものと考えられる。

防長征討以下の京都警衛、大坂警衛は、松代藩が文久3（1863）年御親兵として、また元治元（1864）年6月朝廷から京都南門の警衛を命ぜられ京都警衛に就いたのと、6月14日に藩主幸教が京都

へ出立、佐久間象山暗殺死直後の禁門の変に際し、藩主が参内して朝廷の警護に就いたため幕府は不満をいだき、大坂川口の警衛を命じ、長州征討の先鋒を勤めさせた関係史料である。いずれも依田利継が関与し、大坂から帰国間もなく死去している。

北越戦は、明治元（1868）年の戊辰戦で東山道に出兵、信濃10藩の触頭として飯山、北越、会津討伐の官軍に参加したもので、「(越口出張御人数留)」「(北越戦顛末記)」はいずれも「依田」と記名がある。

(4) 規 式

依田家の規式に関わって、家督、改名、献上、拝領、諸願・諸沙汰を編成した。いずれも歴代順に配列した。諸願・諸沙汰の「(御小條目御條目并御役附足輕5人返上)」は、甚兵衛が嘉永5（1852）年に御目付を免ぜられた際のものと思われ、両條目を返却していることが判る。

(5) 褒 賞

依田家の褒賞に関わって、賞詞、御賞に編成し、いずれも歴代順に配列した。

(6) 家 政

依田家の家政に関わって、系譜、履歴、縁組、親類、葬儀・法事、家作・普請、諸届、旅行、湯治、書状に編成した。

系譜2冊はいずれも複写物（1点は後掲「依田家略系図」）である。履歴は忠順、忠継、忠致に関するもの。

縁組は依田家歴代順に配し、末尾に第11代元（宮下秀丈次男）養子縁組関係の「宮下江引越一件」を置いた。

親類について、岩下=7代木工右衛門は松代藩士金井甚五右衛門次男で、金井家は岩下に改名、斉藤=7代木工右衛門女子よしの嫁先、北山との関係は不詳だが、親類嘆願書6名の1人として名を連ねている。高野=8代忠順女子ふさの嫁先、宮下=11代元は長野県土族宮下秀丈次男。いずれの関係も後掲の「依田家略系図」を参照されたい。

家作・普請では、明治10（1877）年夏に本文書を保管していた土蔵を修復している。

書状は依田家宛の私信を差出者を基準に、かな、漢字順に、漢字は漢字コード順に配した。発信者については、親類も多いので後掲「依田家略系図」を参照されたい。

(7) 家計・経営

家計・経営については、帳簿、諸費勘定・請取、藩札、経営に編成した。帳簿はほとんどが明治期の金銭出納簿類である。諸費勘定・請取は刀装代金、明治8年～17年の地租、協議費、学資金、地方税の受取、明治15年～17年の信濃松代養魚会社積金受取簿等がある。藩札は信濃全国通用札（600文、100文）、松代藩商法社・計政局の金札がある。

経営についての史料は乏しいが、明治・大正期の養蚕経営、特に日雇日数や賃金払いに関わるもの
の他、大正11（1922）～13（1924）年の養鶏関係史料がある。「公用文（留）」（No.607）には、明治22
年の生糸仲買営業届があるが、この史料には他に依田稠美長女千代の出生届では明治22年11月25日と
なっていたり（後掲「依田家略系図」では明治12年8月31日）、内容吟味が必要である。

（8）記録・学芸

記録・学芸は、諸記録、風聞・聞書、蔵書、蔵書目録に編成した。

諸記録は、手書の諸記録を基本とし、新聞の写し（No.884-1）であってもここに配した。

風聞・聞書では、天狗党及び防長征討に関するもので建白、建言の写が主で、他に「桜田門外一件
留」等がある。蔵書は版本や刷物を基本に配列し、手書でも他家のものと考えられるものを配した。

終わりに本文書群との関連史料について付言しておこう。最も密接に関係するのは藩主真田家文書
で、現在は当館と真田宝物館（松代藩文化施設管理事務所、長野市松代町松代4-1）とに分散保管さ
れている。当館所蔵の同家文書は1文書群として最も量が多く（約5万点を超える）、1951年に真田家
より譲渡を受けたものである。その内の約3万点については、「信濃国松代真田家文書目録（その1～6）」
（『史料館所蔵史料目録』第28・37・40・43・51・59集）として刊行されていて、第28集には主に冊子型
史料、以下には書付型史料が収載されている。また当館受託の真田家文書は、主に藩主御手元文書と
明治以降の家扶局関係書類である。一方の長野市所管の真田宝物館では、真田家から寄贈された約1
万点余を所蔵している。その一部は当館でもマイクロ撮影で収集し閲覧可能である。なお、当館収蔵
史料についての概要は、『史料館収蔵史料総覧』（名著出版、1996）を参照されたい。

<参考文献>

『松代町史』上・下巻（大平喜間多編、1929年）

鈴木寿「藩士知行所の構造」（『史料館研究紀要』第1号、1968年）

同上「目付考」（『史料館研究紀要』第3号、1970）

『更級埴科地方誌』第3巻 近世編上・下（更級埴科地方誌刊行会、1980・81年）

『真田家家中明細書』史料館叢書8（東京大学出版会、1986年）

『長野県史』通史編 第5～7巻（長野県史刊行会、1988・89年）

[付記]

本目録の編集は山田哲好が担当した。整理にあたり兼原明子、佐藤経麿、山川千鶴子、山崎すみ子
の各氏の協力を得た。また、地元では現在も馬場町にお住まいの須田雅彦、美代子氏ご夫妻には、系
譜の確認や4年前に取り壊した旧屋敷などについてご教示をいただき、真田宝物館の方々にも種々ご
協力いただいた。末筆ながら深甚の謝意を表する次第である。

神文前書

- 一私共御代官役被仰付候条御為第一与奉存御後閣儀仕間敷候、御役目無懈怠相勤可申事
 一御取納之時分者支配村々江罷出御足輕共猥無之様正路可申付候、第一御損立不申候様可仕候、自然御百姓困窮之鄉村茂候ハ、其子細御郡奉行所江有様可申達候、若又困窮之村ニ親子兄弟親類縁者知音之好有之候共依怙最辰を以共沙汰仕間敷事
 但御取納時支配江罷出候節嚴重正路可申付候、尤時分菜大根薪等之外一切賄受申間敷事、
 一村々諸役義申付候節依怙最辰成儀仕間敷候并手代之者郷中御用之儀ニ付依怙最辰私欲我儘成義不仕、其上百姓方音物一切受納不申候様急度申付候事
 一郷中諸公事申来候節依怙最辰成儀仕間敷候、尤手前ニ而難計義者御郡奉行所へ其子細可申達候
 一年貢金御小役金無油断入精取立候上御用番御家老中迄申上御帳ニ付、其上御金奉行所迄上納可仕事
 但支配江金銀穀物等惣而利倍付之借物一切仕間敷事
 一金銀錢粉御百姓手前取立自分之用事ニ一切遣申間敷候、勿論御郡中本田新田川欠山抜入下干損改参り候節親子兄弟親類縁者知音たり共依怙最辰仕間敷候
 一郷中人足伝馬私用之儀者不及申猥遣ひ申間敷候并御足輕御用召仕埒明不申候ハ、吟味仕早々返シ可申候、御郡中親類縁者由緒手寄有之候共町人手代組頭足輕百姓方^三音物不及申、妻子下人等迄一切受用仕間敷候事

享保十三申年

御代官誓詞神文之年号月日

享保十三申年	石井小大夫
	萩原太五右衛門
	石倉金右衛門
	石倉伊右衛門
	近藤喜右衛門
	森 彦助
同年九月七日	千喜良平右衛門
享保十七子十月十九日	大日向莊右衛門
	大日向七右衛門
	高田造酒丞
享保十九寅四月十六日	牧野権右衛門
享保十九寅八月二日	石倉兵藏
元文二巳五月廿三日	星野幸左衛門
同年七月二日	上村何右衛門
同五申十月三日	原 四郎兵衛
寛保二戌十一月廿三日	岡嶋莊藏
同三亥四月十八日	春原平兵衛
延享二丑二月廿三日	大日向莊右衛門
同年七月十一日	小林茂助
同四丑三月二日	高野莊兵衛
寛延元辰九月十一日	加藤喜右衛門
	森山千右衛門
	関根数之進
	千木良清太郎
寛延二巳二月十九日	近藤与四郎
同年十一月十六日	与良甚五右衛門
宝曆二申七月十二日	井上传右衛門
同三酉十月廿八日	師田莊五郎
同年十二月二日	関山治兵衛

同五亥八月廿八日	森 新助
同年九月六日	千喜良清大夫
同年十二月十五日	柳 八右衛門 齊藤四郎右衛門
同七丑正月十九日	石倉団藏 関根数之進
宝曆九卯五月十九日	坂口条左衛門
同十辰十二月廿八日	宮沢丹下
同十二年十二月廿八日	木治郎右衛門
明和二酉八月廿八日	長谷川藤五郎
同三戌八月六日	篠崎 屯
同四亥八月二日	佐野友左衛門
同七寅二月廿五日	成沢源吾
安永五申七月二日	佐藤軍治
同七戌四月二日	野村善大夫
天明二寅十二月廿九日	東條与一郎
同六年四月廿一日	成沢文治
同年九月二日	守山嘉藤太
寛政十一未二月廿八日	入 藤九郎
同十二申五月十八日	大嶋多吉
享和元酉十二月十六日	吉村左平
享和三亥十月六日	関山藤三郎 近藤最角
文化九申十月二日	小林円四郎
同十酉八月十一日	上原友左衛門
同十二亥十月十六日	成沢小右衛門
同十三子十二月六日	師田幾五郎
同十四丑十二月廿五日	保崎莊助
文政二卯閏四月十六日	徳嵩恒吉
同年六月九日	宮下治部藏
文政三辰八月二日	小林奥左衛門
同五年九月二日	師田幾五郎
同八酉十一月十九日	野村雄藏
同十亥十二月十一日	岡部八十喜
同年十二月十四日	中山有之助
同十一子二月廿五日	山田兵次
同年十一月	宮下善左衛門
右之内綿貫五兵衛神文不相見	
天保五年	西沢軍治
同年七月廿五日	依田甚兵衛
同十一子三月十三日	南沢甚之介

[史料一 2]

(No.773-2)

御条目

- 一家中侍不依高下兼々申付候諸法度相背并対百姓町人等不作法成もの於有之ハ可申達事
附足輕仲間又もの以下に至迄可為同前事
 - 一家老共并諸役人威光をたて奢又者依帖鼠負我儘成もの於有之ハ早速可申達事
 - 一諸役人其役儀致油断就万端依帖鼠負理不尽之働於有之者は又有体可申達事
 - 一町人百姓致困窮候哉其役人或ハ地頭代官非儀成申付をもいたし在々町人迄致迷惑候哉或ハ其身不似合奢致候もの有之候哉成程入念見出及聞候趣可申達事
 - 一家中嫁娶婿入之祝儀又者衣類振舞等之儀申付候儀約に相背不応分限奢たるもの於有之者可申達事
 - 一供番并勤番致懈怠もの於有之者可申達事
 - 一不依高下又ものに至迄不作法成もの及聞見出次第可申達事
 - 一普請方惣而勘定方其外不依何事年寄共差図次第立合少も依帖鼠負なく可迷吟味事
 - 一男女好色猥并博奕仕候ともから於有之者不依上下可申達事
附不依何事申達候儀於有之者早速可申達事
- 右條々嚴重可相守之者也
嘉永四辛亥年十月廿七日

[史料一 3]

(No.773-1)

御小条目

- 一此度目付役申付候間国家之為第一二聊以後閣儀不致成程入念致致油断間敷候、万事申付候法度相守就中今度申付候九ヶ条之条目此小条目嚴重相守可申候、此以後不依何事申付候法度猶以違背仕間敷候、家老共之儀者不及申近習之用人申渡候共隱密之儀一切他言仕間敷候、当主自身政務筋承候時節者申達候儀別段家老共江者申聞間敷候、尤家老共ハ尋候儀有之節者有体可申述候、若心得違ニ而家老共江申述候上ニ而当主江申達候儀有之節者各可申付事
但当主幼少之内家老共政務承候節者万事家老共江可申達候
- 一家中無役席家老共初平士不依高下及足輕仲間又もの以下并百姓町人等迄於何事茂申付候法度之趣内々ニ而茂破候者有之候者縦令親子兄弟親類縁者又者知音之好身たり共少茂依帖鼠負なく正路に急度可申達事
- 一目付仲ケ間用向可申合候、仲ケ間申達候儀一統申合相談連判一味之儀者善悪一同ニ可存候、其外仲ケ間之儀一存ニ存込候儀者一人之判形ニ而可申達候、右之趣他人者不及申親子兄弟親類縁者たり共一切他言仕間敷事
- 一威光を立私之奢いたし又は中悪敷者之儀自分之遺恨を以当主并家老共江悪様申立間敷事
- 一家中之面々并百姓町人又者於江戸出入之諸職人諸町人ニ被相頼不依何事ニ取持立仕間敷候、尤親類縁者由緒手寄有之候共町人手代組頭足輕百姓方^ヲ其方者不及申妻子附人等迄音物一切受用仕間敷事
右條々嚴重可相守もの也
嘉永四辛亥年十月廿二日

依田家略系図

祖

◎相木采女祐

生死年月日及葬地不知
法名大龍院一桂道智居士

某 右同人室歟未審

慶安3年庚寅9月14日卒
法名白露院月峯窓門禪定尼

中興祖

◎依田又兵衛

慶安3年庚寅8月15日被召出百石御朱印頂戴
真田家ニ奉仕ス、或曰沼田浪人ナルベシト、
居住信濃国更級郡桑原村
万治3年庚子8月16日卒
法名忠興院祖慶常玖禪定門

室某

寛文2年壬寅5月14日卒
法名光昌院月峯良心禪定尼

2代

◎甚五左衛門

初名源八郎
実松代藩士桑名與一左衛門時勝次男
元禄5年壬申1月7日卒
法名大見院道山即中居士

室某

享保20年乙卯9月20日卒
法名通妙院覚了貞円大姉

3代

◎政之進

信濃国埴科郡松代馬場町ニ移住ト云フ
元文5年庚申1月9日卒
法名永正院月窓常春居士
葬地松代御安町禪宗高安山龍泉寺

室某

元文4年己未12月15日卒
法名観操院通峯智円大姉
葬地前同断

4代

◎忠英

縫殿進

実松代藩士安藤弥五兵衛十二男
元禄12年己卯生
安永8年己亥9月7日卒、行年81
法名照玄院心宗友円居士
葬地松代御安町禪宗高安山龍泉寺

室某

養父政之進女
享保3年戊戌生
寛政11年己未7月24日卒、行年82
法名永明院寿光良照大姉
葬地前同断

女子 縫殿進室

某 松代藩士上村某養子トナル

清菴守廉大和尚

当国佐久郡深草村长秀院住持
明和7年庚寅6月24日卒

某 寛保元年辛酉9月16日卒
法名秋紅童子
葬地松代御安町禪宗龍泉寺

某 寛延改元宝暦4年辛未4月14日卒
法名桃善童子
葬地前同断

女子 同年4月17日卒
法名玉走童女
葬地前同断

某 同年11月7日卒
法名霜全童子
葬地前同断

某 宝暦8年戊寅5月25日卒
法名良雲童子
葬地前同断

5代

◎忠興

清左衛門

延享3年丙寅生
文政元戊寅年2月10日昼午後卒、行年73
法名单相院直翁禅旨居士
葬地松代御安町禪宗高安山龍泉寺

室某

松代藩士野村儀左衛門長女
明和3年丙戌1月6日婚縁願濟
安永6年丁酉10月16日卒
法名伝相院節光俊貞大師
葬地前同断

後室

松代藩士野村儀左衛門二女
文化3年丙寅5月8日卒
法名聖山院廟室意然大姉
葬地前同断

某 宝暦10年庚辰11月24日卒
法名露雪童子
葬地前同断

玄塵 松代藩医安藤某養子トナル

6代
◎忠貞

縫殿進

明和6年己丑生于松代
寛政9年丁巳12月16日卒行年29
法名梅昌院春窓道運居士
葬地松代御安町禪宗高安山龍泉寺

室

松代藩士星野清之助女忠貞死去之後実家江歸
り遺腹之女子出生再嫁同藩齊藤孝之助

女子 松代藩士山中勇右衛門江嫁ス

喚蓮社譽上人探阿一堂崑山大和尚
武蔵国豊島郡三田寺町願海寺住持
文政2年己卯9月25日卒葬于同寺

玄民 幼名見長
松代藩医中村某之養子トナル

7代
◎利貞
(トシタダ)

木工右衛門

実松代藩士金井甚五右衛門次男 金井氏
後改岩下
安永2年癸巳生
天保12年辛丑4月26日巳ノ中刻卒行年69
法名真良院観応誠心居士
葬地松代御安町禪宗高安山龍泉寺

室 こと

松代藩士樋口民衛四女
寛政2年庚戌生
明治4年辛未8月20日酉ノ刻卒行年82
法名真光院観室智音大姉

女子 あい
文政6年末11月24日松代藩士星野清之助養女
トナリ同藩士小林仁之助江嫁ス

8代
◎忠順
(タタズミ)

又兵衛 甚兵衛 幼名金治

実松代藩士長谷川利八次男
文化元年甲子3月15日生
慶応2年丙寅10月2日未上刻卒行年63
法名義心院孝観忠順居士
葬地松代御安町禪宗高安山龍泉寺

室 ふき

木工右衛門利貞長女
文化7年庚午4月朔日生
明治22年己丑1月21日午後5時過卒行年80
法名月心院室妙鏡大姉
葬地前同断

女子 ふき
又兵衛忠順室

9代
◎利繼
(トシツグ)

源之丞 幼名虎作

実松代藩士長谷川唯見次男
文政8年乙酉11月生
慶応元年乙丑1月9日酉ノ刻卒行年41
法名法真院本源義鑑居士
葬地松代御安町禪宗高安山龍泉寺
旧藩制家督前死去之嗣子ハ世代ヲ除キ嫡孫
承祖トシテ其子ニ家禄ヲ賜リ家督ヲ命ゼラ
ル、例ナレドモ今家系ヲ調ブルニ当リ改テ
世代ニ載ス

室 しげ

又兵衛忠順長女
文政10年丁亥1月27日夜亥刻生于松代
慶応3丁卯年1月29日暁丑ノ下刻卒行年41
法名法運院本説貞心大姉

女子 よし
文化8年辛未11月26日生
松代藩士齊藤友衛江嫁シ一男子ヲ生ム後病ニ
依テ離縁復籍
天保6年乙未12月26日未ノ刻卒行年25
法名本光源瑞大姉
葬地前同断

葬地前同前

女子 しげ
源之丞利継室

女子 ふさ
文政12年己丑8月22日曉寅ノ刻生于松代
長野県土族高野秀叟妻

10代

◎稱美
(シゲミ)

忠之進 政之進 幼名祐太郎

嫡孫承祖
弘化2年乙巳11月15日巳ノ刻生于松代
明治34年5月18日死亡
藏松院忠純稠美居士 龍泉寺

11代

◎元
(ハジメ)

明治10年2月13日生于松代町字竹山町
実長野県土族宮下秀大次男
明治30年丁酉4月9日入籍
昭和8年3月12日死亡
春嶽院良道元光居士 龍泉寺

室 みつ

松代藩士村田覚兵衛長女
嘉永6年癸丑12月20日生于松代殿町
大正12年2月15日午前6時死亡
妙真院照室貞光大姉 龍泉寺

女子 千代
元室
明治12年8月31日午前1時生于松代町
字馬場町1107番地
昭和16年6月28日死亡 63才
貞ノ院永光千代大姉 龍泉寺

忠致
(タダムネ)

謙次郎 海軍省出仕
嘉永元年戊申4月16日未刻生于松代
明治9年丙子10月3日午後6時東京市芝区新
桜田町寄留地ニ於テ卒享年28年7ヶ月
法名忠峯院大門活道居士
葬地東京府下武蔵国荏原郡南品川禪宗海晏寺

女子 花
明治8年乙亥9月30日東京市生于築地町
同9年8月8日午後9時卒享年1
法名玉夢禪童女
葬地東京府下武蔵国荏原郡南品川禪宗海晏寺

妻 さく

東京府下雑司谷村農長島長太郎養女実者旧
幕府家人某遺腹之女忠致死去後実家江差戻ス

秀
(イサキ)

景呈 幼名呈三郎
嘉永3年庚戌12月17日生于松代
松代藩士佐野喜見養子トナル

女子

こう
嘉永6年癸丑11月18日生于松代

元

◎長男

12代 忠雄
明治32年3月30日午後9時25分生于松代町字馬
場町1107番地
平成7年10月16日死亡

忠雄
◎長男

13代 和彦 昭和3年2月18日生
幸子 (横浜市)

二男 建 昭和5年2月11日生
すみか (長野市松代町)

妻 てい

昭和59年4月18日死亡

長女 宮川幸市 (福井市)
豊子 昭和7年3月18日生

長女 もと 明治37年1月2日生
大正10年4月10日午後11時上田市馬場
町4372番地 病院ニテ死亡火葬
玉雲院喜見妙瑞大姉 龍泉寺

三男 武夫 昭和9年2月12日生
寿子 (小県郡東部町)

二男 久夫 明治39年8月31日生

二女 須田雅彦 (長野市松代町)
美代子 昭和11年9月26日生

明治41年2月23日午後4時死亡
智玉幻光童子 龍泉寺

三男 光夫 明治42年4月22日生
昭和4年7月28日死亡 火葬
精楽院心光明円居士 龍泉寺

二女 年 明治44年9月7日生

四男 武四 大正3年9月2日生
昭和19年4月30日戦死 遺骨不帰
新婦真大勲院義嶽武功居士

三女 志げ 大正9年3月28日生

(出典「依田氏家系」(No.765)、及び須田雅彦・美代子御夫妻の御教示により作成)

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

依田家／知行所／宛行

知行宛行状 真田信之 依田又兵衛 複写	慶安3年8月15日	1通	761
(旧冬御知行御廃止之处、当年新穀御蔵入迄之間御飯米差出二付申上) 小森村名主五左衛門他10名 依田政之進様	明治3年9月	豎紙・1通	789

知行所免相目録

木工右衛門

(知行所免相目録) 渡辺友右衛門・綿貫五郎兵衛・菅沼九左衛門 依田木工右衛門殿 779-1～32紙縫一括	文化6年12月	横切継紙・1通	779-30
(知行所免相目録) 金井甚五左衛門・高山平十郎・渡辺友右衛門 依田木工右衛門殿	文化8年12月	横切継紙・1通	779-31
(知行所免相目録) 綿貫五郎兵衛・菅沼九左衛門・鹿野外守 依田木工右衛門殿	文化11年12月	横切継紙・1通	779-32
(知行所免相目録) 菅沼九左衛門・鹿野外守・菅沼弥右衛門 依田木工右衛門殿 不足俵米請取指図短冊共	文政元年12月	横切継紙・1通	779-24
(知行所免相目録) 金井左源太・鹿野外守・菅沼弥右衛門 依田木工右衛門殿	文政2年12月	横切継紙・1通	779-26
(知行所免相目録) 金井左源太・鹿野外守・岡嶋莊藏・望月権之進 依田木工右衛門殿	文政5年12月	横切継紙・1通	779-23
(知行所免相目録) 金井左源太・岡嶋莊藏 依田木工右衛門殿	文政8年12月	横切継紙・1通	779-27

甚兵衛

(知行所免相目録) 金井左源太・岡嶋莊藏・興津権右衛門 依田甚兵衛殿 779-1～32紙縫一括	文政10年12月	横切継紙・1通	779-29
(知行所免相目録) 岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門 依田甚兵衛殿	文政11年12月	横切継紙・1通	779-22
(知行所免相目録) 岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助 依田甚兵衛殿	文政12年12月	横切継紙・1通	779-28
(知行所免相目録) 岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助 依田甚兵衛殿	天保元年12月	横切継紙・1通	779-25
(知行所免相目録) 岡嶋莊藏・興津権右衛門・金児丈助 依田甚兵衛殿	天保2年12月	横切継紙・1通	779-19
(知行所免相目録) 興津権右衛門・岡嶋莊藏・金児丈助 依田甚兵衛殿	天保3年12月	横切継紙・1通	779-20
(知行所免相目録) 興津権右衛門・岡嶋莊藏・金児丈助 依田甚兵衛殿	天保4年12月	横切継紙・1通	779-21
(知行所免相目録) 岡嶋莊藏・竹村金吾・菅沼九兵衛・長谷川深美 依田甚兵衛殿	嘉永5年12月	横切継紙・1通	779-18

依田家／知行所／知行所免相目録

(知行所免相目録) 竹村金吾・菅沼九兵衛・山寺源大夫・宮下兵馬・高田幾太・磯田音門 依田甚兵衛殿	嘉永6年12月	横切継紙・1通	779-17
(知行所免相目録) 竹村金吾・菅沼九兵衛・山寺源大夫・宮下兵馬・高田幾太 依田甚兵衛殿	安政2年12月	横切継紙・1通	779-14
(知行所免相目録) 竹村金吾・山寺源大夫・磯田音門・宮下兵馬・高田幾太 依田甚兵衛殿	安政3年12月	横切継紙・1通	779-12
(知行所免相目録) 竹村金吾・山寺源大夫・磯田音門・宮下兵馬・高田幾太 依田甚兵衛殿	安政4年12月	横切継紙・1通	779-13
(知行所免相目録) 竹村金吾・山寺源大夫・磯田音門・宮下兵馬・高田幾太 依田甚兵衛殿	安政5年12月	横切継紙・1通	779-16
(知行所免相目録) 竹村金吾・山寺源大夫・磯田音門・宮下兵馬 依田甚兵衛殿	安政6年12月	横切継紙・1通	779-15
(知行所免相目録) 星野弥右衛門・寺内多宮・岡嶋莊藏・金児丈助 依田甚兵衛殿 不足俵米請取指図短冊共	未12月	横切継紙・1通	779-1
(知行所免相目録) 星野弥右衛門・興津権右衛門・岡嶋莊藏・金児丈助 依田甚兵衛殿	午12月	横切継紙・1通	779-2
(知行所免相目録) 寺内多宮・岡嶋莊藏・金児丈助・菅沼弥惣右衛門 依田甚兵衛殿	酉12月	横切継紙・1通	779-3
(知行所免相目録) 岡嶋莊藏・金児丈助・竹村金吾 依田甚兵衛殿	丑12月	横切継紙・1通	779-4
(知行所免相目録) 寺内多宮・岡嶋莊藏・金児丈助・菅沼弥惣右衛門 依田甚兵衛殿	申12月	横切継紙・1通	779-6

又兵衛

(知行所免相目録) 山本源大夫・磯田音門・宮下兵馬・長谷川三郎兵衛・齊藤友衛 依田又兵衛殿 779-1～32紙纏一括	万延元年12月	横切継紙・1通	779-11
(知行所免相目録) 山本源大夫・磯田音門・長谷川三郎兵衛・齊藤友衛・草間元司 依田又兵衛殿 不足俵米請取指図短冊共	文久元年12月	横切継紙・1通	779-10
(知行所免相目録) 磯田音門・成沢勘左衛門・長谷川三郎兵衛・齊藤友衛・草間一路 依田又兵衛殿 5-1・2紙纏一括	亥12月	横切継紙・1通	779-5-1
(知行所免相目録) 磯田音門・成沢勘左衛門・長谷川三郎兵衛・齊藤友衛・草間一路 依田又兵衛殿	子12月	横切継紙・1通	779-5-2
(知行所免相目録) 磯田音門・成沢勘左衛門・長谷川三郎兵衛・齊藤友衛・草間一路・祢津繁人 依田又兵衛殿	丑12月	横切継紙・1通	779-7

政之進

(知行所免相目録) 磯田音門・成沢勘左衛門・長谷川三郎兵衛・齊藤友衛・草間一路・佐藤為之進 依田政之進殿 不足俵米請取指図短冊共 779-1～32紙纏一括	慶応2年12月	横切継紙・1通	779-9
(知行所免相目録) 磯田音門・成沢勘左衛門・長谷川三郎兵衛・草間一路・佐藤為之進・岡野弥右衛門 依田政之進殿 不足俵米請取指図短冊共	卯12月	横切継紙・1通	779-8

年貢・小役

小物成并小役覚帳（大熊村・小森村・小鍋村）	享保16年2月21日	横美半・1冊	2
控帳 利貞 表裏表紙は文化3年近江屋作右衛門呉服御通帳 反故紙	文化(5)戊辰年12月	横半半折・1冊	768
御知行所収納物覚手扣（大熊村・小森村・小鍋村千木 組） 依田利継	嘉永5年正月	横長半・1冊	1

勘定目録

安政2卯年勘定帳（小森村、大熊村、小鍋村）	安政2年	横長半仮綴・1綴	50
（年貢小役勘定帳）（大熊村・小森村・小鍋村）	安政4年	横長半・1冊	793-12

勘定目録（小森村）

（年貢小役勘定目録） 小森村御蔵本源吉 依田甚兵衛様 御内	天保5年12月	横長半・1冊	793-11
（当寅御年貢御小役御勘定）御上帳 小森村御蔵元重三 郎 依田甚兵衛様御内	天保13年12月	横長半・1冊	47
当巳御年貢御小役書上帳 小森村御蔵元常平 依田甚兵 衛様御納所	弘化2年12月	横長半・1冊	45
当戊御年貢御小役御物成諸勘定御書上帳 小森村御蔵 本恒左 依田甚兵衛様御内御役人衆中様	嘉永3年12月	横長半／24～26合 綴・1冊	25
当亥御年貢并御小役共御書上帳 小森村御蔵本恒左 依 田甚兵衛様御内御役人衆中様	嘉永4年12月	横長半／30～32合 綴・1冊	30
依田甚兵衛様当御年貢御小役書上 小森村御蔵本恒作 依田甚兵衛様御内	安政4年12月	横長半／22～23合 綴・1冊	22

勘定目録（小鍋村千木組）

酉之御年貢御小役勘定御目録帳 小鍋村千木組御蔵本孫 右衛門 依田甚兵衛様御内	嘉永2年12月	横長半／27～29合 綴・1冊	27
戌御年貢御小役御書上帳 小鍋村千木組御蔵本孫右衛門 依田甚兵衛様御内	嘉永3年12月	横長半／24～26合 綴・1冊	24
亥御年貢御小役共御書上帳 小鍋村千木組御蔵本孫右衛 門 依田甚兵衛様御内	嘉永4年12月	横長半／30～32合 綴・1冊	31
子之御年貢御小役御書上帳 小鍋村千木組御蔵本孫右衛 門 依田甚兵衛様御内	嘉永5年12月	横長半／33～35合 綴・1冊	34
当丑御年貢御小役御書上帳 小鍋村千木組御蔵本孫右衛 門 依田甚兵衛様御内	嘉永6年12月	横長半／36～38合 綴・1冊	37
卯御目録御書上帳 小鍋村千木組御蔵本孫右衛門 依田 甚兵衛様御内	安政2年12月	横長半／39～41合 綴・1冊	39
辰御年貢諸役勘定御目録御書上帳 小鍋村千木組御蔵本 孫右衛門 依田甚兵衛様御内	安政3年12月	横長半／19～21合 綴・1冊	20
（安政4巳年勘定） 小鍋村千木組御蔵本林左衛門	安政4年12月17日	横切継紙／22～23 合綴・1通	23-2
午御年貢御小役御目録帳 小鍋村千木組御蔵本林左衛門	安政5年12月	横長半／42・43合	42

依田源之丞様御内		綴・1冊	
御年貢目録御書上帳 小鍋村千木組御藏本林左衛門 依田源之丞様御内御役人様	万延元年12月	横長半／13～15合 綴・1冊	14
亥御年貢御小役目録御書上帳 小鍋村千木組御藏本林左衛門 依田源之丞様御内御役人衆中様	文久3年12月	横長半／10～12合 綴・1冊	11
当子御年貢御小役勘定目録御書上帳 小鍋村千木組御藏本林左衛門 依田源之丞様御内御役人様	元治元年12月19日	横長半／7～9合 綴・1冊	8
丑御年貢御小役御目録御書上帳 小鍋村千木組御藏本林左衛門 依田又兵衛様御内御役人様 丁間に慶応2寅5月帰宅之節土産物覚	慶応元年12月	横長半・折紙・1冊 1通	44

皆済目録（小森村）

当酉御年貢御小役御物成皆済御書上帳 小森村御藏本恒左 依田甚兵衛様御内御役人衆中様	嘉永2年12月	横長半／27～29合 綴・1冊	28
当子御皆済御目録 小森村御藏元作右衛門 依田甚兵衛様御内御役人衆中様	嘉永5年12月	横長半／33～35合 綴・1冊	35
当丑御皆済御目録 小森村御藏元作右衛門 依田甚兵衛様御内御役人中	嘉永6年12月	横長半／36～38合 綴・1冊	36
当寅御皆済御目録御勘定帳 小森村御藏本彦市 依田甚兵衛様御内御役人衆中様	安政元年12月	横長半・1冊	46
当卯御年貢并御小役皆済目録御書上帳 小森村御藏本駒之助 依田甚兵衛様御内	安政2年12月	横長半／39～41合 綴・1冊	40
当辰御年貢并御小役皆済目録御書上帳 小森村御藏本由松 依田甚兵衛様御内	安政3年12月	横長半／19～21合 綴・1冊	19
当未御皆済御目録 小森村御藏元友右衛門 依田源之丞様御内御役人衆中	安政6年12月	横長半／16～18合 綴・1冊	16
当申御皆済御目録 小森村御藏本清兵衛 依田源之丞様御内御役人衆中	万延元年12月	横長半／13～15合 綴・1冊	13
当戌御皆済御目録 小森村御藏元新之丞 依田源之丞様御内御役人中	文久2年12月	横長半／4～6合 綴・1冊	4
当亥御年貢皆済御目録御書上帳 小森村御藏元彦三郎・惣百姓中 依田又兵衛様御内御役人中様	文久3年12月	横長半／10～12合 綴・1冊	10
御皆済御目録御書上帳 小森村御藏元駒之助 依田又兵衛様御内御役人中様	元治元年12月	横長半／7～9合 綴・1冊	7

皆済目録（小鍋村千木組）

未御年貢御小役皆済目録御書上帳 小鍋村千木組御藏本林左衛門	安政6年12月	横長半／16～18合 綴・1冊	17
御年貢御小役勘定皆済御書上帳 小鍋村千木組御藏本林左衛門 依田源之丞様御内御役人 一部欠損	文久元年12月19日	横長半・1冊	48
当戌御年貢御小役皆済目録御書上帳 小鍋村千木組御藏本林左衛門 依田源之丞様御内御役人中様	文久2年12月	横長半／4～6合 綴・1冊	5

皆済目録（大熊村）

（酉御年貢御小役皆済勘定帳） 大熊村御藏元平兵衛・惣百姓 依田甚兵衛様御内御役人衆中	嘉永2年12月	横長美／27～29合 綴・1冊	29
--	---------	--------------------	----

御年貢皆済勘定御目録帳 大熊村御蔵元新六・惣百姓 依田甚兵衛様御内御役人衆中	嘉永3年12月	横長美／24～26合 綴・1冊	26
御年貢御小役皆済勘定御目録 大熊村御蔵元松五郎・惣 百姓 依田甚兵衛様御内御役人衆中	嘉永4年12月	横長美／30～32合 綴・1冊	32
御年貢御小役皆済御目録 大熊村御蔵元喜右衛門・惣御 百姓 依田源之丞様御内御役人衆中	嘉永5年12月	横長美／33～35合 綴・1冊	33
御年貢御小役皆済勘定御目録 大熊村 後欠	嘉永6年12月	横長美／36～38合 綴・1冊	38
御年貢御小役皆済御目録 大熊村御蔵元丈右衛門・惣百 姓 依田源之丞様御内御役人衆中	嘉永7年12月	横長美・1冊	49
御年貢皆済御目録 大熊村御蔵本伝左衛門・惣百姓 依 田源之丞様御内御役人衆中	安政2年12月	横長美／39～41合 綴・1冊	41
(辰御年貢御小役皆済御目録) 大熊村御蔵本勇之丞・ 惣百姓 依田源之丞様御内御役人衆中様	安政3年12月	横長半／19～21合 綴・1冊	21
御年貢皆済御目録 大熊村御蔵元虎之丞・惣百姓 依田 源之丞様御役人衆中	安政4年12月	横長美／22～23合 綴・1冊	23-1
御年貢皆済御目録帳 大熊村御蔵元友七・惣百姓 依田 源之丞様御役人衆中様	安政5年12月	横長美／42・43合 綴・1冊	43
御年貢御小役皆済御目録 大熊村 後欠	安政6年12月	横長半／16～18合 綴・1冊	18
御年貢御小役皆済勘定御目録 大熊村御蔵元利兵衛・惣 御百姓 依田源之丞様御内御役人衆中	万延元年12月	横長半／13～15合 綴・1冊	15
御年貢皆済御目録 大熊村御蔵元浅治郎・惣百姓 依田 源之丞様御内御役人衆中	文久2年12月	横長半／4～6合 綴・1冊	6
御年貢皆済御目録帳 大熊村御蔵元太平 依田又兵衛様	文久3年12月	横長半／10～12合 綴・1冊	12
御年貢御小役皆済御目録 大熊村御蔵本元治・惣代太平 依田源之丞様御内御役人衆中様	元治元年12月	横長半／7～9合 綴・1冊	9

役職／任免

縫之進

(小幡助市組番入) 依田縫之進	享保5年10月朔日	横切継紙・1通	780-2
(任御目付役) 依田縫之進	享保16年9月23日	横切紙・1枚	780-1
(任弘方御金奉行) 依田縫殿進	宝暦2年8月15日	横切紙・1枚	780-7
(任御金奉行) 依田縫之進	3月28日	横切紙・1枚	780-3
(御役御免) 依田縫殿進	10月29日	横切紙・1枚	780-8

清左衛門

(鈴木治部右衛門組番入) 依田清左衛門	宝暦13年12月朔日	横切紙・1枚	780-4
---------------------	------------	--------	-------

縫殿進

(玉川左門組御番入) 依田縫之進	寛政9年8月25日	横切紙・1枚	780-6
------------------	-----------	--------	-------

木工右衛門

(祢津丈之助組御番入) 依田木工右衛門	寛政10年4月19日	横切紙・1枚	780-11
(任御納戸役) 依田木工右衛門	文政3年6月18日	横切紙・1枚	780-10
(御役御免) 依田木工右衛門	文政9年9月4日	横切継紙・1通	780-14

甚兵衛

(藤田典膳組番入) 依田甚兵衛	文政9年11月晦日	横切継紙・1通	780-110
(任御役場方御番頭支配) 依田甚兵衛	文政10年正月15日	横切紙・1枚	780-108
(任御役場方御番士) 依田甚兵衛	文政10年正月15日	横切紙・1枚	780-109
(免御番勤) 依田甚兵衛	天保3年正月28日	横切継紙・1通	780-117
(祢津神平組番入) 依田甚兵衛	天保4年正月15日	横切紙・1枚	780-115
(任御代官) 依田甚兵衛	天保5年7月25日	横切紙・1枚	780-68
(免御役(御代官)、原準之助組番入) 依田甚兵衛	天保15年5月25日	横切継紙・1通	780-112
(任元方御金奉行) 依田甚兵衛	(弘化3年) 12月5日	横切紙・1枚	780-64
(役替任目付役) 依田甚兵衛	弘化4年7月18日	横切紙・1枚	780-62
(免御役(御目付)、任御役場方御番士) 依田甚兵衛	嘉永元年8月8日	横切継紙・1通	780-116
(任役場方物頭使役兼帯) 依田甚兵衛	(嘉永5年) 5月2日	横切紙・1枚	780-111
(倅源之丞出浦民部組番入) 依田甚兵衛	(嘉永6年) 5月28日	横切継紙・1通	780-98
(任取次役使役兼帯) 依田甚兵衛	(安政2年) 正月5日	横切紙・1枚	780-101
(任海防御人数臨時出役御旗奉行) 依田甚兵衛	4月15日	横切継紙・1通	780-102
(任海防御人数臨時出役) 依田甚兵衛	8月20日	横切継紙・1通	780-104
口達(中山有之助支配村方可有支配) 依田甚兵衛		横切紙・1枚	780-106

又兵衛

(任太田御陣屋敷御普請奉行・御徒士頭・御武具奉行心得) 依田又兵衛		横切紙・1枚	780-79
(任警衛方物頭兼帯) 依田又兵衛	(文久元年) 11月15日	横切継紙・1通	780-77
(任岡本精一郎代太田陣屋詰、来月15日出立19日着可有) 依田又兵衛	元治元年5月14日	横切継紙・1通	780-76
(任太田御陣屋詰) 依田又兵衛	11月15日	横切紙・1枚	780-75

政之進

(玄米三人扶持、祢津三十郎組番入) 依田又兵衛・同 政之進 「文久2壬戌年」は異筆	文久2年正月晦日	横切継紙・1通	780-47
--	----------	---------	--------

源之丞

(出浦民部組御番入) 依田源之丞	嘉永6年5月28日	横切継紙・1通	780-20
(任先備臨時出役) 依田源之丞	嘉永7年10月3日	横切紙・1枚	780-21

(任学校懸) 依田源之丞	元治元年6月12日	横切継紙・1通	780-24
(御人救出上京) 依田源之丞	元治元年7月24日	横切継紙・1通	780-23
(任学校砲術教授方助) 依田源之丞		横切継紙・1通	780-22

政之進

(任太田陣屋詰) 依田政之進	文久2年正月晦日	横切継紙・1通	780-45
(任横浜増徳院裏山手御固出役) 依田政之進	文久3年4月18日	横切継紙・1通	780-46
(任御警衛方御番士) 依田政之進	元治元年4月11日	横切紙・1枚	780-41
(免御警衛方御番士、恩田織部組番入) 依田政之進	慶応元年5月21日	横切継紙・1通	780-40
(任御近習役) 依田政之進	慶応元年11月18日	横切紙・1枚	780-59
(太田陣屋出張中、御警衛方御番士与可心得) 依田政之進 灰色宿紙		横切紙・1枚	780-48

忠之進

(免文聰院様御近習役) 依田忠之進	明治2年12月13日	横切継紙・1通	780-57
(命御兵制士官学校兵学修行) 依田忠之進	明治3年2月18日	横切継紙・1通	780-56
(任戸籍取調掛助) 依田忠之進	明治4年10月9日	横切継紙・1通	780-54
(庁出頭命令) 理事 依田忠之進殿	11月12日	横切継紙・1通	781-9
(任第4区仮副戸長) 依田忠之進		横切紙・1通	780-53

誓詞

(召評定所、誓詞可被相勤) 望月頼母 依田木工右衛門殿	12月28日	横切紙・1枚	780-12
(召評定所、御役誓詞血判可有) 恩田鞠負 依田甚兵衛殿	天保5年8月朔日	横切紙・1枚	780-71
(召評定所、御目付加役誓詞血判可有) 鎌原石見 依田甚兵衛殿	8月26日	横切継紙・1通	780-72
(召自分長屋、御目付助誓詞血判可有) 望月主水 依田甚兵衛殿	9月25日	横切継紙・1通	780-73
(召評定所、御役誓詞血判可有) 鎌原石見 依田甚兵衛殿	7月19日	横切継紙・1通	780-74
(召評定所、目付加役誓詞血判可有) 河原舎人 依田源之丞殿	(嘉永7年) 8月26日	横切紙・1枚	780-18
(召評定所、御目付誓詞血判可有) 望月主水 依田源之丞殿	安政5年3月22日	横切紙・1枚	780-19
(召自分長屋、誓詞血判可有) 玉川左門 依田政之進殿	慶応元年12月14日	横切継紙・1通	780-60

役附・役料

(玄米老人扶持被下) 依田甚兵衛	天保9年7月29日	横切継紙・1通	780-105
(御役附足輕五人御預) 依田甚兵衛	弘化4年7月18日	横切紙・1枚	780-63
(御役附足輕5人被成下) 依田源之丞	安政5年3月22日	横切継紙・1通	780-16
(御役料玄米3人扶持被下置) 依田源之丞	安政5年3月22日	横切紙・1枚	780-17
(御役料玄米式人扶持下付) 依田政之進	慶応元年11月18日	横切紙・1枚	780-39
(御役料玄米式人扶持返上) 依田政之進	慶応2年11月24日	横切紙・1枚	780-49

登城召

(家督御礼登城召、献上物書上) 望月治部左衛門 [欠損] 殿	享保4年4月13日	横切継紙・1通	781-10
(名代一人登城召) 祢津甚平 依田縫殿進殿 異筆奥書 「寛保2壬戌10月28日=願書差上候」	寛保2年10月28日	横切紙・1枚	781-7
(倅所次郎御目見被仰付、登城召、献上物書上) 望月治部左衛門 依田縫殿進殿	3月14日	横切継紙・1通	781-5
(帰着御目見登城召、土産一種可被差上) 望月治部左衛門 依田縫之進殿	2月21日	横切継紙・1通	781-21
(初御目見召登城) 矢沢将監 依田木工右衛門殿	寛政11年5月14日	横切継紙・1通	780-15
(倅甚兵衛初御目見召登城) 恩田鞆負 依田木工右衛門殿	文政7年8月14日	横切継紙・1通	780-13
(病氣=付名代老人登城召) 鎌原伯耆 依田木工右衛門殿	9月3日	横切継紙・1通	781-44
(名代一人倅甚兵衛同道登城召) 小山田采女 依田木工右衛門殿	11月10日	横切継紙・1通	781-11
(登城召) 真田図書 依田木工右衛門殿	11月24日	横切継紙・1通	781-48
(登城召) 真田図書 依田木工右衛門殿	12月14日	横切紙・1枚	781-43
(登城召) 望月頼母 依田木工右衛門殿	12月24日	横切継紙・1通	781-40
(登城召) 恩田鞆負 依田甚兵衛殿	文政10年正月14日	横切継紙・1通	781-46
(登城召) 恩田鞆負 依田甚兵衛殿	天保2年5月1日	横切継紙・1通	781-35
(登城召) 恩田頼母 依田甚兵衛殿	天保4年正月14日	横切紙・1枚	781-33
(登城召) 矢沢監物 依田甚兵衛殿	天保5年7月24日	横切継紙・1通	781-39
(登城召) 真田図書 依田甚兵衛殿	(天保15年) 5月24日	横切継紙・1通	781-34
(倅源之丞初御目見同道登城召、献上物書上) 恩田頼母 依田甚兵衛殿	弘化3年9月15日	横切継紙・1通	781-47
(病氣=付名代一人登城召) 恩田頼母 依田甚兵衛殿	(嘉永元年) 8月7日	横切継紙・1通	781-23
(登城召) 鎌原石見 依田甚兵衛殿	7月17日	横切紙・1枚	781-15
(御役成御礼登城召、御肴代可有献上) 恩田鞆負 依	8月14日	横切継紙・1通	781-49

田甚兵衛殿			
(登城召) 鎌原石見 依田甚兵衛殿	11月13日	横切継紙・1通	781-12
(家督御礼并父木工右衛門隠居御礼登城召、献上物書上) 小山田采女 依田甚兵衛殿	11月14日	横切継紙・1通	781-36
(登城召) 小山田采女 依田甚兵衛殿	11月29日	横切紙・1枚	781-45
(病氣=付名代一人・嫡孫政之進同道登城召) 鎌原伊野右衛門 依田又兵衛殿	7月17日	横切継紙・1通	781-32
(登城召) 望月主水 依田源之丞殿	安政5年3月21日	横切継紙・1通	781-19
(依田又兵衛嫡孫宛行頂戴御礼名代登城召、献上物書上) 望月婦一郎 依田源之丞殿	文久2年3月14日	横切継紙・1通	781-20
(御評議之義有之=付) 平治 源之丞様 灰色宿紙	2月9日	横切継紙・1通	868-16
(登城召) 鎌原伊野右衛門 依田政之進殿	元治元年4月10日	横切紙・1枚	781-17
(親類忝人同道登城召) 赤沢助之進 依田政之進殿	慶応2年11月23日	横切継紙・1通	781-2
(家督之御礼登城召、献上物書上) 赤沢助之進 依田政之進殿	慶応2年11月24日	横切継紙・1通	781-3
(縫殿進御目見召登城) 恩田木工 依田政之進殿	3月27日	横切紙・1枚	780-36
(登城召) 望月婦一郎 依田政之進殿	5月20日	横切紙・1枚	781-4
(登城召) 赤沢蘭溪 依田忠之進殿	12月12日	横切継紙・1通	781-1
(初御目見甚兵衛名代同道登城召、献上物書上) 小山田彦岐 依田祐太郎殿	安政6年4月14日	横切継紙・1通	781-16
(依田甚兵衛御役成御礼名代登城召、御肴代可有献上) 鎌原石見 菱沼源之進殿	2月27日	横切継紙・1通	781-28

御用召

(縫殿進親類一人同道自宅召) 望月監物 金井木工右衛門殿	2月20日	横切継紙・1通	781-14
(自宅召) 望月監物 依田木工右衛門殿	4月18日	横切紙・1枚	781-13
(自宅召) 矢沢将監 依田木工右衛門殿	6月17日	横切継紙・1通	781-42
(自宅召) 真田志摩 依田木工右衛門殿	6月20日	横切継紙・1通	781-41
(病氣=付名代老人自宅召) 望月主水 依田甚兵衛殿	天保3年正月28日	横切継紙・1通	781-38
(御殿召) 望月主水 依田甚兵衛殿	(嘉永5年) 5月1日	横切継紙・1通	781-25
(御殿召) 望月主水 依田甚兵衛殿	(安政2年) 正月10日	横切継紙・1通	781-26
(御殿召) 望月主水 依田甚兵衛殿	5月27日	横切継紙・1通	781-29
(自分御長屋召) 玉川左門 依田甚兵衛殿	12月8日	横切継紙・1通	781-31
(嫡孫政之進召連御殿召) 玉川左門 依田又兵衛殿	正月29日	横切継紙・1通	781-24
(御殿召) 小山田采女 依田又兵衛殿	11月14日	横切継紙・1通	781-30
(兼帯御役御礼御殿召、御肴代可有献上) 玉川左門 依田又兵衛殿	12月8日	横切継紙・1通	781-27

依田家／役職／御供召

(仮御用部屋召) 真田志摩 依田源之丞殿	嘉永6年5月27日	横切継紙・1通	781-18
(南部坂御殿召) 玉川左門 依田政之進殿	慶応元年11月17日	横切紙・1枚	781-22
(依田縫殿進家督御礼=付屋敷召、献上物書上、依田清左衛門隠居献上物書上) 望月監物 上村何右衛門殿	閏7月14日	横切継紙・1通	781-6

御供召

(任御前様御供御道中御宿割) 依田又兵衛	元治元年12月4日	横切継紙・1通	780-81
(免御宿割) 依田又兵衛	(元治元年) 12月10日	横切継紙・1通	780-82
(御参府御供) 依田政之進	慶応元年6月10日	横切継紙・1通	780-61

御代官

諸控 (松代と江戸迄里程、江戸屋敷書上、地方役人書上等)		横切半・1冊	739
誓詞神文前書写 享保13年～天保11年までの誓詞一覧あり	享保13年	半・1冊	770
手控 (新屋鋪事、新判之事、残物上納事、除帳者之事、馬市中絶之所致度願之事、市場馬市之振合、欠落之事、欠落附立之事)	天保2～6年	横切半・1冊	74
山里組合村々 (村名控) 依田忠順控	天保7年11月6日写	横切小型 (6.3×16)・1冊	738
御巡見御用掛覚書 入村愛控 宮下主と仮受写	天明8年 (天保9年2月17日写)	横美半折・1冊	207
御巡見一件控 忠順	天保9年3月	半・1冊	208
村方規定御書上帳 鬼無里村名主嘉三郎他15名 御代官所	天保9年閏4月	横長美・1冊	635
手控 (村方諸願書留) 依田忠順	天保14年4月	半・1冊	213

御目付

御目付条目

(目付仲間条目) 断裁		折紙・1通	618-11
御條目写 延宝2年11月の條目	享保7年11月12日書之	縦紙・1枚	769
御条目	嘉永4年10月27日	横切継紙・1通	773-2

御目付小条目

御小条目	嘉永4年10月22日	横切継紙・1通	773-1
------	------------	---------	-------

勤方

(御役勤方心得留書) 前欠	文政10年3月	横半半折仮綴・1冊	184
---------------	---------	-----------	-----

差向心得之記 全 依田源之丞利繼 御役被仰付候節之部、初当番之部、当番日心得之部、御届之部、差扣之部、御咎之部、武芸御覽被仰出之部、御目付役仰付之次第、右=付為知ヶ所、江戸同役江為知之事、御前様江御請状、御役成之御礼被仰付候節、江戸同役江吹聴案文、御在府之節江戸同役へ御役成之御礼頼之案文、誓詞=付切紙到来之節之事、同役江廻達之事、誓詞濟之節猶又廻達之事、江戸同役江吹聴之事、初当番相勤之節、印鑑札遣候簡所、御直御内條目拜見之節、江戸同役江吹聴書状案文、奉公御用召之者有之節之事、於御用部屋立会候ハ、廻達振、諸向支配之者御用召同道之事、御前役被仰付之次第他付札多し、天部和紙見出あり	安政5年3月	横半半折・1冊	111
(御役勤方心得留書) 前欠カ		横半半折仮綴・1冊	183
(正月元旦勤方日記) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-21
(18・19日祭礼兩日勤方日記) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-24
勤仕録			
勤仕録 中 (宝暦10年～文政5年)		横半半折・1冊	93
勤仕録 下 (享保15年～文政4年) 鑑察寮置附		横切半・1冊	94
年中行事勤仕録 全 依田利繼扣	安永9年～文政8年 (嘉永6年6月写)	横半半折・1冊	97
御道中勤仕録 依田忠繼写	慶応元年	横美半折・1冊	98
江府勤番振合 依田忠繼写	慶応元年秋写	横美半折・1冊	99
御広間当番心得 勤仕録 全 依田利繼扣	嘉永6年6月写	横半半折・1冊	100
勤仕録心得書 全 依田利繼扣 右振合者弘化四丁未年二月改革之由、嘉永六癸丑年五月廿八日御番入被仰付、即日樋口筆頭 ⁵ 借用写置	嘉永6年5月28日写	横半半折・1冊	101
(勤仕録) 御広間帳之事、御広間油、御目付役焚炭之事、御広間番并御給仕事、大検見之事、願事等覚、道中御荷物貫目之事、不參帳之事、御目付申渡事并立会、万心得之事 丁間挿入文書2点 (①朱青墨いんにく拵やう 墨うつり秘伝、②葉調合覚)あり、天部破損	元文2年～寛政7年	横切半 (青表紙四ツ目綴)・1冊	105
江府御聳御養子御願被蒙仰候当日御式之次第		美・1冊	224
袋 (勤仕録) (袋書「戌正月御門帳 四帳 御陣屋鋪御目付」)		1袋	801-0
年中行事 全		豎 (12×8)・1冊	801-1
御留守年 年中行事		豎 (12×8)・1冊	801-2
御留守中 年頭節句御祝儀之次第		豎 (12×8)・1冊	801-3
小書院江仰付之次第、格式江仰付之御式、御加増被下之御式		豎 (12×8)・1綴	801-4-1
(修行人)		豎 (12×8)・1綴	801-4-2
古 年中行事		豎 (12×8)・1冊	801-5-2
御帰城之御式 全	安政5年改	豎 (12×8)・1綴	801-6
小書院諸御礼之次第		豎 (12.2×8)・1綴	801-7

御法事節御參詣之式、御法会読経御聴聞之式		豎 (12.2×8) ・ 1 綴	801-8
(御旧臣御目見)		豎折 (12×8) ・ 1 枚	801-9
御在城年雨宮山王神事取計次第		豎 (12.2×8) ・ 1 綴	801-10
武芸御覽之御式		豎 (12.3×83) ・ 1 綴	801-11
盆中御棚御拝礼之式		豎 (12.2×8) ・ 1 綴	801-12
拝礼席之図		豎 (12.2×8) ・ 1 綴	801-13
正月15日・正月21日		豎 (12×8) ・ 1綴	801-14
2月朔日		豎 (12×8) ・ 1綴	801-15
御礼之節謁之次第、同断献上物之次第 御礼之節謁 之次第、同断献上物之次第		豎 (12×8) ・ 1綴	801-16
亥猪御餅頂戴之次第	安政5年10月改置	豎 (12.2×8) ・ 1 綴	801-17
(亥年御取納積、他中野中之条両御陣屋江非常之節 御固御人数行列など) 紙綴一括		豎 (12.2×8) ・ 59枚	801-18
袋 (勤仕録) 間取図面反故紙		1袋	802-0
(御出入御扶持・御役附御扶持、御普請奉行支配・ 道橋奉行支配・御武具奉行支配・御城同心頭支 配・水道役支配・口留山見役御扶持書上)		豎 (12×8) ・ 1綴	802-1
(御在城正月朔日・2日式次第)		豎 (12×8) ・ 1綴	802-2
(正月3日御流頂戴之次第)		豎 (12×8) ・ 1綴	802-3
(御在城正月4日式次第)		豎 (12×8) ・ 1綴	802-4
(正月9日式次第)		豎 (12×8) ・ 1綴	802-5
(正月11日大書院・小書院御具足餅頂戴式次第)		豎 (12×8) ・ 1綴	802-6
(正月12日式次第)		豎 (12×8) ・ 1綴	802-7
恐悦御機嫌伺之次第		豎 (12×8) ・ 1綴	802-8
御在城節句八朔御礼之次第、同断大書院一同之図		豎 (12×8) ・ 1綴	802-9
御奉納騎射之記、同見物之記	9月17日	豎 (12×8) ・ 1綴	802-10
弓銃御褒美永久之御極		豎 (12×8) ・ 1冊	802-11
御供触之記	安政3年～安政6年	豎 (12×8) ・ 1冊	802-12
御前様貞松院様御供触之記 利繼扣	文久3年3月	豎 (12×8) ・ 1綴	802-13
御前様此表江被為入候節御行列、御休泊之義伺、御 前様御着輿之御式		豎 (12×8) ・ 1綴	802-14
(大書院・小書院・御居間諸式図) 紙綴一括		豎 (12×8) ・ 51 枚	802-15
天王祭礼之御式 依田利繼扣		紙筒・1枚	802-16

祭礼松葉御棧敷之図 依田とし継 安政5年8月写	天保3年11月11日	縦紙・1枚	802-16-1
松葉御棧敷下之図、御棧敷二階図		縦紙・2枚	802-16-2
天王祭礼御式（次第）		縦（12×8）・1綴	802-16-3
袋（勤仕録） 上書「依田源之丞扣」		1袋	803-0
御流御給仕勤方関係書類			803-1
御流御給仕心得 依田源之丞扣 丁間に嘉永7年11月26日利継写御流頂戴図1枚、3月3日御流被下置=付御給仕勤下案1枚あり	天保10年正月3日	横半半折、縦紙・1冊、2枚	803-1-1
御流御給仕勤方扣 依田利貞		横半半折・1冊	803-1-2
江戸御在所御流御請仕勤方書留 武治		横切美・1冊	803-1-3
（御流御給仕勤方図面） 武治扣	文化2年	1鋪（27.5×67）	803-1-4
（御流御給仕勤方図面）		1鋪（28.5×27.5）	803-1-5
（御流御給仕勤方図面）		1鋪（38.5×28）	803-1-6
加州様御通行=付道橋加役勤方関係書類 紙繕一括			803-2
加州様御通行=付道橋方助相勤候節勤方		折紙・1枚	803-2-1
御馳走御用被仰付相勤候節承合等日記 大嶋智義扣	天保3年4月8日	横半・1冊	803-2-2
名札（真田信濃守内物頭宮島守人、真田信濃守内物頭依田源之丞）		小型（10×4）・3枚	803-2-3
御用之品覚帳（勤仕録）		横半・1冊	803-2-4
御手本（筑前守殿通行=付川普請廻状留） 依田呈 三郎源利善	安政4年5月20日	横半半折・1冊	803-2-5
覚（宿割、入用之品書上）		折紙・1枚	803-2-6
覚（入用品書上）		折紙・1枚	803-2-7
（恐悦伺次第）		横切紙・1枚	818-1-9
10月朔日恐悦伺之記 灰色宿紙	10月朔日	横切継紙・1通	818-1-10
袋（勤仕録関係書類）		1袋	819
御具足餅頂戴関係書類 紙繕一括			819-1
安政5午改御具足餅頂戴之次第 灰色宿紙	安政5年	横切継紙・1通	819-1-1
正月11日堀田速見御具足餅頂戴之次第 灰色宿紙			819-1-2
御不快之節年頭御礼之次第関係書類 紙繕一括			819-2
（御不快之節年頭御礼之次第 正月元旦） 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-2-1
（御不快之節年頭御礼之次第 正月2日・4日） 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-2-2
（御不快之節年頭御礼之次第 正月6日夜・9日・11日・12日・15日） 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-2-3
御在城中正月御礼之心覚書類 紙繕一括			819-3
（御在城中正月御礼之心覚 2日西村十郎右衛門） 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-1

(御在城中正月御礼之心覚 2日・3日) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-2
(御在城中正月御礼之心覚 3日堀田速見) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-3
(御在城中正月御礼之心覚 3日御流頂戴) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-4
(正月4日御日記付下調) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-5
(御在城中正月御礼之心覚 4日) 灰色宿紙		横切継紙・2通	819-3-6
(御在城中正月御礼之心覚 4日御徳居之者)		横切継紙・1通	819-3-7
(御在城中正月御礼之心覚 5日 5 8日迄) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-8
(御在城中正月御礼之心覚 9日 5 16日迄) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-9
(御在城御不快之節正月御礼之心覚 12日) 灰色宿紙	万延2年	横切継紙・1通	819-3-10
(御在城中正月御礼之心覚 12日神宮寺・修験・社家・和合院)		横切継紙・1通	819-3-11
(御在城中正月御礼之心覚 12日神宮寺・修験・社家・和合院) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-12
(御在城中正月御礼之心覚 12日神宮寺・修験・社家・和合院) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-13
(御在城中正月御礼之心覚 17日竹田金左衛門) 灰色宿紙		横切紙・1枚	819-3-14
(御在城中正月御礼之心覚 18日西村氏当番之処依田源之丞) 灰色宿紙		横切紙・1枚	819-3-15
(御在城中正月御礼之心覚 19日 5 26日迄) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-16
(御在城中正月御礼之心覚 27日28日) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-17
(御在城中正月御礼之心覚 晦日 5 2月2日迄) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-18
(御在城中正月御礼之心覚 大書院) 灰色宿紙		横切紙・1枚	819-3-19
(御在城中正月御礼之心覚 大書院) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-3-20
御居間=而被仰付、拝領物之次第関係書類 紙繕一括			819-4
(御居間=而被仰付之次第 御家老・御中老・大目付) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-4-1
(御居間=而被仰付之次第図)		豎切紙・1枚	819-4-2
(拝領物之次第 御家老・御中老・大目付・無役席) 灰色宿紙		横切継紙・1通	819-4-3
(拝領物之次第図)		豎切紙・1枚	819-4-4
御礼式関係書類 紙繕一括			835-5
(御礼事有之節取計) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-5-1
(御留守年年頭御礼之日記書拔) 安政7年正月		横切継紙・1通	835-5-2

(御礼帳書拔) 万延元年 灰色宿紙		横切紙・1枚	835-5-3
(御礼式次第) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-5-4
(御在城年正月5日6日7日式次第) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-22
(2月25日御礼式書上) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-23
御祝儀次第関係書類			838-3
(御留守中年頭節句八朔等御祝儀之次第) 灰色宿紙		横切継紙・1通	838-3-1
(正月4日御礼式次第 初) 後欠、灰色宿紙		横切継紙・1通	838-3-2
(正月4日御礼式次第 二番) 灰色宿紙		横切継紙・1通	838-3-3
(正月4日御礼式次第 三) 灰色宿紙		横切継紙・1通	838-3-4
(正月12日御礼式次第 社寺修験) 灰色宿紙		横切継紙・1通	838-3-5

規式

御役被仰付手順書類			805-2
(誓詞廻状振、印鑑改取計、江府同役へ頼之書状案文)		横切紙・1枚	805-2-1
(誓詞之節廻達案) 速見 刑左衛門他7名	7月10日	横切継紙・1通	805-2-2
(御役附御足輕5人) 依田源之丞	3月22日	横切継紙・1通	805-2-3
(御役料玄米3人扶持) 依田源之丞	3月22日	横切継紙・1通	805-2-4
(目付役) 依田源之丞	3月15日	横切・1枚	805-2-5
(御目付役被仰付手順之事) 当番西村十郎右衛門 灰色宿紙	3月22日	横切継紙・1通	805-2-6
(初世話番江戸頼状案文) 灰色宿紙		横切・1枚	805-2-7
(目付被仰付江戸同役江頼状案文) 灰色宿紙		横切継紙・1通	805-2-8
(御内條目拜見=付江戸へ頼状案文) 灰色宿紙		横切継紙・1通	805-2-9
(御役成之御礼江戸へ頼状案文) 灰色宿紙		横切・1枚	805-2-10
(御目付役被仰付御前様へ之御請状案文) 灰色宿紙		横切・1通	805-2-11
(御在城御目付被仰付御前様御請状案) 灰色宿紙		横切継紙・1通	805-2-12
(依田源之丞御役料頂戴=付御肴献上江府月番江伺候 様申渡) 灰色宿紙	3月22日	横切紙・1枚	805-2-13
演説連名関係書類 紙繕一括			812-2
(演説詰込之義御奥元ノ役御尋=付申上) 御目付 下書共 (灰色宿紙)	7月	横切継紙・2通	812-2-1
(御触事御奥支配与連名之義=付申上) 御奥元ノ役 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	812-2-2
(連名之義御内尋=付御内々返答書) 御奥元ノ役 灰色宿紙	嘉永7年2月	横切継紙・1通	812-2-3
(御奥元ノ役御奥支配連名之義御内々御尋=付返答 書) 表御右筆組頭 付札、灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	812-2-4

(十郎右衛門用状) 十郎右衛門 灰色宿紙	23日	横切継紙・1通	812-2-5
(源之丞用状、勘返状) 源之丞 速見様・平治様 灰色宿紙	7月23日	横切継紙・1通	812-2-6
(十郎右衛門用状、勘返状) 十郎右衛門 刑左衛門 様・正司様 灰色宿紙	7月24日	横切継紙・1通	812-2-7
(十郎右衛門用状) 十郎右衛門 源之丞様 灰色宿紙	7月25日	横切紙・1枚	812-2-8
(源之丞用状) 源之丞 速見様 灰色宿紙	7月25日	横切紙・1枚	812-2-9
(刑左衛門内々申上書) 刑左衛門 灰色宿紙	7月晦日	横切継紙・1通	812-2-10
(文政11年10月連名演説先例書) 御用番恩田靱負 灰色宿紙		横切継紙・1通	812-2-11
(江府御守役御奥支配等演説差図書) 灰色宿紙		横切紙・1枚	812-2-12
御達面(連名之儀=付) 灰色宿紙	嘉永7年	横切継紙・1通	812-2-13
(目付取調下書) 灰色宿紙		横切紙、横切継 紙・1枚、3通	812-2-14
御式御出之節御侍御徒士甲掛足袋関係書類 紙繕一括			812-7
一(甲掛足袋之儀=付伺) 御刀番 灰色宿紙	12月	横切紙・1枚	812-7-1
一=添(甲掛足袋文政11年日記先例書抜) 灰色宿 紙		横切継紙・1通	812-7-2
一=添(甲掛足袋安政5年先例書) 灰色宿紙		横切継紙・1通	812-7-3
二(御目見以下之儀=付伺書) 御刀番 灰色宿紙	12月	横切継紙・1通	812-7-4
三(表御右筆組頭御内々申上書) 表御右筆組頭 灰色宿紙	12月21日	横切継紙・1通	812-7-5
(甲掛足袋之儀御尋=付返答書下書) 御目付 灰色 宿紙		横切継紙・1通	812-7-6
御覽一覽之節之図			814-1
射芸一覽之節御場所困之図 安政2年10月御普請方へ 懸合置	(安政2年10月)	堅切紙・1枚	814-1-1
(安政3年図)	安政3年	横切継紙・1通	814-1-2
御覽之節御場所図面	安政6年	横切紙・1枚	814-1-3
劍術御一覽大書院御庭御場所見取之図又写	安政7年閏3月朔日	堅切紙・1枚	814-1-4
文久元4月中之図 灰色宿紙	文久元年4月	横切継紙・1通	814-1-5
御酒被下之節并御目見以下支配関係書類 紙繕一括			814-3
御目見以下御酒被下候支配取調申上書 御目付 卷 上「正月20日御用番将監殿へ差出」	万延2年正月	横切継紙・1通	814-3-1
(御酒頂戴之図)	(万延2年)	堅切紙・1枚	814-3-2
御目見以下支配献上之義伺 灰色宿紙	(万延2年) 2月	横切紙・1枚	814-3-3
雄若様御不快一件書類 紙繕一括			818-2-2
御用状(雄若様御不快御用席不殘御登城之旨) 郎右衛門 弥右衛門様・金左衛門様	十 4月24日	横切継紙・2通	818-2-2-1

御用状 (雄若様御不快=付御平癒之御祈祷御相談被下度) 弥右衛門 御当番様	4月24日	横切継紙・1通	818-2-2-2
(雄若様御不快=付4月24日目付留書) 西村十郎右衛門	4月24日	折紙・1枚	818-2-2-3
(御一覧之節御預人有之者御内極)	安政6年9月	横切継紙・1通	818-2-5-1
(乍勤仕御預之人御一覧之心得) 灰色宿紙		横切紙・1枚	818-2-5-2
御退隠御養子一条関係書類			828-21
御用状 (御退隠御養子一条=付) 友衛 御同役中様	正月7日	横切継紙・1通	828-21-1
(御退隠御養子一条=付返書) 御同役中 友衛様 灰色宿紙	正月21日	横切継紙・1通	828-21-2
御判物到着次第書類			805-3
(御判物到着之次第) 灰色宿紙	嘉永7年9月10日	横切継紙・1通	805-3-1
(御判物到着之次第) 灰色宿紙	安政2年3月朔日～3月18日	横切継紙・1通	805-3-2
寺社御朱印渡関係書類 紙縫一括			835-1
(寺社御朱印渡次第) 灰色宿紙	正月8日	横切継紙・1通	835-1-1
(寺社御朱印渡先例書) 安政4年正月2日 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-1-2
覚 (年始御礼銭受取、御納戸収) 水井市治 依田源之丞殿	文久3年正月	横切紙・1枚	835-33-1
(当亥年始御礼銭上納催促) 御元方 依田源之丞様	12月18日	横切紙・1枚	835-33-2
鎌原伊野右衛門内密御書下洩候一条関係書類 紙縫一括			837-7
一 回章 (御書下相洩候上、為写取候次第御答伺) 壹岐 頼母様他4名 灰色宿紙	11月19日	横切継紙・1通	837-7-1
二 (類例書抜) 文政8年、安政3年 灰色宿紙		横切継紙・1通	837-7-2
三 (鎌原伊野右衛門一条大目付評議并御答案) 帰 一郎 灰色宿紙	11月20日	横切継紙・1通	837-7-3
四 (御答案同意書) 美濃輔 灰色宿紙	11月20日	横切紙・1枚	837-7-4
(鎌原伊野右衛門殿儀御尋ニ付申上書) 御目付 卷 上「午11月21日壹岐殿へ」	11月21日	横切継紙・1通	837-7-5
(伊野右衛門宛御書下写)		横切継紙・1通	837-7-6
御礼席并御給仕之節図面 国元		半・1冊	116
御大政	文政10年2月	横切半・1冊	143
(御法式) 無役席并御家老重病之節為御尋被成下御使者候事、末期之願取扱之事、他 後欠	文政7年～同10年	横半半折仮綴・1冊	145
御帰城之御式 (案文) 貼紙多し		美・1冊	214
大殿様若殿様年頭御祝儀被進之御式		美・1冊	215
元服略式 依田利繼 奥書に嘉永2年5月26日、飯島興作勝休が伝写許可した文言あり	嘉永2年5月25日写	半・1冊	546
(松明心得)		半・1綴	621-3

寺社人御朱印頂戴順覚		横長美大・1冊	767
御判物江府江差出候節同断着之節とも取計（方留）	嘉永7年5月29日・安政2年3月朔日	横半半折・1冊	778
（御酒頂戴当日次第書） 灰色宿紙		横切継紙・1通	810-2
（御役料頂戴肴献上、御役成御礼之義伺差図留） 前欠、灰色宿紙		横切継紙・1通	847-6
（諸御礼事御改政之義組頭内申立留） 灰色宿紙	文久2年	横切継紙・1通	834-18
（評定所御役方加役申渡次第） 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-24
御酒頂戴=付諸向刻限取調		横切継紙・1通	824-4
（親類御預被仰付置候親類共武芸御一覽差扣有之度面々） 灰色宿紙		横切紙・1枚	835-6

役 儀

下目付役義訴訟取計先例 紙縫一括			814-4
口上覚（柄沢吉兵衛倅藤吉跡式相統願） 柄沢吉兵衛 灰色宿紙、破損大	安政4年8月5日	横切継紙・1通	814-4-1
（江戸下目付松坂九兵衛役儀御赦免訴訟一条） 灰色宿紙	文政12年2月28日・晦日	横切継紙・1通	814-4-2
（江戸下目付町田惣七役儀御赦免訴訟一条） 灰色宿紙	天保8年5月16日・17日	横切継紙・1通	814-4-3
（江戸下目付永田与左衛門青銅200疋御目録） 灰色宿紙	天保10年7月8日	横切紙・1枚	814-4-4
（増田武右衛下目付申付） 灰色宿紙	（嘉永3年）7月11日	横切継紙・1通	814-4-5
（下目付佐藤千八末期願一条） 灰色宿紙	嘉永4年10月28日	横切継紙・1通	814-4-6
学校下目付之儀=付御内々申上 御目付	10月	横切継紙・1通	814-4-7
学校下目付之儀=付申上 御勝手元ノ	10月10日	横切継紙・1通	814-4-8
（坂野勝介跡式相統=付親類共内密口上申聞候趣認取御内々伺） 御目付	12月12日	横切継紙・1通	814-4-9
江戸下目付役儀訴訟并御賞関係書類 紙縫一括	万延元年		869-5
壹（江戸下目付北島久大夫病氣不勝=付役義訴訟願書評議書） 灰色宿紙、紙縫一括	万延元年12月16日	横切継紙・1通	869-5-1-1
貳（久大夫願書下案） 下目付北島久大夫 下目付連名殿 灰色宿紙	万延元年12月	横切継紙・1通	869-5-1-2
参（江府下目付北島久大夫役義訴訟伺書） 御目付卷上「右=付此添書致御用番へ差出」 灰色宿紙	万延元年12月19日	横切紙・1枚	869-5-1-3
（嘉永6年12月江戸下目付小沼熊蔵役義訴訟一条前例書上） 灰色宿紙		横切継紙・1通	869-5-1-4
小林柔介兼帯役関係書類 紙縫一括			812-11
（小林柔介兼帯=付御内々申上書案） 灰色宿紙	8月	横切継紙・1通	812-11-1
（小林柔介御役方兼帯=付江戸5手紙） 灰色宿紙		横切継紙・1通	812-11-2
廻状（小林柔介調役本役=致度旨） 勘返状 灰色宿紙	8月28日	横切継紙・1通	812-11-3

(山里高札、諸張紙留) 黒罫紙 (片面9行)	天和2年～安政2年4月28日	160×123仮綴・1冊	164
公儀借財			
公儀借財一件評議書類			744
(内密申上) 頼母 灰色宿紙	正月	横切・1通	744
(頼母殿申立評議書) 舍人 采女様 灰色宿紙	正月26日	横切・1通	745
(頼母副言書) 頼母 灰色宿紙	正月	横切・1通	746
御 供			
(若殿様御初入=付御道中御供一卷)	寛政4年4月	横半半折・1冊	142
大殿様御大病=付殿様為御看病御参府之節留書	文政11年7月5日～9月9日	横長美仮綴・1冊	186
御参府之節御供被仰付候=付日記	嘉永2年	横半半折・1冊	117
(御本供御跡供心得) 依田利繼扣	安政元年	半・1冊	146
袋 上書「御湯治=付書類入 南御殿御次」	慶応3年5月	1袋	880-2
(湯治中取替覚・雑費簿等級)		横美半、横半、横切紙・1綴 (2冊、1枚)	880-2-1
(御城δ湯田中湯治御先番御供名面)		横切継紙・1通	880-2-2
(御供并交代之者名面)		横切継紙・1通	880-2-3
(御供并交代之者名面)		横切継紙・1通	880-2-4
(交代之者名面)		横切継紙・1通	880-2-5
御休附		横切継紙・1通	880-2-6
(湯治場見取図)		縦紙・1枚	880-2-7
御供人馬鑑札関係書類 紙繕一括			834-9
(貞松院様御供人之鑑札請取ヶ所申上書) 御供小頭 灰色宿紙	子4月	横切継紙・1通	834-9-1
(御前様御供人馬鑑札取集ヶ所申上書) 御供小頭 灰色宿紙	子4月	横切継紙・1通	834-9-2
御代参			
勢州御代参往来手形関係書類 紙繕一括			837-16
(勢州御代参出立=付御関所往来手形評議書)	正月	横切継紙・1通	837-16-1
(勢州御代参往来手形之義=付申上書) 御勘定吟味	正月	横切紙・1枚	837-16-2
法 事			
感応院様7回御忌御法事関係書類 紙繕一括	安政5年		835-4
(感応院様7回御忌御法事世話番心得) 灰色宿紙	6月15日	横切継紙・1通	835-4-1

(感応院様7回御忌御法事詰名面) 6月16・17日 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-2
(御役方 <small>の</small> 御法事御触扣)		横切継紙・1通	835-4-3
(御法事=付御触廻状之覚) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-4
(御法事=付御触之覚) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-5
(前日御法事詰心得) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-6
(御法事御触御渡之心扣) 御用所御内條目之内 <small>の</small> 書抜		横切継紙・1通	835-4-7
(御法事=付稽古并学校心得) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-8
(御法演説先例) 文政13年6月25日 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-9
(御法事不参之者取計先例) 安政4年2月7日円陽院様御法事 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-10
(御法事之節拜礼献上無之者取計先例) 天明5年～嘉永3年		横切継紙・1通	835-4-11
(乾徳院様御法事之節拜礼献上取計先例) 天明5年11月19日		横切継紙・1通	835-4-12
(大暁院御法事之節拜礼差図先例) 文政12年9月6日 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-13
(御法事後日心得案) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-4-14
若殿様御卒去并御法事関係書類 紙繕一括			814-5
(若殿様御不例御用状) 十良右衛門・一二三	7月2日	横切紙・1枚	814-5-1
(若殿様御卒去=付慎方書上)	7月4日・6日	横切継紙・1通	814-5-2
(豊隆院様御初七日御法事次第)		横切継紙・1通	814-5-3
御代参御参詣御精進関係書類 紙繕一括			833-5
(御家老御代参日書上)		横切継紙・1通	833-5-1
(御中老、御番頭、表御用人、御取次、御側役、御使役御代参日書上)		横切継紙・1通	833-5-2
(御参詣日書上)		横切継紙・1通	833-5-3
(御精進日書上)		横切継紙・1通	833-5-4
(戌年御法事書上)	(文久2年)	横切継紙・1通	833-4-4
円明院様27回御忌御法事詰御番士名面 長谷川甚大夫	12月7日	横切紙・1枚	835-29
覚(仏事日書上)		横切紙・1枚	835-30
(御忌御法事=付御代香名面案文)		横切継紙・1通	835-31
(御法事之節御香奠副寺江引渡請取文言) 灰色宿紙		横切継紙・1通	818-1-8
(会津御家来 <small>の</small> 香典金等預手形) 会津御家来小山角馬・広沢富二郎		横切継紙・1通	804-24
公 事			
公裁一件 完(公事裁許仕置留、元文年中被仰出御定書) 長谷川善鑑写	天保12年12月写	横切半・1冊	181

(公事方懸り御収納方懸り公事方懸り御勘定役村方公事出入取調申上書下書)		横長美・1冊	743
-------------------------------------	--	--------	-----

城内取締

御城内逆上者侵入一件関係書類 紙縫一括			811-6
(御尋ニ付御目付申上書) 御目付 灰色宿紙	正月	横切継紙・1通	811-6-1
(御城代より勘弁申立) 御城代 灰色宿紙	12月	横切継紙、横切紙・1通、1枚	811-6-2
口上覚(御尋ニ付大御門番当番我妻返答書) 清水清蔵 上原弘衛様 灰色宿紙	万延元年12月	横切継紙・1通	811-6-3
口上覚(御尋ニ付中御門番人返答書) 中御門御番人御城附組仙之助 伊木億右衛門殿 同組小頭小宮山権左衛門奥書 灰色宿紙	万延元年12月24日	横切継紙・1通	811-6-4
口上覚(御尋ニ付中御門御番人金作後見返答書) 中御門御番人御城附組金作後見喜代治 伊木億右衛門殿 同組小頭小宮山権左衛門奥書 灰色宿紙	万延元年12月24日	横切継紙・1通	811-6-5
口上覚(御尋ニ付中御城附組仙之助同組金作後見喜代治返答書添書) 伊木億右衛門 灰色宿紙	12月24日	横切継紙・1通	811-6-6
口上覚(御尋ニ付大御門番人3名返答書) 大御門御番人三治・友右衛門・国治 御城御同心頭様御役所 灰色宿紙	万延元年12月	横切継紙・1通	811-6-7
(御城内逆上者侵入類例調書、天保13年) 灰色宿紙、6-8-1~3紙縫一括		横切継紙・1通	811-6-8-1
(御城内逆上者侵入類例調書、嘉永4年) 灰色宿紙		横切継紙・1通	811-6-8-2
(嘉永3年例書大目付江貸出) 灰色宿紙		横切紙・1枚	811-6-8-3
(御城内逆上者侵入類例調書、嘉永3年) 灰色宿紙		横切継紙・1通	811-6-8-4
(逆上者一条伺書) 御城同心 灰色宿紙	12月26日	横切継紙・2通	811-6-9
(御尋ニ付御目付返答書) 御目付 灰色宿紙	正月	横切継紙・1通	811-6-10
(再御尋ニ付御目付返答書) 御目付 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	811-6-11
(評議廻達) 源之丞 三郎左衛門様 灰色宿紙	2月18日	横切継紙・1通	811-6-12
(再御尋ニ付返答書) 御目付 灰色宿紙	2月	横切紙・1枚	811-6-13
(番人御沙汰書) 灰色宿紙		横切継紙・1通	811-6-14
再壹(清水清蔵御答筋之義伺) 御城同心頭安藤右膳・上原弘衛・長井平馬 灰色宿紙	2月8日	横切継紙・1通	811-6-15
再二(清水清蔵御答筋案伺伺) 御城同心頭安藤右膳・上原弘衛・長井平馬 灰色宿紙	2月8日	横切継紙・1通	811-6-16
再三(大御門中御門番人共御答筋之義伺) 御城同心頭安藤右膳・上原弘衛・長井平馬 灰色宿紙	2月8日	横切継紙・1通	811-6-17
再四(大御門中御門番人共御答筋之案伺) 御城同心頭安藤右膳・上原弘衛・長井平馬 灰色宿紙	2月8日	横切継紙・1通	811-6-18
再五(逆上者一条御尋ニ付申上書) 御城同心頭 灰色宿紙	2月8日	横切継紙・1通	811-6-19
再六(先例御一覽後御下願) 御城同心頭 灰色宿紙		横切紙・1枚	811-6-20

再七（先例御一覽後御下願） 御城同心頭 灰色宿紙		横切繼紙・1通	811-6-21
再八（番人共御答勘弁願） 御城代 灰色宿紙	2月	横切繼紙・1通	811-6-22
再九（清水清蔵以御情不及答旨） 灰色宿紙		横切繼紙・1通	811-6-23
（逆上者一条以御情不及答旨御普請奉行申渡） 灰色宿紙		横切繼紙・1通	811-6-24
（番人共御答申渡） 御城代・御普請奉行 灰色宿紙	天保13年9月19日	横切繼紙・1通	811-6-25
（番人共御答申渡） 灰色宿紙	嘉永4年2月9日	横切繼紙・1通	811-6-26
二之丸引橋御門番所出火関係書類 紙繕一括			811-7
（出火之節諸役人勤方書留） 灰色宿紙	弘化2年5月8日	横切繼紙・1通	811-7-1
（出火之節御賞筋） 御普請奉行・御城代・町奉行 灰色宿紙	（弘化2年）5月29日	横切繼紙・1通	811-7-2
（出火之節御答筋） 灰色宿紙	（弘化2年）5月28日	横切繼紙・1通	811-7-3
御殿焼失関係書類 紙繕一括			811-8
（御殿焼失評議書） 下書		横切繼紙・1通	811-8-1
（御殿焼失御答筋） 灰色宿紙	嘉永6年7月23日	横切繼紙・1通	811-8-2
（御殿焼失御答筋） 灰色宿紙		横切紙・1枚	811-8-3
（元御城番組肴町富左衛門母跡目相続許可） 灰色宿紙		横切紙・1枚	811-8-4
御本丸出火関係書類			835-27
御届案（出火消防、一ノ手・二ノ手御人数名面、繰込人数名面） 森木一二三 灰色宿紙	11月15日	横切繼紙・1通	835-27-1
（御本丸大奥御飯屋辺御出火御届書） 下座見佐藤弥一・宮沢吉治 灰色宿紙	11月16日	横切繼紙・1通	835-27-2
（御帰城ニ付大手木戸飾付立番其外差図書） 御目付御武具方様 灰色宿紙	午7月4日	横切繼紙・1通	804-25
煙の知せ		横切紙・1枚	809
（御城内向締筋御尋ニ付返答書） 下書、灰色宿紙		横切繼紙・1通	811-10
（御城内乱心者紛込先例） 天保13年・弘化5年・万延元年 灰色宿紙		横切繼紙・1通	835-14

諸取締

須坂悪所場一件関係書類 紙繕一括			836-3
内回状（於須坂表悪所場弊害評議） 源大夫 音門様他4名 灰色宿紙	庚申11月19日	横切繼紙・1通	836-3-1
（須坂町悪所場弊害御内々申上書） 東川田村岡村庄作 灰色宿紙	申11月22日	横切繼紙・1通	836-3-2
穿鑿書（須坂町悪所風聞） 玉井吉十郎・今井民平 灰色宿紙	11月23日	横切繼紙・1通	836-3-3
（須坂町悪所場弊害ニ付川東村々御取締方之義申上書） 高野車之助 灰色宿紙	11月25日	横切繼紙・1通	836-3-4

(須坂町悪所場予防之義御尋=付申上書) 高野車之助 灰色宿紙	11月28日	横切継紙・1通	836-3-5
(須坂町悪所場予防之義御尋=付評議草稿) 御目付 卷上「申11月28日帰一郎殿に12月2日出ス」 灰色宿紙	申11月28日	横切継紙・1通	836-3-6
御医師謝物関係書類 紙縫一括			838-4
(御医師江謝物之儀=付申上書) 御目付 主水殿 灰色宿紙	未2月3日	横切継紙・1通	838-4-1
(御医師江謝物演説之儀御尋=付申上書) 御目付 主水殿	未4月13日	横切継紙・1通	838-4-2
(御医師江葉礼之義演説案文=付内々伺) 美濃輔 主水様	4月12日	横切継紙・1通	838-4-3
(天保度御達心得違之族も有之、違失有之間敷御側役御達) 御側役 前欠		横切紙・1枚	847-7
(御参府中御跡取締演説触留) 御目付中 灰色宿紙	3月9日	横切継紙・1通	868-17
(若輩之旅途中石打停止演説触) 灰色宿紙	嘉永6年7月7日	横切紙・1枚	868-33
(学校稽古所柱等江致楽書候者有之取締筋演説留) 灰色宿紙 869-4-1・2紙縫一括		横切継紙・1通	869-4-2
(御作事向出火一条猶御普請奉行申立書類御下御尋=付申上書) 灰色宿紙	6月	横切継紙・1通	834-20

儉約

5カ年儉約関係書類			805-6
(五ヶ年儉約条目) 灰色宿紙、下札	安政6年12月	横切継紙・1通	805-6-1
(五ヶ年儉約御達可心懸旨) 灰色宿紙	(安政7年カ)	横切継紙・1通	805-6-2
御役所諸品減略関係書類 紙縫一括			811-1
(蠟燭油減略御勘定吟味役達写) (御勘定吟味役) (御目付様方) 灰色宿紙	(文久元年) 酉8月17日・同20日	横切継紙・1通	811-1-1
(御用紙筆墨代焚炭等減略御勘定吟味役達写) 十郎兵衛 御目付様 灰色宿紙	文久元年8月26日	横切継紙・1通	811-1-2
(小蠟燭上中下名目出来=付) 十郎兵衛 御目付役様 灰色宿紙	(文久元年) 酉9月朔日	横切継紙・1通	811-1-3
(油炭御勝手方壱岐殿差函書写) 灰色宿紙	(文久元年) 酉10月29日	横切紙・1枚	811-1-4
戌年儉約一条=付御書下等書類 紙縫一括			817-1
(御家中儉約触) 灰色宿紙		横切継紙・1通	817-1-1
(5ヶ条儉約可被取計旨) 助之進江	(文久2年) 12月3日	横切継紙・1通	817-1-2
御減略筋一条関係書類 紙縫一括			834-11
(御減略筋取調案) 御目付 貼紙 灰色宿紙	酉6月14日	横切継紙・1通	834-11-1
(御減略筋之義伺按) 御目付 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	834-11-2
二 (向々結込取調ヶ所伺) 下札、灰色宿紙		横切継紙・1通	834-11-3
三 (是迄手紙廻状差出候加ヶ所書上) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-11-4

四（御勝手向御逼迫ニ付御目付見込御役方御用紙御減略評議書并伺書） 新六 灰色宿紙	6月	横切継紙・1通	834-11-5
五（御目付書式減略申立評議書） 美濃輔 灰色宿紙	3月10日	横切継紙・1通	834-11-6
六（御減略筋御目付申立之儀ニ付申上書） 御勝手元ノ 灰色宿紙	6月13日	横切紙・1枚	834-11-7
七（御減略之義再御尋ニ付申上書） 御目付 卷上「助之進殿へ差出」 灰色宿紙	西6月19日	横切継紙・1通	834-11-8
八 回状（御減略之義御目付見込） 灰色宿紙	6月19日	横切紙・1枚	834-11-9
九（御目付ノ演説箇所結込之義奉伺候付取調方之義御内々申上書） 表御右筆組頭 灰色宿紙	6月20日	横切継紙・1通	834-11-10
十一（御城代御番頭端書伺） 「朱書入御中老」 灰色宿紙		横切紙・1枚	834-11-11
十二（御目付演説減略一条評議書） 美濃輔 灰色宿紙	7月3日	横切継紙・1通	834-11-12
（御省略筋之義御渡ケ所） 灰色宿紙	西4月	横切継紙・1通	834-11-13
（無役席演説連名差図書） 灰色宿紙	西8月17日	横切継紙・1通	834-11-14
江戸土産餞別一条関係書類 紙縫一括			869-3
一 廻状（土産餞別節儉之儀） 舍人 頼母様他3名 灰色宿紙	2月17日	横切継紙・1通	869-3-1
二（江戸餞別土産之儀御尋ニ付申上書） 御目付 卷上「未2月27日出ス舍人殿へ」 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	869-3-2
三・四（江戸土産餞別之儀御尋評議書） 神平・美濃輔 灰色宿紙	2月27日・3月5日	横切紙・1枚	869-3-3
五（江戸土産餞別等之儀御尋ニ付申上書） 三奉行 灰色宿紙	4月13日	横切継紙・1通	869-3-4
六（江戸土産餞別一条三奉行御答書ニ付猶御尋ニ付申上書） 御目付 卷上「未4月15日舍人殿へ出ス」 灰色宿紙	4月	横切継紙・1通	869-3-5
七 廻状（土産餞別節儉之儀） 舍人 壱岐様他4名 灰色宿紙	4月16日	横切継紙・1通	869-3-6
八（江戸往來土産物等之儀ニ付贅言御書取） 主水 灰色宿紙	4月16日	横切継紙・1通	869-3-7
九（江戸土産餞別一条猶御尋ニ付申上書案） 御目付 卷上「未4月20日舍人殿」 灰色宿紙	4月	横切継紙・1通	869-3-8
（百姓町人共葬式儉約触達写） 灰色宿紙	天保2年4月27日	横切継紙・1通	833-4-1
（御儉約演説触） 灰色宿紙	嘉永7年正月18日	横切継紙・1通	828-19-18
（上着儉約達書） 灰色宿紙	子年、安政5年12月27日	横切継紙・1通	828-19-20
（肩衣儉約達書） 灰色宿紙	子年、安政5年12月朔日、安政6年12月13日	横切継紙・1通	828-19-21
（御減略中御用紙証文之義伺） 御目付 灰色宿紙	文久2年4月	横切継紙・1通	811-9
（御儉約御内々申上書） 灰色宿紙		横切継紙・1通	828-19-19
（乗馬供連、着服儉約、馬具毛織押懸御触） 灰色宿紙		横切継紙・1通	828-19-22

紙			
(着服之義内々申上書) 灰色宿紙、下書		横切継紙・1通	828-19-23
(被仰渡儉約之儀=付意見申上書)		横切継紙・1通	852-2
罫 穀			
罫穀農兵関係書類 紙縫一括			844
(罫穀農兵之儀御尋=付申上書) 御目付 灰色宿紙	11月	横切継紙・1通	844-1
廻状(罫穀農兵之儀評議) 友衛 陽之助様他5名 灰色宿紙	11月3日	横切継紙・1通	844-2
(罫穀農兵等之儀意見書) 陽三郎 灰色宿紙	11月4日	横切継紙・1通	844-3
廻章(罫穀農兵之儀再評議) 友衛 繁人様他6名 灰色宿紙	11月6日	横切継紙・1通	844-4
(罫穀農兵等之儀意見書) 源蔵 灰色宿紙	11月6日	横切継紙・1通	844-5
検 見			
検見関係書類 紙縫一括			837-5
(検見之手扣) 7月27日~8月16日 灰色宿紙	文久3年	横切継紙・1通	837-5-1
御用状(大検見御用、出立日限差函) 三郎兵衛 源之丞様 灰色宿紙	8月16日	横切継紙・1通	837-5-2
廻状(大検見廻村来ル24日出立差函=付) 源之丞 弥右衛門様他11名	8月18日	横切継紙・1通	837-5-3
御用状(郡奉行・御勘定吟味御役方御人数=付検見 廻村中止報知) 小平次 源之丞様 灰色宿紙	8月20日	横切継紙・1通	837-5-4
(片岡文治於評定所小検見御用誓詞血判申渡) 依 田源之丞 灰色宿紙		横切紙・1枚	837-5-5
(亥秋大検見延引=付御内々申立案) 助之進宛 灰色 宿紙	亥年	横切継紙・1通	800-2
祭 礼			
9月酉之日御祭礼大般若開善寺申立関係書類 紙縫一 括			869-1
(大般若修行開善寺申立評議伺書) 舍人 御用番様 灰色宿紙	正月5日	横切継紙・1通	869-1-1
(大般若御入料之義=付申上書) 御勝手元ノ 灰色宿 紙	2月16日	横切継紙・1通	869-1-2
(大般若義再御尋=付申上書) 御目付 下書、灰色宿 紙		横切継紙・1通	869-1-3
壹 口上覚(大般若修行許可御執成願) 開善寺 矢野式左衛門他2名 灰色宿紙	9月3日	横切継紙・1通	869-1-4
二(御祭礼般若執行之義伺書) 御宮奉行 灰色宿紙	9月3日	横切継紙・1通	869-1-5
三 口上覚(大般若御入料品々書上下付願) 開善 寺禮行事 灰色宿紙	9月	横切継紙・1通	869-1-6
四(大般若修行之義御尋御伺書) 御宮奉行 灰色	9月	横切継紙・1通	869-1-7

宿紙			
五（大般若修行開善寺申立之義御尋ニ付申上書） 寺社奉行 灰色宿紙	9月	横切紙・1枚	869-1-8
六（大般若修行開善寺申立之義御尋ニ付申上書） 御勝手元々 灰色宿紙	9月	横切紙・1通	869-1-9
七（大般若修行開善寺申立之義御尋ニ付申上書） 御目付 灰色宿紙	10月	横切紙・1枚	869-1-10
八（大般若修行開善寺申立之義御尋ニ付申上書） 御勘定吟味 灰色宿紙	10月	横切紙・1通	869-1-11
九（大般若修行開善寺願之義御尋ニ付申上書） 一郎 灰色宿紙	帰 10月8日	横切紙・1通	869-1-12
十（大般若之義御内々御尋ニ付申上書） 右兵衛 灰色宿紙	11月	横切紙・1通	869-1-13
十一（御両宮神主堀内連差出候内存書取） 右兵衛 灰色宿紙		横切紙・1通	869-1-14
十二（大般若之義御内々御尋ニ付申上書） 右兵衛 灰色宿紙	11月	横切紙・1通	869-1-15
十三（大般若之義ニ付申上書） 右兵衛 灰色宿紙	11月	横切紙・1通	869-1-16
十四（白鳥大明神御祭礼之節小神楽執行嘉永7年9月 朔日申渡御見合） 灰色宿紙		横切紙・1枚	869-1-17
十五（白鳥大明神御祭礼之節小神楽執行、大般若転 読之義ニ付申渡案） 寺社奉行・御宮奉行 灰色宿紙		横切紙・1通	869-1-18
十六（大般若之義別紙巻印より九印を以御尋ニ付評 議書） 美濃輔 灰色宿紙	12月23日	横切紙・1通	869-1-19
十七（大般若之義ニ付申上書） 御勘定吟味 灰色宿紙	12月	横切紙・1通	869-1-20
十八（大般若之義ニ付再御尋ニ付申上書） 御勝手元々 灰色宿紙	12月	横切紙・1通	869-1-21
十九 廻状（大般若之御入料之義） 舍人 頼母様・采女様 灰色宿紙	正月4日	横切紙・1通	869-1-22
廿 廻状（大般若料小神楽料引分之義） 助之進 壱岐様・左門様 灰色宿紙	正月16日	横切紙・1枚	869-1-23
廿一 廻状（大般若料小神楽料引分之義） 助之進 壱岐様・左門様 灰色宿紙	正月21日	横切紙・1通	869-1-24
諏訪宮御柱神事関係書類 紙縫一括			836-1
一 口上覚（御柱神事執行仕度願書） 内山上総宮主鈴様・成勘左衛門様 練光寺願書共（朱書） 灰色宿紙	万延元年閏3月	横切紙・1通	836-1-1
二（御柱神事御許容願写） 伊勢町世話人惣代藤兵衛他3名 御奉行所 奥書あり 灰色宿紙	万延元年閏3月	横切紙・1通	836-1-2
三（御柱神事別紙御許容願写） 伊勢町世話人惣代藤兵衛他3名 御奉行所 奥書あり 灰色宿紙	万延元年閏3月	横切紙・1通	836-1-3
四（諏訪宮御神事之義ニ付伺書） 宮下主鈴・成瀬勘左衛門 灰色宿紙	（万延元年）閏3月28日	横切紙・1通	836-1-4
（諏訪宮御神事評議書） 灰色宿紙	（万延元年）閏3月28日	横切紙・1通	836-1-5

(諏訪宮御柱神事之義御尋=付申上書) 御目付 卷上「申閏3月28日婦一郎殿を尋同晦日差出ス」 灰色宿紙	(万延元年) 閏3月	横切継紙・1通	836-1-6
祭礼乗馬之者着服関係書類			811-3
(儉約之旨御馬奉行江被仰渡候段心得候様) 灰色宿紙	文久(元) 酉年6月27日	横切紙・1枚	811-3-1
(着服儉約御用番江被仰渡候=付達) 依田源之丞丸茂宗弥様 灰色宿紙	3月27日	横切継紙・1通	811-3-2
(御両宮御社參御帰り後神主堀内御広間へ出候哉先例書拔) 灰色宿紙		横切紙・1枚	811-3-3
祭礼御馬割	文久元年	横半半折・仮1冊	469
覚(祭礼之節大手木戸立番名面写) 割番	安政6年8月17日・19日	横切紙・1枚	804-23
(舞鶴山御祭礼騎射乗馬之者共減少、出精方法上書案扣) 齊藤友衛	正月29日	横切紙・1通	818-6-1
袋 上書「機密書類 祭礼一件之書類入」		1袋	828
(祭礼之節着服等之義御尋=付申上書) 下書、灰色宿紙		横切継紙・1通	828-1
御用状(見合相廻) 正司 源之丞様 灰色宿紙		横切継紙・1通	828-2
(祭礼演説書拔) 嘉永7年8月~安政4年8月 灰色宿紙	万延元年7月	横切継紙・1通	828-3
(天王祭礼一条御尋=付申上留) 御目付 灰色宿紙	文政2年6月9日	横切継紙・1通	828-4
(祭礼御棧敷詰演説) 灰色宿紙		横切継紙・1通	828-5
(祭礼之節着服儉約触下案) 灰色宿紙		横切継紙・1通	828-6
(祭礼之節供連人数、着服等之義演説留) 嘉永7年8月~安政5年12月 灰色宿紙	安政2年	横切継紙・1通	828-7
(御留守中祭礼之節御達) 灰色宿紙、8~12紙綴一括	安政3年	横切継紙・1通	828-8
(御在城中祭礼之節御達) 灰色宿紙	安政4年	横切継紙・1通	828-9
(御在城中祭礼之節御達) 灰色宿紙	安政4年8月18日・19日	横切継紙・1通	828-10
(御在城祭礼当日次第) 灰色宿紙	安政6年	横切継紙・1通	828-11
(御留守祭礼之節御達) 灰色宿紙	8月	横切継紙・1通	828-12
一 口上覚(天王祭礼羽織着用不致旨願書) 御徒士 灰色宿紙、13~18紙綴一括	8月	横切継紙・1通	828-13
二(御徒士羽織着用之義=付願書) 御徒士頭 灰色宿紙	8月	横切紙・1枚	828-14
三(御徒士羽織着用尾尋=付申上書) 御刀番 灰色宿紙	8月	横切継紙・1通	828-15
四(祭礼御供之御徒士羽織着用御尋=付御内々申上書) 三治 灰色宿紙		横切継紙・1通	828-16
(御徒士羽織着用御尋=付申上書) 左京 灰色宿紙	8月	横切継紙・1通	828-17
(御徒士羽織着用御尋=付申上書) 御目付 灰色宿紙	8月	横切継紙・1通	828-18
祭礼着服関係書類 西村十郎右衛門 祢津刑左衛門殿・小幡保之丞殿 包紙			828-19

(祭礼之儀=付伺書) 御馬奉行 灰色宿紙	8月	横切継紙・1通	828-19-1
(祭礼之節着服毛織押懸供連之義御尋=付申上書) 御目付 卷上「未8月14日沓岐 ^δ 御下即日出入」 灰色宿紙	8月	横切紙・1枚	828-19-2
(祭礼之義御尋=付申上案) 御目付 卷上「申7月24日美之輔殿 ^δ 翌日差出」 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	828-19-3
(祭礼着服之義演説触) 御目付中 灰色宿紙	安政4年7月8日・11日	横切継紙・1通	828-19-4
(去去年町方祭礼減略演説触) 灰色宿紙	安政6年8月10日	横切継紙・1通	828-19-5
(祭礼之義等申上書) 源之丞	7月29日	横切継紙・1通	828-19-6
(祭礼之義沓岐殿書取) 灰色宿紙		横切紙・1枚	828-19-7
(天王祭礼之節着服之義御尋=付申上書) 下書 灰色宿紙、		横切継紙・1通	828-19-8
(天王祭礼着服之義演説触) 灰色宿紙	安政4年8月8日・11日	横切紙・1枚	828-19-9
(着服御内々申上書) 灰色宿紙、下書		横切継紙・1通	828-19-10
(諸国) 祭礼法会年中行事 長善	天保12年6月写	堅切半・1冊	125
天王御祭礼乗馬致候者心得帳 依田源之丞善繼	天保15年7月16日写	横半半折・1冊	140
八幡宮 ^(欠) □□行列目録 □□番頭人武井久右衛門 破損大		美・1冊	450

服 忌

服忌令 天・地・人	元禄6年12月21日～	豎小型 (8×13)・3冊	376
養実服忌弁疑 依田利繼 筒井忠英図解	安政5年10月20日写	半・1冊	378
服忌令 依田利繼 帯封	万延元年9月・10月写	豎紙・3枚	377
服忌伺 乾 服忌令撰註分积		半・1冊	379-1
服忌伺 上之卷・中之卷		半・2冊	379-2

通 行

板橋宿過人馬繼一件関係書類 紙縫一括			833-1
沓 (板橋宿過人馬遣之義御報知) 板橋宿改所出役 中山耕十郎 真田信濃守様道中懸御役人中様 灰色宿紙	万延元年5月10日	横切継紙・1通	833-1-1
式 (過人馬遣之義=付申上書) 津田軫 灰色宿紙	(万延元年) 5月21日	横切継紙・1通	833-1-2
三 (御預所へ先触之義=付心得御達之義=付申上書) 御目付 灰色宿紙	(万延元年) 5月23日	横切継紙・1通	833-1-3
四 (過人馬遣宿々払戻之義御尋=付申上書) 御目付 卷上「申5月23日左門殿へ差出」 灰色宿紙	(万延元年) 5月23日	横切継紙・1通	833-1-4
(過人馬遣宿々払戻之義御評議廻状) 一・二・三・弥惣 左衛門 御同役中様	(万延元年) 5月26日	横切継紙・1通	833-1-5
(人馬過遣宿之義評議承知返報案) 連名 弥惣左衛門様・一・二・三様 卷上「6月9日江戸へ返報遣」 灰色宿紙	(万延元年) 6月9日	横切継紙・1通	833-1-6
御関所并江戸出口番所印鑑一条関係書類 紙縫一括			837-9

(御鑑札雛形伺書) 御右筆 灰色宿紙	10月8日	横切紙・1枚	837-9-1
(御鑑札雛形御尋ニ付返答書) 津田転 玉左門 灰色宿紙	12月8日	横切紙・1枚	837-9-2
(御鑑札御渡方之義御内々伺書) 御右筆 灰色宿紙	12月8日	横切紙・1枚	837-9-3
一 回状(道中筋江戸口々出入御印鑑模様替ニ付) 左門 志摩様・老岐様 灰色宿紙	12月10日	横切継紙・1通	837-9-4
二 御用状(江戸出入口并御関所御印鑑御尋ニ付返答) 津田転 玉左門 灰色宿紙	12月11日	横切紙・1枚	837-9-5
三 回状(道中筋江戸口々出入御印鑑ニ付再伺) 左門 志摩様・老岐様 灰色宿紙	12月11日	横切継紙・1通	837-9-6
四イ印 書状(印鑑御差出方御問合返報) 松平銚三郎内山中弁蔵 津田転様 灰色宿紙	12月10日	横切継紙・1通	837-9-7
五口印 書状(印鑑御差出方尚又御問合返報) 幸野鍵太郎・山中弁蔵他1名 津田転様 灰色宿紙	12月10日	横切紙・1枚	837-9-8
六(印鑑一条之義申上書) 津田転 灰色宿紙	12月10日	横切継紙・1通	837-9-9
(御関所并江戸出口番所印鑑ニ而通行之義同席触到来報知) 玉川左門・小山田老岐・真田志摩 御用番様 灰色宿紙	12月12日	横切継紙・1通	837-9-10
(御在所江御廻し之印鑑并雛形共出来之義申上書) 御留守居 灰色宿紙	12月12日	横切継紙・1通	837-9-11
覚(津田転從江戸信州松代迄通行手形)	文久3年12月18日	横切紙・1枚	837-9-12
御関所通行印鑑一条関係書類 紙縫一括			837-10
(御関所通行方之義ニ付御内々申上書) 表御右筆組頭 灰色宿紙	12月16日	横切継紙・1通	837-10-1
(印鑑一条評議書) 新六 灰色宿紙	12月17日	横切紙・1枚	837-10-2
廻状(印鑑一条評議) 源之丞 小平次様・虎尾様・小弥太様 灰色宿紙	12月18日	横切継紙・1通	837-10-3
(御関所等通行之義御尋ニ付申上書) 灰色宿紙	12月18日	横切継紙・1通	837-10-4
(鑑札雛形) 灰色宿紙共		横切継紙、横切紙、横切折紙・1通、3枚	837-10-5
(道中御取締向ニ付御関所へ印鑑差出方之義伺書) 御預所郡方(高田幾太) 灰色宿紙、紙縫一括	亥12月	横切継紙・1通	837-11-1
(御預所御役所伺書評議書) 灰色宿紙		横切継紙・1通	837-11-2
人馬賃銭払関係書類 紙縫一括			837-13
(人馬賃銭払御用状返報按) 速見 弥惣左衛門様 灰色宿紙	6月12日	横切継紙・1通	837-13-1
(人馬賃銭払御用状別紙返報案) 速見 弥惣左衛門様 灰色宿紙	6月12日	横切継紙・1通	837-13-2
(人馬賃銭書上)		横切継紙・1通	837-13-3
先触之記へ入候もの一紙(類) 紙縫一括			814-2
(御預所人馬継先触)	万延元年6月5日	横切紙・1枚	814-2-1

(先触之義ニ付申達)	5月8日	横切継紙・1通	814-2-2
道中先触之記 乙 直秩写 正徳元年5月～嘉永4年11月 貼紙	天保10年12月写	横切半・1冊	178
道中先触之記 甲 直秩写 明和6年9月19日～天保12年2 月7日 貼紙	天保10年12月写	横切半・1冊	165
(道中先触留書) 献上物先触、御馬先触之事、途中追先 触之事、先触書上之事、先触紛失之事他	明和2年8月2日～弘化3 年4月朔日	横半半折・1冊	176
道中貫目品々留	寛政元年5月25日	横半半折・1冊	276
御道中御宿割勘方書拔 金井清令写 寛政10年10月～享 和2年7月	文政2年5月写	横半半折・1冊	169
(人馬繼諸用留)	安政5年3月20日～6月 28日	横半半折仮綴・1 綴	201
先触差出覚 先触請取覚 依田利継	安政5年5月朔日～8月 20日	横切半仮綴・1冊	202
(大宮宿之人足共御供御家老采女殿供勢之内江酒代申 請度口論一件御開濟ニ付御請書写) 中山道大宮宿役 人惣代年寄力五郎他3名 御目付様御役所	文久元年7月	横切継紙・1通	821-1-10
(御小休御本陣類焼ニ付普請金拝借願并御道中人馬掛添 口上覚) 御道中人馬掛 御目付方御役所 碓氷峠山中 御小休御本陣 灰色宿紙	文久元年12月	横切継紙・1通	855-3
(神奈川為御警衛碓氷御関所鉄砲証文控) 河原左京 碓氷御関所 灰色宿紙	文久3年3月15日	横切紙・1枚	868-11
覚(信濃守養母貞松院江戸御発輿道中先触) 西村十 郎右衛門 武州板橋宿 松代迄宿々問屋中 灰色宿紙	文久3年3月17日	横切継紙・1通	821-1-9
御行列帳 依田政之進写	文久3年3月21日	横切半仮綴・1冊	195
(先触之記) 駿河 中仙道板橋宿 守山宿迄宿々問屋年 寄・助郷村々・当分助郷村々名主組頭 灰色宿紙	(文久3年) 亥3月23日	横切継紙・1通	835-20
(新地村御伝馬賃銭滞一条伺留) 前欠	文久4年正月	半綴・1綴	619-2
覚(道中筋之記拝借) 依田源之丞 山中小平次殿・竹 内金左衛門殿・関山平治殿	文久4年2月9日	横切継紙・1通	835-34
覚(人足・軽尻書上、泊付) 卷上「文久4子年2月29日 江府 岸太五之丞差出」	文久4年2月29日	横切継紙・1通	835-35
(先触及び貫目御定ニ付御留守居より道中奉行へ演説 留書)	酉5月	横長美・1冊	187
(7月22日先触取調覚) 源之丞 一二三様・嘉兵衛様 下書、灰色宿紙	7月22日	横切紙・1枚	804-26
覚(追先触雛形) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-22
(本馬・人足書上) 此表 中俣一平家来、江戸 三村大 之助家来 灰色宿紙		横切紙・1枚	835-32
御用状(家来江府江出立ニ付道中先触并手形別紙之通 願書) 三郎兵衛 御目付中様	2月4日	横切継紙・1通	835-49
(新地村繼立之義ニ付人馬懸申立候義御尋申上書)		横切継紙・1通	837-2
(江戸ニ而御在所并太田御陣屋往復手形之義演説案) 御目付中 灰色宿紙	12月12日	横切継紙・1通	837-8
道中先触 真田信濃守内依田源之丞 信州田中宿 武州板	2月7日	横切継紙・1通	854-1

橋宿迄宿々問屋中 折封			
道中先触 真田信濃守内依田源之丞 信州田中宿武州板橋 宿迄宿々問屋中 折封	3月9日	横切継紙・1通	854-2
道中先触 真田信濃守内依田源之丞 信州海野宿 武州板 橋宿迄宿々問屋中 折封	3月20日	横切継紙・1通	854-3
(御領分并御支配所附人馬懸り申立書4ヶ宿受書) 灰 色宿紙		横切継紙・1通	868-29

家中／取立

大銃方御取立関係書類 紙縫一括			813-1
(大銃方御人数積り之義御尋ニ付取調書) 蟻川賢之 助	8月2日	横切紙・1枚	813-1-1
(大銃方之義申上書) 太五之丞	8月7日	横切紙・1枚	813-1-2
(御番士之義ニ付申上書) 長谷川三次兵衛	8月8日	横切継紙・1通	813-1-3
(大銃方可被仰付者共名面取調之義ニ付申上書) 御 目付	8月10日	横切継紙・1通	813-1-4
(大銃方御番士被仰付等之義ニ付申上書) 高野広馬	8月10日	横切継紙・1通	813-1-5
(御番士組分并大銃方之義御尋ニ付申上書) 岡野治 右衛門	8月11日	横切継紙・1通	813-1-6
(大銃方御人撰之義御尋ニ付再申上書) 御目付	8月15日	横切継紙・1通	813-1-7
(大砲組御取建之儀御内々申上書) 高野車之助	8月29日	横切継紙・1通	813-1-8
(大銃方被仰付方御番士組分之義等申上書) 御目 付	8月	横切継紙・1通	813-1-9
二 (大銃方御取立之義御尋ニ付申上書) 御目付	9月朔日	横切継紙・1通	813-1-10
四 (高野東之助申立之趣御尋付申上書) 御目付	9月4日	横切継紙・1通	813-1-11
(大銃方御取立之義ニ付申達) 志摩 但馬	9月6日	横切継紙・1通	813-1-12
(小銃御物頭、大銃之方御物頭名面) 貼紙		横切紙・1枚	813-1-13
(御番士名面) 貼紙		横切継紙・1通	813-1-14
(大銃方28人名面)		横切継紙・1通	813-1-15
(火薬調合危器材拝借願) 平左衛門 依田様	5月12日	横切紙・1枚	813-1-16
(地礮・人砲・天砲配備書) 蟻川賢之助 貼紙		縦継紙・1通	813-1-17
御役者取立関係書類 紙縫一括			838-5
二 (御役者之義御尋ニ付申上書) 御留守居 灰色宿 紙	2月晦日	横切継紙・1通	838-5-1
十二 (御役者御取立之義ニ付愚意申上書) 灰色宿 紙		横切継紙・1通	838-5-2
(御役者共御取立有無御尋ニ付申上下案) 卷上「辰正月13日舍人殿へ出ス」 灰色宿紙	御目付 辰正月13日	横切継紙・1通	838-5-3

家中／役儀

御武器方一条関係書類 紙縫一括			848
-----------------	--	--	-----

一（直胤作引替之義ニ付御内々嘆願書） 灰色宿紙	金兒忠兵衛	10月	横切継紙・1通	848-1
二（直胤作短刀御之分御払之分再度伺書） 奉行 灰色宿紙	御武器	10月	横切継紙・1通	848-2
三（直胤作短刀御払御尋ニ付申上書） 灰色宿紙	御勘定奉行	10月	横切継紙・1通	848-3
（直胤作短刀御払伺等之儀御尋ニ付申上書） 卷上「巳10月5日主水殿へ出ス」 灰色宿紙	御目付	10月	横切継紙・1通	848-4
（御武器方一条儀御尋ニ付申上書） 「巳10月11日頼母殿へ出ス」 灰色宿紙	御目付 卷上	10月	横切継紙・1通	848-5
（御武器方誓詞書拔） 灰色宿紙			横切継紙・1通	848-5

家中／跡式

名跡御建御役方手続書類				810-3
（佐野家苗跡相統ニ付親類願書写） 灰色宿紙		嘉永7年8月9日・安政2年6月28日	横切継紙・1通	810-3-1
（竹内新八郎跡目相統手続調書并親類差図書） 灰色宿紙	灰	嘉永2年7月23日・同25日	横切継紙・1通	810-3-2
（苗跡取次見出） 灰色宿紙		天保3年2月25日～安政2年6月28日	横切継紙・1通	810-3-3
（牧野家名跡相統手続調書并親類差図書） 灰色宿紙	灰色宿紙	嘉永3年6月朔日	横切継紙・1通	810-3-4
（原岩尾名跡一件）				810-3-5
（御宛行御取上格式御下身押込仰付） 灰色宿紙		12月29日	横切継紙・1通	810-3-5-1
口上覚（竹内藤願書受取、原岩尾家名相統ニ付親類共願書下書） 灰色宿紙		12月9日	横切継紙・1通	810-3-5-2
口上覚（原岩尾家名相統ニ付親類共願書） 保科此面・西山恒三郎 祢津刑左衛門殿他8名		2月15日	横切継紙・1通	810-3-5-3
（師岡七郎右衛門苗跡相統取調書） 灰色宿紙		天保13年7月20日～同28日	横切継紙・1通	810-3-5-4
（苗跡取次見出） 灰色宿紙		弘化4年9月7日～嘉永7年8月9日	横切紙・1枚	810-3-5-5
石黒八郎出奔跡目一件評議書類 紙縫一括				800-1
一（親類共御内密嘆願書） 三次		亥6月	横切継紙・1通	800-1-1
二（旧家出奔之者跡目之義御内々御尋付返答書） 右兵衛		亥6月	横切継紙・1通	800-1-2
三（佐藤三次内密申立之趣御尋ニ付大目付評議書） 神平 灰色宿紙		亥7月3日	横切紙・1枚	800-1-3
四（家老指図書） 左京 灰色宿紙		亥7月7日	横切継紙・1通	800-1-4
（伊野右衛門殿 御尋ニ付同人へ差出下案） 灰色宿紙		亥8月	横切継紙・1通	800-1-5
（古岩彦作跡目相統ニ付相応之者可相願旨郡奉行申渡立会廻章） 源之丞 弥惣左衛門他3名		3月9日	横切継紙・1通	807-3

口上覚（跡式相統願） 左衛門殿 奥書あり	御城番清野組牧右衛門 池田儀	文久元年7月8日	縦紙・1枚	775
家中／一件				
佐久間修理八丁堀願立一件取調書類				
(一) (別紙書類一印より十四印迄之手順取調書取) 佐久間修理		(嘉永6年) 10月	横長美・1冊	749
(二) (取調書取書類)			横長美・1冊	750
(四) (江戸家老御答案) 望月主水		10月10日	横長美・1冊	751
(六) (防禦人数出組合御用状)			横長美・1冊	752
(七) (家老宛江戸家老申達案、家老申立書)、(八) (江戸家老宛御書下)、(九) (御殿山御願立不及御 組戻旨江戸家老宛留守居書状)		6月19日、6月24日	横長美・1冊	753
(十) (佐久間修理御目通願御尋ニ付目付申上書) 馬場弥三郎		6月29日、7月、10月2 日	横長美・1冊	757
(十一) (郡奉行認候下案)、(十二) (江戸并国家老 宛真田志摩書類)		7月晦日、9月28日	横長美・1冊	756
(十四) (家老御答書) 鎌原伊野右衛門		10月	横長美・1冊	760
(佐久間修理願立一条目付返答書) 御目付 (小山 田) 彦岐		嘉永6年10月23日	横長美・1冊	754
(御内密御尋ニ付目付返答書) (齊藤) 友衛		10月16日	横長美・1冊	755
(目付口上覚) 一場茂右衛門		9月24日	横長美・1冊	758
(家老内願及差函書)		9月28日～10月3日	横長美・1冊	759
佐久間修理一件達書類				
(佐久間修理在所出立ニ付達書) 佐久間修理親類 複 写		(嘉永7年) 9月23日	1通	766-1
(佐久間修理親類預達書) 佐久間修理親類 複写		4月5日	1通	766-2
(佐久間恪二郎親類御預申出奔候始末御宥恕御沙汰 書) 佐久間恪二郎親類 複写		12月8日	1通	766-3
(佐久間修理御知行并屋敷地召上ニ付郡奉行江可引渡 旨申渡) 佐久間修理親類 複写			1通	766-4
(佐久間修理江府学校督学蟄居ニ付除名伺) 佐久間 修理 複写		12月29日	1通	766-5
(海陸御備向掛手附申渡) 真田信濃守家来佐久間修 理 複写			1通	766-6
(佐久間修理蟄居申付) 真田信濃守家来佐久間修理 複写		9月18日	1通	766-7
包紙 上書「象山先生ニ関スル文書」(佐久間修理一件 関係書類)				
(佐久間修理親類御差函書) 佐久間修理親類	804-1- 1～12紙纏一括	安政5年2月	横切継紙・1通	804-1-1
(親類之外面会殿敷差留差函書) 佐久間修理親類			横切紙・1枚	804-1-2
(佐久間恪二郎親類名面、12名分)			横切継紙・1通	804-1-3

(佐久間修理親類住居出入差図書) 佐久間修理親類		横切紙・1枚	804-1-4
(佐久間修理能々慎べき旨差図書)		横切紙・1枚	804-1-5
(佐久間修理親類御差図書) 佐久間修理親類	(安政5年) 2月17日	横切継紙・1通	804-1-6
(佐久間修理殿御宅番所立替之義御尋ニ付返答書) 佐久間修理殿宅番所番人 佐久間修理殿御親類中様	10月	横切紙・1枚	804-1-7
(佐久間修理不慎之義ニ付尚取締方差図書) 佐久間修理親類	9月14日	横切・1枚	804-1-8
口上覚(佐久間修理親類少ニ付遠縁内縁之内3、4人 出入御許容嘆願書) 依田源之丞、山田見龍 灰色宿紙	安政5年2月	横切継紙・1通	804-1-9
(佐久間恪二郎親類名面、18名分) 依田政之進 灰色宿紙		横切継紙・1通	804-1-11
(別紙名面之者通路御許容差図書) 佐久間修理親類		横切継紙・1通	804-1-12
(別紙御差図有之、寅年以来被仰渡書付添廻状) 源之丞、見龍 熊之助様他5名	2月18日	横切紙・1枚	804-1-10
(極密之以御含御内々申上書 塩野熊之助・白井平 左衛門・菅鉞太郎親類名面江加へたき旨) 北山 安世 灰色宿紙、804-2-1～3紙綴一括	10月8日	横切継紙・1通	804-2-1
(長谷川善兵衛両3日出入御勘弁ニ付申上書) 北山 安世 灰色宿紙	10月14日	横切継紙・1通	804-2-2
(佐久間修理義ニ付源大夫面会許可申上書) 北山安 世 灰色宿紙	10月16日	横切継紙・1通	804-2-3
(鎌原伊野右衛門、金児忠兵衛動静書上) 灰色宿 紙、804-3-1～10紙綴一括	14日	横切継紙・1通	804-3-1
(矢沢将監志摩御預当番之義ニ付申上書) 金左衛門 灰色宿紙	3月8日	横切紙・1枚	804-3-2
(御側役被仰付儀ニ付動静書上)	25日	横切継紙・1通	804-3-3
(御目付評議留) 刑左衛門 前欠、灰色宿紙	正月13日・14日	横切継紙・1通	804-3-4
(御目付評議留) 刑左衛門 灰色宿紙	16日・17日	横切継紙・1通	804-3-5
機密(御目付評議留) 灰色宿紙	15日	横切紙・1枚	804-3-6
機密(御目付評議留)	20日～24日	横切継紙・1通	804-3-7
(御目付評議留) 灰色宿紙	2月19日・20日	横切継紙・1通	804-3-8
(御目付評議留) 灰色宿紙	2月3日～13日	横切継紙・1通	804-3-9
(馬場茂八郎、加藤直衛親類共嘆願ニ付御差図留) 十郎右衛門 采女殿 灰色宿紙	2月26日	横切継紙・1通	804-3-10
(佐久間修理御吟味中改而揚屋入差図書) 佐久間 修理親類		横切継紙・1通	804-4-1
(佐久間修理逼塞御免、従公辺上京御達、京着之節 御口達留書) 佐久間修理	3月7日	横切継紙・1枚	804-4-2
(佐久間修理駕籠并両掛拝借許可) 依田甚兵衛		横切紙・1枚	804-4-3
御用状(佐久間修理附添被仰付ニ付拝借金上納之義) 望月主水 依田甚兵衛殿 灰色宿紙	9月23日	横切紙・1枚	804-4-4

(佐久間修理御預=付取締筋差図書) 佐久間修理親類		横切紙・1枚	804-4-5
(佐久間修理家内之者御屋敷内江引移候様差図書) 佐久間修理親類		横切紙・1枚	804-4-6
(佐久間修理拝借武器書物返上差図書) 佐久間修理親類		横切紙・1枚	804-4-7
(佐久間修理留守宅取締筋差図書) 佐久間修理親類		横切紙・1枚	804-4-8
(佐久間修理家内御屋敷内江引移候後取締筋差図書) 佐久間修理親類		横切紙・1通	804-4-9
(佐久間修理親類名面申立御答筋八田競勘弁之義御内々申上書) 北山安世	12月5日	横切紙・1通	804-4-10
(志摩・伊野右衛門先ハ慎位之御答御内密申上書) 灰色宿紙	11月	横切紙・1通	804-4-11
廻達(他所親類ハ飛脚罷越一条=付) 灰色宿紙	19日夜	横切紙・1通	804-4-12
(佐久間修理親類内願之儀御尋=付申上書) 御目付 卷上「安政5年10月16日頼母江出」 灰色宿紙	安政5年10月	横切紙・1通	804-5-1
(願人急病=付代人書面差出御内々申上) 友衛 灰色宿紙	2月16日	横切紙・1枚	804-5-2
(御内咄之義明日口上=御含迄=申立候積り申上書)	12月18日	横切紙・1枚	804-5-3
(佐久間御在所江指越、附添被仰付=付申上書) 甚兵衛 源之丞殿 9月22日認置書付(佐久間修理附添其表江罷越=付草履取馬喰町端迄看板着用旅仕度=而着日御差出可被下旨) 共	(安政元年) 9月28日	横切紙・2通	804-5-4
(八田競御答之義御内密願書)		横切紙・1通	804-5-5
(謝物金錢持參人修理勝手口迄無差支通し候様伺書) 依田源之丞	12月	横切紙・1通	804-5-6
(佐久間修理宅番所引替一条内評議申上書) 末尾 灰色宿紙	10月	横切紙・1通	804-5-7
(北山安世面会顛末書)		横切紙・1枚	804-5-8
口上覚(佐久間修理宅番人居所、外箱番所引替之義=付) 佐久間修理親類 鎌石見様 灰色宿紙共	10月18日	横切紙・2通	804-5-9
(御目付評議書) 灰色宿紙	2月21日	横切紙・1枚	804-6
(御目付評議書) 灰色宿紙	2月26日	横切紙・1通	804-7
(御目付評議書) 灰色宿紙	3月1日	横切紙・1通	804-8
(御目付評議書)	3月23日	横切紙・1通	804-9
(御預人有之家族湯治伺) 卷上「速見調」 灰色宿紙	3月10日	横切紙・1通	804-10
(御目付評議留) 灰色宿紙	3月15日・16日	横切紙・1通	804-11
(佐久間修理御預被仰付候処、外宅之義=付当御屋敷=而御長屋拝借差図書) 佐久間修理親類		横切紙・1枚	804-12
(佐久間修理親類少=付親類共嘆願差図書) 佐久間修理親類		横切紙・1枚	804-13
(佐久間修理親戚之列=加度御届書) 塩野熊之助他5名	11月24日	横切紙・1通	804-14

十二柵人砲演習中附覚 佐久間修理行司依田源之丞・菅鉞太郎 灰色宿紙	3月	横切継紙・1通	804-15
(佐久間修理宅番所建替之義御尋ニ付為念書取返答書) 佐久間修理殿宅番所番人 佐久間修理殿親類中様 灰色宿紙	10月	横切継紙・1通	804-16
口上覚 (英国軍艦来着不容易事件ニ付御発駕嘆願)	3月	横切継紙・1通	804-17
口上書写 (関所通行頼状) 北山安世 福島御関所	元治元年7月2日	横切継紙・1通	804-18
(通行手形無之ニ付北山安世身元問合) 山村甚兵衛家来原九郎左衛門他2名 真田信濃守様御役人衆様	(元治元年) 7月	横切継紙・1通	804-19
(北山安世福島御関所ニ而病氣滞留ニ付連戻差込書)		横切継紙・1通	804-20
口上覚 (佐久間修理於京地死去ニ付跡目御立嘆願書)		横切継紙・1通	804-21
佐久間修理不慎一条関係書類			850-1
(佐久間修理不慎儀御尋ニ付申上書留) 御目付 卷上「卯9月10日壱岐殿御下尋付差出ス」	9月10日	横切継紙・1通	850-1-1
(佐久間修理親類江御達之儀ニ付申上書) 卷上「卯9月13日壱岐殿出ス」	御目付 9月13日	横切継紙・1通	850-1-2
(佐久間修理親類差扣之義御尋ニ付申上書) 卷上「卯9月14日出ス」	御目付 9月14日	横切紙・1枚	850-1-3
(佐久間修理住居見廻之儀御内々申上書) 卷上「卯9月23日御月番壱岐殿へ差出ス」	御目付 9月23日	横切継紙・1通	850-1-4
(佐久間修理住居廻り締方義ニ付申上書) 卷上「卯10月6日壱岐殿へ左京殿取次」	御目付 10月6日	横切継紙・1通	850-1-5
(佐久間修理親類書一件御笈筋之儀ニ付猶申上書) 御目付 卷上「卯10月15日壱岐殿へ出ス」	10月15日	横切紙・1枚	850-1-6
佐久間修理名前一条関係書類			850-7
(佐久間修理名前一条御内々申上書写) 窪田慎六	3月12日	横切継紙・1通	850-7-1
(佐久間修理名前一条窪田慎六申上ニ付御内々申上書) 源之丞	3月24日	横切継紙・1通	850-7-2
下目付召捕一件書類			810-4
(西条村分地ニ而召捕者伺取調書) 灰色宿紙	天保4年7月24日・同25日	横切継紙・1通	810-4-1
(西条村下目付召捕之義御褒美調書) 灰色宿紙	天保4年7月	横切継紙・1通	810-4-2
(新御安口召捕者御用番江申立職奉行引渡) 灰色宿紙	天保8年12月14日	横切継紙・1通	810-4-3
(新小越町徳右衛門召捕取調書) 灰色宿紙	天保14年10月4日・同5日	横切継紙・1通	810-4-4
(矢代村勝蔵公事方手付召捕差込書) 灰色宿紙	嘉永5年2月4日	横切継紙・1通	810-4-5
師田民治隠居富之進家内難渋一件書類 紙縫一括			812-5
回章 (家内難渋評議ニ付) 壱岐 将監様・帰一郎様 灰色宿紙	10月24日	横切継紙・1通	812-5-1
(家内難渋穿鑿用状) 小山田壱岐 当番御目付中	10月28日	横切紙・1枚	812-5-2
(御目付) 回状 源之丞 刑左衛門様・正司様 灰色宿	12月16日	横切紙・1枚	812-5-3

紙					
(家内難洪御尋ニ付返答書) 御目付 12月18日 沓岐殿 江差出、灰色宿紙	12月18日	横切継紙・1通	812-5-4		
(家内難洪穿鑿調書) 下目付 灰色宿紙	12月	横切継紙・1通	812-5-5		
(家内難洪穿鑿調書) 調役 灰色宿紙	文久元年12月	横切継紙・1通	812-5-6		
(御目付用状) 虎尾他7名 一二三様・小平次様 灰色宿紙	12月	横切継紙・1通	812-5-7		
(師田熊之助・富之進妻答申渡) 灰色宿紙	文政2年5月26日	横切継紙・1通	812-5-8		
(師田富之進・熊之助答申渡)	嘉永3年5月12日		812-5-9		
(師田富之進答申渡) 灰色宿紙	嘉永7年正月25日	横切紙・1枚	812-5-10		
(師田富之進再実家へ罷越慎申渡)	文久元年12月21日	横切継紙・1通	812-5-11		
(御番頭宅ニ而師田民治親類へ御達)		横切継紙・1通	812-5-12		
小野喜平太妻穿鑿一件書類			812-6		
(小野喜平太妻評議用状)	12月8日	横切紙・1枚	812-6-1		
(小野喜平太妻穿鑿手紙書拔)		横切継紙・1通	812-6-2		
原忠治郎祖母不行跡一件書類 紙縫一括			812-9		
口上覚(親類共嘆願書) 原忠次郎親類原半七郎他2名 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	812-9-1		
(御尋ニ付返答書案) 御目付 灰色宿紙	7月	横切紙・横切継紙・1通、1枚	812-9-2		
袋(御医師一件関係書類) 上書「御医師之事」		1袋	816		
(被仰出御医師へ達) 灰色宿紙	天保4年	横切継紙・1通	816-1		
(御医師一件書類目録) 灰色宿紙	弘化4年	横切継紙・1通	816-2		
(再論御医師一件書類目録)	安政4年	横切紙・1枚	816-3		
(御医師被下物書上) 灰色宿紙		横切継紙・1通	816-4		
(御医師職業衰頹減祿減給等愚意申上書) 源之丞 貫兵衛様	正月15日	横切継紙・1通	816-5		
回章(御医師之義ニ付御尋申上) 貫兵衛・源之丞 小平治様他7名 下書共	正月27日	横切継紙・2通	816-6		
六印袋内 9月13日 舍人殿 5 伺ニ因而御書下		横切継紙・1通	816-7		
六印袋之内 御内定御医師跡式相続之事 灰色宿紙		横切継紙・1通	816-8		
御内定御医師跡式相続之事 灰色宿紙		横切継紙・1通	816-9		
機密もの手扣 後半に「御医師減祿減給之事」あり	3月29日～9月18日	横半半折・1冊	816-10		
戊年渡辺左太郎穿鑿関係書類 紙縫一括			817-3		
(渡辺左太郎穿鑿一件上書案写)	文久2年12月	横切継紙・1通	817-3-1		
(渡辺左太郎穿鑿拔書)	文久2年12月	横切継紙・1通	817-3-2		
戊年望月繁之助弟友治郎穿鑿一条書類 紙縫一括			817-5		
(望月友治郎御答筋之義御尋ニ付申上書) 御目付	文久2年9月	横切継紙・1通	817-5-1		

卷上「文久2年9月助之進殿へ差出」 灰色宿紙、貼紙 (望月友治郎一条穿鑿書) 後欠			横切継紙・1通	817-5-2
四 (望月友治郎一条差函書) 兵庫 灰色宿紙	(文久2年) 9月26日		横切継紙・1通	817-5-3
五 (望月友治郎一条差函書) 左京 灰色宿紙	(文久2年) 9月28日		横切継紙・1通	817-5-4
(望月友治郎一条相手方不落着之義再御尋ニ付評議下書) 灰色宿紙、貼紙			横切継紙・1通	817-5-5
申年館孝右衛門水揚一条申立関係書類 紙繕一括				817-9
(未4月中御書取被仰渡写) 灰色宿紙	未4月		横切継紙・1通	817-9-1
(再度被仰渡被成下度御書取案) 灰色宿紙			横切継紙・1通	817-9-2
三 (水揚之義御内々嘆願書) 館孝右衛門 灰色宿紙	申4月		横切継紙・1通	817-9-3
四 (館孝右衛門申立之義ニ付申上書) 御取納郡方 灰色宿紙	5月10日		横切紙・1枚	817-9-4
五 (水揚之義御内々申上書) 館孝右衛門 灰色宿紙	5月14日		横切継紙・1通	817-9-5
六 (館孝右衛門申立之義ニ付申上書) 御取納郡方 灰色宿紙	5月27日		横切継紙・1通	817-9-6
七 (館孝右衛門申立之義ニ付申上書) 御勘定吟味 灰色宿紙	6月9日		横切紙・1枚	817-9-7
八 (館孝右衛門拝借金穿鑿書) 宮下兵馬 小山田忝岐様 灰色宿紙	6月11日		横切紙・1枚	817-9-8
九 (館孝右衛門内借返上有無穿鑿書) 御勘定吟味 灰色宿紙	6月13日		横切継紙・1通	817-9-9
十 (館孝右衛門拝借金御尋ニ付再評書) 御勝手元ノ 灰色宿紙	6月17日		横切継紙・1通	817-9-10
二 (館孝右衛門拝借金之義ニ付再申上書) 御勝手元ノ 灰色宿紙	7月17日		横切継紙・1通	817-9-11
二 (館孝右衛門拝借金之義ニ付申上書) 御勘定吟味 灰色宿紙	7月19日		横切継紙・1通	817-9-12
四 (要文書入御報) 忝岐 左門様 灰色宿紙	7月19日		横切継紙・1通	817-9-13
五 (館孝右衛門御内借之義ニ付申上書) 片岡十郎兵衛 灰色宿紙	7月28日		横切継紙・1通	817-9-14
六 (御役方御手段金之内館孝右衛門拝借金高申上書) 御賄役 灰色宿紙	申7月		横切紙・1枚	817-9-15
七 (館孝右衛門拝借金之義ニ付尚又申上書) 御勝手元ノ役 灰色宿紙	8月25日		横切継紙・1通	817-9-16
(館孝右衛門水揚并拝借金之義御尋ニ付評議書) 灰色宿紙、下書共			横切継紙・2通	817-9-17
(拝借金高書上) ノ金65両 灰色宿紙			横切紙・1枚	817-9-18
原忠治郎母并飯島留之助穿鑿一条関係書類 紙繕一括	文久3年			825-9
(原忠治郎親類御緹嘆願書) 原忠治郎親類 灰色宿紙	2月		横切継紙・1通	825-9-1
(与良内蔵助親類御内密御緹嘆願書) 与良内蔵助親類綿内右門他6名 灰色宿紙	2月		横切継紙・1通	825-9-2

(飯島楠左衛門親類御内密嘆願書) 飯島楠左衛門親類上原弘衛他5名 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	825-9-3
(原忠治郎母并飯島留之助等御答筋御尋=付申上書) 卷上「将監殿に穿鑿被仰付候処伺之上助之進殿へ差出」 灰色宿紙	4月11日	横切継紙・1通	825-9-4
(山口助太郎母先例書) 天保15年8月18日 灰色宿紙		横切継紙・1通	825-9-5
(山口助太郎母答書) 弘化2年～嘉永5年 灰色宿紙		横切継紙・1通	825-9-6
(出奔先例書) 文政11年～安政4年 灰色宿紙		横切紙・1枚	825-9-7
金井弥惣左衛門御目通願一件関係書類 紙繕一括	文久元年		833-2
壹(弥惣左衛門御目通奉願候処、穿鑿書計を以申上候始末御尋書)	(文久元年) 西9月12日	横切継紙・1通	833-2-1-1
貳(一存=而申上候儀、御内密之儀御直=申上之節心得御尋=付申上書) 森木一二三 卷上「文久元西9月12日夕八半時頃采女殿江差出候控」	(文久元年) 西9月12日	横切継紙・1通	833-2-1-2
三(弥惣左衛門殿へ御尋書) 卷上「西9月13日四時前弥惣左衛門殿へ御尋之事」		横切継紙・1通	833-2-1-3
乾(御内々嘆願書) 金井弥惣左衛門 卷上「折懸上は書も同断、采女殿へ印封=而出」 灰色宿紙	(文久元年) 9月12日	横切継紙・1通	833-2-2-1
坤(御尋之義返答書) 金井弥惣左衛門 卷上「折懸上は書も同断、采女殿へ印封=而出」 灰色宿紙	(文久元年) 9月12日	横切継紙・1通	833-2-2-2
(御尋之義返答書之一書) 金井弥惣左衛門 灰色宿紙	(文久元年) 9月13日	横切継紙・1通	833-2-2-3
(弥惣左衛門返答書御尋=付申上書) 祢津刑左衛門 灰色宿紙	(文久元年) 9月	横切紙・1通	833-2-2-4
(弥惣左衛門御役御免処置不服申立書) 一二三	(文久元年) 9月14日	横切継紙・1通	833-2-3
(御役方内密穿鑿方之義=付御内々申上書) 刑左衛門 連名様 灰色宿紙	(文久元年) 9月25日	横切継紙・1通	833-2-4
(弥惣左衛門御役御免処置承知=付江戸へ返報)	(文久元年) 9月	横切継紙・1通	833-2-5
御足輕共兩人於町方如何敷酒食一件関係書類 紙繕一括			833-8
(御足輕共兩人於町方如何敷酒食致候義=付申上) 御目付 灰色宿紙	子5月19日	横切継紙・1通	833-8-1
(御足輕共兩人於町方如何敷酒食致候義=付穿鑿書) 調役 灰色宿紙	5月	横切継紙・1通	833-8-2
宮川国蔵於宅博奕興行一条評議書類 紙繕一括			834-1
申上(宮川国蔵於宅博奕興行仕候趣穿鑿) 下目付	(文久3年) 亥正月	横切継紙・2通	834-1-1
一 申上(宮川国蔵於宅博奕致し候一件穿鑿書) 下目付甚左衛門 灰色宿紙	(文久3年) 12月	横切継紙・1通	834-1-2
二(宮川国蔵等御答筋之義御尋=付申上書) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-1-3
三(先例御見合) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-1-4
四(宮川国蔵等御答筋評議書) 神平 灰色宿紙	12月24日	横切継紙・1通	834-1-5
五(宮川国蔵等御答筋評議書) 新六 灰色宿紙	12月25日	横切継紙・1通	834-1-6

六 (宮川国蔵等御咎之義=付申上書) 長谷川三郎兵衛 灰色宿紙	12月25日	横切紙・1枚	834-1-7
七 回章 (宮川国蔵等御咎筋) 将監 伊野右衛門様 他3名 灰色宿紙	12月25日	横切継紙・1通	834-1-8
八 (村方博奕人別取締方御尋=付申上書) 灰色宿紙	12月26日	横切継紙・1通	834-1-9
八=添 申上 (宮川国蔵於宅博奕手合人別取調) 御手附倉田九野右衛門・宮川伝十郎	亥12月	横切継紙・1通	834-1-10
九 御用状 (廻状江御書添礼) 将監 伊野右衛門様 他3名 灰色宿紙	12月27日	横切継紙・1通	834-1-11
(宮川国蔵於宅博奕興行穿鑿書) 調役 灰色宿紙	(元治元年) 子3月18日	横切継紙・1通	834-1-12
(宮川国蔵於宅博奕興行一条=付猶御尋=付申上書) 案共 御目付 案卷上「但馬殿へ差出」 灰色宿紙共	子3月24日	横切継紙・2通	834-1-13
(宮川国蔵等御咎之義=付申上書案) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-1-14
原忠次郎養母・与良内蔵助混雑一件書類 紙縫一括			837-1
書状写 (与良内蔵助混雑一件=付意見書) 宮本彦之進 一場茂右衛門様 卷上朱書「7月24日之義=付同月25日之手紙写」 灰色宿紙	7月25日	横切継紙・1通	837-1-1
書状 (与良内蔵助混雑一件=付一場氏江之御手紙拝見意見書) 樋口 宮本様 灰色宿紙	25日	横切継紙・1通	837-1-2
(原忠次郎養母与良内蔵助方江引取混雑一件穿鑿書下案) 調役 貼紙、灰色宿紙	9月	横切継紙・1通	837-1-3
(原忠次郎養母与良内蔵助方江引取混雑一件取調書) 灰色宿紙		横切継紙・1通	837-1-4
(規定写) 四郎左衛門 倉田又右衛門殿 灰色宿紙	万延2年2月	横切継紙・1通	837-1-5
(御内話御取極=付口上書写) 内蔵助 茂右衛門様・徳右衛門様・右門様 灰色宿紙	4月5日	横切継紙・1通	837-1-6
(親類江差出候規定印書写) 四郎左衛門 右門様・茂右衛門様・徳右衛門様 灰色宿紙	(文久2年) 戌4月14日	横切紙・1枚	837-1-7
(親類江差出候規定書写) 四郎左衛門 右門様・茂右衛門様・徳右衛門様 灰色宿紙		横切継紙・1通	837-1-8
北山一条関係書類			838-2
壺 (北山藤三郎妻大病=付上東京之義御閑置申上書) 荒井弥平・依田忠之進・和田数雄 県庁御中	(明治4年) 辛未9月25日	豎半折・1枚	838-2-1
式 (親類北山安世、別紙容体書添死去御届書) 荒井弥平・依田忠之進・和田数雄 松代県御庁	(明治4年) 辛未9月25日	豎半折・1枚	838-2-2
参 (北山安世容体書) 渋谷玄岱	9月25日	横切継紙・1通	838-2-3
四 (亡北山評決申付) 松代県庁 士族北山安世親類	(明治4年) 辛未9月25日	横切継紙・1通	838-2-4
(弟藤三郎江家名存続嘆願書)		横切継紙・1通	838-2-5
真田志摩鎌原伊野右衛門親類方上書一件関係書類 紙縫一括			838-6
(真田志摩鎌原伊野右衛門御親類様方への上書扣等差上方評義留) 灰色宿紙	7月26日	横切継紙・1通	838-6-1

(御家老職進退伺) 鎌伊 灰色宿紙	10月6日	横切継紙・1通	838-6-2
(鎌原伊野右衛門御答筋申立書案)		横切継紙・1通	838-6-3
(鎌原伊野右衛門親類御預御免申立書) 灰色宿紙		横切紙・1枚	838-6-4
小宮山登所業一条関係書類 紙縫一括			850-2
申上(小宮山登所業穿鑿書) 喜右衛門 卷上朱書 「喜右衛門下案」 灰色宿紙	6月	横切継紙・1通	850-2-1
(小宮山登御答筋書留) 嘉永5年・安政6年 灰色宿紙		横切継紙・横切紙・1通、1枚	850-2-2
(小宮山登履歴書留) 嘉永2年～安政2年 灰色宿紙		横切紙・1枚	850-2-3
(小宮山登所業御賢慮内密嘆願書) 三次 灰色宿紙	5月20日	横切継紙・1通	850-2-4
原主米格合一条関係書類			850-3
八 御内定書抜		横切紙・1枚	850-3-1
九(原権右衛門退身之忤主米格合之義=付大目付申立書) 神平 灰色宿紙	5月29日	横切継紙・1通	850-3-2
十(原権右衛門退身之忤主米格合之義=付御中老申立書) 左京 灰色宿紙	6月3日	横切継紙・1通	850-3-3
(原権右衛門退身之忤主米格合之義御尋=付評議書) 卷上「万延元年6月3日舎入殿へ」 灰色宿紙	万延元年6月3日	横切継紙・1通	850-3-4
成沢勘左衛門借地一件関係書類			850-4
(成沢勘左衛門借地之義御内々御賢慮嘆願書) 丹治 灰色宿紙	2月28日	横切継紙・1通	850-4-1
(成沢勘左衛門借地之義御尋=付申上書) 御目付 卷上「御中老美濃輔殿と相廻候=付評議之上尚又御同人へ差出、2月29日夕刻差出」 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	850-4-2
御用状(成沢勘左衛門借地之義別紙評議書類差上) 源之丞 美濃輔様	2月29日	横切紙・1枚	850-4-3
矢沢直之助湯治一件書類			850-6
(矢沢直之助真田志摩御預中湯治御内慮伺書) 三 次 灰色宿紙	(万延元年) 閏3月	横切継紙・1通	850-6-1
(矢沢直之助湯治評議書) 美之輔 灰色宿紙	(万延元年) 閏3月18日	横切継紙・1通	850-6-2
(矢沢直之助湯治之儀御尋=付申上書) 御目付 卷上「閏3月19日美濃輔殿と夕刻御同人へ遣入、万延元年之事」 灰色宿紙	(万延元年) 閏3月19日	横切継紙・1通	850-6-3
(柳沢甚三郎養母并娘不取締乱暴一件穿鑿書) 下目 付 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	870-1
(柳沢甚三郎家事混雑調書) 調役 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	800-5
(江府家中刃傷一件目付取調書留)		横長美・1冊	741
(左門殿御処置柄之義御内密御尋=付極密評議書) 御目付	西正月	横切継紙・1通	817-6

家中／行状

行状穿鑿関係書類 紙縫一括			836-2
---------------	--	--	-------

(瀧村守衛行狀不宜不埒之義申上書下案) 灰色宿紙	文政2年2月	横切継紙・1通	836-2-1
(丹波島村留女召抱遊興等御尋=付申上書下案) 灰色宿紙	文政2年閏4月	横切継紙・1通	836-2-2
(西木町中村屋逸八郎於宅博奕興行=付申上書) 灰色宿紙	文政2年5月	横切継紙・1通	836-2-3
(宮本喜一郎・郷原吉郎左衛門行狀穿鑿書下案) 灰色宿紙	文政2年7月6日	横切継紙・1通	836-2-4
(紺屋町=而打擲切付候一件穿鑿書) 松本記兵衛・玉井清大夫 卷上「調役差出候即日御用番へ差出」 灰色宿紙	文政9年8月29日	横切継紙・1通	836-2-7
里見渡理穿鑿一件書類 紙縫一括			812-4
(行跡所行穿鑿調書) 下目付 灰色宿紙	12月	横切継紙・1通	812-4-1
(不行狀穿鑿調書) 調役 灰色宿紙	12月	横切継紙・1通	812-4-2
丸茂宗弥行狀穿鑿關係書類 紙縫一括			840
(丸茂宗弥義=付御内密嘆願書) 佐藤三次 灰色宿紙	3月	横切継紙・1通	840-1
(丸茂宗弥行狀不宜義=付穿鑿書) 調役左平次 灰色宿紙	4月	横切継紙・1通	840-2
(丸茂宗弥行狀不宜義=付穿鑿書) 下目付喜右衛門 灰色宿紙	4月	横切継紙・1通	840-3
(丸茂宗弥親類嘆願之趣御尋=付申上書) 卷上「5月朔日助之進殿へ差出」 灰色宿紙	5月朔日	横切継紙・1通	840-4
(長谷川甚大夫遊蕩一条書類留) 一印～九印(一、二印省略) 卷上「3月5日御下左門殿」 灰色宿紙	2月20日～27日	横切継紙・1通	845-1
御用狀(佐久間修理方太鼓ヲ打鉄砲稽古之儀心得違) 小山田壱岐 齊藤友衛	9月25日	横切継紙・1通	850-10

家中／出奔

原忠次郎養母家出一件書類 紙縫一括			834-15
草案(原忠次郎母数日遠方江不沙汰=罷出候次第御内密御縫嘆願書写) 与良内蔵助親類 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	834-15-1
(原忠次郎養母穿鑿書) 下目付仁左衛門 灰色宿紙	3月	横切継紙・1通	834-15-2
(原忠次郎母家出一件穿鑿書) 調役 灰色宿紙	3月	横切継紙・1通	834-15-3
(西条村弥惣左衛門家来出奔届書)	17日	横切継紙・1通	818-2-5-3
御用狀(金井弥惣左衛門召仕出奔=付取計被下度) 下書、灰色宿紙		横切紙・1枚	818-2-5-4

家中／賞罰

御賞・御恩赦・御褒詞關係書類 紙縫一括			836-4
高野広馬御賞筋關係書類 紙縫一括			836-4-1
江ノ壺(高野広馬學問修行濟御賞筋申上書) 江府御目付 下札あり、灰色宿紙	12月	横切継紙・1通	836-4-1-1-1

江ノ式（高野広馬御賞筋之義ニ付申上書） 吟味 灰色宿紙	御勘定	12月28日	横切継紙・1通	836-4-1-1-2
江ノ三（高野広馬御賞筋之義ニ付申上書） 灰色宿紙	左京	12月27日	横切継紙・1通	836-4-1-1-3
江ノ四（高野広馬御賞筋評議廻状） 他4名 灰色宿紙	左門 頼母様	12月28日	横切継紙・1通	836-4-1-1-4
壹（高野広馬御賞筋之儀御尋ニ付申上書） 灰色宿紙	御目付	正月	横切継紙・1通	836-4-1-1-5
壹（御賞筋之儀御尋ニ付申上書扣） り、下書共、灰色宿紙共、1~4灰色宿紙帯一括	御目付 下札あり	正月	横切継紙・2通	836-4-1-2-1
式（学問修行御賞筋御内尋ニ付申上書） 灰色宿紙	馬場弥三郎	正月	横切継紙・1通	836-4-1-2-2
三（御賞筋江府御目付申立之趣御尋ニ付申上書） 御勝手元々 灰色宿紙		2月	横切継紙・1通	836-4-1-2-3
（玄米式人御扶持永被下、文武学校御用取調掛申付）		3月8日	横切紙・1枚	836-4-1-2-4
三ニ添（御見合） 灰色宿紙共			横切継紙、横切紙・2通、1枚	836-4-1-3
（御賞筋猶御尋ニ付申上書） 御目付 灰色宿紙		2月	横切継紙・1通	836-4-1-4
御用状（指図書） 河原舎人 斉藤友衛殿		2月10日	横切紙・1枚	836-4-1-5
飛脚才領組御賞筋関係書類 紙縫一括				836-4-2
（飛脚才領組小頭、同人馬懸り御賞筋申上扣） 供懸一場茂右衛門 灰色宿紙	御	安政元年	横切継紙・1通	836-4-2-1
（人馬掛之者御賞筋之儀御内々申上書案） 卷上「御勝手方主水殿江出ス」 灰色宿紙	御目付	已11月	横切継紙・1通	836-4-2-2
御恩赦関係書類 紙縫一括				836-4-3
（若殿様御誕生ニ付御答之者御恩赦之義申上書案） 灰色宿紙			横切継紙・1通	836-4-3-1
（御恩赦之義三奉行御評議書類御内々拝借願） 郎右衛門	十	12月朔日	横切継紙・1通	836-4-3-2
（出水之節登城向江御褒詞有無伺書） 「8月29日舎人殿へ」 灰色宿紙	御目付 卷上	8月	横切継紙・1通	836-4-4
善光寺町葺卸一件支配之者御賞筋一件関係書類 紙縫一括				833-3
（善光寺町葺卸一件ニ付支配之者御賞筋之義申上書） 卷上「文久2戊3月11日助之進殿へ差出」 灰色宿紙		（文久2年）3月11日	横切継紙・1通	833-3-1
一印申上（津田軫御出精ニ付御賞筋伺書） 山寺源大夫 灰色宿紙	山寺源大夫	10月	横切継紙・1通	833-3-2
（御支配所善光寺町葺卸一件ニ付支配之者等御賞筋申上書） 郡奉行（山寺源大夫他3名） 灰色宿紙		10月	横切継紙・1通	833-3-3
御賞筋申立扣		文久2年10月	横半折・1冊	86
（御湯治之節御供支配御賞筋ニ付内廻章） 同役連名様 灰色宿紙共	金左衛門	文久2年10月11日	横切継紙・1通	835-16
（砲術御賞筋申立写）		文久2年4月	横切継紙・1通	835-17
（戊辰戦行賞、高8石） 山崎多作組滝沢孝作		12月晦日	横切継紙・1通	799-1

(戊辰戦行賞、高12石) 久保文左衛門	12月29日	横切継紙・1通	799-2
(戊辰戦行賞、高12石) 前欠	12月29日	横切継紙・1通	799-3
(戊辰戦行賞、高8石) 半田小一郎	12月晦日	横切継紙・1通	799-4
(戊辰戦行賞、高8石) 松山又五郎	12月晦日	横切継紙・1通	799-5
(亡父栄次郎戊辰戦行賞、高8石) 五明鶴太郎	12月29日	横切継紙・1通	799-6
(戊辰戦行賞、高10石) 渡辺喜久蔵	12月29日	横切継紙・1通	799-8
(戊辰戦行賞、高12石) 中川八十五郎	12月29日	横切継紙・1通	799-9
不行跡者御答関係書類 紙縫一括			812-8
(栗山五郎作親類御答申渡) 灰色宿紙	天保12年9月5日	横切継紙・1通	812-8-1
(渡辺十大夫御答申渡)	嘉永5年11月4日	横切紙・1枚	812-8-2
(江戸=而不行跡御答書上) 灰色宿紙	安政3年12月27日	横切継紙・1通	812-8-3
(山口左馬介御答申渡) 灰色宿紙	安政4年2月27日	横切継紙・1通	812-8-4
(池村良太郎御答申渡) 灰色宿紙	安政4年3月25日	横切紙・1枚	812-8-5
(渡辺左太郎御答申渡) 灰色宿紙	安政6年7月28日	横切紙・1枚	812-8-6
(慎遠慮・退職者書上) 灰色宿紙	享和2年正月18日～天保10年3月29日	横切継紙・1通	812-8-7
片岡亀之進御答筋御尋一件書類 紙縫一括	文久3年		825-5
一口上覚 (亀之進行状始末書) 依田又兵衛 灰色宿紙	2月27日	横切継紙・1通	825-5-1
二口上覚 (亀之進一条御調御流之旨) 依田又兵衛 灰色宿紙	2月27日	横切継紙・1通	825-5-2
三 (亀之進御在所暇被下、嚴重御答筋有之旨) 内蔵允 御用番様 灰色宿紙	2月28日	横切継紙・1通	825-5-3
四口上覚 (片岡亀之進御託嘆願書) 片岡亀之進 灰色宿紙	2月27日	横切継紙・1通	825-5-4
五口上覚 (亀之進嘆願筋之義=付内々申上書) 御陣屋御徒士頭助 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	825-5-5
六 (亀之進所業内密穿鑿=付申上書) 御陣屋御目付方調役 灰色宿紙	2月27日	横切継紙・1通	825-5-6
(七印から十二印書類書抜) 灰色宿紙		横切継紙・1通	825-5-7
十三 (亀之進御答筋評議書) 左門 壱岐様 灰色宿紙	3月3日	横切継紙・1通	825-5-8
(亀之進御答筋御尋=付申上書) 卷上「亥4月帰一郎殿へ差出」 灰色宿紙		横切継紙・1通	825-5-9
家臣御答関係書類 紙縫一括			834-5
(福田小平太御答筋之義御尋=付申上書) 卷上「帰一郎殿へ出ス」 灰色宿紙	戊2月28日	横切継紙・1通	834-5-1
(相沢龍太郎穿鑿申立廻達案) 祢津他6名 灰色宿紙	3月7日	横切継紙・1通	834-5-2
(相沢龍太郎御答筋之義御尋=付申上書) 御目付端裏書「帰一郎殿へ出」	(文久2年) 戊3月8日	横切継紙・1通	834-5-3

(相沢龍太郎御答筋之義御尋ニ付申上書) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-5-4
(相沢龍太郎慎仰付)	3月14日	横切継紙・1通	834-5-5
(海野寛男御番組木村帯刀触面廻状紛失之義御尋ニ付申上書) 卷上「帰一郎殿へ出」	3月12日	横切継紙・1通	834-5-6
(坂野勝介穿鑿書御賢慮伺) 灰色宿紙	3月	横切継紙・1通	834-5-7
(一場茂右衛門穿鑿書御賢慮伺) 灰色宿紙	3月	横切紙・1枚	834-5-8
玉川渡御答關係書類 紙繕一括			834-8
(玉川渡一条御答筋御尋ニ付申上書案) 卷上「帰一郎殿へ差出」 灰色宿紙共	亥3月6日	横切継紙・1通	834-8-1
五(評議書) 左京 灰色宿紙	3月7日	横切継紙・1通	834-8-2
七(評議回状) 帰一郎 石見様他4名 灰色宿紙	6月28日	横切継紙・1通	834-8-3
八(評議案文書入御報) 御用番様 灰色宿紙	7月27日	横切継紙・1通	834-8-4
九(玉川渡一条御答筋御尋ニ付申上書) 江府御目付 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	834-8-5
十(評議書) 左門 壱岐様 灰色宿紙	7月25日	横切継紙・1通	834-8-6
十一御用状(評議御答ニ付意見書) 壱岐 左門様 灰色宿紙	10月24日	横切継紙・1通	834-8-7
十二(両角玄脩御答筋評議書) 左門 壱岐様 灰色宿紙	7月25日	横切継紙・1通	834-8-8
(玉川渡等御答筋再御尋ニ付申上書) 御目付 卷上「9月13日帰一郎殿へ差出」 灰色宿紙	9月13日	横切継紙・1通	834-8-9
(御答筋先例書) 天保9年4月14日・天保15年8月8日 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-8-10
御答同道人關係書類 紙繕一括			834-10
(御答同道人書上) 灰色宿紙		横切紙・1枚	834-10-1
(御答同道人先例書) 安政3年8月12日・安政5年11月22日 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-10-2
(評定不参名面) 文政11年～安政6年 灰色宿紙		横切継紙・3通	834-10-3
(閉門取計一例)		横切継紙・1通	834-10-4
(鎌原伊野右衛門慎先例) 文久元年10月 灰色宿紙		横切紙・1枚	834-10-5
(御目見以下御答筋肩書) 灰色宿紙	酉3月	横切継紙・1通	834-10-6
(評定所出座之覚) 書役・勘定者	卯11月	横切継紙・1通	834-10-7
(評定所立会廻状) 灰色宿紙		横切紙・2通	834-10-8
(評定所立会図面)		横切継紙・1通	834-10-9
袋 上書「御答廻達入」		1袋	866
(諏訪部半之丞御宛行并格式取上押込廻達) 源之丞 刑左衛門様他11名 866-1-1～14紙繕一括	安政5年9月29日	横切継紙・1通	866-1-1
(諏訪部半之丞亡意齋跡目相応之者可相願旨申渡) 諏訪部半之丞親類	(安政5年) 9月29日	横切継紙・1通	866-1-2

(菅鉞太郎慎御免廻達) 源之丞 刑左衛門様他8名	安政5年10月20日	横切継紙・2通	866-1-3
(御台場方御物頭奥村良左衛門御沙汰廻達) 源之丞 刑左衛門様他8名	安政5年11月27日	横切継紙・1通	866-1-4
(御番士小野喜平太御番勤御免逼塞、御側医大竹仲岱慎廻達) 後欠	文久元年12月29日	横切継紙・1通	866-1-5
(平治差扣伺廻達) 源之丞 刑左衛門様他8名	(文久2年) 閏8月25日	横切紙・1枚	866-1-6
(小野権兵衛閉門御免廻達) 源之丞 刑左衛門様他10名	3月朔日	横切継紙・1通	866-1-7
(矢野倉謙兵衛・柳沢音三郎逼塞申渡廻達) 十郎右衛門 刑左衛門様他11名	3月20日	横切継紙・1通	866-1-8
(柳沢甚三郎慎廻達) 源之丞 刑左衛門様他11名	3月20日	横切継紙・3通	866-1-9
(宮川藤吉逼塞御免廻達) 三郎左衛門 刑左衛門様他10名	4月10日	横切継紙・1通	866-1-10
(柿崎甚蔵逼塞御免廻達) 十郎右衛門 刑左衛門様他10名	9月10日	横切継紙・1通	866-1-11
(清野道之一条穿鑿書廻状) 源之丞 刑左衛門様他3名 灰色宿紙	9月11日	横切継紙・1通	866-1-12
(松木束逼塞御免廻達) 源之丞 刑左衛門様他11名	9月晦日	横切継紙・1通	866-1-13
(池村良太郎弟御免廻達) 源之丞 刑左衛門様他8名	10月20日	横切継紙・1通	866-1-14
(原忠治郎祖母慎御免仰付) 866-2-1～7紙繕一括	文久元年8月11日	横切紙・1枚	866-2-1
(八田本之進隠居之上慎廻達) 源之丞 刑左衛門様他9名	(文久2年) 閏8月25日	横切継紙・1通	866-2-2
(小山田壺岐慎御免廻達) 小平治 刑左衛門様他8名	正月22日	横切継紙・1通	866-2-3
(齐田虎尾・綿貫泰蔵慎御免、綿貫新兵衛遠慮御免廻達) 源之丞 刑左衛門様他10名	4月21日	横切継紙・1通	866-2-4
(御飛脚才領組新之助吟味中御付人御宛行取上、同組清三郎・市兵衛吟味中後見取上廻達) 友衛・刑左衛門 治左衛門様他7名	8月3日	横切継紙・1通	866-2-5
(某御咎廻達) 治左衛門 刑左衛門様他11名 前欠	9月29日	横切継紙・1通	866-2-6
(樋口旗之助20石御引上逼塞、堀内権左衛門玄米1人御扶持引上永給人江御引下隠居之上逼塞仰付)	11月5日	横切継紙・1通	866-2-7
(御咎者書上) 24家	安政3年4月16日～万延元年8月22日	横切継紙・1通	866-3
(高田多兵衛逼塞御免廻達) 源之丞 刑左衛門様他11名	万延元年閏3月28日	横切継紙・1通	866-4
(長谷川深美蟄居、近藤友喜・加藤直衛逼塞、真田志摩永蟄居仰付)	文久元年4月	横切継紙・1通	866-5
(望月主水退職之上慎、轟文助慎廻達) 小平治 刑左衛門様他8名	6月22日	横切継紙・1通	866-6
(鎌原伊野右衛門隠居之上蟄居仰付) 灰色宿紙		横切継紙・1通	866-7
(真田図書御咎不及、磯田小藤太退役之上慎、坂本昇死亡=付不及御沙汰旨仰付)			866-8
阿藤玄齐御咎筋関係書類 紙繕一括	安政6年		869-6

一 (阿藤玄斉穿鑿極密申上書) 御陣屋敷御目付 灰色宿紙	5月	横切紙・1枚	869-6-1
二 (阿藤玄斉穿鑿書) 調役	7月	縦紙半折・2枚	869-6-2
三 (阿藤玄斉御答筋御尋ニ付申上書) 御目付 奥書 に中村周庵御見合あり 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	869-6-3
四 (阿藤玄斉御答筋御尋ニ付申上書) 御勘定吟味 灰色宿紙	8月	横切紙・1枚	869-6-4
五 (阿藤玄斉御答筋評議書) 左門 助之進様 灰色宿紙	8月2日	横切継紙・1通	869-6-5
六 (先例書抜) 灰色宿紙		横切継紙・1通	869-6-6
七 (阿藤玄斉御答筋評議書) 左門 助之進様 灰色宿紙	8月3日	横切継紙・1通	869-6-7
(阿藤玄斉御答筋之儀廻状) 左門・助之進 御用番様 (壱岐様他3名) 灰色宿紙	8月5日	横切継紙・1通	869-6-8
(阿藤玄斉御答筋之儀御尋ニ付申上書) 御目付 卷上「未8月21日御用番壱岐殿江差出」 灰色宿紙	8月	横切継紙・1通	869-6-9
廻章 (阿藤玄斉御答筋評議) 源之丞 治左衛門様・正司様	安政6年8月21日	横切継紙・1通	869-6-10
慎繰出并離縁差戻関係書類 紙縫卷			811-2
慎繰出 上 灰色宿紙	寛政10年11月29日～弘化2年2月5日	横切継紙・1卷	811-2-1
慎繰出 下 灰色宿紙	弘化元年～文久元年8月17日	横切継紙・1卷	811-2-2
離縁并親元へ差戻 (繰出) 灰色宿紙	文化7年3月2日～嘉永7年6月15日	横切継紙・1通	811-2-3
長谷川深美御答一件書類			
(御答筋御尋ニ付申上) 御目付 (小山田壱岐殿) 下札、宿紙	嘉永6年11月	横切・1通	747
(当今風評内々申上) 御目付 壱岐殿 灰色宿紙	未12月11日	横切・1通	748
差扣伺書類 紙縫一括			805-4
口上覚 (差控伺) 竹花其右衛門他5名 奥山忠左衛門他5名 灰色宿紙	安政4年2月5日～7月10日	横切継紙・1通	805-4-1
口上覚 (差控伺) 竹村金吾他3名 望月主水他3名 灰色宿紙	安政4年正月4日～4月20日	横切継紙・1通	805-4-2
口上覚 (差控伺) 竹村慶次郎他12名 望月主水他12名 灰色宿紙	安政4年正月4日～5月9日	横切継紙・1通	805-4-3
口上覚 (差控伺) 原隼之進他3名 赤沢助之進他3名 灰色宿紙	7月18日	横切継紙・1通	805-4-4
口上覚 (差控伺) 立田楽水他5名 斉田千三郎他2名 灰色宿紙	3月24日～10月9日	横切継紙・1通	805-4-5
口上覚 (差控伺) 柳沢森太他4名 西村九右衛門他4名 灰色宿紙	10月9日～3月24日	横切継紙・1通	805-4-6
口上覚 (差控伺) 関山平治 赤沢助之進 灰色宿紙	閏8月25日	横切紙・1枚	805-4-7
口上覚 (差控伺)		横切継紙・1通	805-4-8

口上覚（差控伺） 14名 灰色宿紙	堀内権之進他14名 富岡宗三郎他	安政6年6月14日～文久元年3月28日	横切継紙・1通	805-4-9
（差控伺） 灰色宿紙		天保15年3月14日～嘉永7年7月23日	横切継紙・1通	805-4-10
口上覚（差控伺） 11名 灰色宿紙	竹花其右衛門他11名 祢津神平他		横切継紙・1通	805-4-11
（差控伺） 灰色宿紙		天保15年2月5日～安政3年9月23日	横切継紙・1通	805-4-12
小林友太郎不行跡=付追放一件書類				800-4
（追放申渡書）		（文久2年）8月29日	横切継紙・1通	800-4-1
（小林友太郎御請書下案）	小林友太郎 海野寛男殿	文久2年8月29日	横切継紙・1通	800-4-2
（御書付并当人御請書写）		文久2年8月29日	横切継紙・1通	800-4-3
（御目付評議申渡廻状）	小弥太・源之丞 刑左衛門他10名	（文久2年）8月29日	横切継紙・1通	800-4-4
（小林友太郎屋敷改御目付廻状）	小弥太 刑左衛門他11名 灰色宿紙	（文久2年）8月晦日	横切継紙・1通	800-4-5
（小林友太郎屋敷改立会人名面下書）			横切紙・1枚	800-4-6
（悴浪一共竊=他行、慎仰付）	出浦惣右衛門 832-75-1 ～3紙縫一括	12月21日	横切継紙・1通	832-75-1
（竊=他行、慎仰付）	煩望月繁之助・名代久保三郎	12月21日	横切継紙・1通	832-75-2
（竊=他行、慎仰付）	沢喜代太郎	12月21日	横切継紙・1通	832-75-3
（御足輕兩人御咎筋之儀伺）	御普請方鹿野伴治・矢野茂・宮島嘉織 紙縫一括、灰色宿紙	6月	横切継紙・1通	868-3-1
（樋口旗之助・堀内権左衛門咎筋先例）		7月朔日	横切紙・1枚	868-3-2
（京都御本陣之方調役壺人下目付壺人御用召）	依田源之丞		横切継紙・1通	868-3-3
（悴馬輔不行跡=付慎仰付）	御番士宮沢度治 紙縫一括、灰色宿紙	天保13年12月5日	横切紙・1枚	868-5-1
（悴又蔵不行跡=付慎仰付）	藤田右仲 灰色宿紙	天保14年2月25日	横切継紙・1通	868-5-2
（悴楠蔵教示御沙汰、楠蔵退役仰付）	御側役御前様御守役兼帯飯島楠左衛門、御近習役飯島楠蔵 「江府=而」 灰色宿紙	弘化4年5月2日	横切継紙・1通	868-5-3
（次男又左衛門杏花見物心得違之義=付御沙汰）	御側頭取煩寺内多宮・名代寺内多門 灰色宿紙	弘化2年4月21日	横切紙・1枚	868-5-4
（山越新八郎不法所業=付慎還塞仰付）	山越新八郎	11月8日	横切継紙・1通	868-7
（善光寺葺卸一件春日善九郎御賞筋伺書下案）	灰色宿紙		横切継紙・2通	868-24
（里見渡理、大草瑞泉御咎筋申上書）	灰色宿紙		横切継紙・1通	868-30
（里見渡理不行跡穿鑿書）	調役 包紙	5月	横切継紙・1通	868-32
（坂野勝介慎仰付）		2月29日	横切紙・1枚	868-34
（松木源八・岡野湯之助御咎筋留）	灰色宿紙	安政5年11月16日・弘化2年9月28日	横切継紙・1通	868-48

(江府下目付北島久大夫御賞筋之義御内々申上書) 御目付 下書共、灰色宿紙	万延元年12月	横切継紙・2通	869-5-2
(江府下目付北島久大夫21ヶ年間役歴)		横切継紙・1通	869-5-3
(久大夫義御賞筋=付下目付永田与左衛門・同佐藤千八御見合書) 下調書共		横切継紙・2通	869-5-4
(永田与左衛門先例=付意見書) 刑左衛門 源之丞様 灰色宿紙	万延元年12月20日	横切紙・1枚	869-5-5
(評定所にて名代之者差支=付同道申渡候者へ押込・逼塞仰付) 灰色宿紙	天保14年6月18日	横切紙・1枚	807-2
(倉沢四郎右衛門御答一条御内々申上書) 御普請方 灰色宿紙	酉12月	横切継紙・1通	800-3
(小宮山甲之助父不埒=付定府御免之旨親類差図書) 小宮山甲之助親類		横切継紙・1通	806-2
(坊主共御答之書抜) 灰色宿紙	寛政12年閏4月3日～天保9年11月3日	横切継紙・1通	811-4
(鎌原伊野右衛門隠居之上慎被仰付候節取計方案) 灰色宿紙	安政5年11月22日	横切継紙・1通	821-10
(鈴木熊次郎屋敷地御引上之義評議=付申上書) 御目付 付 灰色宿紙	9月	横切継紙・1通	847-4
(御扶持増・格付・御賞筋名面) 灰色宿紙		横切継紙・1通	850-8
(御取次役御賞筋之儀=付申上書) 依田又兵衛控	未10月24日	横切紙・1枚	857-1
(御台場御物頭助岡本広人御賞筋之儀=付申上書) 御物頭	11月	横切継紙・1通	857-3
(御取次定助并御台場御物頭心得岡本精一郎御賞筋之儀=付申上書) 依田又兵衛	2月	横切継紙・1通	857-10
(御取次定助并御台場御物頭心得岡本精一郎御褒美筋之儀=付伺書) 依田又兵衛 卷上「戌10月18日矢野氏出府=付頼差出ス」 桃色宿紙	戌10月18日	横切継紙・1通	857-12
(御賞筋伺書)		横切継紙・1通	857-14
(前田角次郎御手充御褒美之儀=付内々申上書) 奥貼 付別紙(下札)あり、御手充凡積、御褒美先例	閏5月29日	横切継紙・1通	857-24
(御役方調役助之者共江御褒美之儀申上書) 御物頭 卷上「申10月8日出ス」	申10月8日	横切紙・1枚	857-29
(掃除頭御道具番兼茂里助御褒美筋之儀申上書扣)	申10月5日	横切紙・1枚	857-30
(御賞筋申渡) 御陣屋敷御留守居中・御目付中	12月23日	横切継紙・1通	857-34
褒詞(鳥目30疋) 御陣屋敷割番帳附杖突掃除頭御目付 手附兼吉左衛門		横切紙・1枚	857-47
褒詞(鳥目50疋) 御陣屋敷割番帳附杖突掃除頭御目付 手附兼吉右衛門	12月	横切紙・1枚	857-48
(葦山形御船稽古御褒美筋申立) 御物頭	10月	横切継紙・1通	861-8
口上書取(御役替御取次役就任之節頂戴物之儀=付申上書) 依田甚兵衛・石倉藤右衛門	正月26日	横切紙・1枚	861-10
(御台場御物頭助役御賞筋伺書)		横切継紙・1枚	861-12

家中／着服

御家中着服一条関係書類			834-2
二（公義着衣服之制度御改革ニ付御在所着服之義御尋ニ付申上書） 御目付 伊野右衛門殿	文久3年11月	横切継紙・1通	834-2-1
三（此表着服之義御尋ニ付申上書） 三奉行	12月	横切継紙・1通	834-2-2
四 廻状（別紙御答案御廻談） 勘左衛門 音門様他3名	11月29日	横切継紙・1通	834-2-3
五（回状別紙申立） 主鈴	12月	横切継紙・1通	834-2-4
六 回章（猶又別紙評議書御回談） 勘左衛門 音門様他3名	11月29日	横切継紙・1通	834-2-5
七（着服之御答申上候ニ副御内々申上書） 成沢勘左衛門	12月2日	横切紙・1枚	834-2-6
八（御在所御家中衣服之義ニ付申上書） 御勘定吟味	12月	横切継紙・1通	834-2-7
九（御在所御家中衣服之義ニ付申上書） 神平	12月3日	横切継紙・1通	834-2-8
十 申上（御先々代御家中着服之義御尋ニ付） 三次 灰色宿紙	11月21日	横切継紙・1通	834-2-9
十一（着服演説触書抜） 文政6年8月27日～文政12年12月28日 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-2-10
十二（熨斗目長袴并平日肩衣着用之義御先々代之御様子御尋ニ付御内密申上書） 三次 灰色宿紙	12月4日	横切継紙・1通	834-2-11
十四（三次申聞候趣与は相違申立） 左京 袖書「十三印 文久3亥年11月中御在所被仰出之演説面略ス」 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-2-12
十五（此表着服之義再御尋ニ付申上） 三奉行 灰色宿紙	12月11日	横切継紙・1通	834-2-13
十六（此表着服制度再御尋ニ付申上） 御目付	文久3年12月11日	横切継紙・1通	834-2-14

家中／普請

家中普請関係書類			805-1
（新規普請申立之儀以来心得伺） 懸り御目付 灰色宿紙	文政9年3月	横切継紙・1通	805-1-1
口上覚（普請御聞置願） 榎田弥惣兵衛他5名 恩田頼母他4名 灰色宿紙	2月19日～11月15日	横切継紙・1通	805-1-2
（普請為知ヶ所） 灰色宿紙		横切紙・1枚	805-1-3
岩下章五郎弓術稽古所建替関係書類			850-11
口上覚（岩下章五郎弓術稽古所建替伺書） 岩下章五郎 灰色宿紙	2月22日	横切継紙・1通	850-11-1
（岩下章五郎弓術稽古所建替之儀御尋ニ付申上書下案） 御目付 卷上「御中老美濃輔殿と相廻候ニ付即」 灰色宿紙		横切継紙・1通	850-11-2

家中／調書

（倉嶋菊治義ニ付御徒士頭御内慮伺書類并穿鑿書御下御	万延2年正月	横切継紙・1通	834-17
---------------------------	--------	---------	--------

尋ニ付申上書) 御目付 卷上「万延2酉2月1日将監殿へ差出」			
(矢野倉謙兵衛家事不締之趣穿鑿書) 調役 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	837-12
(矢野倉謙兵衛不締穿鑿書) 下目付 灰色宿紙	2月	横切継紙・1通	870-6
申上(駿河屋重吉方ニ而紛失物之儀穿鑿書) 下目付	9月	横切継紙・1通	845-2
(祢津刑左衛門方へ之投訴之義ニ付御内々申上書) 山 寺源大夫 灰色宿紙	12月18日	横切継紙・1通	850-5
(桑名左太郎井戸替之義御尋ニ付申上書) 灰色宿紙		横切紙・1枚	828-20
(桑名左太郎御咎中井戸替之義御尋ニ付申上書) 卷上 「4月25日美濃輔殿取次同日差出」 灰色宿紙		横切継紙・1通	837-14
(江戸遊里一条辰7月巖敷被仰出 卯8月中迄凡度数覚)		横長半・1冊	845-3

家中／諸願

阿藤賢逸医術修行関係書類 紙縫一括			835-2
(阿藤賢逸医術修行之義御内聞伺) 医学頭取立田楽 水他3名 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	835-2-1
口上覚(京都表医術修行願) 賢逸 楽水様他3名 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	835-2-2
(阿藤賢逸医術修行之義御尋ニ付申上書) 卷上「子7 月22日御下夕刻伊野右衛門殿へ差出」	子7月22日	横切継紙・1通	835-2-3
(阿藤賢逸医術修行之義評議書) 新六 灰色宿紙	7月22日	横切紙・1枚	835-2-4
十河彦次郎姉引越関係書類 紙縫一括			812-10
(十河彦次郎姉引越為仕度御内密願書) 富之助 灰 色宿紙	12月14日	横切継紙・1通	812-10-1
(十河彦次郎姉引越之義御尋ニ付返答書) 御目付 灰色宿紙	12月22日	横切継紙・1通	812-10-2
佐久間修理実母并妻共北山安世方看病関係書類 紙縫 一括			841
(佐久間修理実母并妻共看病罷越度義御尋ニ付申上 書) 御目付 卷上「末10月2日采女殿 卯御下 十郎 右衛門取調差出」 灰色宿紙	10月	横切紙・1枚	841-1
(佐久間修理実母并妻共北山安世方看病御内密嘆願 書) 三次 灰色宿紙共	10月2日	横切継紙・2通	841-2
(先例添御内密嘆願書) 三次 灰色宿紙	10月2日	横切紙・1枚	841-3
(先例書拔) 天保14年4月朔日 灰色宿紙		横切紙・1枚	841-4
諸願書関係書類 紙縫一括			851
(湯治願書拔) 灰色宿紙		横切継紙・1通	851-1
(湯治願見合之処、再願) 山岸左内 灰色宿紙	4月13日	横切継紙・1通	851-2
口上覚(両家縁組願留) 斉藤増喜、徳田五百人 御 連名殿 灰色宿紙		横切継紙・1通	851-3
(他所縁組願書拔) 灰色宿紙		横切継紙・1通	851-4
口上覚(悴出府願) 保崎莊助 祢津三十郎殿 灰色	11月朔日	横切紙・1枚	851-5

依田家／役職／御目付

宿紙			
(參宮願書拔) 灰色宿紙		横切継紙・1通	851-6
口上覚 (実父看病願) 御番士佐野喜見 御番頭殿 灰色宿紙	6月29日	横切継紙・1通	851-7
(実母附添看病願) 長谷川藤藏 御家老連名殿 灰色 宿紙	10月20日	横切継紙・1通	851-8
口上覚 (病症快方=付出勤願) 中山兵助 御連名殿 灰色宿紙		横切継紙・1通	851-9
口上覚 (碓氷御関所女通御手判願留) 春原六左衛 門 小山田彦岐殿他4名 灰色宿紙	8月25日	横切継紙・1通	851-10
口上覚 (碓氷御関所女通御手判願) 増田助之丞 御番頭殿 灰色宿紙	6月25日	横切継紙・1通	851-11
口上覚 (碓氷御関所女通御手判願写) 増田助之丞 御番頭殿 灰色宿紙		横切紙・1枚	851-12
口上覚 (悴嘉藏御奉公筋為見習度願留) 宮嶋守人 御家老連名中 河舎人様 灰色宿紙		横切継紙・1通	851-13
(小林柔介句読方頭取 調役兼帯被仰付=付御賢慮願) 左金吾・一二馬 前欠	文久3年	横切継紙・1通	833-4-6
(腹痛=付養生願) 平治 源之丞様	6月7日	横切継紙・1痛	818-1-5
口上覚 (看病願) 依田源之丞 鎌原石見殿他3名 灰色 宿紙	9月20日	横切継紙・1通	822-4
口上覚 (長滞府御免願)		横切継紙・1通	826-10

家中／諸伺・諸届

離縁届并種々届書類 紙繕一括			822-2
(諸届留) 躰養子、婚姻、離縁、縁者差戻、養女、出 生女子丈夫、夏足袋、忌服 灰色宿紙	嘉永3年8月29日～嘉永 4年9月21日	横切継紙・1通	822-2-1
(諸届留) 不縁、厄介、門口建替、出勤伺、湯治出立 日延、歩行 灰色宿紙	嘉永3年2月22日～8月 20日	横切継紙・1通	822-2-2
(諸届留) 忌服、捨銭箱、養子、養女 灰色宿紙	嘉永4年閏2月11日～12 月26日	横切継紙・1通	822-2-3
(諸届留) 勢州參宮、紛失、江戸出立、普請、再縁、 御目見不出来 灰色宿紙	安政4年正月13日～同 12月15日	横切継紙・1通	822-2-4
(諸届留) 離物置建設、類焼、湯治 灰色宿紙	3月18日～4月24日	横切継紙・1通	822-2-5
(婚姻不整内離縁届) 矢野倉謙兵衛 金井美濃輔様 灰色宿紙	9月20日	横切継紙・1通	822-2-6
忌中届書拔書類 紙繕一括			822-6
(死去届演説留) 灰色宿紙	天保12年4月3日	横切継紙・1通	822-6-1
(忌中届書拔) 灰色宿紙	文久元年3月～12月14 日	横切継紙・1通	822-6-2
(忌中届書拔) 灰色宿紙	正月	横切紙・1枚	822-6-3
(忌服届) 灰色宿紙	3月12日	横切継紙・1通	822-6-4
(親類忌服届案) 富永治左衛門 赤 助之進様 灰色		横切継紙・1通	822-6-5

宿紙 (出生之子丈夫届、不縁届、歩行届) 灰色宿紙	嘉永2年11月11日～嘉永3年2月11日	横切継紙・1通	822-5
(改印之節取計先例)		横切紙・1枚	818-1-4
(父方従弟妻死去=付忌服御届案) 山中小平次 小壱岐様 灰色宿紙		横切紙・1枚	833-14-3
御用状(御出立日延=付下案)并返書(正月3日) 依田源之丞 齊藤友衛様 灰色宿紙共、折封		横切継紙・2通	850-9
(夏足袋伺) 鹿野仲治 河 舍人様 灰色宿紙		横切紙・1枚	822-3

中野・中之条陣屋

中野中之条陣屋御人数出張関係書類 紙縫一括			835-3
二三(中野中之条陣屋へ御人数出張上田飯山御打合之義御尋=付申上書) 三奉行 三印郡方 δ 為打合案文別=記 灰色宿紙	2月11日	横切継紙・1通	835-3-1
四 回状(上田飯山等へ打合之義并御人数調之義等) 伊野右衛門 将監様他・助之進様・采女様 灰色宿紙	2月11日	横切紙・1枚	835-3-2
六(大銃打手并人足等凡調) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-3-3
七(大小銃御引当扣) 灰色宿紙	文久(4年)子2月	横切継紙・1通	835-3-4
八九(大小銃方名面) 九印ハ御留守 ^(マ) 守申立先例 灰色宿紙		横切紙・1枚	835-3-5
十(御纏、大小銃、御人数、馬凡調) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-3-6
十一十二(御人数出別紙取調評義書) 左京・神平 灰色宿紙	2月26日	横切継紙・1通	835-3-7
十三 廻状(御人数調并名面案) 伊野右衛門 但馬様・助之進様・采女様 灰色宿紙	2月26日	横切継紙・1通	835-3-8
(御人数差出之節拜借人之義等御尋=付申上書) 御目付 灰色宿紙	3月	横切継紙・1通	835-3-9
(御人数差出之節拜借人取調申上書) 御目付 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-3-10
御代官所加勢関係書類 紙縫一括			834-4
(中野御陣屋へ非常御人数出=付飯山様 δ 御使者到来=付申上書) 玉川一学 灰色宿紙	2月8日	横切紙・1枚	834-4-1
(上田様類役申談之義=付別紙添申上書) 玉川一学 灰色宿紙	2月9日	横切継紙・1通	34-4-2
(御代官所陣屋へ御加勢人数之振合) 玉川一学 灰色宿紙	天保8年6月朔日	横切継紙・1通	834-4-3
(中野中之条代官所 δ 御人数差出申来候=付人数割書上) 下札		横長美・1冊	742

下目付加役

(下目付定加役本役御直之儀御尋=付申上書扣) 御目付 869-4-1・2紙縫一括	2月	横切継紙・1通	869-4-1
--	----	---------	---------

町 方

伊勢町市川惣兵衛御賞筋関係書類				847-1
(伊勢町市川惣兵衛御賞之義伺書) 宮下主鈴 灰色宿紙	11月	横切継紙・1通		847-1-1
(伊勢町市川惣兵衛御賞筋之義御尋ニ付申上書) 卷上「12月2日沓岐殿御下ケ、12月3日御殿ニ而差出」 灰色宿紙	12月3日	横切継紙・1通		847-1-2
(伊勢町市川惣兵衛コレヲ予防薬剂代金覚)		折紙・1枚		847-1-3
西木町惣兵衛御賞筋関係書類				847-1-4
(西木町惣兵衛義ニ付御内々申上書) 御預所元ノ役 灰色宿紙	未11月	横切継紙・1通		847-1-4
(西木町惣兵衛御賞筋之義伺書) 御預所郡方 御町方様 灰色宿紙	11月25日	横切継紙・1通		847-1-5
(馬喰町丸山与助施薬取調報知) 灰色宿紙		横切紙・1枚		845-4

在 方

荒町村平吉娘ふよ養子与右衛門并又吉子さき3人之者親孝心之趣御尋書類				219
(御尋ニ付申上書) 荒町村名主郡兵衛・組頭盛之助 御代官所	慶応3年12月	美・1冊		219-1
(御尋ニ付申上書) 東条村南組名主太五左衛門他2名 御代官所	慶応3年12月	美・1冊		219-2
(御尋ニ付申上書) 宮崎新田村名主雅五郎・組頭重兵衛 御代官所	慶応3年12月	美・仮1冊		219-3
(御尋ニ付) 口上覚 後欠	(慶応3年12月)	横切継紙・1通		219-4
瀧本新田開発一件書類		横長美・1冊		634
壹(徳左衛門壹人別割地手当再下附願) 東条村南組名主清右衛門・組頭永助・長百姓恒治 郡御奉行所	安政6年4月			634-1
二(東条村南組ノ顛末申上書) 東条村南組名主清右衛門他6名 御代官所	安政7年2月			634-2
三(御尋ニ付瀧本新田村返答書) 瀧本新田村名主助 右衛門・組頭嘉右衛門 御代官所	安政7年2月			634-3
四(御尋ニ付東条村南組返答書) 東条村南組名主利兵衛他8名 御代官所	安政7年3月			634-4
五(御尋ニ付瀧本新田村返答書) 瀧本新田村名主助 右衛門・組頭嘉右衛門 御勘定所御元ノ御役所	安政7年3月			634-5
東条村南組徳左衛門瀧本新田割地一條書類				375
御賞替之義御内尋付御内慮伺 磯田音門 375-1・2は同綴	2月18日	半・仮1綴		375-1
壹 瀧本新田割地一條経緯書		半・		375-2
壹ニ添 御内尋付申上(瀧本新田割増) 元ノ役 末尾に「式 安政六未年四月東条村南組役人ノ纏り書壹通在之略ス」とあり	5月	半・仮1綴		375-3

三 徳左衛門割地引渡被下度歎願書 瀧元新田村名主助左衛門他2名 郡御奉行所	安政6年4月	半・1冊	375-4
三添 瀧元新田割合御尋ニ付御代官江申立扣 瀧元新田村名主熊吉他2名 岡部八十喜様御代官所	文政10年閏6月	半・仮1綴	375-5
四 瀧本新田村役人江尋申度ケ条書 375-6・7は同綴		半・仮1綴	375-6
五 瀧本新田村役人返答書 瀧元新田村名主助左衛門・組頭嘉右衛門 郡御奉行所	万延元年5月	半・	375-7
六 徳左衛門申立書 七左衛門親徳左衛門（東條村名主・組頭・長百姓奥印） 郡御奉行所 375-8～10は同綴	万延元年6月	半・仮1綴	375-8
七 徳左衛門申立願書 瀧本新田元世話人東條村南組七左衛門親徳左衛門	万延元年11月	半・	375-9
八 御尋召嘆願書 東條村徳左衛門 磯田音門様御内御役人中様	正月24日	半・	375-10
東條村南組徳左衛門瀧本新田割地一条関係書類 紙縫一括			849
（東條村南組徳左衛門瀧本新田割地一条愚意大意草稿） 卷上「酉3月11日大目付新六殿へ」 灰色宿紙	3月11日	横切継紙・1通	849-1
（東條村南組徳左衛門瀧本新田割地一条大目付評議書） 新六	3月16日	横切継紙・1通	849-2
（東條村徳左衛門割地一条猶御尋ニ付申上書） 御目付 卷上「酉3月20日左京殿へ出」	3月20日	横切継紙・1通	849-3
柵津村星合和泉登城関係書類 紙縫一括			812-1
（御目見登城日書上） 灰色宿紙	文政10年2月14日～嘉永6年	横切継紙・1通	812-1-1
（登城日書上） 灰色宿紙	弘化3年12月22日～弘化5年4月9日	横切継紙・1通	812-1-2
戊年奇特者御賞筋関係書類			817-2
口上覚（中越村久次郎子開五郎御賞筋御代官申立） 細田久作 卷上「12月6日采女殿ノ御下」 灰色宿紙、817-2-1～3紙縫一括	（文久2年）11月	横切継紙・1通	817-2-1
奇特者御賞筋伺（開五郎） 山寺源大夫他3名 灰色宿紙	（文久2年）12月5日	横切継紙・1通	817-2-2
（開五郎御賞筋御答案） 卷上「12月29日采女殿江差出」 灰色宿紙		横切継紙・1通	817-2-3
口上覚（上徳間村頭立太兵衛、同村頭立茂三郎御賞筋御代官申立） 野本力太郎 灰色宿紙、817-2-4～6紙縫一括	（文久2年）12月	横切継紙・1通	817-2-4
奇特者御賞筋伺（太兵衛、茂三郎） 山寺源大夫他3名 卷上「12月24日采女殿ノ御下」 灰色宿紙	（文久2年）12月	横切継紙・1通	817-2-5
（太兵衛、茂三郎御賞筋御答案） 卷上「12月29日采女殿江差出ス」 灰色宿紙		横切継紙・1通	817-2-6
口上覚（湯田中村仲右衛門子助七女房よし御賞筋御代官申立并村役人名面） 中嶋渡浪 灰色宿紙、817-2-7～10紙縫一括	（文久2年）10月	横切継紙・1通	817-2-7
孝心奇特者御賞筋之義御尋付申上書下書（助七、女	（文久2年）10月	横切継紙・1通	817-2-8

房よし) 灰色宿紙			
穿鑿書 (太兵衛、茂三郎御賞筋) 下目付 灰色宿紙	(文久2年) 10月	横切継紙・1通	817-2-9
(太兵衛、茂三郎御賞筋伺) 山寺源大夫他3名 灰色宿紙	(文久2年) 10月21日	横切継紙・1通	817-2-10
口上覚 (上真嶋村半左衛門別家栄作御賞筋御代官申立) 細田久作 灰色宿紙、817-2-11~13紙綴一括	(文久2年) 6月	横切継紙・1通	817-2-11
(栄作御賞筋穿鑿書稿) 卷上「7月5日老岐殿へ差出す」 灰色宿紙		横切継紙・1通	817-2-12
(栄作御賞筋伺) 山寺源大夫他3名 灰色宿紙	(文久2年) 6月18日	横切継紙・1通	817-2-13
御預所栗田村紺屋甚右衛門御賞関係書類 紙綴一括	文久3年		825-7
(御賞之義=付伺) 御勝手元ノ 卷上「6月27日助之進殿御下=付穿鑿磯之助へ」 灰色宿紙	6月	横切継紙・1通	825-7-1
(御賞之義伺廻状) 助之進 石見様他4名 灰色宿紙	6月27日	横切継紙・1通	825-7-2
(甚右衛門穿鑿被仰渡=付申上書) 調役磯之助	7月	横切継紙・1通	825-7-3
(甚右衛門穿鑿之義=付先年之義穿鑿申上書) 調役磯之助 灰色宿紙	7月	横切継紙・1通	825-7-4
廻状 (甚右衛門御賞筋) 源之丞 正司様他5名 灰色宿紙	7月15日	横切継紙・1通	825-7-5
(甚右衛門御賞之義御尋=付) 申立案 灰色宿紙		横切継紙・1通	825-7-6
(栗田村倉石源左衛門御賞先例書抜) 安政6年、文久2年、卷上「兩角三大夫書抜」		横切紙・1枚	825-7-7
(栗田村倉石源左衛門御賞先例書抜) 戊12月26日 灰色宿紙		横切紙・1枚	825-7-8
東條村清瀧野火不始末一条関係書類 紙綴一括			834-3
壹印 (東條村清瀧野火不始末申上書写) 東條村名主倉吉他5名 道橋御奉行所 灰色宿紙	文久4年2月	横切継紙・1通	834-3-1
二印 (東條村清瀧野火不始末一条東条村東光寺継り書写) 東条村東光寺 道橋御奉行所 灰色宿紙	文久4年2月	横切継紙・1通	834-3-2
三印 (東條村清瀧野火不始末穿鑿御尋=付申上書写) 東条村南組名主平大夫他5名 道橋御奉行所 灰色宿紙	文久4年2月	横切継紙・1通	834-3-3
四印 (東條村清瀧野火不始末一条東条村東光寺継り書写) 東条村東光寺 道橋御奉行所 二印と同文 灰色宿紙	文久4年2月	横切継紙・1通	834-3-4
④ (東條村清瀧野火不始末一条村役人一向不存旨訴書写) 東条村南組名主倉吉・組頭七左衛門・長百姓藤太 道橋御奉行所 灰色宿紙	文久4年2月	横切継紙・1通	834-3-5
(龍五郎御用=付急出府御届不申上詫書) 東条村東光寺 道橋御奉行所 灰色宿紙	文久4年2月	横切継紙・1通	834-3-6
(東條村=而野火之義=付伺) 道橋方 灰色宿紙	3月	横切継紙・1通	834-3-7
回状 (の火一条御答案別紙取調添削) 源之丞 小平次様他4名 灰色宿紙	3月3日	横切継紙・1通	834-3-8
(東條村清瀧野火之義申立案) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-3-9
八幡村清浄院内献金并御賞筋関係書類 紙綴一括			834-7

(金百兩献上仕度願書) 八幡村清浄院 寺社御奉行 所 灰色宿紙	文久4年正月	横切継紙・1通	834-7-1
(八幡村清浄院内献金并御賞之義伺) 磯田音門・成 沢勘左衛門 灰色宿紙	2月3日	横切継紙・1通	834-7-2
(八幡村清浄院内献金并御賞之義=付申上書) 御勝 手元 灰色宿紙	3月6日	横切継紙・1通	834-7-3
(八幡村清浄院内献金并御賞之義=付申上書) 御勘 定吟味 灰色宿紙	3月25日	横切継紙・1通	834-7-4
(八幡村清浄院内献金并御賞之義御尋=付申上書案) 灰色宿紙	子4月3日	横切継紙・1通	834-7-5
(沓野村温泉寺奇特之申立有之=付永独御礼申渡) 嘉永4年7月13日前例		横切継紙・1通	834-7-6
青木村常源寺先住一件関係書類			837-3
穿鑿書 但答書并書置式通添		豎半・1冊	837-3-1
(青木村役人共答書) 青木村中組頭立与惣右衛門他4 名 郡奉行所	文久2年5月	豎半・1冊	837-3-2
北長池村中組名主一条関係書類 紙繕一括			837-6
(北長池村中組威一郎并親学道穿鑿聞書留) 灰色 宿紙	文久2年2月	横切継紙・1通	837-6-1
(北長池村威一郎親学道之義=付極密々申上書) 中 島渡浪 灰色宿紙	2月22日	横切継紙・1通	837-6-2
(別紙内廻状取扱之義=付極御内密申上書) 源大夫 灰色宿紙	2月23日	横切継紙・1通	837-6-3
御用廻状(山寺源大夫内廻状之義伺書) 将監 壺 岐様・婦一郎様 灰色宿紙	2月23日	横切紙・1枚	837-6-4
(北長池村中組学道他同道人名面) 灰色宿紙		横切紙・1枚	837-6-5
御用状(北長池村中組学道此表へ罷出=付) 源大 夫 刑左衛門様 紙繕一括	2月26日・28日	横切継紙・3通	837-6-6
雨宮村神主片岡主計御参府御帰城之節御礼伺関係書類 紙繕一括			837-15
(雨宮村神主片岡主計御参府御帰城之節御礼申上度 願書并伺書写) 灰色宿紙	万延元年閏3月、4月2 日	横切継紙・1通	837-15-1
(雨宮村神主片岡主計御帰城之節御礼願御尋=付申上 書) 灰色宿紙	4月	横切継紙・1通	837-15-2
日名村頭立吉郎太仮名主勤中不正取計一件書類 紙繕 一括			868-6
日名村頭立吉郎太去寅年中仮名主勤中不正取計御仕 置之義御尋=付申上書 灰色宿紙	7月	横切紙・1枚	868-6-1
(日名村頭立吉郎太等御仕置伺) 山寺源大夫 灰色 宿紙	7月	横切継紙・1通	868-6-2
(日名村頭立吉郎太等御仕置一件申渡書付案) 灰 色宿紙		横切継紙・1通	868-6-3
湯田中村手踊申立関係書類 紙繕一括			869-2
(湯田中村手踊之儀御尋=付申上書) 御目付 灰色	4月	横切継紙・1通	869-2-1

依田家／役職／御目付

宿紙			
(湯田中村手踊之儀再御尋ニ付申上書草稿) 御目付 灰色宿紙	4月	横切継紙・1通	869-2-2
(湯田中村手踊之儀評議廻達) 源之丞 治左衛門様 他6名	4月20日	横切継紙・1通	869-2-3
御用状 (別紙内伺承知之旨) 赤沢助之進 御目付中	4月18日	横切紙・1枚	869-2-4
御用状 (別紙七印承知之旨) 赤沢助之進 御目付中	4月20日	横切継紙・1通	869-2-5
(湯田中村手踊一条壺印～六印書留)		折紙・1枚	869-2-6
七 (湯田中村手踊一条寺社奉行申上書) 金吾 灰 色宿紙	4月20日	横切紙・1枚	869-2-7
年寄一卷 (矢代宿源之助・兵助年寄役拝命ニ付請書)	明和6年11月	半・1冊	218
(御領分信州水内郡梅木村弥惣治一件御仕置被仰付、 申渡之節立合一件留) 山越新八郎	文化3年5月	半・1冊	216
(在方御賞書拔) 灰色宿紙	安政2年3月14日～同6 年12月23日	横切継紙・1通	805-5
(下水鮑村源左衛門孝心御賞筋之義御尋ニ付申上書) 御目付 灰色宿紙	未11月27日	横切継紙・1通	847-1-6

諸 届

越州月形村角兵衛獅子舞関係書類			847-3
(越州月形村角兵衛獅子舞之義御尋ニ付申上書) 御 目付 灰色宿紙		横切継紙・1通	847-3-1
(越州月形村角兵衛獅子舞之義ニ付御内慮伺) 高田 磯太 灰色宿紙	10月22日	横切紙・1枚	847-3-2
御用状 (越州月形村角兵衛獅子舞之義ニ付評議書類 差上) 源之丞 美濃輔様 灰色宿紙	10月22日	横切紙・1枚	847-3-3
(地震被害届書写) 水内郡善光寺大本願役人山極亦兵 衛・大勘進役人今井磯右衛門 岡崎莊藏他3名	弘化4年4月	豎小型 (20×15) ・1冊	539
(彗星測量御届書) 天文方三名	8月14日	豎紙・1枚	618-5

調 書

御勘定調帳不審一件関係書類 紙繕一括			839
(御勘定役懸り之者共差出候調帳不審之ケ所目安覚 三帳分)	万延元年5月	横切継紙・1通	839-1
(御勘定懸り之調帳不審ケ所覚) 灰色宿紙	(万延元年) 申5月	横切継紙・1通	839-2
(御勘定懸り之者調帳不審ケ所覚) 灰色宿紙	(万延元年) 申5月	横切継紙・1通	839-3
御用状 (高野覚之進調帳六帳返還) 并勘返状 刑左 衛門・弥右衛門 音門様	6月3日	横切紙・1枚	839-4
(再考申立書)		横切紙・1枚	839-5
覚 (調帳目録)		横切継紙・1通	839-6
(調帳目録)		横切紙・1枚	839-7
(御勝手元ノ当座中借金留帳之内沼田屋大蔵へ下ケ)		横切継紙・1通	839-8

金之分書拔 二通之内) 弘化4年～嘉永2年 灰色宿紙			
(沼田屋大蔵へ御下ケ金書拔 二通之内) 嘉永3年・4年 灰色宿紙		横切継紙・1通	839-9
(調帳書拔)		横切継紙、横切紙・1通・2枚	839-10
高野広馬水戸辺穿鑿関係書類 紙綴一括			817-8
(水戸辺穿鑿趣意書) 広馬	9月23日	横切継紙・1通	817-8-1
(水戸辺穿鑿添書) 嘉兵衛・一二三 刑左衛門様・友衛様	10月26日	横切継紙・1通	817-8-2
御武具方調関係書類			811-5
(御武具方御武器調方伺書) 灰色宿紙		横切継紙・1通	811-5-1
(御武具方御武器調方御勝手方沓岐殿被仰渡御承知之旨) 灰色宿紙	2月16日	横切紙・1枚	811-5-2
申年銅小銭取集之義穿鑿関係書類 紙綴一括			817-7
(銅小銭取集之義穿鑿=付申上書) 下目付	申5月	横切継紙・1通	817-7-1
(銅小銭引替割合書) 灰色宿紙	文久2年5月	横切継紙・1通	817-7-2
(水戸辺之儀穿鑿書) 調役	(万延元年) 閏3月	横長半・1冊	868-21
(水戸辺之儀穿鑿書) 調役	(万延元年) 閏3月	横長半・1冊	868-22
(千曲川大雨=而出水被害書上) 灰色宿紙		横切・1枚	821-9
覚(山中分・里分作毛) 灰色宿紙	申9月17日	横切継紙・1通	835-26
乗馬鞍数覚	天保11年3月5日～弘化4年正月4日	横半半折・1冊	170
穿鑿(書留) 依田利継	安政5年7月20日～安政6年5月18日	横切半・1冊	192

江戸御用状

江戸御用状関係書類			810-1
(御帰城御道中御用状) 弥惣左衛門 刑左衛門様他8名	午7月2日	横切継紙・1通	810-1-1
(御帰城=付矢代宿 江戸御用状) 弥惣左衛門 御同役中	7月5日	横切継紙・1通	810-1-2
(御参府御供着府礼状) 弥惣左衛門 御同役中様	文久元年5月27日	横切継紙・1通	810-1-3
(御在所へ暇被下候=付吹聴状) 金左衛門 十郎右衛門様他5名 同日付暇許可添付	文久元年5月26日	横切継紙、横切紙・各1通	810-1-4
(御帰城御道中御用状) 弥惣左衛門 治左衛門様	7月3日	横切継紙・1通	810-1-5
(江戸 暑中見舞) 一二三・弥惣左衛門 刑左衛門様他9名	6月20日	横切継紙・1通	810-1-6
(江戸 寒中見舞) 嘉兵衛・一二三 刑左衛門様他9名	12月7日	横切継紙・1通	810-1-7
(江戸 寒中見舞) 金左衛門・一二三 刑左衛門様他9名 封紙	11月28日	横切継紙・1通	810-1-8

依田家／役職／御目付

(殿様御暇被仰出=付江戸目付御用状) 嘉兵衛・一 二三・弥惣左衛門 刑左衛門様他8名	6月21日	横切継紙・1通	810-1-9
(殿様御暇被仰出=付江戸目付への御用状) 源之丞 他8名 弥惣左衛門様他2名	7月朔日	横切継紙・1通	810-1-10

日 記

(江戸日記) 前欠カ	弘化元年7月29日～弘 化4年正月	横半半折仮綴・1 冊	147
(江戸日記)		横長美・1冊	627-3

手 控

江戸大地震御親類様方 ⁶ 為御知写(破損場所圧死人等 書抜)	安政2年	半・1冊	220
御目付役内控	(安政4年) 巳7月	横半・1冊	772-2
機密(手扣)	安政7年正月～万延2年 8月	横半半折・1冊	136
機密手扣	(文久元年～同3年)	横半半折・1冊	135
(御中老御下伺返書案文) 金左衛門		横切紙・1枚	847-2
(給人格御徒土席御役順書上) 灰色宿紙		横切継紙・1通	865-11

風 聞

三(須坂表并近在風聞書) 調役 須坂藩家老野口源兵 衛改革、奥書「安政6末年12月齊藤友衛様へ清書差上申候」 灰色宿紙	安政6年12月	横切継紙・1通	870-2
安藤対馬守様狼藉一条関係書類 紙纏一括	(文久2年)		843
(安藤対馬守様狼藉一条留) 灰色宿紙	正月15日	横切継紙・1通	843-1
(安藤対馬守様狼藉一条留)	正月15日	折紙・1枚	843-2
(安藤様へ御使者相勤御用人内話之趣申上書) 玉 川一学 灰色宿紙	正月16日	横切継紙・1通	843-3
(安藤対馬守様狼藉一条下座見届書) 下座見宮沢吉 次 灰色宿紙	正月16日	横切継紙・1通	843-4
(安藤対馬守様狼藉一条死骸等留書) 灰色宿紙	正月16日	横切継紙・1通	843-5
(安藤対馬守様狼藉一条留書) 卷上「鹿野茂よりの もの」 灰色宿紙	正月16・17日認	横切継紙・1通	843-6
(安藤対馬守様狼藉一条御口之者届書) 御口之者 灰色宿紙	正月20日晚届	横切継紙・1通	843-7
(安藤対馬守様狼藉一条留書)		横切継紙・1通	843-8
(安藤対馬守様狼藉者、怪我人名前書上)		横切継紙、横切紙 ・1通、2枚	843-9
(安藤対馬守様狼藉一条絵図面) 灰色宿紙		横切紙・1枚	843-10
(江戸表=而切腹御暇御咎筋留) 灰色宿紙		横切紙・1枚	843-11
(狼藉討留等御賞筋書上)		横切継紙・1通	843-12

(和泉国五條陣屋表浪士共 <small>5</small> 奪取品々御届書写) 中 村意順 卷上「御覧後早速御返し奉願上候」 灰色宿紙	9月3日	横切継紙・1通	835-10
(松平甲斐守様御家来 <small>5</small> 到来書付写) 和州五條陣屋焼 払一件 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-41

留書

御目付留書書類			872
御条目書拔 (御目付留書) 灰色宿紙	文政6年正月15日～12 月27日	横切継紙・1通	872-1
(御目付留書) 灰色宿紙	文政7年3月10日～7月9 日	横切継紙・1通	872-2
御条目書拔 (御目付留書) 灰色宿紙	文政7年7月11日～8月 14日	横切継紙・1通	872-3
(御目付留書) 灰色宿紙	文政8年正月11日～3月 3日	横切継紙・1通	872-4
(御目付留書) 灰色宿紙	文政8年3月6日～5月13 日	横切継紙・1通	872-5
御条目書拔 (御目付留書) 灰色宿紙	文政9年正月3日～3月 24日	横切継紙・1通	872-6
(御目付留書) 灰色宿紙	文政9年3月18日～6月4 日	横切継紙・1通	872-7
(御目付留書) 灰色宿紙	文政9年5月29日～7月 16日	横切継紙・1通	872-8
(御目付留書) 灰色宿紙	嘉永6年正月7日～7月 19日	横切継紙・1通	872-9
(御目付留書) 灰色宿紙	文政7年正月8日～3月6 日	横切継紙・1通	837-17
御目付留書書類 紙縫一括			838-1
(御目付留書) 灰色宿紙	(嘉永7年) 6月27日～8 月13日	横切継紙・1通	838-1-1
(御目付留書) 灰色宿紙	(嘉永7年) 7月7日～10 日	横切継紙・1通	838-1-2
(御目付留書) 灰色宿紙	(嘉永7年) 7月13日～ 29日	横切継紙・1通	838-1-3
(御目付留書)	嘉永7年8月13日～安政 7年8月4日	横長美・1冊	320
御目付留書書類 紙縫一括			876
(御目付留書) 灰色宿紙	安政元年12月～安政2 年4月29日	横切継紙・1通	876-1
(御目付留書) 灰色宿紙	安政2年5月5日～12月 29日	横切継紙・1通	876-2
御目付留書書類 短冊「安政3辰年 此表済」 紙縫一括			877
(御目付留書)	安政3年6月17日～9月5 日	横切継紙・1通	877-1
(御目付留書)	安政3年9月11日～11月	横切継紙・2通	877-2

(御目付留書)		18日		
		安政3年11月23日～12月晦日	横切継紙・1通	877-3
御目付留書書類	短冊「安政4丁巳年」	紙縫一括		871
壹(御目付留書)	灰色宿紙	漢数字朱書、以下「五」まで	安政4年正月5日～3月7日	横切継紙・1通 871-1
貳(御目付留書)	灰色宿紙		安政4年3月13日～5月晦日	横切継紙・1通 871-2
参(御目付留書)	灰色宿紙		安政4年5月26日～6月17日	横切継紙・1通 871-3
肆(御目付留書)	灰色宿紙		安政4年6月朔日～11月3日	横切継紙・1通 871-4
伍(御目付留書)	灰色宿紙		安政4年11月9日～12月27日	横切継紙・1通 871-5
御目付留書書類	短冊「(朱書)入用もの、(墨書)安政5戊午年」、漢数字朱書、以下「七」まで			875
壹(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年正月5日～2月晦日	横切継紙・1通 875-1
貳(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年2月～4月29日	横切継紙・1通 875-2
参(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年3月23日～7月2日	横切継紙・1通 875-3
肆(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年6月25日～7月12日	横切継紙・1通 875-4
伍(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年7月3日～8月10日	横切継紙・1通 875-5
六(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年8月11日～8月晦日	横切紙・1枚 875-6
七(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年8月18日～12月27日	横切継紙・1通 875-7
御目付留書書類	紙縫一括			832
(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年正月15日～2月3日	横切継紙・1通 832-1
(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年2月12日	横切継紙・1通 832-2
(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年4月27日	横切紙・1枚 832-3
(御目付留書)			安政5年5月朔日	横切紙・1枚 832-4
(御目付留書)			安政5年5月4日	横切紙・1枚 832-5
(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年5月10日	横切紙・1枚 832-6
(御目付留書)			安政5年5月12日	横切継紙・1通 832-7
(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年5月22日～24日	横切継紙・1通 832-8
(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年5月	横切継紙・1通 832-9
(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年6月朔日～4日	横切継紙・1通 832-10
(御目付留書)	灰色宿紙		安政5年6月5日～11日	横切継紙・1通 832-11

(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年6月12日～15日	横切継紙・1通	832-12
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年6月16日～20日	横切継紙・1通	832-13
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年6月21日～29日	横切継紙・1通	832-14
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年7月1日～6日	横切継紙・1通	832-15
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年7月2日夜	横切継紙・1通	832-16
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年7月11日～13日	横切継紙・1通	832-17
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月1日～5日	横切継紙・1通	832-18
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月6日～8日	横切継紙・1通	832-19
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月9日・10日	横切継紙・1通	832-20
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月11日～13日	横切継紙・1通	832-21
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月13日～20日	横切継紙・1通	832-22
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月20日～27日	横切継紙・1通	832-23
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月28日	横切継紙・1通	832-24
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月29日	横切継紙・1通	832-25
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年8月晦日	横切継紙・1通	832-26
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月1日・2日	横切継紙・1通	832-27
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月3日～7日	横切継紙・1通	832-28
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月8日	横切紙・1枚	832-29
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月9日～11日	横切継紙・1通	832-30
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月12日・13日	横切継紙・1通	832-31
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月14日	横切継紙・1通	832-32
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月15日	横切紙・1枚	832-33
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月16日	横切継紙・1通	832-34
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月17日・18日	横切継紙・1通	832-35
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月19日	横切継紙・1通	832-36
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月20日	横切継紙・1通	832-37
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月21日～23日	横切継紙・1通	832-38
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月24日	横切継紙・1通	832-39
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月25日・26日	横切継紙・1通	832-40
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月27日・28日	横切継紙・1通	832-41
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年9月29日・30日	横切継紙・1通	832-42
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年10月20日～26日	横切継紙・1通	832-43
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年10月27日～29日	横切継紙・1通	832-44

(御目付留書)		安政5年11月朔日	横切継紙・1通	832-45	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月4日～10日	横切継紙・1通	832-46	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月11日～14日	横切継紙・1通	832-47	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月15日・16日	横切継紙・1通	832-48	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月17日・18日	横切継紙・1通	832-49	
(御目付留書)		安政5年11月	横切紙・1枚	832-50	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月1日・2日	横切継紙・1通	832-51	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月2日	横切紙・1枚	832-52	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月3日～5日	横切継紙・1通	832-53	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月6日～11日	横切継紙・1通	832-54	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月9日	横切継紙・1通	832-55	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月12日～14日	横切継紙・1通	832-56	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年11月15日～20日	横切継紙・1通	832-57	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月朔日・2日	横切継紙・1通	832-58	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月7日・8日	横切継紙・1通	832-59	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月9日・10日	横切紙・1枚	832-60	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月11日	横切継紙・1通	832-61	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月12日	横切継紙・1通	832-62	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月13日・14日	横切継紙・1通	832-63	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月15日	横切継紙・1通	832-64	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月16日	横切継紙・1通	832-65	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月17日	横切継紙・1通	832-66	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月18日	横切継紙・1通	832-67	
(御目付留書)	灰色宿紙	安政5年12月21日～25日	横切継紙・1通	832-68	
御目付留書書類	紙綴一括			870-7	
壹 (御目付留書)	灰色宿紙	漢数字朱書、以下「五」まで	安政6年正月15日～5月28日	横切継紙・1通	870-7-1
貳 (御目付留書)	灰色宿紙		安政6年5月27日～6月18日	横切継紙・1通	870-7-2
参 (御目付留書)	灰色宿紙		安政6年6月18日～7月4日	横切継紙・1通	870-7-3
肆 (御目付留書)	灰色宿紙		安政6年6月～10月29日	横切継紙・1通	870-7-4
伍 (御目付留書)	灰色宿紙		安政6年11月20日～12	横切継紙・1通	870-7-5

(御目付留書)	月晦日 (安政6年) 10月朔日～19日	横半半折仮綴・1冊	163
(御目付留書)	安政6年11月他	横切継紙、横切紙・4通、2枚	847-5
御目付留書書類 紙縫一括 漢数字朱書、以下「五」まで			873
壹 (御目付留書) 灰色宿紙	安政6年12月～安政7年閏3月27日		873-1
貳 (御目付留書) 灰色宿紙	安政7年閏3月19日～4月25日	横切継紙・1通	873-2
参 (御目付留書) 灰色宿紙	安政7年5月朔日～7月28日	横切継紙・1通	873-3
四 (御目付留書) 灰色宿紙	安政7年8月朔日～9月27日	横切継紙・1通	873-4
五 (御目付留書) 灰色宿紙	万延元年10月3日～12月28日	横切継紙・1通	873-5
御目付留書書類 紙縫一括			874
壹 (御目付留書) 灰色宿紙	万延元年12月～文久元年9月22日	横切継紙・1通	874-1
(御目付留書) 裏書途中より「一」～「四」、「一」～「三」と継紙、灰色宿紙共	文久元年9月24日～12月10日	横切継紙・1通	874-2
(御目付留書) 灰色宿紙	文久元年12月10日～12月16日	横切継紙・1通	874-3
(水戸混雑一件留)	万延元年	横長美・1冊	627-1
(目付役向留書) 黒野紙 (片面9行)	文久2年正月5日～同12月28日	仮綴 (16×12.3)・1冊	159
(御目付留書) 黒野紙 (片面9行)	文久3年正月3日～同6月20日	仮綴 (16×12.3)・1冊	160
(御目付留書) 黒野紙 (片面9行)	文久3年6月25日～同12月26日	仮綴 (16×12.3)・1冊	162
(御目付留書) 黒野紙 (片面9行)	文久4年正月朔日～同2月8日	仮綴 (16×12.3)・1冊	161
(御目付留書)	6月～9月	横切小型 (8.5×16)・1冊	435
(御目付留書) 長谷川深美仮養子一条等 灰色宿紙共	7月12日～8月16日	横切継紙・6通	852-4
御目付留書書類 紙縫一括			819-5
(御目付留書) 灰色宿紙	8月1日～10日	横切継紙・1通	819-5-1
(御目付留書) 灰色宿紙	8月17日	横切継紙・1通	819-5-2
(御目付留書)		縦切半・1冊	574
諸事留 (信政公跡目相統一件他)		半・1冊	740

御目付加役

(御目付加役5人=而仕度伺) 宿紙	文政8年5月	横切継紙・1通	772-5
勤方日記 手扣 依田源之丞利繼 国元	嘉永7年	横半半折仮綴・1冊	114
御行列帳扣 依田源之丞利繼	嘉永7年9月7日写	横半半折仮綴・1冊	132
御目付加役勤方日記 依田源之丞利繼	嘉永7年8月23日～同9月23日	横半半折・1冊	772-1
御目付加役中忌服届一例 宿紙	嘉永7年5月25日	横切継紙・1通	772-3
(御目付加役増員当番廻達) (山中) 小平次 刑左衛門様他3名	2月12日	横切継紙・1通	772-4
加役関係書類			805-7
(御用番於御宅七ツ時立会廻達振) 灰色宿紙		横切・1枚	805-7-1
(御用番於御宅七ツ時立会廻達振) 灰色宿紙		横切・1枚	805-7-2

学校懸

(馬各部位名称図写) 善繼	天保15年11月29日写	縦紙・1枚	619-13
文武学校関係書類 紙綴一括			833-7
弘化2年9月11日日記書抜 (佐久間修理素読相済御改申立) 北山安世	弘化2年9月11日	横切継紙・1通	833-7-1
(学校文武稽古出精之義小山田壱岐へ願書并同人返書写)	(安政3年) 丙辰正月26日	横切継紙・1通	833-7-2
(御有合刀身御尋=付申上書) 御武器奉行 灰色宿紙	正月	横切継紙・1通	833-7-3
(学校懸り之者共御賞筋之儀伺) 掛り御吟味役	11月10日	横切継紙・1通	833-7-4
稽古箇條奥之習 全 依田源之丞利繼写 内題「礼式箇條集註」奥書に嘉永2年7月16日 飯島與作勝休が伝写許可した文言あり 「伊勢家租伝礼儀」印	嘉永2年7月16日写	半・1冊	423
江戸御用稽古白鹿屯学 全 忠 隊学号令ハ江戸御屋鋪ニテ御用稽古ノ順次牧野氏大右衛門ヨリ借写置之	安政4年3月中旬写	横切小型 (8.5×12) ・1冊	460
御馬割	安政6年	横半半折・1冊	468
(文久元年・2年稽古延引留)		横切継紙・1通	835-38
(郷学取立之義=付伺) 松代庁 長野県御中	(明治元年) 辛未12月16日	縦紙・1枚	619-9
(太刀目録、制札高札等書式、料紙色紙短冊寸法等箇条留書) 破損大		半・1冊	414
煉身術令詞 蔵書印「松代文庫」		横切小型 (9.5×13.5) ・1冊	459
(劍術、槍術、弓術、砲術日割)		美・1綴	617-4
(学校教授方名面)		横切継紙・1通	865-5

(講武所・学校役附)		横切紙・1枚	868-20
弓術			
(日置流指南書) 伴道雪 前欠	慶長15年5月吉日	1巻	726
(弓術秘伝書) 藤田外記常勝 長谷川千助殿	延享元年5月吉日	1巻	734
暮目鳴弦秘伝書 奥書「長谷川隠士善員写受用」 破損大	天明(以下欠損)	半・1冊	426
日置流弓之目録、弓法度之次第、起請文前書之事 小幡助市直通 依田木工右衛門殿	文化元年6月2日	1巻	
軍用蒐録口義 箠之制 乾 依田利繼	弘化4年8月7日～9月23日(写)	半・1冊	399
軍用蒐録口義 箠之業 坤 依田利繼	弘化4年9月25日～同月末写	半・1冊	402
軍用蒐録口義 胡箠之制 乾 依田利繼	弘化4年9月29日～10月初写	半・1冊	401
軍用蒐録箠説口義 全 依田利繼	弘化4年11月初写	半・1冊	400
軍用蒐録 行装略上・下 丁間史料あり		半・1冊	406
軍用蒐録 忍緒 依田木工右衛門利貞 彩色図	横切美・1冊	横切美・1冊	445
軍用蒐録口義 単騎略 一・二巻		横半半折・1冊	470
軍用蒐録単騎略図 上・下		半・1冊	398
(就弓馬儀大概聞書) 奥書に以下の伝書記事「寛正5年11月 豊後守高志」「明応2年8月 賢家」「□□□年2月2日 上原豊前守高家」「寛永10年3月 吉田助左衛門尉豊綱」 破損大		美・1冊	412
(弓の設置法) 破損大		美・1冊	413
(揚弓問答集) 破損大		美・1冊	415
弓台法 池村氏		半・1冊	416
射学教直注書巻二 内題「日置流教直射学伝注書 上巻」		半・1冊	424
辻の之書(勸進の起源、間之勝負、弓置勝負、辻の矢代勝負、矢捌附体配、失之体拜) 破損大		半・1冊	425
暮目秘伝書		美・1冊	495
小笠原流弓法 一 破損大		美・1冊	427
小笠原流弓法 二・三 破損大		美(合綴)・1綴	428
小笠原流弓法 四 破損大		美・1冊	429
小笠原流弓法 (五カ) 破損大		美・1冊	430
小笠原流弓法 六		美・1冊	431
小笠原流弓法 七 奥書「応永24曆8月日 小笠原備前守持長」		美・1冊	432
(弓術稽古心得) 前欠		半・1冊	491
(弓の之事)		美仮綴・1綴	519

日之的并諸の図		1巻	727
日置流吉田家弓師系図 (騎射出役記) 灰色宿紙		1巻 横切継紙・1通	732 835-18
日置流火矢之法 金井清量		折紙、短冊・6枚	865-4

劍 術

戸川流劍術形目録		横半半折・1冊	467
----------	--	---------	-----

槍 術

覚天流早槍中段 窪田総右衛門久壽 依田清左衛門殿	寛政7年	1巻	725
覚天流早鎗長刀鑰鎗中段極意 早鎗製作卯可鎗合形合巻		半・1冊	417
覚天流単鎗稽古大概 全		半・1冊	494

兵 学

歩兵学 全 依田源之丞利継	安政3年9月9日	豎小型 (19.5×14) ・仮綴	473
白鹿屯学令 八田寛忠扣	安政3年11月改	横切半・1冊	472
陳学 (隊列号令) 依田利継扣	安政3年	横切小型 (8×13) ・1冊	380
陣学 全 (独語) 依田源之丞利継	安政4年正月	豎小型 (19.5×14) ・1冊	396
歩兵学 依田利継 フケ大 黒野紙 (片面9行)	文久3年2月	豎小型 (16×12) ・1冊	471
号令詞全 宮田敬之助著 内題「新式法郎西号令詞」 版本	元治元年改校	横切半・1冊	387
1861年式小隊学 依田忠継 天部欠損	慶応元年4月27日写	横切半・1冊	483
歩操新式鼓譜抄 撒兵 源貞写 慶応元年8月求実館蔵	慶応2年5月	横半半折・1冊	462
大隊号令詞略 全 歩操新式之写	慶応3年12月17日改	横切小型 (7×10) ・1冊	381
西洋軍制 全 柳川春三校刻 版本	明治元年9月例言	豎小型 (16×12.5) ・1冊	391
兵学令 (陣学)	(明治3年カ)	半 (仮綴) ・1綴	493
(陣学)		横切小型 (6.5×12) ・1冊	382
(陣学)		横切小型 (8×12.5) ・1冊	383
法国歩兵演範 散兵部 全		豎小型 (16×12.5) ・1冊	392
(大隊教練号令詞)		横切小型 (7×20) ・1冊	457
1861年式改正生兵小隊号令詞 全 版本 後欠		横切小型 (7×18.5) ・1冊	461

(生兵教練号令詞) 前欠 黒罫紙 (片面9行)		豎小型 (16×12.5) ・ 仮綴	463
隊学 全 依田源之丞利繼		豎小型 (19.5×14) ・ 仮綴	474
(隊学)		豎小型 (16.5×12.5) ・ 1冊	475
小隊教練書 黒罫紙 (片面9行)		豎小型 (16.5×12.5) ・ 1冊	476
法国歩兵演範 下 「松代文庫」蔵書印		豎小型 (19×13.5) ・ 1冊	478
小隊教練 破損大		横切美・1冊	479
(隊学) 前後欠		豎切半・1冊	484
(隊役人員表)		半 (仮綴) ・ 1綴	500

兵 法

新道流兵法太刀目録 落合量蔵保救 依田木工右衛門殿 序文あり	寛政12年極月13日	1巻	728
練訓練 上 内題「練卒訓語統編卷之一・二」 和蘭藉珀 子著		半・1冊	403
練訓練 中 内題「練卒訓語統編卷之三・四」		半・1冊	404
練訓練 下 内題「練卒訓語統編卷之五」 後欠		半 (仮綴) ・ 1綴	405
武教全書 奥書「三宜軒」		半・1冊	409
武教全書 奥書「三宜軒元志善永」		半・1冊	410
(兵法雄鑑卷第九)		半 (紙釘装) ・ 1 冊	420
旗令 奥儀伝 全		半・1冊	421
(兵法雄鑑卷第五)		半 (紙釘装) ・ 1 冊	422

砲 術

煩砲用法 後欠 (凡例、総目、卷一の一部)	弘化4年10月	美 (仮綴) ・ 1綴	496
(砲弾・西洋火繩製法)	嘉永3年2月6日試打	半 (仮綴) ・ 1綴	501
(高嶋流砲術稽古御入料凡取調申上書) 御普請方 7- 5-1・2紙縫一括	(安政元年) 正月	横切継紙・1通	833-7-5-1
(高嶋流砲術稽古玉薬料御繰廻金勘定取調書) 元ノ 灰色宿紙	(安政元年) 卯正月	横切継紙・1通	833-7-5-2
西洋砲術 (訓練覚)	安政2年6月	横長半・1冊	397
雷粉製之書	安政2年8月	横半半折・1冊	390
十三梅天砲 十二梅人砲 榴弾光弾 霧弾焼弾試	安政2年11月6日	横半半折・1冊	465
口上覚 (金児忠兵衛町打数ヶ所申立留) 金児忠兵衛 学校懸り連名様	安政3年正月16日～11 月18日	横切継紙・1通	820-1-17
(砲術御一覽被仰渡=付演習主意伺書) 佐久間修理門	(安政3年) 5月	横切継紙・1通	860-2

弟管鉞三郎・白井平左衛門 (御目付)			
袋 上書「砲術書類 利継忠扣」 反故紙		1袋	522
於大宝村演習	辛酉3月13日	折紙・1枚	522-1
佐久間格二郎親類名面		横切継紙・1通	522-2
(鏡版寸法書)		横切紙・2枚(1綴)	522-3
於大宝十二搦人砲演習	万延2年2月29日	横半半折(仮綴) ・1綴	522-4
三斤地砲打放玉着留	安政3年10月	横半半折・1冊	522-5
(演習日記)	安政3年～文久3年	横長半(仮綴)・ 1綴	522-6
覚(於道島十二寸人砲演習) 行司依田源之丞・菅鉞太郎	文久元年12月5・6日	横長美・1冊	522-7
於赤坂十三搦手天砲演習	(文久元年) 辛酉4月4日	横長半・1冊	522-8
十三搦彈着覚(於妻女山十三搦天砲演習) 佐久間修理門人白井平左衛門	4月13日	横長美・1冊	522-9
於藤沢辺三斤野戦銃打放掛分并諸道具取調扣	安政3年10月	横長半・1冊	487
(小銃・迅発撃銃装方装法)	安政3年11月21日	半(仮綴)・1綴	490
砲術書類綴		1綴	523
(彈着一覧表)	(安政4年力)	縦継紙・1通	523-3
(48斤36斤地砲及新式彈尺度重量書上) 朱書		縦紙・1枚	523-4
大銃方御足輕名面		折紙・1枚	523-6
(師範代頭取名面)		縦紙・1枚	523-7
(砲彈銀調合法及彈種値)		折紙・1枚	523-8
(砲彈製法書) 灰色宿紙		横切継紙・1通	523-9
3斤地砲火薬袋 清水紙(袋裏書)		1袋	523-11
(大日向渡火術稽古・金兒忠兵衛門弟於道島町打稽古御内慮伺留)	安政4年10月7日～9日	横切継紙・1通	820-1-11
(屋敷内雷粉製火薬移試伺) 佐久間修理行司管鉞太郎	安政5年2月29日	横切紙・1枚	868-8
口上覚(屋敷内雷粉製火薬移試伺) 灰色宿紙		横切紙・1枚	868-10
(砲術演習之義伺控) 金兒忠兵衛 柵津刑左衛門様・齊藤友衛様	安政5年7月18日	横切継紙・1通	820-1-10
赤坂ニ而十三搦天砲演習表	安政6年5月	堅小型(16×12) ・1冊	477
袋 上書「砲術種々製薬之法其外諸々之法アリ 依田利継忠扣」		1袋	524
(砲術種々製薬法諸器具図解綴) 依田利継 牛角天砲演習諸事控(安政6年5月)もあり		縦紙、切紙、折紙 (18点)	524
10月23日於道嶋6斤短地砲演習分職順次 佐久間修理行司管鉞太郎・依田源之丞 灰色宿紙	安政6年10月	横切継紙・1通	861-4

覚 (金1両2分砲術御手充金之内請取) 依田源之丞 祢津刑左衛門殿・大日向正司殿・金井弥惣左衛門殿 灰色宿紙	万延元年10月	横切継紙・1通	820-1-16
2月29日12梅人砲演習中附覚 (於大宝村) 佐久間修理 行司依田源之丞・菅鉞太郎 灰色宿紙	万延2年3月2日	横切継紙・1通	820-1-7
口上覚 (来ル13日大宝村ニ而12梅人砲町打稽古御届) 佐久間修理行司菅鉞太郎・依田源之丞 祢津刑左衛門 様・大日向正司様・金井弥惣左衛門様	文久元年3月11日	横切紙・1枚	820-1-4
(道島并赤坂船渡上ニ而町打ニ付御内慮伺)	文久元年11月14日	横切紙・1枚	820-1-6
覚 (於道島13寸天砲演習留) 依田源之丞・菅鉞太郎	文久元年12月11日	横長美・1冊	820-1-3
覚 (砲術入料書上扣) 灰色宿紙 820-1-1-1・2紙綴一括	文久元年12月	横切継紙・1通	820-1-1-2
覚 (砲術入料書上扣) 平左衛門	文久2年7月	折紙・1枚	820-1-1-1
12寸人砲演習中附覚 (於道島) 佐久間修理行司依田源 之丞・菅鉞太郎 灰色宿紙	文久元年12月	横切継紙・1通	820-1-5
大砲弾着覚 依田源之丞 3月12日於道嶋十三梅天砲演習	文久2年4月	横長美・1冊	395
硝石精煉法 全 (写) 書肆文溪堂発兌	文久3年	美・1冊	525
西洋流大銃伝書 全 依田忠致 黒罫紙 (片面9行)	慶応2年6月	豎小型 (16×12.5) ・1冊	480
(高野氏或翻訳書ノ説問答写、象山先生より白井氏へ 贈書之書付写) 与田忠致 黒罫紙 (片面9行)	慶応2年6月写	豎小型 (16.5× 12.5)・1綴	466
(足輕砲術教練申渡) 依田謙次郎 灰色宿紙	慶応4年正月19日	横切紙・1枚	786-3
西洋大小銃稽古打扣 フケ大	慶応4年2月~5月	横半半折・1冊	434
(学校砲術御用稽古申渡) 依田謙次郎	慶応4年4月13日	横切紙・1枚	786-2
(砲術訓練申渡) 依田謙次郎	慶応4年6月	横切紙・1枚	786-5
遠西火術範 序「天保(10)己亥春月書於星望堂之薬室 大塚同庵」 破損大		美・1冊	407
(酉年中町打稽古書上)	正月終日	横切継紙・1通	820-2-14
御用状 (大宝村ニ而打放仕度伺書) 并勘返状 平左衛 門 久作様	3月10日	横切紙・1通	820-1-13
(砲術稽古日程書上)	6月21日	横切継紙・1通	820-2-11
覚 (来ル8日丹波島河原大銃稽古ニ付人足6人拝借) 依田源之丞・菅鉞太郎 祢津刑左衛門様・斉藤友衛様	8月	横切紙・1枚	820-1-2
(丹波島河原ノ四ツ屋村表、水沢村東河原ノ西寺尾村 作場船渡場下、丹波島村河原、天王山ノ皆神山麓町 打ニ付御内慮伺留) 灰色宿紙	8月朔日~10月12日	横切継紙・1通	820-1-9
(赤坂延命地藏前ノ宮山江町打稽古、人足拝借伺) 金児忠兵衛行司三村大之助 祢津刑左衛門様・斉藤友衛 様	8月26日・27日	横切継紙・1通	820-1-15
於道島三斤野戰銃 十三梅天砲演習順次扣	巳10月24日	横長半・1冊	486
御用状 (弾代御手元扣書抜、借用大銃諸品返却御教示 願) 鉞太郎 源之丞様	11月2日	横切紙・1枚1通	790-3
於道島十二トイム地砲演習順次	12月4日	横長半・1冊	485

依田家／役職／家扶局

口上覚 (同門道嶋往来辺に赤坂山麓に而町打稽古伺案文) 裏書「書籍貸借覚」		横切継紙・1通	833-04-10
(砲術稽古心得留書)		横長半・1冊	188
(弾丸製造薬品配合帳)		横半半折・1冊	388
(赤坂砲術見分日書上) 灰色宿紙		横切継紙・1通	868-25
(中附并打前順次) 佐久間修理行司管鉞太郎・依田源之丞 前欠 灰色宿紙		横切継紙・1通	870-5
(雷粉製法)		美・1冊	411
銃槍術抄 フケ大		横半半折 (仮綴)・1綴	433
砲術書目		横半半折・1冊	458

家扶局

辞令・命令

家扶局辞令・命令関係書類			787
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治8年10月24日	横切紙・1枚	787-2
(家従申付) 依田稠美	明治8年10月24日	横切紙・1枚	787-11
(松代表暇許可) 依田稠美	明治10年4月17日	横切紙・1枚	787-14
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治10年7月14日	横切継紙・1通	787-10
(松代表暇許可) 依田稠美	明治11年10月19日	横切継紙・1通	787-18
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治12年2月11日	横切紙・1枚	787-13
(松代表暇許可) 依田稠美	明治13年4月17日	横切紙・1枚	787-6
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治13年8月28日	横切紙・1枚	787-8
(松代表暇許可) 依田稠美	明治14年10月18日	横切紙・1枚	787-4
(松代表暇許可) 依田稠美	明治16年5月3日	横切紙・1枚	787-17
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治18年3月25日	横切紙・1枚	787-20
(松代表暇許可) 依田稠美	明治19年4月18日	横切紙・1枚	787-16
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治19年9月15日	横切継紙・1通	787-22
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治21年9月28日	横切継紙・1通	787-26
(松代表暇許可) 依田稠美	明治22年11月8日	横切紙・1枚	787-25
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治23年4月15日	横切紙・1枚	787-21
(松代表暇許可) 依田稠美	明治24年4月24日	横切紙・1枚	787-19
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治24年10月5日	横切紙・1枚	787-5
(松代表暇許可) 依田稠美	明治25年10月21日	横切紙・1枚	787-3
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治26年9月4日	横切紙・1枚	787-15
(松代表暇許可) 依田稠美	明治27年11月24日	横切紙・1枚	787-1

(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治28年9月5日	横切紙・1枚	787-24
(松代表暇許可) 依田稠美	明治29年11月5日	横切紙・1通	787-7
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治30年9月9日	横切紙・1枚	787-9
(為詰番上東京申付) 依田稠美	明治32年9月23日	横切紙・1枚	787-12

出納簿

貨幣出納簿 東京芝琴平町2番地依田氏 明治8年11月御供 ニ出京、同10年4月御暇ニ帰国迄之計算／明治10年9月8日 松代出發在京中日記／明治12年4月上東京及滞在中金銭出 納簿／明治13年10月5日同14年10月マ在京日記／明治15年4 月上東京同16年5月帰郷迄之旅費及滞在中日記／明治16年 10月5日同17年11月マ在京日記	明治8年～同17年	横半半折・1冊	266
下総小見川及常陸息栖村辺御遊獵伊達様御同行之節入 料調 依田稠美	明治16年2月20日～28 日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	335-1
記 (伊達従五位様御一同深谷御獵之節御入料) 依田 稠美	明治16年12月9・10日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	335-2
日光御参詣并伊香保御遊覧入料帳 依田稠美	明治18年8月14日～24 日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	327
日光御遊覧并伊香保御湯治御勘定帳 依田稠美	明治18年8月14日～24 日 (同18年8月31日作 帳)	横長半・1冊	325
臨時入金簿	明治18年11月7日～同 23年9月13日	横半半折・1冊	281
記 (伊達様御同行野州御遊獵之節御入料) 依田稠美	明治20年3月26日～28 日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	335-3
塩原御入料扣 依田稠美	明治20年8月5日～10月 2日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	329
記 (鎌倉5浦賀辺御遊覧之節御入料) 依田稠美	明治21年2月24日～27、 同22年7月21・22日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	328
記 (小泉町伊達宗陳様御同行豆州熱海及伊東地方御遊 獵之節御入料) 依田稠美	明治22年1月8日～21日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	335-4
予州宇和島へ被為入候御入料御勘定帳 依田稠美	明治22年4月23日～5月 26日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	331
塩原并那須近傍御遊獵御入料扣 依田稠美	明治22年10月19日～26 日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	336
記 (塩原行御入料支払) 依田稠美	明治23年7月24日～8月 8日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	330
塩原御獵御入料調 (献立表付載) 依田稠美	明治25年3月26日～4月 6日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	332
久能山御参詣之節諸御払扣 (献立表付載) 依田稠美	明治25年6月25日～28 日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	333-1
塩原御別邸へ被為入候諸御勘定調 (献立表付載) 依 田稠美	明治25年7月15日～8月 15日	横長半 (327～336 は紙縫1括)・1冊	333-2
金銭出納簿 依田	明治26年11月～同33年 10月	横半半折 (列帖 綴)・1冊	267
出納日記 依田扣	明治26年11月1日～同	横半半折・1冊	256

野州塩原御遊獵御勘定帳（献立表付載）	依田稠美	27年6月23日 明治27年10月27日～11月4日（同27年11月7日作帳）	横長半（327～336は紙縫1括）・1冊	334
塩原御供御入用下調	依田扣	（明治）31年8月1日～14日	横長半・1冊	326
久能山、塩原行書類				333
御遊獵伊達様御同行之節入料書類				35

日 記

日記、東京行雜記	依田	明治12年4月8日～同13年4月28日	横半半折・2冊合綴	246
東京晴雨日記	依田氏	明治15年4月10日～同16年5月7日	横半半折・1冊	241
記（日光・榛名等社参費用勘定取調書）	依田稠美	明治18年8月14日～31日	横長半・1冊	303
上京手扣	依田稠美	明治19年10月14日～25日	横小型半折（9.5×12.2）・1冊	240
日記（館林行） 5月3日1泊だけ	表紙には「館林行」とあるも、明治20年	明治19年10月26日～同20年7月1日	横切小型（8.8×12.5）・1冊	232
日記（塩原行）		明治20年第7月1日～11月30日	横切小型（8.8×12.5）・1冊	235
（詰番日記）		明治20年8月～同33年10月	半・1綴	448
日記		明治21年2月1日～3月25日	横切小型（8.8×12.3、8.1×12.1） ・2冊合綴	239
那須塩原御獵手記		明治22年10月19日～27日	横小型半折（9.8×12.7）・1冊	236
日記 虫損		明治23年5月14日～12月末	横小型（8.2×12.3） ・1冊	233
（塩原御別邸行御供日誌）		明治23年7月24日～8月8日	半・1綴	617-5
日記		明治24年1月1日～11月8日	横切小型（8.5×12.3）・1冊	234
鎌倉御滞在中雜用日記	依田扣	明治27年6月27日～9月20日	横半半折・1冊	255
塩原（獵）日記		明治27年10月27日～11月4日	横切小型（8.3×9.4）・1冊	230
日記		明治28年11月23日～同29年4月13日	横半半折・1冊	248
鎌倉日誌	八松園	明治29年3月8日～5月15日	横半半折・1冊	257
御出先御用留	依田扣	明治29年5月6日～10月28日	横半半折・1冊	250
日記（起相州国府津）		明治29年9月8日～10月	横半半折・1冊	249

塩原御供日記 虫損	9日 明治29年10月14日～28日	横半半折・1冊	251
出入日記	明治30年11月1日～同 31年10月19日	横半半折・1冊	252
(那須・塩原御獵御共日誌)	明治30年11月18日～28 日	半・1綴	623-3
記(上総地方御遊獵御入料調)	明治30年12月26日～29 日	横長半・1冊	254
(那須塩原行日記)	明治31年8月1日～14日	横小型半折(9.5 ×12.5) 265-1と合 綴・1冊	265-2
日記	明治32年5月17日～6月 29日	横半半折・1冊	290
日記(熱海御獵)	明治32年12月25日～同 33年1月5日	横半半折・1冊	253

その他

帰国ニ付諸事手扣 依田 後欠	明治11年10月	横半半折(265-2 と合綴)・1冊	265-1
帰国用意物 依田扣	明治13年4月	横半半折・1冊	245
帰国準備扣	明治27年11月	横半半折・1冊	278
帰国日記 依田綱美	明治33年10月20日～22 日	横小型半折(8.5 ×12.5)・1冊	237
御二女田鶴子様御結婚之儀真田家家扶より通知ニ付廻 状 依田 山口様他5名 裏書「松代町鈴木雄之助 屋代 警察署松代分署警部林藤次郎宛盗難御訴」	6月13日	横切紙・1枚	881-6

海軍省

(海軍用火箭ノ管台詳説) 「海軍省」茶罫紙(片面13 行)	(明治2年)	美(仮綴)・1綴	497
^(次) □軍官員給俸定則 附賑恤 虫損大	明治3年閏10月19日	縦小型(19.5×14) ・1冊	393
(見習士官撰抜之概則)	明治4年5月	横美半折・1冊	394
(海陸軍律) [後欠]	明治4年8月28日	美仮綴・1綴	518
兵部省職制表 依田忠致	明治(4年)辛未12月	縦紙・1枚	777-2
野砲一大隊仮人馬表 依田忠致	明治(4年)辛未12月	縦紙・1枚	777-3
英第一リイドル単語暗誦録 金子蔵	明治5年6月	横半半折・1冊	389
(砲彈各種取調報告書) 鹿児島海軍製造所 海軍武庫司 御中 「海軍省」青罫紙(片面8行)	明治7年8月20日	半・1綴	506
八センチメートル野砲演習式 「海軍省」青罫紙(片面 10行)	明治7年12月3日	美・1冊	502
(武器製造代金支払申出書) 武庫司依田忠致 海軍出	明治8年5月14日	半仮綴・1綴	509

張所御中 「海軍省」青罫紙 (片面8行)			
諸兵器彈藥及附屬品受払表 14等出仕依田忠致 相違無旨として奥書に「海軍秘書官小森沢長政」 「海軍省」青罫紙 (片面10行)	明治8年6月中	美・1冊	504
(各艦船備付兵器彈藥等につき要望書案文及び兵器・付屬品等數量表) 兵器掛依田忠致 「海軍省」青罫紙 (片面10行)	明治8年7月14日	美 (2冊) ・1綴	503
(諸砲舍備附兵器調) 「海軍省」青罫紙 (片面8行)	明治8年9月調	半 (仮綴) ・1綴	499
(長崎赴任依田氏送別漢詩) (依田忠致)	(明治8年)	横切紙・1枚	780-33
記 (器具請取) 中邨忠兵衛 兵器局御役所 青罫紙 (片面10行)	明治9年1月	半・1綴 (2枚)	523-1
横須賀出張中日記 兵器局依田忠致	明治9年3月19～31日	横半半折・1冊	85
横須賀造船所貯蔵 (21センチメートルクルップ砲及び部品目録) 「海軍省」茶罫紙 (片面13行)	明治9年3月到着	美仮綴・1綴	512
大砲置所仮物取建方御入用取調書 芦川仙吉代鈴木幸吉 青罫紙 (片面8行)	明治9年3月	半・1冊	492
(3週間加養願) 兵甲第8号 海軍省14等出仕依田忠致 海軍兵器局副長海軍少佐末川久敬殿 同日付海軍大軍医加賀美光賢の診断書添付、願書裏書に明治9年9月20日内乾278号で聞届書 (朱書)	明治9年9月18日	豎紙・2枚	523-2
(病氣加養願、診断書添、写) 依田忠致 海軍兵器局副長海軍少佐末川久敬殿	明治9年9月18日	豎紙・1枚	619-12
(廢物機器彈藥鹿兒島製造所江差廻シ申出書) 兵器掛 出張所御中 「海軍省」青罫紙 (片面8行)	7月8日	半仮綴・1綴	515
小隊令 依田忠致		横切小型 (8.5×14) ・1冊	384
銃兵令詞		横切小型 (8.5×16) ・1冊	385
(龍驤艦・日進艦・東艦 物品數量表) (諸艦備付実弾・榴弾・信管等兵器調) 「海軍省」青罫紙 (片面10行)		美・1綴 (3枚)	489
諸艦備附兵器調 「海軍省」青罫紙 (片面8行)		半 (8冊) ・1綴	498
(武庫裝備品調) 「海軍省」青罫紙 (片面8行)		半・1冊	507
(砲種砲数砲配等一覽表) 「海軍省」青罫紙 (片面8行)		美仮綴・1綴	508
(長四斤一砲隊彈藥器械調) 「海軍省」青罫紙 (片面8行)		半仮綴・1綴	511
武庫職制 「武庫司」青罫紙 (片面8行)		半・1冊	514
水兵本部 (長4斤砲2門裝備品書上) 「海軍省」青罫紙 (片面8行)		半仮綴・1綴	516
武庫職制 「海軍省」青罫紙 (片面8行)		半・1冊	517
大砲及属具表 印刷物 表のみ		豎紙・1枚	523-5
(隊員官名)		折紙・1枚	523-10
(東艦砲実弾図面等)		豎継紙 (5通) ・1綴	528

(日進艦砲空弾原型図等)		縦継紙 (8枚) ・ 1綴	529
(第一丁卯艦砲榴弾原型図等)		縦継紙 (3枚) ・ 1綴	530
(小型銃部品等図面)		縦紙 (5枚) ・ 1綴	531
(彈正図他図面)		縦継紙 (4枚) ・ 1通	532
(兵器図面)		縦紙 (2枚) ・ 1綴	533
第一陳之図		縦継紙 (3枚) ・ 1綴	534
歩兵一聯隊人員表		縦紙 ・ 1枚	777-4
(軍艦搭載砲裝備) 海軍省青罫紙 (片面8行)		半 ・ 1冊	408
模爾望砲二十徒乙母投發試表 破損大 「須氣酒屋藏書」 黒罫紙 (片面8行)		美 (仮綴) ・ 1綴	488
(砲彈製法) 前欠 黒罫紙 (片面9行)		縦小型仮綴 (16.5 × 12.5) ・ 1綴	505
(彈藥製法)		美仮綴 ・ 1綴	510
(砲器図面) 前欠		縦継紙 ・ 1通	526
(砲器付属品図面)		縦継紙 ・ 1通	527
辞令・命令			
(海軍省・長野県辞令) 長野県 深川清住町万年橋側靈雲院内蟻川賢之助同居依田謙次郎殿 封筒			786-23
(依田謙次郎、伝次郎、忠致辞令写) 青色罫紙	明治元年11月～明治8年9月9日	縦紙美大半折 ・ 1枚	786-21
(免足輕砲術世話方) 依田謙次郎 灰色宿紙	明治2年11月22日	横切紙 ・ 1枚	786-8
御書付 (明治3年辞令) 折封	明治3年6月		786-24
(庁出頭命令) 理事 依田謙次郎	明治3年6月24日	横切継紙 ・ 1通	786-24-1
(兵学二等助教申付) 依田謙次郎	明治3年6月25日	横切紙 ・ 1枚	786-24-2
御書付 (兵学権助教申付) 松代県庁 依田謙次郎 折封	明治4年9月2日	横切継紙 ・ 1通	786-25
(謙次郎武庫司海軍掛出頭命令写) 海軍省 長野県 「筑摩県 東京出張」青色罫紙 (片面8行)	(明治5年) 壬申4月30日	縦紙半折 ・ 1枚	786-23-1
(謙次郎武庫司海軍掛出頭命令) 長野県 依田謙次郎 「長野県 東京出張」青色罫紙 (片面8行)	(明治5年) 壬申4月30日	縦紙半折 ・ 1枚	786-23-2
(等外1等出仕、但造船局分課) 海軍省 依田謙次郎	(明治5年) 壬申5月2日	横切紙 ・ 1枚	786-18
(武庫司等外一等出仕) 海軍省 依田謙次郎	(明治5年) 壬申11月4日	横切紙 ・ 1枚	786-22
(来28日午前10時出頭命令) 本省 海軍武庫司14等出仕依田忠致 「海軍省」青色罫紙 (片面8行)	明治8年1月25日	縦紙 ・ 1枚	780-32
(貯蔵彈藥等調査トシテ長崎表出張) 海軍省 海軍武庫司14等出仕依田忠致	明治8年1月28日	横切紙 ・ 1枚	780-25

依田家／役職／戸籍取調掛助

(任事務掛兼)	長崎海軍出張所 武庫14等出仕依田忠致	明治8年5月6日	横切紙・1枚	780-26
(兵器局配属)	海軍省 14等出仕依田忠致	明治8年5月8日	横切紙・1枚	780-28
(補14等出仕)	海軍秘書官正六位遠武秀行 依田忠致	明治8年5月8日	縦紙・1枚	780-35
(帰京命令)	長崎海軍出張所 依田忠致	明治8年7月21日	横切紙・1枚	780-27
(倉庫課砲器掛配属)	兵器局 依田忠致	明治8年9月9日	横切紙・1枚	780-30
(司礮課配属)	海軍武庫司 依田忠致	明治7年12月20日	横切紙・1枚	780-29
(補海軍武庫司14等出仕)	海軍秘書官正6位森沢長政	明治7年12月23日	縦紙・1枚	780-34
	海軍武庫司15等出仕依田忠致			
(故忠致江貸渡書籍返却命令)	兵器局庶務課 依田稠美殿	3月10日	横切紙・1枚	780-31
(庁出頭命令)	理事 依田謙次郎	3月24日	横切継紙・1通	786-7
(免兵学2等助教)	依田謙次郎	3月25日	横切紙・1枚	786-19

戸籍取調掛助

(戸籍編成=付長野県廻達扣)	依田忠継扣	(明治4年) 辛未10月10日	半・1冊	794-3
依戸籍筆工覚	一輪堂	明治5年正月	横半半折・1冊	794-1
依戸籍筆工料留	破損大	明治5年5月	横長美・1綴	794-2
依(戸籍編成雛形)	第4区依田忠継		半・1冊	794-4

勤役／大手門番

大手勤仕録		延享～天保	横切美・1冊	90
御供廻腰掛江入置候一件	御番所内代返番之義問合一件	宝暦2年～文化2年	横半半折・1冊	130
	昼之内通物 交代途中御三家様御両卿様方江下座心得御達 依田忠順			
大手御番所御使役勤仕録		宝暦9年～享和元年	横切半・1冊	112
御広間方御供方着服其外心得	依田忠順控 江戸記事	天明3年～嘉永元年	横美半折・1冊	107
	末尾1丁欠損			
御取次役勤方日記、巻之下	江戸記事	天明7年～寛政5年	横切美・1冊	108
大手御番所勤方	依田忠順控 22帳之内	天明8年正月	横美半折・1冊	51
御使者勤方	依田忠順 江戸	文化10年早春写	横半半折・1冊	110
大手御役被蒙仰候節御相番様被仰合書	依田忠順控	文化12年8月	横美半折・1冊	54
	表紙貼紙「依田忠順控」の下は切取 22帳之内、袋入15帳之内			
大手御番所下座帳	依田忠順 表紙貼紙「依田忠順」の下は「金井好久」	文化13年5月	横美半折・1冊	55
	22帳之内、袋入15帳之内、表紙貼紙「依田忠順」の下は「金井好久」			
大手御門両札之写	依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」	文化13年7月写	横美半折・1冊	52
	の下は「金井好久」 22帳之内、袋入15帳之内			

御番所内代返番之儀問合一件、昼之内通物、御供廻腰掛江入置候一件、交代途中御三家様御奥様方江下座心得御達 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は「金井好久」 綿内氏も借用写、西丸大手書拔ニ相見候付是江書入、22帳之内、袋入15帳之内、	文化13年7月写	横美半折・1冊	56
大手御門夜中出入御帳認メ方 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は「金井好久」 22帳之内、袋入15帳之内	文化13年7月	横美半折・1冊	57
火事御注進状取計、御櫓江立合候事、高見江人揚候事、御門継心得両条、火事装束相用候心得書 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順」の下は「金井好久」 奥村安茂士より得写、22帳之内、袋入15帳之内	文化13年7月写	横美半折・1冊	58
御小姓組御門継之事、御広式文使之事、御城中江弓入候節之事、御坊主衆江御側衆様与御家来も御門継之事、桜田通大手江御話一件 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は「金井好久」 綿内満教も借用写置、22帳之内、袋入15帳之内	文化13年7月写	横美半折・1冊	59
大手交代御行列帳、同御当番中出火之節御行列、同御非番中出火之節御行列 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は「金井好久」 綿内氏も借用写、22帳之内、袋入15帳之内	文化13年7月写	横美半折・1冊	61
公家衆参向之節心得、腰掛江御供廻り入置候心得、御成之節御煩御当番書心得、桜田御櫓江御成之節心得 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は「金井好久」 綿内氏借用写、22帳之内、袋入15帳之内	文化13年7月写	横美半折・1冊	62
綾姫君様山王江御宮参之節大手御番所勤方伺書、大納言様浅草筋江御成之一件、大手御門役中御当番并御非番之節面番立番御人割覚 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は「金井好久」 奥村安茂士より得写、22帳之内、袋入15帳之内	文化13年7月写	横美半折・1冊	63
大手御成一件御成之節人留心得 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は「金井好久」 前嶋好亮士より得写、22帳之内、袋入15帳之内	文化13年7月写	横美半折・1冊	65
御門継書拔、夜中御門ニ而心得、夜中不時出入書拔 依田忠順 表紙貼紙「依田忠順」の下は「金井好久」 綿内氏も借用写、袋入15帳之内	文化13年7月写	横美半折・1冊	73
御張紙写 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は「金井好久」 大手御番所ニ而写之、22帳之内、袋入15帳之内	文化13年11月	横美半折・1冊	53
御広間控 依田忠順控 江戸記事	文政6年～天保2年	横半半折・1冊	95
御広間帳扣 江戸記事 袋綴内挿入文書あり	文政6年～嘉永6年	横半半折・1冊	103
込合之節御供置之図 非常之節御供備之図并御略供之図 依田忠順	文政8年5月	横半半折・1冊	122
御広間心得 依田忠順	文政10年早春写	横半半折・1冊	131
大手御番所見聞記録抜書 依田甚兵衛（忠順） 22帳之内	文政10年3月写	横半半折・1冊	71
御成平伏規矩合 依田忠順控 22帳之内	文政10年9月吉日	横半半折・1冊	72
三町（四方火消）勤方、公儀被仰出覚 依田忠順	文政10年9月中秋日	横半半折・1冊	83
公家衆参向之節心得 腰掛江御供廻り入置候心得 御成之節御煩御当番書心得 桜田御櫓江御成之節之心得 依田忠順	寛延元年3月20日～寛政10年4月26日（文政10年9月上旬写）	横半・1冊	141

大手御番所被仰渡候御書付定、下馬ヨリ下乗橋迄人数召連候覚、大手御番中事、大手内桜田下馬之一件、大手御門勤方覚 依田忠順控 22帳之内	文政10年10月下旬写	横半半折・1冊	68
御門継之事、夜中箱番ニ而之心得、夜中不時出入書抜 依田忠順写	享保7年～文政8年（文政10年10月下旬写）	横半半折・1冊	102
御小性組御門継之事 御広式文使之事 御城江弓入候節之事 御坊主衆江御側衆様之御家来 御門継之事 桜田通大手江御詰一件 依田忠順	寛政9年2月9日～文化3年12月29日（文政10年10月5日改）	横半半折・1冊	138
御門帳認方（大手御門夜中出入覚帳） 依田忠順	文化13年（文政10年10月上8日写）	横半半折・1冊	113
御非番中出火之節騎馬役心得 依田甚兵衛写	文政10年12月3日写	横半半折・1冊	119
口上断之写 依田忠順	文政11年2月	横半半折・1冊	129
綾姫君様山王江御宮参之節 大手御番所勤方何書 大納言様浅草筋江御成一件 大手御役中御当番并御非番之節面番立番御人割覚 依田忠順	文政11年3月写	横半半折・1冊	126
御成一件御成之節入留心得書 依田忠順	文政11年3月9日写	横半半折・1冊	82
文化3年4月晦日増上寺御成一件扣 依田忠順写 綿内満教内扣	文政11年3月15日写	横半半折・1冊	127
新詰振合控 依田忠順 裏表紙「依田忠順」の上に抹消貼紙あり	文政12年9月吉日	横美半折・1冊	109
御奉書火消心得 依田忠順控 22帳之内	文政12年10月上旬写	横美半折・1冊	69
御規式御成定日、御成一件、大手御番所取計一件、大手御番所番入覚 依田控 22帳之内	文政12年11月10日	横美半折・1冊	70
御防御書出并方角覚 依田忠順控 綿内満久 5写	宝暦4年4月～宝暦5年5月（天保3年正月月中旬写）	半・1冊	209
（大手御番所勤方覚）（御規式御成定日、御成一件、大手御番所取計一件、行列之次第、番人之覚、大手御番所并外固着服覚）	天保6年11月28日写	横美半折仮綴・1綴	88
大手御番所御書付類、御讓書、日光御法会写書 依田忠順控 奥村氏借用	享保6年～寛政4年（嘉永3年9月中旬写）	横半半折・1冊	106
大手御番所下座行儀之次第并御成之一卷、但人留方立切等之事 宮澤格茂 奥村氏ヨリ借用	正徳6年～天保2年（嘉永5年3月写）	横半半折・1冊	96
（西丸大手御門 6 出候何書写、正徳6年～文政12年）解題 宮澤氏ヨリ借用	嘉永6年5月写	横切美・1冊	91
祭礼御馬割	万延元年8月	横半半折・1冊	81
大手御非番中騎馬心得 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は削られているが「金井」か 22帳之内、袋入15帳之内		横美半折・1冊	60
大手御門御門継 依田忠順控 表紙貼紙「依田忠順控」の下は削られているが「金井好久」 宝暦3年～寛政6年、22帳之内、袋入15帳之内		横美半折・1冊	64
柳営周歳録 依田忠順控 22帳之内		横美半折・1冊	66
大手御門外固并着服其外定 依田忠順 22帳之内		横美半折・1冊	67
大手御番所惣下座半下座之覚		横半半折・1冊	80

諸御礼之次第帳之内ヨリ撰出留置		横半半折仮綴・1 綴	84
勤方万事扣書（諸大名年中出仕日并着服、城内御番所勤仕、大手御門番并外固着服、御規式御成定日、殿中座席、所々火之番、上野増上寺參詣之支度、諸大夫被仰付面々、布衣被仰付候御役、大坂御城加番小屋場、諸大名嫡子座席、越前家之事、御門業之列、御精進日、布衣以上御役、御目見以下、火事寄場）金井好久		横美半折・1冊	89
大手御番所御使役勤仕録		横切美・1冊	92
大手御番所万端心得 御役場方御番士扣 依田忠順 大手勤番被仰付候節と交代迄之心得、御武器物頭御出番之節、御退番之節、面番代り平士御出番之節、歩士出平士御出番之節、平士中代り、跡出、先帰、御番所ニ而昼之心得、夜中心得、箱番之心得 御鍵番、御帳役、不寝、御成之節、平伏、人払、御使者、御給仕、内番、鶴之首立番、鶴之首見廻り、下馬外固、山王祭礼之事、用意之品、振合覚 竹箋見出付		横美半折・1冊	104
(御番所勤方覚)		横美半折・1冊	120
御本供 御城下御野掛 御曲輪内 出火出水之節御立退 御行列帳 依田忠順控		横半半折・1冊	133
御門番勤方覚 前欠		美・2枚	619-4
諸御門番所御法令書 中雀御門、中之御門、大手三之御門		豎紙・1枚	620-11
(御門番勤方書上、附御社參御近例) 御社參御近例は	安永5年4月	美・1綴	621-4
御供下座所絵図面		豎小型 (19.5 × 13.7) ・1冊	636
(御広間見取図) 御取次役扣		(54.5 × 37.5) ・1 鋪	637
(大手御門番被蒙仰=付達) 御役場方御物頭 灰色宿紙		横切継紙・1通	829-12
小絵図			
大手門番役向関係小絵図			867
琉球人登城之節固絵図 3枚之内 忠順 酒井雅楽頭様御番中 867-1~58紙紐一括	文化3年10月22日	豎紙 (28 × 39.5) ・1枚	867-1
琉球人上野并御老中方若年寄方江相廻り候節之絵図 3枚之内 依田忠順 酒井雅楽頭様御番中 貼紙	文化3年10月22日	豎紙 (28 × 39.5) ・1枚	867-2
琉球人登城之節外固絵図 3枚之内 依田忠順 酒井雅楽頭様御番中	文化3年10月22日	豎紙 (27.5 × 39.5) ・1枚	867-3
琉球人登城之節御出仕之方様御供廻り操入候節立番図 依田忠順 松平下総守様奥平大膳大夫様御番中 貼紙	寛延元年11月	豎紙 (27.5 × 39.5) ・1枚	867-4
琉球人登城付古沢半右衛門方持參絵図面 依田忠順	寛延元年12月	豎紙 (27.5 × 39.5) ・1枚	867-5
琉球人上野并御老中様方若年寄様方江相廻り候節之絵図 依田忠順 明和元年同様、寛政8年同様	寛政2年11月	豎紙 (27.5 × 39.5) ・1枚	867-6
朝鮮人之節立番絵図面 御徒目付秋山豊五郎殿小川孫七郎殿於蘇鉄間被相渡候 依田忠順	宝暦14年2月11日	豎紙 (28 × 39.5) ・1枚	867-7
当御門御橋御普請=付玄猪之節箒場并御橋江提灯置絵	宝暦13年10月3日	豎紙 (27.5 × 39)	867-8

図 2枚之内 忠順 牧野駿河守様御番中		・1枚	
当御門御橋御普請ニ付玄猪之節箒場所并御橋江提灯置場所 絵図 2枚之内 御橋江提灯置所絵図 忠順 牧野駿河守様御番中 貼紙	宝暦13年10月3日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-9
当御門外御畳蔵前御堀出洲浚土置場所絵図面写 依田忠順 堀田相模守様御番中	文化5年8月16日	縦紙 (28×39.5) ・1枚	867-10
当御門御橋掛直ニ付木置場竹竹馬出来ニ付明朔日立番之儀御徒目附之番所江伺候処、此絵図之通可相勤旨御徒目附衆被申渡候ニ付絵図写 忠順 牧野駿河守様御番中 貼紙	宝暦13年8月29日	縦紙 (28×39.5) ・1枚	867-11
当御門御橋掛直ニ付為御見被成候絵図面写 忠順 奥平大膳大夫様御番中 貼紙	文化8年2月10日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-12
内桜田内御櫓江被為成候御沙汰付両番申合伺書并平伏場所等相伺候処、御附札濟絵図面 2枚之内 依田忠順 酒井左衛門尉様此方様御番中	寛政7年8月	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-13
神田祭礼 3枚之内 忠順	文化12年	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-14
神田祭礼立固絵図 忠順	文化12年9月13日	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-15
神田祭礼御供廻り橋置候場所絵図 依田忠順	文化12年9月13日 伺濟	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-16
御神忌濟町入御能之節内固伺濟絵図 2枚之内 依田忠順 戸田采女正様御番中	文化12年5月12日	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-17
御神忌濟町入御能之節外固伺濟絵図 2枚之内 忠順 戸田采女正様御番中	文化12年5月12日	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-18
公方様大手御門通御夜分提灯之図 忠順 安永6年ヨリ相用		縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-19
紅葉山御成之節図 依田忠順		縦紙 (28×39.5) ・1枚	867-20
大納言様西丸御移徙ニ付御目見場所絵図面 忠順 桑原善兵衛様ニ御徒目附鈴木孫四郎殿杉浦文左衛門殿を以御渡、御名内青木浪江	明和6年12月8日	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-21
外腰掛仮休息所并幕張之絵図面 忠順 松平越中守様小笠原左京大夫様御番中 貼紙	天明5年10月晦日	縦紙 (28×39.5) ・1枚	867-22
外腰掛御修復付伺書2通并絵図1枚 依田忠順 松平甲斐守様御番中	寛政8年3月23日	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-23
外腰掛御修復ニ付仮腰掛補理之絵図面 忠順 松平下総守様御番中 貼紙	寛政7年3月11日	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-24
下御勘定所御修復出来入口明直候付水溜桶置場所替候付御当番所江之御届并絵図面差出候控 依田忠順 松平甲斐守様酒井雅楽頭様御番中 貼紙	寛政5年12月29日	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-25
御勘定所入口并柵矢来建直シ注文絵図面 依田忠順 堀田相模守様御番中 貼紙	文化10年5月9日	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-26
於二丸蓮光院様江献上物之節絵図面 忠順 戸田采女正様御番中 貼紙	天明6年11月2日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-27
惣献上之節内堅絵図 竹千代様御誕生之節 4枚之内 但3枚写置 忠順 戸田因幡守様酒井修理大夫様御番中	寛政4年6月	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-28
惣献上ニ付内外柵立御絵図 2枚之内 忠順 奥平大膳	宝暦12年11月朔日	縦紙 (27.5×39)	867-29

大夫様御番中		・1枚	
惣献上=付内外樹立御絵図 2枚之内 忠順 奥平大膳 大夫様御番中	宝暦12年11月朔日	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-30
竹千代様御誕生之節献上外固絵図 6枚之内但外5枚ハ 有来引合置 忠順 酒井修理大夫様此方様御番中	寛政4年7月13日	縦紙 (28×39.5) ・1枚	867-31
大手御門持場絵図 依田忠順 阿部伊賀守様酒井雅楽頭 様御番中	享和3年8月	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-32
大手御門渡御櫓御修復付朱引之通竹木御取建絵図面之 写 依田忠順	文化10年8月13日	縦紙 (28.5×39.5) ・1枚	867-33
大手御番所廻り場絵図写 忠順		縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-34
大手御門枳形内張番所御修覆付仮番所絵図 依田忠順 酒井修理大夫様御番中	寛政8年8月25日	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-35
大手御門外御橋御修覆有之候=付御橋絵図 坂本与右衛 門持参之 忠順	寛保2年8月2日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-36
大手御門通御之節 忠順		縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-37
大手御門御橋御掛直御修覆付為御見被成候絵図面写 依田忠順 酒井左衛門尉様御番中 貼紙	寛政7年9月8日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-38
御台様御着帯為御祝儀惣献上=付内外固伺済絵図 2枚 之内 依田忠順 此方様御番中	寛政7年12月	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-39
御台様御着帯為御祝儀献上=付内外固伺済絵図 2枚之 内非番方 忠順 此方様御番中	寛政7年12月	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-40
当番半固之図 忠順		縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-41
御橋半分宛御修覆北之方出来南之方江御取掛之節鶉首 立固場所江竹矢来御取建付都而立固有之候節北之方 江相立可申竹矢来脇江相立可申哉伺候絵図 依田忠 順 貼紙	文化8年3月朔日	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-42
御流玄猪外固御箒之図 忠順	文化12年6月直之	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-43
御番所御修覆=付仮御番所之節大手御門通御之節主人 御目見并番士平伏場所取絵図 忠順 本紙2枚=認有之 貼紙	寛政8年8月6日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-44
御転任御兼任被為済候御祝儀御能之節芝居町共罷出候 =付内外立固絵図 忠順 酒井左衛門尉御番中	文化3年4月朔日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-45
御兜献上=付内外固絵図 2枚之内 忠順 此方様御番中	寛政5年4月28日	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-46
御兜献上=付内外固絵図 2枚之内 外固 依田忠順 此方様御番中	寛政5年4月28日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-47
東腰掛御修覆=付仮腰掛御補理候得共間挟=付御出仕日 等之節仮腰掛左右江運番所指置番人引移候様御達= 付差出候絵図面扣 忠順 此方様御番中	寛政8年3月26日	縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-48
平川口 5 一橋様神田橋御屋形江通御之節 忠順		縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-49
三丁固場絵図 忠順扣	嘉永2年5月写	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-50

和田倉川 ⁵ 常磐橋御門通御之節 忠順		縦紙 (27.5×39) ・1枚	867-51
(東腰掛番人絵図) 忠順 松平越中守様御番中 貼紙	延享2年10月7日	縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-52
御尋 ² 付書上候図面 5枚之内 (外腰掛番人) 忠順	文化12年12月24日	縦紙 (28×39.5) ・1枚	867-53
(内腰掛番人図) 2枚之内 忠順		縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-54
遠成之節当御門通御平伏組手桶之図 忠順		縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-55
御番所御修覆 ² 付仮御番所之節大手御門通御之節主人御目見并番士平伏場所絵図 忠順 小笠原左京大夫様此方様御番中 貼紙	安永4年12月	縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-56
御本丸大手御番所図 依田忠順		縦紙 (27.5×38.5) ・1枚	867-57
袋 上書「諸御礼席并献上物御疊目図 拜礼席絵図面入」 忠順 袋入		縦紙、縦継紙 (25×16、25×63.5、14×20 (5枚)、19×13、25×16、25×64) ・10枚	867-58
袋 上書「西丸大手手絵図面 17枚 金井好文写」 867-59～136紙纏一括	文化13年正月	1袋	867-59
御本丸御徒士目付正木伴蔵殿篠崎源大夫殿御小人目付和田平助相沢吉兵衛召連被參被相渡御持場廻り場絵図面写 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-1
西丸下元御厩跡明地絵図 金井好文 内藤様 ⁵		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-2
安永4年10月2日御部屋様増上寺御参詣之節絵図面 金井好文 松平内膳正当番中 貼紙		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-3
西丸大手従坂下馬場先御門通御之節提灯配之図 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-4
西丸下馬本固立番之図 金井好文 太田備中守様 ⁵ 借用之写、酒井河内守 ⁵ 借用之写		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-5
紅葉山御成之節固之絵図 2枚之内 金井好文 松平午之助当番中		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-6
西丸大手火事之節台張配之図 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-7
西丸大手当番半固絵図 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-8
西丸大手交代之節武器繰込之図 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-9
西丸大手公方様下馬先通御 ² 而増上寺御成之節御番主様御目見場所番士平伏場所下馬先通り並手桶出候図 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-10
西丸大手公方様大納言様当御門通御之節平伏之図并並手桶 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-11
西丸大手大納言様坂下通御立切之図 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-12

山里通御成之節人留方取調并絵図面 金井好文 本 多中務大輔様御番中		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-13
西丸大手七時御門明之節燭台台張提灯出方之図 金 井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-14
西丸大手御老若様夜中御登城之節御門内提灯配之図 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-15
西丸江惣献上之図 金井好文		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-16
公方様坂下御門5下総守屋敷前脇馬場先御門通御浜 御庭還御夜=入候=付提灯差置候絵図面 金井好文 松平下総守当番中		縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-59-17
竹千代様御誕生=付献上之節内柵之図 4枚之内 但し 3枚写置 金井好文 戸田因幡守様酒井修理大夫様御番 中 貼紙 867-60~63帯一括	寛政4年6月	縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-60
大手御門惣献上之節下馬固絵図 竹千代様御誕生之節 4枚之内 但し3枚写置 金井好文 戸田因幡守様酒井 修理大夫様御番中	寛政4年6月	縦紙 (29×38.5) ・1枚	867-61
惣献上之節内固絵図 竹千代様御誕生之節 4枚之内 但し3枚写置 金井好文 戸田因幡守様酒井修理大夫様御 番中	寛政4年6月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-62
竹千代様御誕生之節献上外固絵図 6枚之内 但し外5 枚ハ有来引合置 金井好文 酒井修理大夫様此方様御 番中	寛政4年7月13日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-63
内桜田御櫓江被為成候御沙汰=付両番申合伺書并平伏 場所等相伺候処、御附札濟絵図面 2枚之内 金井 好文 酒井左衛門尉様此方様御番中	寛政7年8月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-64
(内桜田御櫓江被為成候御沙汰=付両番申合伺書并平伏 場所等相伺候処、御附札濟絵図面 2枚之内) 金 井好文		縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-65
御神忌濟町人御能之節外立固伺濟絵図 2枚之内 金 井好文 戸田采女正様御番中	文化12年5月12日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-66
御神忌濟町人御能之節内固伺濟絵図 2枚之内 金井 好文 戸田采女正様御番中	文化12年5月12日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-67
御兜献上=付内外固絵 2枚之内 外固 金井好文 此 方様御番中	寛政5年4月28日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-68
御兜献上付内外固絵図 2枚之内 金井好文 此方様御 番中	寛政5年4月28日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-69
御兜献上之節立固絵図 2枚之内 金井好文 小笠原右 近将監様御番中	寛政6年4月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-70
種姫君様御道具当御門御道筋=相成候=付伺絵図面 金 井好文 867-71・72帯一括	天明7年11月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-71
種姫君様御道具当御門御道筋=相成候=付伺絵図面 金 井好文	天明7年11月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-72
惣献上=付内外柵立御絵図 2枚之内 金井好文 奥平 大膳大夫様御番中 867-73・74帯一括	宝暦12年11月朔日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-73
惣献上=付内外柵立御絵図 2枚之内 金井好文 奥平 大膳大夫様御番中	宝暦12年11月朔日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-74
神田祭礼 3枚之内 金井好文	文化12年	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-75

神田祭礼御供廻り差置候場所絵図 金井好久	文化12年9月13日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-76
9月15日神田祭礼立固絵図 金井好久	文化12年9月13日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-77
当御門御橋御普(請)ニ付玄猪之箒場所并御橋江提灯置所絵図 2枚之内 金井好久 牧野駿河守様御番中 貼紙	宝暦13年10月3日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-78
琉球人登城之節外固絵図 3枚之内 金井好久 酒井雅楽頭様御番中	文化3年10月22日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-79
琉球人登城之節外固絵図 金井好久 明和元年同様、寛政8年同様、寛延元年同様	寛政2年11月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-80
琉球人登城之節固絵図 3枚之内 金井好久 酒井雅楽頭様御番中 貼紙	文化3年10月22日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-81
琉球人上野并御老中方若年寄方江相廻り候節之絵図 3枚之内 金井好久 酒井雅楽頭様御番中 貼紙	文化3年10月22日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-82
琉球人上野并御老中様方若年寄様方江相廻り候節之絵図 3枚之内 金井好久 明和元年同様、寛政8年同様	寛政2年11月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-83
琉球人登城ニ付古沢半左衛門方持參絵図面 金井好久	寛延元年12月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-84
琉球人登城之節御出仕之方様御供廻り繰入候節立番図 金井好久 松平下総守様奥平大膳大夫様御番中 貼紙	寛延元年11月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-85
文化12年12月24日御尋ニ付書入候絵図面 5枚之内 金井好久	文化12年12月24日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-86
大手御門毎朝御門明立之図 金井好久 寛政9年御尋ニ付書上之扣	寛政9年	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-87
外腰掛仮休息所并幕張之絵図面 金井好久 松平越中守様小笠原左京大夫様御番中 貼紙	天明5年10月晦日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-88
大手御番所廻り場御絵図 金井好久 松平直次郎様御番中	明和元年7月17日	縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-89
外腰掛御修覆ニ付伺書2通并絵図面1枚 但1通斗書 金井好久 松平甲斐守様御番中	寛政8年3月23日	縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-90
当御門御橋掛直ニ付木置場竹矢来出来ニ付明朔日立番之儀御徒目附之番所江相伺候処、此絵図之通可相勤旨御徒目附衆被申渡候ニ付絵図写 金井好久 牧野駿河守様御番中 貼紙	宝暦13年8月29日	縦紙 (28.5×38) ・1枚	867-91
大手仮御番所絵図 金井好久 小笠原左京大夫様此方様御番中	安永4年12月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-92
大手御非番中御詰之節固場図 金井好久		縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-93
御流玄猪外固御箒之図 金井好久	文化12年6月	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-94
峯姫君様御結納ニ付内外立固絵図 金井好久 松平下総守様御番中	文化2年2月13日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-95
元姫君様文姫君様山王御宮參帰御之節西丸御広式江御立寄ニ付人払絵図 金井好久 松平甲斐守様御番中	文化12年9月21日	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-96
公方様大手御門に酒井雅楽頭様御屋鋪角通御成之節提灯之図 金井好久 安永6酉御尋ニ付書上図、此方様御番	安永6年	縦紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-97

中			
吹上 一橋外明地江被為成夫 神田橋御門内江酒井左衛門尉様小笠原右近将監様御屋鋪前通道三橋渡御御浜御庭江御成之節当御門人留御絵図写 金井好久 文化12年12月2日被仰渡	文化12年12月2日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-98
通御御成之節番主御目見并番士平伏場所御尋=付両番申合差出候絵図 金井好久 酒井左衛門尉様御番中	天明3年正月20日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-99
通御御成之節番主御目見并番士平伏之場所両番申合差上候絵図 稲葉丹後守様御番中 金井好久		豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-100
御成之節還御前出火有之両番被成御詰通御之節御目見場所御伺濟絵図面 金井好久 松平下総守様御番中 貼紙	寛政9年12月29日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-101
大納言西御丸御移徙=付御目見場所絵図面 金井好久 御名内青木浪江	明和6年12月8日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-102
公方様御規式御成御門通御平伏手桶之図 金井好久		豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-103
綾姫君様御宮参=付人払絵図面 金井好久 此方様御番中 貼紙	寛政9年9月朔日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-104
大手御番所廻り場絵図写 金井好久		豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-105
出火之節大手張番之絵図 金井好久		豎紙 (28.5×38) ・1枚	867-106
平川口 一ツ橋様之神田橋御屋形江通御之節 金井好久		豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-107
御老若様方御登城御退出立番差出置候絵図 金井好久	安永9年2月25日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-108
御台様御着帯為御祝儀献上=付内外立固伺濟絵図 2枚之内 非番 金井好久 此方様御番中	寛政7年12月	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-109
御台様御着帯為御祝儀献上=付内外立固伺濟絵図 2枚之内 金井好久 此方様御番中	寛政7年12月	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-110
山王祭礼御絵図 金井好久 御目付稲生次郎左衛門様御徒目付田中八郎大夫殿中山平左衛門殿を以御渡、阿部豊後守様土井大炊頭様御番中	享保8年6月8日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-111
大手御門通御之節主人御目見并番士平伏場所絵図 金井好久 小笠原大膳大夫様此方様御番中 貼紙	安永4年12月	豎紙 (28.5×38) ・1枚	867-112
大手御門御橋御掛直御修覆=付為御見被成候絵図面写 金井好久 酒井左衛門尉様御番中 貼紙	寛政7年9月8日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-113
御出仕有之御退出前下坂御門通浜御庭江御成=付人払伺濟絵図并伺書拔書 金井好久 此方様御番中	寛政9年12月朔日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-114
大手御門外腰掛裏掃除場之御尋=付朱引之通心得罷在候旨認差出候絵図面 金井好久 此方様御番中	寛政4年10月24日	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-115
和田倉御門 常磐橋御門通御之節 金井好久		豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-116
大手御門通御之節 金井好久		豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-117
年始五節旬月並嘉祥公家衆登城其外御出仕御外固之図 金井好久	寛政2年4月	豎紙 (28.5×38.5) ・1枚	867-118

御転任御兼任被為濟御祝儀御能之節芝居町共罷出候ニ付内外立固絵図 金井好久 酒井左衛門尉様御番中	文化13年4月朔日	豎紙 (28.5×38)・1枚	867-119
御番所御修覆ニ付仮御番所之節大手御門通御之節主人御目見并番士平伏場所絵図 金井好久 榊原式部大輔様酒井修理大夫様御番中 貼紙	寛政8年8月6日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-120
大手御門持場絵図 金井好久 阿部伊勢守様酒井雅楽頭様御番中	享和3年8月	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-121
大手御門外御橋御修覆有之候ニ付御橋絵図 坂本与右衛門持参之 金井好久	寛保2年8月2日	豎紙 (28.5×38)・1枚	867-122
大手御渡御櫓御修覆ニ付朱引之通竹矢来御取建絵図面之写 金井好久	文化10年8月13日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-123
大手御門枳形内張番所御修覆ニ付仮番所絵図 金井好久 酒井修理大夫様御番中	寛政8年8月25日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-124
於二ノ丸蓮光院様江献上物之節絵図面 金井好久 戸田采女正様御番中 貼紙	天明6年11月2日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-125
当御門御橋掛直ニ付為御見被成候絵図面写 金井好久 奥平大膳大夫様御番中 貼紙	文化8年2月10日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-126
御橋半分宛御修覆北之方出来南之方江御取掛之節鶴首立固場所江竹矢来御取建ニ付都而立固有之候節北之方江相立可申竹矢来脇江相立可申哉伺候絵図 金井好久 奥平大膳大夫様御番中 貼紙	文化8年3月朔日	豎紙 (28.5×38)・1枚	867-127
当御門外御豊蔵前御堀出洲浚土置場所絵図面写 金井好久 堀田相模守様御番中	文化5年8月16日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-128
御勘定所入口并柵矢来建直シ注文絵図面 金井好久 堀田相模守様御番中 貼紙	文化10年5月9日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-129
下御勘定所御修覆出来入口明直候付水溜桶置場替候付御番所江之御届并絵図面差出候控 金井好久 松平甲斐守様酒井雅楽頭様御番中 貼紙	寛政5年12月29日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-130
外腰掛御修覆ニ付仮腰掛補理之絵図面 金井好久 松平下総守様御番中 貼紙	寛政7年3月11日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-131
(外東腰掛番人絵図) 金井好久 松平越中守様御番中 貼紙	延享2年5月7日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-132
東腰掛御修覆ニ付仮腰掛御補理候得共間扶ニ付御出仕日等之節仮腰掛左右江運番所差出番人引移候様御達ニ付差出候絵図面扣 金井好久 此方様御番中	寛政8年3月26日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-133
朝鮮人之節一番之絵図面 金井好久 御徒目付秋山豊五郎殿小川孫七郎殿於蘇鉄間被相渡候、此方様御番中	宝暦14年2月11日	豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-134
和田倉御門ノ龍之口御乗船之節 金井好久		豎紙 (28.5×38.5)・1枚	867-135
御鷹之雁御拝領之節固之図 金井繁宜 彩色 貼紙		豎紙 (27.5×39.5)・1枚	867-136
包紙 上書「前田橋絵図面 谷戸橋絵図面 旅宿絵図面」			867-137
前田橋絵図面		豎紙 (28.5×41)・1枚	867-137-1
谷戸橋番所絵図面		豎紙 (28×38)・1枚	867-137-2
旅宿絵図面	文久元年9月13日	豎紙 (28×41)・1枚	867-137-3

深川靈巖寺之絵図面		1枚	
(屋敷普請絵図)		縦紙 (27.5×39.5) ・1枚	867-138
(陣立図)		縦紙 (24.5×32) ・1枚	867-142
		縦紙 (25.5×33) ・1枚	867-143

松原者

松原者部屋頭不正一条書類 紙縫一括			834-13
一 口上覚 (松原部屋頭總書写) 宮沢太郎組 叢 助 御割番所 灰色宿紙、紙縫一括	文久4年2月	横切紙・1通	834-13-1-1
二 (松原部屋頭不正之取計役義御免=付總書添書) 割番 灰色宿紙	子2月	横切紙・1通	834-13-1-2
三 (松原部屋頭叢助義=付御内々申上書) 杖突 灰色宿紙	杖突	横切紙・1通	834-13-1-3
四 (元松原部屋頭叢助義=付別紙差添伺)			834-13-1-4
一 (松原役割万吉總書并松原部屋頭總書添書写) 松原部屋頭林之助 御割番所 灰色宿紙、紙縫一括	文久4年2月	横切紙・1通	834-13-2-1
二 (松原者元役割不行届義總書添書) 割番 灰色 宿紙	子2月	横切紙・1枚	834-13-2-2
三 (松原役割万吉義=付御内々申上書) 杖突 灰色 宿紙	2月	横切紙・1通	834-13-2-3
四 (元松原役割万吉義=付別紙差添伺) 御普請方 灰色宿紙	2月	横切紙・1通	834-13-2-4
(文久2年6月御見合) 灰色宿紙		横切紙・1枚	834-13-2-5
一 (松原者安兵衛總書并松原部屋頭總書添書写) 松原部屋頭林之助 御割番所 灰色宿紙、紙縫一括	文久4年2月	横切紙・1通	834-13-3-1
三 (松原役割助安兵衛義御内々申上書) 杖突 灰 色宿紙	2月	横切紙・1枚	834-13-3-2
四 (元松原役割助安兵衛義=付別紙差添伺) 御普 請方 灰色宿紙	2月	横切紙・1通	834-13-3-3
四 覚 (松原者取調) 松原部屋頭林之助 灰色宿紙、 紙縫一括	3月	横切紙・1通	834-13-4-1
五 (松原者之義=付御内々申上書) 御普請方 灰色 宿紙	3月	横切紙・1通	834-13-4-2
六 (松原者名前計=而人無之風聞有之委細穿鑿書) 下目付 灰色宿紙	子2月	横切紙・1通	834-13-4-3
七 (松原部屋頭初答筋之義御尋付申上書) 御目付 灰色宿紙	2月	横切紙・1通	834-13-4-4
八 (松原詰辻御仲間不揃=付穿鑿書) 下目付 灰色 宿紙	子3月	横切紙・1通	834-13-4-5
九 (松原部屋頭等御答筋之義御尋付申上書) 御目 付 灰色宿紙	3月	横切紙・1通	834-13-4-6
十 御用状 (松原部屋頭等御答筋御尋書) 左門	3月22日	横切紙・1枚	834-13-4-7

御用番様 灰色宿紙 (松原者穿鑿書相違申立) 中断、灰色宿紙		横切継紙・1通	834-13-4-8
(松原者3名御答案) 中断、灰色宿紙		横切紙・1枚	834-13-4-9
二十一 (松原者部屋頭蓑助等御答筋評議書) 神平 灰色宿紙、紙縫一括	4月6日	横切継紙・1通	834-13-5-1
廿二 (松原者部屋頭蓑助等御答筋評議書) 内膳 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-13-5-2
廿三 (松原者部屋頭蓑助等御答筋之義ニ付申上書) 5月6日 高野広馬 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-13-5-3
廿四 廻状 (松原者御答筋) 助之進 但馬様他4名 灰色宿紙	5月6日	横切継紙・1通	834-13-5-4
廿六 (宮沢太一郎組源助義ニ付御内々伺) 御普請 方 下札、灰色宿紙	5月	横切継紙・1通	834-13-5-5
廿七 (蓑助本人源助御答筋之義御尋ニ付申上書) 御目付 灰色宿紙	5月	横切継紙・1通	834-13-5-6
廿八 評議 (松原者御答筋) 左門 老岐様 灰色宿 紙	6月5日	横切継紙・1通	834-13-5-7
廿九 御用状 (松原者一条御評議承知、答之義御普 請奉行調落申立) 左門 助之進様 灰色宿紙	6月2日	横切紙・1枚	834-13-5-8
(蓑助本人源助御答筋之義御尋ニ付申上案) 卷上 「助之進殿へ差出」、灰色宿紙	子6月17日	横切継紙・2通	834-13-5-9
(松原者東川田村庄作御尋申口留)		半・1冊	217

海 防

異国船渡来一件書類		1綴	613
(会津侯御領分山城国陣屋付キ御代官より之文通写) [破損大]		半・仮1綴	613-1
亥7月於御役所写諸家ノ御留 破損大		半・仮1綴	613-2
(御達書、来状、御直廻状、大目付廻状留) 破損 大		半・仮1綴	613-3
松平和泉守様御宅へ有馬中務大輔様御家来御呼出御 渡御書付写 (増上寺山内出火之節有馬中務大輔家 来不法之始末)	安政7年正月	半・仮1綴	613-4
(海防御人数等日記)	嘉永6年	半・仮1綴	613-5
(伊藤、川島、吉田手簡写)		半・仮1綴	613-6
桑名侯上書 (亜墨利加国要求処置) 破損大	丑7月13日	美・仮1綴	614-1
(講武所稽古ニ付意見書、リニ一調練依田へ御頼片付 け度願書)		半・1綴	614-4
(異国船応接留書)	(安政元年) 寅正月	縦紙・1枚	618-12
嘉永6年6月3日浦賀沖へ異国船渡来一件浦賀迄参り候 者之聞書之写	(嘉永6年)	縦紙・1枚	619-1
御警衛為御指揮急御参府御人数調表 破損大		縦紙・1枚	619-10

(異国船渡来諸留書綴) 前欠(丁数「廿一」～「五十」)		半仮綴・1綴	625
(大目付回状留)		横長美・1冊	627-2
相州浦賀異船防禦之図 彩色、蔵書印「樋口藏」		(38.4×90.3)・1 鋪	675
(江戸湾警衛図) 依田利繼 彩色、3紙之内	嘉永6年写	(38.8×55.2)・1 鋪	678
(相模湾警衛図) 依田利繼 彩色、3枚之内	嘉永6年写	(38.7×68.7)・1 鋪	681
(相模湾周辺図) 依田利繼 彩色、3枚之内	嘉永6年写	(38.6×69)・1鋪	686
(横浜近郊図) 鎌呈兩人写 彩色	文久2年9月	(65.9×165.7)・1 鋪	700
誓約(御先備臨時出役組合) 樋口弥治郎 依田源之丞 殿 封紙	嘉永6年10月	横切紙・1枚	771
(江戸詰足輕人撰名面案) 灰色宿紙		横切継紙・1通	806-1
(内海御警衛被蒙仰、神奈川表御警衛御免報知) 灰 色宿紙	5月16日	横切継紙・1通	835-36
(江府詰人、装備品等ニ付申上書) 灰色宿紙	3月26日	横切継紙・1通	837-18
(松平越中守様江御内慮伺差出并異船渡来ニ付御固人数 等申達) 真田志摩 矢沢但馬様	8月27日	横切継紙・1通	838-11
御用状(品川沖難船介抱御礼) 吉田平之助 津田転 様・玉川一学様	12月	横切継紙・1通	860-1-1
名前書(細川様衆ノ先達而問合之節取扱候名前)		横切継紙・1通	860-1-3
(御上屋敷ニ同役御増之儀ニ付御内々申上書) 御取次 紙縫一括	10月	横切継紙・1通	861-1
(出府御供御手充ニ付下目付嘆願書下案)		横切継紙・1通	864
江府海岸防禦御人数行列帳 依田源之丞利忠	嘉永6年6月	横切半・1冊	193
酒井左衛門尉様より御直廻状(重墨利加使節申立之趣 共)写	安政4年11月17日	美・1冊	362
応接場警衛人数行列帳 御目付方齊藤利和扣	嘉永7年2月6日	横長半・1冊	370
御警衛人数合印雛形 酒井下野守家来赤堀元之介		半・1冊	374

行 列

海防御人数行列帳 表紙「不用」	嘉永3年2月19日	横切小型(6.5× 16)・1冊	365
海防御人数行列帳 表紙貼紙「宮下丹下」		横長美・1冊	366
海防御人数行列帳		横長美・1冊	367
海防御人数行列帳 依田甚兵衛		横長美・1冊	368
海防御人数行列帳 依田甚兵衛		横長美・1冊	371

太田陣屋

横浜警衛(太田御陣屋) 関係書類 紙縫一括			829-1
-----------------------	--	--	-------

(太田御陣屋御請取) 灰色宿紙		2月4日	横切紙・1枚	829-1-1
(太田御陣屋御請取) 灰色宿紙		2月15日	横切継紙・1通	829-1-2
(太田御陣屋敷詰名面) 灰色宿紙			横切継紙・1通	829-1-3
(神奈川辺御警衛之御振) 灰色宿紙			横切継紙・1通	829-1-4
(太田御陣屋詰申付名面) 小平次 御同役中様 灰色宿紙		11月	横切継紙・2通	829-1-5
(太田御陣屋詰申付名面) 灰色宿紙		酉12月26日	横切継紙、横切紙・1通、1枚	829-1-6
戊年太田御陣屋に此表へ往来日合関係書類 紙縫一括				817-4
一 (御陣屋に御在所江罷越候日合之義伺) 御陣屋御目付 灰色宿紙		(文久2年) 8月	横切継紙・1通	817-4-1
二 (御用番宛御用状) 内蔵允 御用番様 灰色宿紙		(文久2年) 8月晦日	横切紙・1枚	817-4-2
三 (御勘定吟味御用状) 御勘定吟味 灰色宿紙		(文久2年) 閏8月2日	横切紙・1枚	817-4-3
四 (御用番宛御用状) 左門 御用番様 卷上「閏9月日助之進殿御尋」 灰色宿紙		(文久2年) 閏(8)月2日	横切紙・1枚	817-4-4
(太田御陣屋に此表へ相越候日合之義御尋に付申上下書) 日付 灰色宿紙		(文久2年) 閏8月11日	横切紙・1枚	817-4-5
(太田陣屋、神奈川陣屋調練之義伺留)		10月朔日・正月晦日・3月11日	横切継紙・1通	818-4-8
袋 (横浜太田御陣屋敷之略図 本牧牛込村遠見番所の方角里程図 横浜之図鎌次郎呈三郎写所のもの)			1袋 (660~664同一袋)	660~664
太田御陣屋地略図 彩色		文久元年仲秋謄写	1鋪 (27.5×52.2)	660
太田御陣屋地略図面 彩色、貼紙			1鋪 (24.3×49.6)	661
(横浜之略図) 依田源之丞利継 彩色、貼紙		文久2年5月写	1鋪 (48×137.6)	662
(本牧牛込村遠見番所の方角里程略図) 彩色		文久2年4月	1鋪 (56.6×56)	663
(本牧牛込村遠見番所の方角里程略図) 彩色			1鋪 (56.2×114.6)	664
太田御陣屋詰中金銭出納日記 依田氏		文久2年2月~同3年10月	横半半折・1冊	268
(太田御陣屋敷交代之節先触) 一二三 御同役中様 灰色宿紙		文久2年5月13日・14日	横切継紙・1通	821-2-3
御次第書 (太田御陣屋敷江御人数繰出に付)			横長半・1冊	373
(太田御陣屋詰用立金下付) 依田政之進			横切紙・1枚	834-23

御台場

江戸警衛関係書類 紙縫一括				855-2
(御台場不足品償方に付極密申上書) 御物頭 下案 共		12月	横切継紙・2通	855-2-1
(葦山形御船御引渡に付漕方稽古達留) 安政5年・6年			横切紙・1枚	855-2-2
(御台場御備小銃錆磨御手入に付差図留)		安政6年12月晦日	横切紙・1枚	855-2-3

(御台場据筒附属之品々新規御出来并損物御修覆御 入料之儀=付伺) 御物頭		横切紙・1枚	855-2-4
(大破損物書上)		横切紙・1枚	855-2-5
覚 (36斤御筒及び附属小道具書上)		横切紙・1枚	855-2-6
(捻廻手子棒御手入之儀=付申上書) 御物頭		横切紙・1枚	855-2-7
(合葉御囲高書上)		折紙・1枚	855-2-8
(公边御役人様 v 方御台場臨時御見廻り之節之儀=付 申上書) 御物頭		横切紙・1枚	855-2-9
(御警衛并宿々勤番御人数之儀=付御内々申上書) 高野車之助 灰色宿紙	10月9日	横切継紙・1通	855-2-10
回章 (御警衛并宿々勤番御人数之儀三奉行評議申渡 =付) 岩崎 将監様・助之進様・帰一郎様 灰色宿 紙	10月9日	横切紙・1枚	855-2-11
(御台場御囲合葉貫目書留)		折紙・1枚	855-2-12
(御台場勤番之处、御武具方助御許容願) 依田又 兵衛・藤田繁之丞・岡本精一郎 下案共	正月	横切継紙、横切紙 ・1通、1枚	855-2-13
(御取次役再勤御内々願書) 依田又兵衛	7月4日	横切紙・1枚	855-2-14
(御役方御人少=付御手充金上納御内々申上書) 依 田又兵衛	正月	横切紙・1枚	855-2-15
御用状 (塩鴨御献上=付御留守居助可被勤旨) 玉 川左門 依田又兵衛殿 灰色宿紙	4月17日	横切継紙・1通	855-2-16
御用状 (御人繰合方差支=付暫之内御取次当番可被 勤旨) 玉川左門 依田又兵衛殿 灰色宿紙	4月9日	横切継紙・1通	855-2-17
御用状 (別紙之通可被心得旨) 玉川左門 依田又兵 衛殿 灰色宿紙	5月20日	横切継紙・1通	855-2-18
御用状 (別紙之通可被心得旨) 玉川左門 依田又兵 衛殿	8月13日	横切紙・1枚	855-2-19
(御物頭御台場非番之節御取次当番勤差図書) 依 田又兵衛		横切継紙・1通	855-2-20
(本役之方当番兼勤差図書) 依田又兵衛 灰色宿紙		横切紙・1枚	855-2-21
(座間殿 寺内氏へ申来別条留) 浜御殿御成等 灰 色宿紙	戊4月5日	横切継紙・1通	855-2-22
内海御警衛一件書類		袋・1袋	865-1
(御台場御引渡御程伺) 藤田繁之丞 紙縫一括	11月	横切継紙・1通	865-1-1
(御台場御引渡頃合=付岩瀬様御用人迄問合之趣申上 書) 津田転 灰色宿紙	11月19日	横切継紙・1通	865-1-2
御用状 (御台場御引渡報知) 主水 頼母様 灰色宿 紙	11月21日	横切継紙・1通	865-1-3
(御台場御警衛別条書) 卷上「正月28日付」		横切継紙・1通	865-1-4
(御陣屋敷御足輕兩人部屋替申立書) 御陣屋敷御目付 下案共	3月	横切継紙・2通	855-1-1
(御陣屋敷御足輕兩人部屋替并御内穿鑿願書) 下案		横切継紙・1通	855-1-2
(御陣屋敷御門番当6月中大代り之節帰辻者共申上書)	閏3月	横切継紙・1通	855-1-3

御陣屋敷御目付			
(御陣屋敷江御長屋替申渡) 依田甚兵衛		横切紙・1枚	855-1-4
(御広間休息所明り取之儀=付御内々伺) 御取次	11月	横切紙・1枚	855-1-5
(御広間炭代金請求) 弥三郎 依田様	4月	横切継紙・1通	855-1-6
(古道具引替之儀=付再伺書) 御陣屋敷御留守居御目付 紙繕一括	4月	横切継紙・1通	855-1-7-1
(引替古道具書上)		横切継紙・1通	855-1-7-2
(松平陸奥守家来 ⁵ 御老中御勝手江差出候書付写(三 閉伊郡一揆御届)、品川御台場絵図追々手=入次第可 申越旨) 甚兵衛 源之丞殿 前欠	(嘉永6年) 9月7日	横切紙・1枚	629-6
覚(御用番赤沢助之進 ⁵ 会津様衆 ⁵ 御台場勤方=付内 間合之書類之扣)	安政4年9月15日	横切継紙・1通	857-6
(勤番中夫給扶持共1人1人分宛被下置候様御内々申上 書) 御物頭 桃色宿紙	文久元年9月24日	横切継紙・1通	857-9
覚(御台場装備)		横長半・1冊	372
(御台場御普請見積図)	丑8月	縦継紙・1通	638
(江戸湾御台場図)		1鋪 (31.6×38.8)	682
(御台場番士屯所見取図)		2枚 (24.7×32.1、 24.8×32.3)	696
(六番御台場見取図) 貼紙		1鋪 (48.3×63.6)	699
御台物御足輕御人遣書上		横切・1枚	801-1-5-1
(御台場御備西洋小筒御手入之儀=付申上書控)	10月14日	横切紙・1枚	857-2
(御台場江御役人様方臨時御出之節御入料之品并御差 支次第書)		横切継紙・1通	857-4
(御台場詰之者江暑気払御茶頂戴并半居風呂之儀伺書) 御物頭	閏5月	横切紙・1枚	857-5
(船頭水主御減之儀御尋=付申上書) 御物頭	2月	横切継紙・1通	857-7
(御減略御趣法御台場御都合筋御尋=付申上書) 依田 又兵衛	11月	横切紙・1枚	857-8
(御台場御囲合葉積替御取延之儀=付申上扣)	11月22日	横切紙・1枚	857-11
(御台場勤方留)		折紙、横切継紙、 横切紙・1綴	857-13
口上書取(御手充御不審之儀治定申立) 依田甚兵衛 下案	5月	横切継紙・2通	857-15
(御台場御据筒小道具入箱并長持御出来之儀=付申上 書) 御物頭	3月	横切継紙・1通	857-16
(御台場御据筒附属捻廻新規御出来之儀=付申上書) 御物頭	2月	横切紙・1枚	857-17
書狀(御長屋諸道具代金請取等) 権三郎 又兵衛様	2月29日	横切継紙・1通	857-18
(箱番所御取建之儀=付申上書) 御物頭	12月	横切継紙・1通	857-19
(御台場御据附御筒手入之儀御尋=付申上書扣) 御物 頭	5月	横切継紙・1通	857-20

(御台場御備附小銃御筒手入之儀=付申上書) 御物頭	9月	横切継紙・1通	857-21
(中嶋流5貫目御筒車台預御聞置申上書) 御物頭	12月	横切紙・1枚	857-22
申上(流行病為御救芳香散取調差出候処、無沙汰=付御賢慮願書) 御物頭	3月	横切紙・1枚	857-23
御用状(明日越前様御役人御陣屋敷拝見、出番遅刻=付御居延可被成旨) 依田又兵衛 岡本精一郎様 裏書あり(御陣屋敷破損修覆御手入伺下案)	10月14日	横切紙・1枚	857-25
極密申上(出格御省略中御人少御手充御見合) 依田又兵衛 下案共	11月	横切継紙、横切紙・1通、1枚	857-26
御用状(長命平三郎長詰相当之前借内々伺書) 藤田繁之丞 依田又兵衛様		横切紙・1枚	857-27
(出役并定助共前々之振合を以御手充伺書) 下案共		横切紙・2枚	857-28
已御手充過頂戴之分并上納分(書上) 紙縫一括		折紙、横切継紙、横切紙・2通、3枚	857-31
覚(浅黄無地9枚代金受取) 玉川堂鉄五郎 上	巳9月19日	横切紙・1枚	857-32
(御役方調役之儀并臨時夜廻り=付蠟燭之儀=付申上書) 御物頭	6月	横切継紙・1通	857-33
(御陣屋敷夜廻り之向江蠟燭御渡之儀=付申上書) 御陣屋敷御目付	6月	横切継紙、横切紙・1通、1枚	857-35
(御陣屋敷御門番卯時壱人御渡御引揚之儀=付申上書) 御陣屋敷御目付	12月	横切紙・1枚	857-36
(御陣屋敷下目付御門番夜廻り=付品々御入料申上書) 御陣屋敷御目付	12月	横切紙・1枚	857-37
(去未12月中御陣屋敷御入料品々取調申上書) 御陣屋敷御留守居・御目付	申正月	横切継紙・1通	857-38
(表御玄閔并御内玄閔夜中御使者御使到来之節蠟燭御入料之儀=付申上書) 御取次	12月	横切紙・1枚	857-38
(御陣屋敷下目付御門番并掃除之者共法被兩具其外御掃除道具類相損候=付引替之儀=付再申上書) 御陣屋敷御留守居・御目付	4月	横切紙・1枚	857-39
(御陣屋敷御門面番所三つ御道具6尺棒之儀=付伺書) 御陣屋敷御目付 奥書「4月8日宮本迄出ス」	4月	横切紙・1枚	857-40
(御陣屋敷御門内見返板塀御出来之儀=付申上書) 御陣屋敷御留守居	御正月	横切継紙・1通	857-41
(当正月中御陣屋敷御入料品々取調申上書) 御陣屋敷御留守居・御目付	2月	横切継紙・1通	857-42
(御船溜并船路堀浚之儀=付申上書) 御物頭・御陣屋敷御留守居 下案	3月	横切継紙・1通	857-43
(松原者御陣屋敷定掃除大岡和平組与左衛門怪我=付御薬服用諸入用御引渡) 割番齊藤房吉 依又兵衛様	酉10月	横切紙・1枚	857-44
(御陣屋敷御門番御引揚差支申立之儀、足輕揚扶持手段金=而取計報知) 御陣屋敷御目付 裏書(御台場御据筒附属捻廻御出来申立案)		横切継紙・1通	857-45
(御広間下番泰助御足輕江組入申立書) 依田又兵衛	10月	折紙・1枚	857-46
(御役方御助合御断り申立書) 宮沢丹下・依田甚兵		横切継紙・2通	857-49

依田家／勤役／和宮下向警衛

衛・石倉藤右衛門 窪田慎六様 下案			
覚（御取次御手充金頂戴過分受取） 石倉藤右衛門・ 依田甚兵衛 西村源藏殿	安政6年正月	縦紙・1枚	857-51
（御台場玉置所霧除并下座台之儀ニ付申上書扣） 御物 頭	12月	横切継紙・1通	861-2
（御台場御筒雨覆留簍御出来之儀ニ付申上書） 御物頭 下案共	10月	横切継紙・3通	861-3
（臨時夜廻り蠟燭并台帳提灯之儀ニ付申上書扣） 御物 頭	6月	横切継紙・1通	861-5
（御台場夜廻り之節増人数并提灯持等ニ付申上書）		横切継紙・1通	861-6
（御台場御備西洋小筒玉葉雷火管并ハトロ出来之儀ニ 付伺書）		折紙・1枚	861-7
口上書取扣（御役方助勤断ニ付） 丹下・甚兵衛・藤右 衛門	12月	横切継紙・1通	861-9
（御台場火薬蔵漆喰塗之儀ニ付申上書） 玉川一学	閏5月23日	横切紙・1枚	861-11
（御台場御備小銃御手入之儀ニ付申上書） 御物頭 卷 上「未11月14日岡本を以出ス」	10月	横切継紙・1枚	861-13
（於御陣屋敷臨時御船取扱之儀御尋ニ付申上書）	午6月12日	折紙・1枚	861-14
凡聞留（浜辺吹上船并破損屋敷等災害状況）		横切紙・1枚	861-15
（大銃車台御船小屋ニ入置手附之者見廻り之儀御武具方 申立ニ付申上書） 御陣屋敷御留守居		横切継紙・1通	884-25

和宮下向警衛

和宮様御下向警衛関係書類 紙縫一括			842
（和宮様御下向御警衛御達留）	8月	横切継紙・1通	842-1
（和宮様御下向御達留） 灰色宿紙	9月朔日	横切継紙・1通	842-2
（和宮様御下向御警衛惣御人数） 灰色宿紙	10月16日調	横切継紙・1通	842-3
（和宮様御下向御道筋御警衛御名面）		横切継紙・1通	842-4
（和宮様御下向御休泊割） 灰色宿紙		横切継紙・1通	842-5
（御警衛御番所勤番御番士名面） 灰色宿紙		横切継紙・1通	842-6
袋 上書「和宮様御下向御警衛」	文久元年	1袋	853-1
（和宮様御発輿御頃合等之義申上書） 玉川一学	（文久元年）9月14日	横切紙・1通	853-1-1
一御用状（和宮様御下向御達旨） 小山田采女・玉 川一学 矢沢将監様・望月帰一郎様 灰色宿紙、紙縫 一括	（文久元年）9月21日	横切継紙・1通	853-1-2-1
二（御下向御懸り御目付様之御達書等相添品之伺） 玉川一学 卷上朱書「9月24日江戸之もの」 灰色宿 紙	（文久元年）9月20日	横切継紙・1通	853-1-2-2
三御用状（御下向御先御跡御固先達而相達候通可被 心得旨） 小倉但馬守 灰色宿紙	（文久元年）9月	横切継紙・1通	853-1-2-3
四（御下向御用掛役人付） 9月23日・25日出立 灰		横切継紙・2通	853-1-2-4

色宿紙			
(御休泊割) 9月23日出立、京都迄 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-2-5
口上覚(長瀬村、腰越村、芦田宿、八幡宿、小田井宿人馬繼御勤番御道筋之義) 御警衛出役御飛脚才領組 御目付方御役所 卷上「写濟」 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-2-6
(御下向之節御先御跡御固之者心得方御目付衆御達) 8月 神保伯耆守・小倉九八郎 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-3-1
(御下向掛御徒目付衆 御達之覚) 津田転 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-3-2
(御下向=付堂上方御名面) 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-3-3
(御警衛=付御用意物凡積) 卷上「御勘定吟味手扣之写」 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-3-4
(御警衛御人数凡積) 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-3-5
(御下向御用掛名面) 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-4-1
(御下向御用中御頼之名面) 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-4-2
(御下向=付江戸掛名面) 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-4-3
(御警衛御人数凡積) 灰色宿紙	(文久元年) 酉10月	横切継紙・1通	853-1-5
(線毛御車行列并御役人附) 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-6
(御下向行列役人数積) 灰色宿紙		横切継紙・1通	853-1-7
御警衛惣御人数		横半・1冊	853-1-8
袋 上書「和宮様御下向=付御道固一件」	文久元年	1袋	853-2
和宮様御下向=付御先御跡御警衛行列		横長美・1冊	853-2-1
和宮様御下向之節御先御跡御警衛行列		横切半・1冊	853-2-2
和宮様御下向付下諏訪宿 芦田宿迄御道固御人数行列 依田利繼扣	文久元年10月	横切半・1冊	853-2-3
沓懸宿=而御人数開場之略図		横切紙・1枚	853-2-4
須坂堀長門守様御固場之略図		横切紙・1枚	853-2-5
八幡宿全図 853-3-1~12紙綴一括		縦紙・1枚	853-3-1
八幡宿京之方(図)		縦紙・1枚	853-3-2
八幡宿江戸之方(図)		縦紙・1枚	853-3-3
和田宿全図		縦紙・1枚	853-3-4
和田宿京之方(図)		縦紙・1枚	853-3-5
和田宿江戸之方(図)		縦紙・1枚	853-3-6
扉畔諏訪侯御固小屋之図		1鋪(24.5×47.5)	853-3-7
小田井宿(図)		縦紙・1枚	853-3-8
(沓懸宿江戸口開場図)		縦紙・1枚	853-3-9
(芦田宿図)		縦紙・1枚	853-3-10
(和田宿 沓掛宿迄之間御警衛被蒙仰候節取立処之略		縦紙・1枚	853-3-11

図) 依田源之丞利繼 彩色		1鋪 (25×63.5)	853-3-12
(有坂村・大川村・古町村御固図)		半帳・1冊	853-4
(御警衛御人数往返次第下書)		横切半・1冊	853-5
(御警衛御人数凡積案)		豎小型 (16×12) ・1綴	853-6
(前後御警衛、枝道閑道御警衛方書上) 黒色罫紙 (片面9行)		豎小型 (16×12) ・1綴	853-7
(御警衛方再度伺御附札留) 黒色罫紙 (片面9行)		豎小型 (16×12) ・1綴	853-8
(御道固被蒙仰候御書付写) 黒色罫紙 (片面9行)		豎小型 (16×12) ・2綴	853-9
(諸用留) 黒色罫紙 (片面9行)		豎小型 (16×12) ・1枚	853-10
(御下札書上) 黒色罫紙 (片面9行)、朱書		横切繼紙・1通	853-11
(御警衛人数積) 灰色宿紙		横切繼紙・1通	853-12
(御道固人数積) 灰色宿紙		横切紙・1枚	853-13
覚 (御道固出役之節夜具)		横切紙・1枚	853-14
小田井宿 (図)		横切紙・1枚	853-15
芦田宿 (図)		豎小型 (16.2×12.2) ・仮1冊	277
御道固御人数配 黒罫紙 (片面9行)		横切繼紙・1通	814-2-3
(和宮様御下向ニ付御警衛被蒙仰候付御持場宿々江出役之向有之節先触写) 西村十良右衛門 信州松代腰越通和田宿迄宿々間屋中 灰色宿紙	9月		
御用状写 (和宮様御通行済ニ付) 灰色宿紙	(文久元年) 11月7日	横切紙・1枚	818-1-6
(御足軽人数再調)		折紙・1枚	818-2-1-1
(桜馬場標札場詰図) 灰色宿紙		横切繼紙・1通	818-2-1-2
(御途中雨天風烈ニ付諏訪宿滞留聞書留) 中断、灰色宿紙		横切繼紙・1通	818-2-1-3
(惣御人数賄調) 灰色宿紙		横切繼紙・1通	818-2-1-4
(御固場御用済ニ而惣御人数古町引取、鼠宿泊ニ而一同帰着ニ付取計方) 十郎右衛門・金左衛門 正司様他5名	11月8日	横切繼紙・1通	818-2-1-5
(夜具用意心得書)		横切繼紙・1通	818-2-1-6
御道固御人数往返次第書 灰色宿紙		横切繼紙・1通	818-2-3-1
(御道固被仰付ニ付條々)	10月	横切繼紙・1通	818-2-3-2
定 (御道固御人数出ニ付) 灰色宿紙	10月	横切繼紙・1通	818-2-3-3
(和宮様御下向御道固江戸家老用状) 小山田采女・玉川左門 矢沢将監様他3名	10月18日	横切繼紙・1通	818-2-4-1
(御道固里程人数積書) 灰色宿紙		横切紙・1枚	818-2-4-2
御用状 (和宮様20日京都御発輿急触達到来) 和田宿	10月23日	横切紙・1枚	818-2-4-3

刑部丞 懸り目付役様 灰色宿紙 (長持才領江内済金渡) 後欠力		横切紙・1枚	818-2-4-4
(公家衆和田宿御泊凡覚) 端裏書「和田宿 5 之来状 御本陣図添」 灰色宿紙	(文久元年) 11月6日	横切継紙・1通	818-4-3
(御道固御警衛勤方伺留) 灰色宿紙	文久元年10月	横切継紙・1通	818-5-4
覚(御道固御警衛勤方伺留) 津田転	(文久元年) 9月	横切継紙・1通	818-6-4
(御道固御警衛惣人数積) 灰色宿紙		横切継紙・1通	818-6-5
和宮様御下向之節御道中筋御與御先御跡御警衛(惣御 人数伺書) 津田転 灰色宿紙	8月	横切継紙・1通	818-6-8
(和宮様御下向之節御先御警衛御人数) 灰色宿紙		横切継紙・1通	818-6-11
(前後御警衛御持場付) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-16
和田峠 5 芦田迄御道固ノ略図		1鋪 (24.5×62.5)	867-139
(和田峠 5 芦田迄道筋略図)		1鋪 (24×78.5)	867-140
(和田宿本陣見取図) 和田宿御本陣松代御出入長井重左 衛門		1鋪 (44×50.5)	867-141
回状(和宮様御下向之節御警衛御人数出諸予備評議) 源大夫 音門様他4名 灰色宿紙	10月11日	横切継紙・1通	870-4

防長征討

(長州征討面々書上)	(元治元年) 子8月20日	横半半折仮綴・1 綴	78
(長州追討御免ニ付達) 大坂御城代	8月	横切継紙・1通	838-13
(長州御追討被仰渡ニ付松平越中守様江差出候御内慮御 伺并御附札写) 真田信濃守様御内高野広馬	8月27日	横切継紙・1通	838-12
(防長征伐顛末留) 破損大		半・1綴	623-1
(防長征伐達書留)		半・1綴	623-2
防長征伐書留綴(6月25日大坂詰 5 申来玖波・関戸駅 間交戦周辺図共、西国押手之内申来候書付写、風聞 書、芸 5 6月10日之書翰、阿州侯書面写、伊予松 山 5 来状写他)		半仮綴、豎継・1 綴、1通	624
(朝廷 5 被仰出事(中断)、因州侯 5 御受書、芸州侯 5 御受書、加州侯 5 御届書写)		折紙・1枚	629-7
(長州勅使下向・援兵、紀州加田浦・姫路辺鑑察人数 書上) 6月16日、7月17日 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-28
此程御届被申達候井伊掃部頭人数去々14日於芸防国境 戦争之節味方死傷(人名書上)		半・1冊	615-2

北越戦

北越戦関係書類			862-2
---------	--	--	-------

(越口出張御人数留) 依田		横切継紙・1通	862-2
(小千谷御陣屋ニ而5月2日到来手簡留)	(明治元年)	横切継紙・1通	862-2
(北越戦ニ付北陸道総督府感状写) フケ大	(慶応4年) 6月18日	堅紙・1枚	621-2
(北越戦顛末記) 依田 絵図あり	(明治元年) 8月24日写	堅紙・1枚	619-7

京都警衛

京都御守衛関係書類 紙綴一括			834-14
(京都御守衛為御用関田庄助宿々通行先触) 信州 麻績宿方江州大津宿迄宿々間屋中 灰色宿紙	文久3年6月19日出立	横切継紙・1通	834-14-1
(先触泊附) 灰色宿紙	文久3年9月7日出立	横切紙・1枚	834-14-2
(泊付)		横切継紙・1通	834-14-3
(泊付) 灰色宿紙		横切継紙・1通	834-14-4
京都へ式人飛脚急ぎ之泊附 卷上「子5月12日出」 灰色宿紙	(元治元) 子年5月12日	横切継紙・1通	834-14-5
京都御警衛関係書類 紙綴一括			835-25
(医師体之者を切殺シ首を三条高札江懸置建札写) 亥7月 灰色宿紙		横切紙・1枚	835-25-1
(三条大橋、本能寺門張札写) 亥7月 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-25-2
(大津宿札場張紙写) 灰色宿紙		横切継紙・1通	835-25-3
(京都公卿、会津侯、薩州、長州動勢聞書留) 十 郎右衛門・刑左衛門 灰色宿紙	8月22日	横切継紙・1通	835-25-4
(中立売辺出火穿鑿書) 下目付 灰色宿紙	8月14日	横切継紙・1通	835-25-5
御用状(京都動勢) 刑左衛門 灰色宿紙	8月13日	横切継紙・1通	835-25-6
申上(御印鑑8枚御渡被成下御札、5枚返上) 荒井 伴之助	子3月	横切紙・1枚	835-25-7
袋 上書「御勘定帳 帳面式帳切手類式夕綴 田口喜 右衛門」		1袋	830
御上京御道中諸御払帳	元治元年7月25日 ㊦	横長半・1冊	830-1
御上京御道中其外諸御払御勘定帳 田口喜右衛門	元治元年8月	横長半・1冊	830-2
御勘定帳	元治元年8月13日 ㊦	横長半・1冊	830-3
諸費請取綴 宿紙混在		横切継紙、横切紙、 堅切紙・1綴(8枚、 3通)	830-4
諸費請取・勘定綴		横切継紙、横切紙、 堅切紙・1綴(2枚、 2通)	830-5
覚(御茶代金請取) 亀屋重兵衛 上	10月7日	横切紙・1枚	830-6
覚(御酒御にしめ代金請取) 日野屋孫兵衛 上	8月24日		830-7
覚(諸費勘定) 喜右衛門	8月24日～晦日	折紙・1枚	830-8

御道中御昼泊付（松代より京都）	元治元年6月14日御発駕	横半半折・1冊	168
諸用日記（京都） 依田忠控	元治元年6月14日～同2年3月4日	横小型（6.1×15.2）・1冊	231
京都急出立日記 依田源之丞 末尾切取箇所あり	元治元年7月24日	横半半折・1冊	166
御進発御行列書 写	元治元年	横切半仮綴・1冊	158
京師発足諸用留 依田扣	元治2年2月23日～3月2日	横半半折・1冊	259
京都道中定宿附 依田忠繼扣	元治2年	横半半折・1冊	275
御用状（京都動勢等書付） 十郎左衛門・刑左衛門 連名様 灰色宿紙	8月14日	横切継紙・1通	835-42
御用状（西洋太鼓御買上催促、蟻川賢之助其表出立確認） 伊野右衛門 左門様	5月17日	横切継紙・1通	818-2-6-1
（西洋太鼓御買上御尋ニ付申上書） 御勘定吟味	5月	横切継紙・1通	818-2-6-2
京都御役家某之手紙之写（外夷取扱公家衆対応ニ付） 後欠		縦紙・1枚	619-8
（仙洞御所馬揃場図） 669～674同一袋		縦紙（26.7×36.8）・1枚	674

大坂警衛

大坂表御警衛関係書類 紙縫一括			862-1
（大坂表御警衛明夕出立仰付） 依田源之丞		横切紙・1枚	862-1-1
（上京仰付） 依田源之丞		横切紙・1枚	862-1-2
御用状（別紙之通可被心得） 矢沢但馬 依田源之丞 殿		横切紙・1枚	862-1-3
（上京ニ付御台所ニ諸品覚） 灰色宿紙		横切継紙・1通	862-1-4
大坂御警衛中袖印関係書類 紙縫一括			826-1
（袖印被仰出方之義御尋ニ付申上書） 大坂御目付	10月7日	横切継紙・1通	826-1-1
（御合印等之義御尋ニ付申上書） 岡野弥右衛門	10月8日	横切継紙・1通	826-1-2
（御合印等之義ニ付申上書） 御留守居	10月	横切紙・1枚	826-1-3
大坂表御警衛御番方御手充一条関係書類 紙縫一括			826-2
一 御番方申立（大坂表御警衛替ニ付御手充金拝借願） 野池勇太郎他17名 海野寛男様	9月5日	横切継紙・1通	826-2-1
二（御番士御手充金拝借添書） 御警衛方御番頭	9月11日	横切紙・1枚	826-2-2
三（御番方御手充拝借金願立之義御尋ニ付申上書扣） 御勘定吟味	10月29日	横切継紙・1通	826-2-3
四（伝法詰御番士御手充金之義御尋ニ付申上書） 御勝手元ノ	11月4日	横切紙・1枚	826-2-4
五（御番士御手充金之義ニ付御内々密々申上書） 横甚之作		横切継紙・1通	826-2-5

六 (当方御番士御手充拝借之義=付案) 源之丞 卷 上「11月11日左京殿へ差出」	11月11日	横切継紙・1通	826-2-6
七 (伝法御番士御手充拝借之義=付申上扣) 岡野 弥右衛門	11月13日	横切継紙・1通	826-2-7
(御手充金先例同様被成下度願書) 星川弥三郎・野 地勇太郎	9月10日	横切紙・1枚	826-2-8
(御番方御手充一條御認願書) 灰色宿紙	11月	横切継紙・1通	826-2-9
別一 口上覚 (御手充拝借嘆願書扣) 西光寺本堂 在陣御警衛方望月繁之助他12名 海野寛男様 826-2- 10-1・2 紙縫一括	9月19日	横切継紙・1通	826-2-10-1
二 (御番士御手充金之義=付申上書) 御勝手元ノ	11月10日	横切紙・1枚	826-2-10-2
大坂表御警衛番所蠟燭薪関係書類 紙縫一括			826-3
一 (船関布屋御番所蠟燭薪被成下度願書) 寛男	11月13日	横切継紙・1通	826-3-1
二 (船関布屋御番所蠟燭薪等之義御尋=付申上書) 御郡奉行	11月	横切紙・1枚	826-3-2
三 (船関布屋等蠟燭并薪等之義御尋=付申上案) 御日付	11月20日	横切継紙・1通	826-3-3
大坂御警衛関係書類 袋 (反故封に貼紙「大坂御本陣へ 御着」)			854-4
御用状 (大坂御本陣御着大坂入口御野立迄之御道筋 穿鑿之儀=付) 真田志摩 但馬様・左京様	9月28日	横切紙・1枚	854-4-1
御用状扣 (大坂御本陣御着之御式=付) 真田志摩 矢沢但馬様・河原左京様	9月28日	横切継紙・1通	854-4-2
御用状 (大坂御用屋敷=付差図書) 河原左京 依田 源之丞殿	9月30日	横切継紙・1通	854-4-3
御京着之御式		豎半・1冊	854-4-4
摂州大坂御城 (図) 依田利継写 彩色	嘉永6年6月28日	(27.8×38.5)・1 枚	692
(大坂御台場図) 一円亨利継 彩色	安政4年7月中旬書写	(28.1×38.9)・1 枚	694
覚 (金100匹御寄附受書) 摂州西成郡伝法村濹標住吉 社神主有田大和守 松代様御警衛所御目付依田源之丞様 御取次中	元治元年12月15日	横切継紙・1通	882-2-15
従大阪松代迄宿々旅籠帳 青沼良之助	元治元年12月16日～同 2年正月2日	横長半・1冊	322
道中諸用并小遣留 (源之丞大坂より帰国)	元治元年12月16日～同 2年正月2日	横半半折・1冊	315
(大坂伝法村より松代泊附)	元治元年12月16日～元 治2年正月2日	横切継紙・1通	861-18
(宿々駄賃帳) 中山道中津川より国元 前欠	(元治元年) 子12月24 日～丑正月2日	横長半・1冊	318
従江州大津信州松代迄宿々駄賃帳 松代桑名友太郎内花 見重内・依田政之進内市川新之丞	元治2年2月22日～3月4 日	横長半・1冊	316
(淀川筋中津川筋村名書上図)		(73×46.5)・1鋪	640
(大坂御台場図)		(63.7×96.5)・1	701

(大坂番所焰硝藏砲台図)		鋪 (36.2×63.7) ・ 1	719
(大坂御台場図)		鋪 (53.9×54.8) ・ 1	721

規式／家督

(清左衛門病身ニ付隠居、倅縫殿進家督相統許可) 田清左衛門・同縫殿進	依	5月29日	横切紙・1枚	780-5
(金井木工右衛門養子並びに知行・家督相統許可) 金井木工右衛門		寛政10年2月21日	横切継紙・1通	780-9
(木工右衛門隠居、甚兵衛家督相統許可) 衛門・同甚兵衛	依田空右	文政9年11月11日	横切継紙・1通	780-67
(知行百石、家督相統許可) 依田政之進		慶応2年11月24日	横切継紙・1通	780-58
(隠居ニ付縫殿進家督相統許可) 依田政之進 後欠			横切紙・1枚	797-10

改 名

口上覚 (又兵衛与改名伺) 札	依田甚兵衛 玉左門様	付	8月13日	横切紙・1枚	780-66
口上覚 (忠之進与改名伺) 札	依田政之進 河左京様	付	10月9日	横切紙・1枚	780-52
口上覚 (嫡孫祐太郎前髮剃政之進与改名伺書) 又兵衛 小采女様 付札	依田		文久2正月15日	横切紙・1枚	780-37

献 上

(献上物目録)	依田縫殿進 坂野直		寛政9年閏7月5日	折紙・1通	782-6
(献上物目録)	依田縫殿進 坂野直		寛政9年閏7月15日	折紙・1通	782-2
(献上物目録)	依田木工右衛門 山本藤左衛門		寛政10年3月15日	折紙・1通	782-7
(献上物目録)	依田甚兵衛 佐藤左金吾		文政7年8月15日	折紙・1通	782-4
(献上物目録)	依田甚兵衛 徳嵩恒吉		文政9年11月15日	折紙・1通	782-1
(献上物目録)	依田政之進 西村源兵衛		文久2年3月15日	折紙・1通	782-5
(献上物目録)	依田政之進 水井市治		慶応2年11月25日	折紙・1通	782-3

拝 領

(殿様ノ拝領物目録)	白銀1枚 短冊共			堅紙・1枚、短冊 ・2枚	783-1
(殿様ノ拝領物目録)	鉛200目			堅紙・1枚	783-2

依田家／規式／諸願・諸沙汰

(殿様 5 拜領物目録)	御綿入1		堅紙・1枚	783-3
(殿様 5 拜領物目録)	(依田忠之進) 金5兩		堅紙・1枚	783-4
(殿様 5 拜領物目録)	御単物1		堅紙・1枚	783-5
(殿様 5 拜領物目録)	御単物		堅紙・1枚	783-6
(殿様 5 拜領物目録)	御単1		堅紙・1枚	783-7
拜領物留	依田忠継	嘉永5年～明治2年	横半・1冊	784

諸願・諸沙汰

(弟牧太医術稽古大町引越許可)	玉川左膳 依田清左衛門殿	3月21日	横切継紙・1通	799-12
(勢州参宮被仰付)	池田右大夫 依田縫殿進殿	2月26日	横切紙・1枚	785-3
(養母星野清之助方江差遣窺指図書)	十河式部 依田木工右衛門殿	(享和元年12月18日)	横切紙・1枚	797-3
(御小條目御條目并御役附足輕五人返上)	依田甚兵衛	(嘉永元年)	横切紙・1枚	780-65
(出浦惣右衛門上席)	依田甚兵衛		横切継紙・1通	780-90
(家内招呼可為勝手)	依田甚兵衛		横切紙・1枚	780-91
(御用詰出府仰付)	依田甚兵衛	文政10年閏6月3日	横切紙・1枚	781-37
(依田甚兵衛御沙汰書)	依田甚兵衛 御台場取締不行届二付	安政5年12月8日	横切継紙・1通	785-23
(長滞府仰付)	依田甚兵衛	5月23日	横切継紙・1通	780-97
(来子夏迄滞府仰付)	依田甚兵衛	6月3日	横切継紙・1通	780-92
(滞府仰付)	依田甚兵衛	8月5日	横切継紙・1通	780-96
(衣服飲食家居等儉約可致旨)	依田甚兵衛親類		横切紙・1枚	790-1
(免差扣)	鎌原石見 依田甚兵衛殿	天保3年2月5日	横切継紙・1通	780-107
(御肴代30疋献上披露)	恩田木工 依田甚兵衛殿	(天保9年) 8月2日	横切継紙・1通	780-103
(伊勢参宮京都社参被仰付)	恩田頼母 依田甚兵衛殿	正月21日	横切継紙・1通	785-7
(伊勢参宮京都社参被仰付)	岡嶋莊藏 依田甚兵衛殿	正月25日	横切継紙・1通	785-5
(遠慮御免、可有出勤)	岩崎玄蕃 依田甚兵衛殿	6月27日	横切継紙・1通	780-113
(出勤帰府許可)	望月主水 依田甚兵衛殿	10月4日	横切継紙・1通	780-95
(免差扣)	玉川左門 依田甚兵衛殿	12月11日	横切継紙・1通	780-114
(太田御陣屋出立見合)	依田又兵衛		横切紙・1枚	780-80
(御台場御引渡済迄是迄之通可心得)	依田又兵衛		横切継紙・1通	780-87
(奥村権之丞代詰番出府仰付)	依田又兵衛	11月11日	横切継紙・1通	780-83
(免忌、可有出勤)	玉川左門 依田又兵衛殿	正月23日	横切継紙・1通	780-89
(出勤帰府許可)	玉川左門 依田又兵衛殿	9月16日	横切継紙・1通	780-84
(実母長谷川直太郎祖母看病願許可)	矢沢将監 依田	文久2年9月20日	横切紙・1枚	797-6

源之丞殿			
(病氣=付在所暇許可) 河原左京 依田源之丞殿 下札	元治元年12月13日	横切継紙・1通	780-70
(製薬御用ニ付滞府仰付) 依田政之進		横切紙・1枚	878-33
(在所暇許可、宛行返上) 依田政之進	文久3年10月29日	横切継紙・1通	780-43
(免御人少=付忌) 鈴木内蔵允 依田政之進殿	文久2年10月2日	横切紙・1枚	780-44
(父源之丞付添看病被仰付) 祢津三十郎 依田政之進殿	元治元年12月14日	横切紙・1枚	780-42
(祖父又兵衛病氣=付添看病被仰付) 望月婦一郎 依田政之進殿	慶応2年10月2日	横切継紙・1通	780-38
(大坂御用免忌、帰坂可致) 原兵馬 依田政之進殿	正月晦日	横切紙・1枚	780-50
(免差扣) 望月婦一郎 依田忠之進殿	12月9日	横切継紙・1通	780-55
口上覚(附添看病後帰坂願) 依田政之進 祢津三十郎殿・海野寛男殿 下書共、折封	12月	縦紙・2枚	780-51
(甲府出張命令) 依田謙次郎	慶応4年閏4月22日	横切継紙・1通	786-6

褒賞／賞詞

(依田木工右衛門宛賞詞)	文化13年7月19日	横切継紙・1通	785-32
(依田甚兵衛宛賞詞)	嘉永7年6月9日	横切継紙・1通	785-20
(依田甚兵衛宛賞詞)	安政5年12月15日	横切継紙・1通	785-27
(依田甚兵衛宛賞詞)	5月15日	横切継紙・1通	785-35
(依田甚兵衛宛賞詞)	12月26日	横切継紙・1通	785-9
子年中勤書覚(皆勤)	丑正月	横切紙・1枚	780-88
賞詞(剣術出精=付御扇子5本)		横切紙・1枚	878-2

御賞

(依田木工右衛門宛褒賞) 御目錄200疋	文政2年2月16日	横切紙・1枚	785-33
(御手充下賜) 依田甚兵衛		横切継紙・1通	780-93
口達(御手充下賜) 依田甚兵衛	文政11年	横切継紙・1通	780-94
(依田甚兵衛宛褒賞) 青銅200疋	文政11年10月18日	横切継紙・1通	785-4
(依田甚兵衛宛褒賞) 青銅200疋	天保6年8月9日	横切継紙・1通	785-6
(依田甚兵衛宛褒賞) 青銅200疋	天保9年12月25日	横切継紙・1通	785-31
(依田甚兵衛宛褒賞) 御単物1	安政2年6月25日	横切継紙・1通	785-19
(依田甚兵衛宛褒賞) 御酒被下	安政3年3月28日	横切継紙・1通	785-11
(依田甚兵衛宛褒賞) 金300疋	安政4年3月9日	横切継紙・1通	785-29
(依田甚兵衛宛褒賞) 御酒被下	安政5年2月17日	横切継紙・1通	785-12

依田家／褒賞／御賞

(依田甚兵衛宛褒賞)	青銅300疋	安政5年2月17日	横切継紙・1通	785-30
(依田甚兵衛宛褒賞)	青銅200疋	2月28日	横切継紙・1通	785-14
(依田甚兵衛宛褒賞)	御酒被下	巳7月11日	横切継紙・1通	785-24
(依田甚兵衛宛褒賞)	御酒被下	8月25日	横切継紙・1通	785-8
(依田甚兵衛宛褒賞)	御酒被下	8月25日	横切継紙・1通	785-34
(依田甚兵衛宛褒賞)	銀1枚	10月10日	横切継紙・1通	785-13
(依田甚兵衛宛褒賞)	青銅200疋	11月12日	横切継紙・1通	780-69
(依田甚兵衛宛褒賞)	御酒被下	12月26日	横切継紙・1通	785-17
(依田甚兵衛宛褒賞)	御酒被下	12月26日	横切継紙・1通	785-26
(依田甚兵衛宛褒賞)	銀1枚	12月28日	横切継紙・1通	785-28
(内海御警衛出精=付御手充下賜)	依田又兵衛		横切紙・1枚	780-78
(御手充下賜)	依田又兵衛		横切継紙・1通	780-85
(依田又兵衛宛褒賞)	銀1枚	文久元年5月25日	横切継紙・1通	785-22
(依田又兵衛宛褒賞)	銀1枚	正月11日	横切継紙・1通	785-25
(依田又兵衛宛褒賞)	御単物1	5月15日	横切継紙・1通	785-10
(依田又兵衛宛褒賞)	銀1枚	酉12月13日	横切継紙・1通	785-15
(依田又兵衛宛褒賞)	銀1枚	12月27日	横切継紙・1通	785-21
覚(依田又兵衛他宛褒賞)	依田又兵衛白銀2枚、御徒目付衆・御船方掛衆・御徒土衆金2両、御足輕金100疋、御仲間・水主金300疋		横切紙・1枚	860-1-2
(細川越中守様 依田又兵衛初江御目録被下候付御頂戴之儀伺)	御留守居	12月12日	横切紙・1枚	780-86
(依田源之丞宛褒賞)	御酒被下	12月25日	横切継紙・1通	785-2
(依田源之丞宛褒賞、筑前守通行之砌あら町通江御出役=付)	今村源兵衛政令 依田源之丞様	5月	折紙・1枚	838-8
書状(筑前守御通行才川市村舟渡場被罷出=付別紙目録之通増行賞)	真田勘解由信従 依田源之丞様	8月13日	折紙・1枚	799-13
(依田源之丞宛褒賞)	真田勘解由信従 御酒被下		横切継紙・1通	813-2
(依田祐太郎宛褒賞)	孝経1部	嘉永7年3月18日	横切継紙・1通	785-18
(依田祐太郎宛褒賞)	近思録1部	2月26日	横切継紙・1通	785-16
(依田政之進宛褒賞)	青銅200疋	慶応元年12月13日	横切継紙・1通	785-1
(戊辰戦争御賞永世十三石遣)	松代県庁 依田忠之進複製	(明治4) 辛未年9月15日	1通	780-99
(依田鎌次郎宛褒賞)	御扇子3本		横切紙・1枚	786-12
(依田鎌次郎宛褒賞)	御扇子5本		横切紙・1枚	786-13
(依田鎌次郎宛褒賞)	帯地1筋		横切継紙・1通	786-14
(依田鎌次郎宛褒賞)	白木綿1反		横切紙・1枚	786-15
(依田鎌次郎宛褒賞)	小杉1束		横切紙・1枚	786-16

(依田謙次郎宛褒賞) 帶地1筋			横切継紙・1通	786-17
(足輕砲術教練致世話候付御手充被下) 依田謙次郎 灰色宿紙	慶応4年正月19日		横切継紙・1通	786-4
(依田謙次郎宛褒賞) 青銅500疋 折封	明治2年11月22日		横切継紙・1通	786-9
御書付 貼紙「依田謙次郎」 折封	明治2年			786-1
(公麻江出頭命令) 理事 依田謙次郎	明治2年12月29日		横切継紙・1通	786-1-1
(褒賞) 依田謙次郎 賞金3000疋	明治2年12月晦日		横切継紙・1通	786-1-2
(依田謙次郎宛褒賞) 孝経1部	2月26日		横切継紙・1通	786-10
(依田謙次郎宛褒賞) 蒙求1部	3月19日		横切継紙・1通	786-11
御書付写 (御賞金5円被下) 鎮撫府参謀 松代藩松木 源八他4名	明治元年11月		横切紙・1枚	786-20

家政／系譜

依田正統系写 複写		1冊	764
依田氏家系 (図) 永久保存、複写		1冊	765

履 歴

(依田甚兵衛忠順履歴書上) 依田甚兵衛忠順		縦紙・1枚	780-100
(依田甚兵衛忠順履歴)		縦紙・1枚	792-3
(依田忠之進忠継履歴)		縦紙・1枚	792-4
(依田忠致履歴)		縦紙・1枚	621-1

縁 組

(叔父玄台安藤龍庵養子縁組許可) 依田縫殿進	9月7日	横切紙・1枚	797-18
(野村儀左衛門妹と縁組許可) 依田清左衛門	9月28日	横切紙・1枚	797-5
(山中嶋之助江娘縁組許可) 依田清左衛門	5月11日	横切紙・1枚	797-8
(野村儀左衛門妹と縁組許可) 依田清左衛門	12月25日	横切紙・1枚	797-11
(三男見長中村見伯聶養子許可) 依田清左衛門	4月19日	横切紙・1枚	797-16
(倅縫殿進星野清之助妹と縁組許可) 依田清左衛門	10月9日	横切紙・1枚	797-17
(長谷川甚兵衛聶養子許可) 依田木工右衛門	文政6年12月15日	横切継紙・1通	797-13
(妹星野清之助江養女許可) 依田木工右衛門	文政6年11月25日	横切継紙・1通	797-14
(樋口与兵衛妹と縁組許可) 依田木工右衛門	文化5年6月21日	横切紙・1枚	797-15
(高野車之助江娘縁組許可) 依田甚兵衛	11月14日	横切継紙・1通	797-4
(長谷川源之丞婿養子許可) 依田甚兵衛	天保13年8月11日	横切紙・1枚	797-12

(齊藤友衛へ妹縁組許可) 依田甚兵衛	5月2日	横切継紙・1通	797-9
覚 (依田源之丞婚姻整依田甚兵衛方江引越ニ付被仰合) 三村友二 たかのくるま之助武貞祝儀献上品目録あり	辰12月	横長美大 / 549~571は1括り・1冊	566
(安藤彦七弟縫殿之進躰養子許可) 依田政之進		横切紙・1枚	797-7
御書付 (村田直太郎妹縁組許可) 依田忠之進 折封	明治3年11月13日	横切継紙・1通	797-1
御式帳	11月15日	横長美 (紅白水引綴紐)・1冊	567
御祝儀御申合帳	庚午11月	横長美 (紅白水引綴紐)・1冊	568
音信帳 (到来物控) 佐久間	元治元年7月12日	横長美・1冊	569
(婚礼進上物目録他諸式日程) 破損大	弘化3年11月	横長美 (紅白水引綴紐)・1冊	570
袋 上書「宮下江引越一件」	明治6年12月	1袋	879
万仕払扣 依田	明治6年8月	横半半折・1冊	879-1
御祝儀物留		横長半・1冊	879-2
土産物覚		横半半折・1冊	879-3
(人数賃銭料理献立書上)		横長半・1冊	879-4
御祝儀帳 近藤秀明 包紙	明治30年4月	横長美大・1冊	879-5
御祝儀関係書類 包紙			879-6
御祝儀帳 宮島嘉織 桜井佳人殿	明治30年12月	横長美大・1冊	879-6-1
記 (御縁女荷物御預) 宮下秀丈様御内柄原勝弥 依田稠美様御内大内新之助様 折封	明治30年12月4日	横切継紙・1通	879-6-2
親類記 宮下秀丈 折封		横切紙・1枚	879-6-3
献立 (御里帰、御荷物送、御引越、御見立)		横長半・1綴	879-6-4
御祝儀御申合帳	午11月	横長美大・1冊	879-7

親類

(岩下縫殿丞清熙御知行高年譜書上) 文政7年8月9日	弘化5年	縦紙・1枚	618-8
(岩下縫殿丞清熙御知行高年譜書上) 文政7年8月9日 ～ 貼紙	嘉永5年	縦紙・1枚	618-9
(齊藤友衛利和俸禄年譜書上) 文政7年10月朔日～、文久2年、同3年継紙あり 貼紙	安政4年	縦紙・1枚	618-7
(亡北山安世在命中不屈之所行御処置、親類共有免嘆願書写) 亡北山安世親類土族荒井伴之助他5名 依田忠之進も署名	(明治4年) 辛未9月29日	縦紙・1枚	620-3
(高野車宛依田氏へ託す問合下書) (高野) 秀叟 高野車 下書カ	明治24年9月22日	美・1綴	621-6
親類書 宮下秀丈 折封	明治30年4月	横切継紙・1通	795-6

緊急可申談事件有り早々帰郷可致事（家業改ニ付） （高野）秀叟 高野車 赤罝紙		美・1枚	620-9
葬儀・法事			
袋 上書「義鑑様御不幸之節諸用書入」 （依田源之丞暇乞親類他嘆願書留） 案文共	元治2年正月9日	1袋	883-1
高野車之助書状（依田源之丞病状報知并御帰郷加養之件） 依田又兵衛様	12月13日	折紙、横切継紙・1枚、1通	883-1-1
本源義鑑居士葬式法事万端留 （依田源之丞葬送行列帳）	元治2年正月	横切継紙・1通	883-1-2
買物帳 馬場丁依田氏	元治2年正月	横長美・1冊	883-1-3
（依田又兵衛病氣家督相続願并死去ニ付忌服日数政之進届書留）	10月3日	横長半・1冊	883-1-4
買物帳 依田氏	明治2年正月28日	横長美・1冊	883-1-5
買物帳 馬場丁依田内	慶応2年10月	折紙・1枚	883-1-6
法事記 貞心大姉様13回忌	明治12年3月4日	横半半折・1冊	883-1-7
源之丞書状（近況報知） 御父上様	12月10日	横半半折・1冊	883-1-8
袋 上書「智音大姉一件帳 一輪堂」	明治4年8月	横切紙・1枚	883-1-10
慶応2年10月2日孝観忠順居士病中并葬式法事之節迄万端留 （葬送行列帳）	慶応2年10月2日～11月	袋・1袋	883-2
金井懐雄悔状 依田稠美様 封紙	（明治22年）1月27日	横長美大・1冊	883-2-1
到来物覚	慶応3年正月29日	横長半・1冊	883-2-2
行列帳	（明治4年）辛未8月21日	横切継紙・1通	883-2-3
音信帳	明治4年8月21日	横長半・1冊	884-10
（法事記） 孝観忠順居士様7回忌、観室智音大姉様1周忌	明治5年8月20日	折紙・1枚	884-12
（法事記） 観応誠心居士様33年忌、観室智音大姉様3年忌、本説真心大姉様7年忌	明治6年3月27日	横長美・1冊	884-14
法事記 本源義鑑居士様13回忌、観室智音大姉様7回忌、忠峯院大門活道居士1周忌、玉夢禪童女1周忌	明治10年7月16日	横長美・1冊	884-2
（法事日書上） 月心院宝室妙鏡大姉（カ）	（明治22年）	横半・1冊	884-3
御法会記 真光院様23回、法運院様27回	明治26年4月9日	横切紙・1枚	884-4
通妙院様150回忌月心院様7回忌諸用記	明治28年1月20日	横半半折・1冊	884-11
（法事案内ケ所、御備物、龍泉寺布施物留）	明治31年11月14日	横半半折・1冊	884-26
忌服日数（書上）		横半半折・1冊	795-1
（26日27日法事献立）		横切紙・1枚	884-5
		折紙・1枚	884-6

(義鑑法事行列帳)		横長半・1冊	884-7
(法事献立并人数書上)		折紙・1枚	884-9
(行列帳)		横長半・1冊	884-13
(寺院見取図)		縦紙・1枚	884-18

家作・普請

(家相図)	万延元年7月	縦紙・1枚	884-37
土蔵修復扣 依田	明治10年7月21日～8月25日	横半半折・1冊	294
屋根修復諸調帳	明治11年9月	横長半・仮1冊	344
(家屋平面図) 依田綱美	明治21年5月14日	縦紙・1枚	798-1
土蔵開き戸前仕附入用扣	明治24年8月	横半半折・1冊	482
居間并ニ勝手建替扣	明治34年4月	横半半折・1冊	346
居間并ニ勝手建替扣	明治34年4月	横半半折・1冊	354
(御殿の宅迄道程書) 依田源之丞		横切紙・1枚	798-2
覚(御門、湯殿普請費書上) 横町三作 依田様御内	巳12月	横長半・1冊	878-1
覚(代金勘定) 屋ねや仙蔵 依田様御内	午11月	横切紙・1枚	878-6
覚(代金勘定) やね屋安治郎 与田様御内御役人中様	卯8月	横切紙・1枚	878-11
覚(代金勘定) 三作 依田源之丞様御内	申極月	横切継紙・1通	878-12
覚(差引残代金勘定) 横丁三作 依田様御内	未7月	横切紙・1枚	878-13
覚(代金勘定) 屋ねや仙蔵 依田様御内御役人様	午8月	横切継紙・1通	878-18
覚(代金勘定) 家ね屋仙蔵 依田様御内	申10月22日	横切継紙・1通	878-23
(材木代金勘定覚)		折紙・1枚	878-24
雪隠懸り(代金勘定) 横町三作 依田様御内	酉1月	横長半・1綴	878-29-2

諸 届

口上覚(養母星野清之助方江差遣ニ付伺) 依田木工右衛門 十河式部様	享和元年12月15日	横切紙・1枚	797-2
(軒別人数調ニ付当所受持巡查、差配人へ提出書類写) 長野県士族依田忠致	明治8年11月・(明治9年)子	横切継紙・1綴(2枚)	795-4
(寄留地変更届扣) 長野県士族依田忠致 (区務所) 大1大区10小区築地2丁目18番地より大2大区2小区新桜田町20番地	明治9年4月18日	縦紙・1枚	621-5
(寄留地届) 長野県士族依田忠致	明治9年4月18日	横切紙・1枚	795-3
(築地2丁目より新桜田町20番地移住届下書) 長野県士族 第2大区2小区区務所御中・第二方面第1署御中・第1大区10小区区務所御中	明治9年4月18日	横切紙・1枚	795-5

旅 行			
従江戸遠州舞坂迄道中記（順宿附、道法附、本馬軽尻 駄賃附、御出入本陣名面、宿間在村附、川々渡場附 并朝鮮人昼泊駅御馳走之御役人様方附）	宝暦14年2月	折本・1冊	310
日記（播磨高砂までの往路道中記）	天保15年正月26日～3 月7日	横半半折・1冊	175
紀行（鹿児島まで） 依田利継	弘化4年正月22日～6月 19日	横半半折（列帖綴） ・1冊	446
（別所参詣道中記） 破損大	嘉永2年4月19日～21日	横切半・1冊	196
旅行日数積（安政6年正月16日～4月24日の日程）	安政6年正月	横半半折・1冊	200
（道中泊附・里程） 中国・四国旅行 灰色宿紙	安政6年正月16日～4月 10日	横切継紙・1通	852-3
道中金銭遣払手留 忠順扣	慶応元年9月15日	横小型（8.3×16） ・1冊	309
（道中日記・小遣覚・土産物配所・銭別覚・あつらい 物覚） 長崎まで	正月22日～6月19日	横切小型（9×19） ・1冊	312

湯 治

洪温泉湯治書類			323
宿々駄賃帳	安政4年5月10日～22日	横長半（323-1～3 合綴）・1冊	323-1
小つかひ帳	安政4年5月10日～22日	横長半・1冊	323-2
（湯治入料覚綴）	安政4年5月10日～20日	横長半・横切・1 綴	323-3
湯治書類			356
万通簿 山田ゆ藤井東兵衛 松代御客様	明治8年9月	横美半折・1冊、 356-1・2と合綴	356-1
（金銭支払、湯治日記等）		折紙（2枚）、切紙 （2枚）・1綴	356-2
相州箱根温泉御湯治御入料帳 宮下秀丈・依田稠美	明治15年8月2日～9月3 日	横長半・1冊	260
湯治書類			865-6
（別所行日記綴）	明治27年12月	横美、横切継紙・ 1綴（1冊、1枚）	865-6-1
（別所湯治勘定書綴）	明治27年12月	横長半、横切継紙 ・1綴（1冊、1枚）	865-6-2

書 状

くめ書状（病状伺、品物并浄暁院様法事備物札） 父もじ様	御 8月3日	横切継紙・1通	878-46
--------------------------------	--------	---------	--------

たかのふさ書状（御前様御出立、時候等） よた御父上様	12月20日	横切継紙・1通	858-2
たか野房書状（御悔） よた御父上様	正月22日	折紙・1枚	858-9
一二三書状（井伊侯御凶変等） 一二三 源之丞様	3月24日	横切継紙・1通	868-41
右金吾書状（御伯父上様御悔状） 御祖父上様	正月22日	横切継紙・1通	858-3
岩下清光書状（会社退社、非常線合金より寸志5円送金等） 函館港潮止町25番地 依田稠美殿・矢野半平殿 封書、青色罫紙（片面8行）	明治25年12月8日	縦紙・3枚	884-29
権之丞書状（江府御長屋向、御勤方之儀伺） 又兵衛様	正月10日	横切継紙・1通	858-4
源之丞書状（無尽金、西村十郎より引受金、墨送付、おこうほうび等） おしけとの	10月18日	横切継紙・1通	870-3
源之丞書状（長州追討之先鋒被蒙仰候ニ付） 御父上様	8月21日	横切紙・1枚	629-3
高野右金吾書状（御叔父様病気見舞） 御祖父上様	正月7日	横切継紙・1通	858-10
高野秀叟書状（学齡金救助ニ付） 依田稠美様	3月22日	横切継紙・1通	878-47
三沢刑部丞書状（佳品頂戴礼） 依田政之進様 封紙灰色宿紙	正月16日	横切継紙・1通	880-11
秀書状（学校改築寄付金ニ付） 稠美様	12月22日	横切継紙・1通	878-41
秀書状（戸長鎌原氏同郡鑄物師屋村転任、筆生10名免職一件顛末）			858-11
小平次書状（出立前御厚情礼、京都動勢等） 源之丞様他7名	7月11日	横切継紙・1通	865-3
小平次書状（図面之儀報知） 政之進様	3月15日	横切継紙・1通	884-24
上田捨藏書状（このわた并書状佐久間先生方へ御届依頼） 上田捨藏 依田源之丞様 卷上「文久2戌年正月7日達、上田捨藏子より之来状、能州珠洲折戸より、12月17日付」 緑色宿紙	文久2年12月17日	横切継紙・1通	868-43
政之進書状（当年米相場、御父上詰高水野氏へ御問合被下様、斉藤出勤之件、水野江歳暮之件） 御母上様 前欠カ	慶応元年12月8日	横切紙・1枚	791-11
政之進書状（22日夜鎮火、横浜呉服屋、当春御一覧等）	3月4日	横切継紙・1通	833-9-1
政之進書状（羽織御届御礼、運上所交代詰人数等） 灰色宿紙	4月21日	横切継紙・1通	833-9-4
政之進書状（御宛行頂戴之御礼名代御礼、矢間合、太田御陣屋図面等）	4月11日	横切継紙・1通	833-9-3
政之進書状（御一覧ニ付御道具御地ニ見付被下様） 鎌次郎様他2名	3月9日	横切紙・1枚	833-9-2
政之進書状（御前様御在所表江被為入候様被仰出、酒井より年々送り金問合等）	11月4日	横切紙・1枚	833-9-8
政之進書状（御父上様昨9日死去） 御祖父様	正月10日	横切継紙・1通	858-8
政之進書状（御父上様膝状甚不宜、出立延引） 謙次郎様 紙繕一括、灰色宿紙	正月10日	横切継紙・1通	858-1
政之進書状（歳暮御礼・御上洛乗船日限・諸芸御用稽古等） 政之進	2月3日	横切継紙・1通	831-35-2

政之進書状（歳暮御礼） 御母上様	2月2日	横切継紙・1通	831-35-1
政之進書状（足袋送付礼、江戸表御変革ニ付世情向） 父上殿 灰色宿紙	9月5日	切継紙・1通	831-18
雪松書状（不在詫状） 依田君	4月24日	横切紙・1枚	884-28
大日向正司書状（江戸猛風被害死失人写）	8月28日	堅紙・1枚	620-10
忠継書状（鎌二郎道中無滞着、此度之御変一切不存残念、見舞送付礼） 御祖父様 灰色宿紙	正月22日	横切継紙・1通	858-7
忠健書状（臨時出府ニ付厄介願）	3月8日	横切継紙・1通	861-17
直太郎書状（叔父凶変ニ付御悔） 大叔父様	正月26日	横切継紙・1通	861-19
日本銀行代理店田中銀行長野支店書状（金禄公債証書押印願） 依田稠美殿 封書、罫紙（「田中銀行」10行）共	明治19年10月7日	堅紙・2枚	884-32
繁書状（金子無心） 御父上様	3月22日	横切継紙・1通	861-16
武貞書状（京都ニ而出奔致候念仏寺村八作取扱、京都帰り道中駄賃調書等） 依田君	6月朔日	横切継紙・1通	880-16
武貞書状（大坂ニ而金子要用拝借） 政之進様	12月23日	横切継紙・1通	880-12
法如庵書状（御参詣御来駕之節不在詫、御酒料御備礼、御祈禱御札御守頂戴被成下度） 依田又兵衛様	正月22日	横切紙・1枚	858-5
某書状（5月始帰国、入料多く10両送付願他） 下書カ	3月16日	折紙・1枚	629-4
某書状（ドイケルスコロツクの発明人姓名製作法等）		横切継紙・1通	865-10
某書状（御上洛ニ付神奈川宿保土ヶ谷宿混雑・送物御礼・諸役被仰付勤方・佐久間ニ預書物等）	亥2月26日届	堅紙・1枚	831-35-5
某書状（御武具方役人勤方） 灰色宿紙		横切継紙・1通	831-35-6
某書状下書（貞直高借財措置ニ付）		半綴・1綴（3枚）	618-10
又兵衛書状（異国船渡来風説、貞松院御発輿動向、漬物送付礼等） 源之丞殿	3月15日	横切継紙・1通	813-3
又兵衛書状（異国船横浜帰帆状況、京都御守衛方名面御廻し報知） 源之丞殿	7月20日	堅切紙・1枚	813-4
又兵衛書状（御悔状） お繁殿	正月22日	横切継紙・1通	880-1-1
又兵衛書状（御悔状） お繁との	13日	横切継紙・1通	880-1-2
又兵衛書状（江府市中近況・御台場勤等） 又兵衛源之丞殿 灰色宿紙	10月21日	横切継紙・1通	831-35-3
又兵衛書状（歳暮御礼・異人館居留地乱妨一件風聞・佐久間京都風聞等） 又兵衛 源之丞殿	正月13日	横切継紙・1通	831-35-4
又兵衛書状（若党を召連出奔致候体動静、国太郎ごたごた致候風説、小山田重大夫立帰出府、御上御機嫌能御様子等） 源之丞殿	4月22日	横切継紙・1通	833-9-5
又兵衛書状（諸家御供増、彦根様御沙汰一向無之、水戸表今以一揆治り兼、綿内氏堀田氏氣之毒、其表賑々敷様子等） 源之丞殿	閏3月13日	横切継紙・1通	818-2-5-5
又兵衛書状（生麦殺傷事件報知） 又兵衛 源之丞	閏8月3日	切継紙・1通	831-19

依田家／家計・経営／帳簿

又兵衛書状(祐太郎祭礼乗馬御世話御礼、古帷子遣被下度、佐久間老人死去結構之臨終、齊藤公5麦粉頂戴御礼、祭礼日天候等) 源之丞殿	8月22日	横切継紙・1通	833-9-6
又兵衛書状(祐太郎祭礼無滞乗馬致候段目出度、鎌次郎江戸見物御遣被下度等) 源之丞殿 桃色宿紙	9月6日	横切継紙・1通	833-9-7
友衛書状(年始・歳暮御礼) 源之丞様	正月3日	横切継紙・1通	868-45
老人書状(御悔状) お繁との	4月4日	横切継紙・1通	880-1-3
老人書状(御悔状) お繁との	4月23日	横切継紙・1通	880-1-4
脩理書状(婿養子存念無御座旨) 脩理 甚兵衛	6月27日	横切継紙・1通	881-7

家計・経営／帳簿

年中諸用日記 依田氏	文久2年2月吉辰日	横半半折・1冊	793-6
年中諸用日記 依田忠継	文久3年正月2日	横半半折・1冊	793-2
歳準諸帳 忠継控	文久4年正月吉辰	横半半折・1冊	793-3
諸用留(内借覚、良之助江金銭渡覚、納物覚) 忠継 扣	元治元年12月	横美半折・1冊	199
月々円出納録 依忠	慶応元年中秋	横半半折・1冊	793-7
諸用料遺日記(金銭出納覚) 依田忠継	慶応元年6月14日～7月晦日	横半半折・1冊	258
御扶持請取通帳 依田政之進使新之丞	慶応元年6月25日	横半半折・1冊	793-4
出納日録 花蝶亭	慶応2年正月元旦	横半半折・1冊	793-1
歳中聚揚録 家計司 [破損大]	明治元年12月	横美半・1冊	3
諸入費并諸税差出記 依田氏	明治4年～同8年	横半半折・1冊	792-2
買物帳 馬場丁依田内	(明治4年) 辛未8月	横半半折・1冊	349
上京二付諸用日記(出金簿) 一輪亭	明治8年10月	横半半折・1冊	244
雑記(出納簿) 依田扣	明治10年4月15日～23日	横小型半折(10×12)・1冊	238
諸払元帳	明治10年7月～同12年1月	半・1冊	357
金銭遣払扣帳 依田氏	明治18年1月1日～同19年10月	横長半・1冊	301
金銭請取扣簿 依田氏	明治18年1月13日～同19年10月5日	横長半・1冊	302
金銭出納簿 依田氏	明治21年5月～同22年4月	横半半折・1冊	270
手扣(金銭出納簿)	明治25年10月22日～同26年1月	横半半折・1冊	285
金銭受納扣	明治26年1月～9月	横半半折・1冊	352
金銭出納日記	明治28年10月～同31年12月	横半半折・1冊	279

金銭出納日記	明治34年1月～12月	横半半折（296と合綴）・1冊	295
金銭出納日記	明治36年1月～12月	横半半折・1冊	350
金銭出納日記 よた	明治37年1月～12月	横半半折・1冊	289
金銭出納日記 依田	明治38年1月～12月	横半半折・1冊	351
金銭出納日記 依田氏	明治39年1月～12月	横半半折（ザラ紙）・1冊	269
日記帳（出納簿） 依田	明治40年1月～12月	横半半折・1冊	243
日記帳（出納簿） 依田	明治41年1月～12月	横半半折・1冊	247
おぼえ（金銭出納帳） 依田 （金銭出納帳）	大正7年3月～同9年7月 11月～翌年12月（明治）	横半半折・1冊	345 343
（金銭出納簿） 香典帳反故紙 （金銭出納簿）	8月～10月	横切美半折・1冊 横切小型（82×121）・1冊	884-17 884-34

諸費勘定・請取

刀装関係書類 紙繕一括			878-30
覚（代金受取勘定） 白銀師清次郎 上	寅11月13日	横切継紙・1通	878-30-1
覚（代金受取勘定） 白銀師清次郎 上	寅8月23日	横切継紙・1通	878-30-2
覚（刀代金勘定） 熊谷五郎	3月29日	横切継紙・1通	878-30-3
覚（刀代金落手勘定） 熊谷 仲藤様 桃色宿紙	7月4日	横切継紙・1通	878-30-4
覚（代金受取勘定） 鞘ぬりし六助 湯田様御内	寅12月13日	横切紙・1枚	878-30-5
覚（代金受取勘定） 山崎国治郎 ゆた様御屋敷	寅12月23日	横切紙・1枚	878-30-6
袋 上書「金賦入 よた」		1袋	882-1
明治15年・明治16年・明治17年租税符紙 地租、協議費、学資金、地方税		1袋	882-1-0
明治15年租税符紙 埴科郡松代町役場 依田稠美殿 地租、協議費、学資金、地方税	明治15年	横切紙（11×13）・1綴（12枚）	882-1-1
明治16年租税符紙 埴科郡松代町役場 依田稠美殿 地租、協議費、学資金、地方税	明治16年	横切紙（11×13）・1綴（15枚）	882-1-2
明治17年租税符紙 埴科郡松代町役場 依田稠美殿 地租、協議費、学資金、地方税	明治17年	横切紙（11×13）・1綴（11枚）	882-1-3
租税請取類 （依田稠美）	明治8年～明治15年	横切紙・7綴（74枚）、2枚	882-1-4
租税請取類 （西沢春吉）	明治8年～明治14年	横切紙・5綴（28枚）、6枚	882-1-5
記（公債証書請取御渡） 懐雄	（明治）11年10月8日	横切継紙・1通	882-1-6
町方店払残覚手控 依田源之丞	嘉永4年12月調	横半半折・1冊	793-5
覚（代金勘定） まつや安右衛門 依田様御内	明治4年2月13日	横切紙・1枚	878-27-5

(東京依田稠美・忠致宛金銭請取綴)	明治9年・10年	横切継紙、横切紙 共・1綴(18通)	859
よろづ扣(金銭受取)	明治7年1月17日～12月 27日	横半半折・1冊	293
金銭請取帳 依田氏	明治10年9月2日～明治 17年7月29日	横長半・1冊	300
金銭請取帳	明治10年9月～同12年	半・1冊	358
閉穀積金受取通 齊藤重因他3名 依田稠美殿	明治11年5月3日～同16 年4月5日	横半半折・1冊	284
(養魚会社積金受取簿) 信濃松代養魚会社 依田稠美殿	明治15年2月28日～同 17年12月28日	横半半折・1冊	286
雑用払扣(竹代金) 依田	明治18年4月～10月	横美半折・1冊	348
(下屋敷手入代金、桑切代金綴)	(明治24年)	横切紙、横切継紙、 堅継紙・1綴(1枚、 2通)	884-27
穀物類買入扣	明治26年1月～11月	横半半折・1冊	291
(雇人賃錢覚) 袖断裁	明治31年	折紙・1枚	881-1
(金銭出納扣)	明治31年・32年	折紙・1枚	881-2
盆前土屋喜作勘定扣	明治32年	横切紙、折紙・1 綴	881-5
(日用品代受取帳) 大島や 藤田様、依田様	丑11月25日	横長半・1冊	305
覚(代金勘定) 駿河屋錠吉 与田様御内御役人中様	申12月29日	横切紙・1枚	878-3
覚(代金勘定) 駿河屋喜太郎 依田甚兵衛様御内御役人 中様	申12月	横切紙・1枚	878-4-1
覚(代金勘定) 椽屋長兵衛 依田甚兵衛様御内	申12月	横切継紙・1通	878-4-2
記(荒物代金勘定) 篠屋藤作 依田忠之進様御内御役 人中様	戌8月	横切継紙・1通	878-5
覚(代金勘定) 車や佳作 ば、丁依田様御内 灰色宿紙	未7月	横切継紙・1通	878-7
覚(刀装品代金) 喜三郎 依田源之丞様御内	10月16日	横切紙・1枚	878-8
覚(代金勘定) 坂屋賀助 依田甚兵衛様御内	申極月	横切紙・1枚	878-10
覚(代金受取勘定) 車屋清左衛門 依田忠之進様御内	申7月	横切継紙・1通	878-14
覚(代金勘定) 車屋清左衛門 依田忠之進様御内	未極月	横切継紙・1通	878-15
覚(代金勘定) 鞆塗師喜三郎 依田忠之進様御内	亥12月	横切継紙・1通	878-16
覚(代金受取勘定) 車屋清左衛門 依田忠之進様御内	酉1月	横切継紙・1通	878-17
覚(代金受取勘定) 依田様	申7月	横切紙・1枚	878-19
覚(代金勘定) 駿河や喜太郎 依田甚兵衛様御内御役人 中様	申12月	横切継紙・1通	878-22
覚(手間賃請取勘定) 横町文吉 上	未7月	横切紙・1枚	878-25
覚(代金勘定) まつや安右衛門 依田様御内	未10月29日	横切継紙・1通	878-27-1
覚(代金勘定) まつや安右衛門 依田政之丞様御内	午7月	横切継紙・1通	878-27-2

覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之丞様	酉7月	横切紙・1枚	878-27-3
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之進様御内	辰7月	横切継紙・1通	878-27-4
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之丞様御内	未7月	横切継紙・1通	878-27-6
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之進様御内	巳12月	横切継紙・1通	878-27-7
覚（代金勘定）	笹屋栄次郎 依田様御内	酉1月	横切紙・1枚	878-28
覚（水鉢・土びん代金勘定）	せと房藏 依田様御内御役人中様	酉1月	横切紙・1枚	878-29-1
覚（水鉢代金勘定）	せと焼房藏 依田様御内御役人中様	午12月	横切紙・1枚	878-29-3
覚（下駄2足代金勘定）	和助 与田様御内	午極月	横切紙・1枚	878-29-4
覚（内取差引勘定）	現金屋祖吉 依田様御内御役人中様	午12月	横切継紙・1通	878-29-5
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之丞様御内	午12月	横切継紙・1通	878-29-6
覚（代金勘定）	西条村久兵衛 依田様御内	午12月	横切紙・1枚	878-29-7
覚（代金勘定）	さし物栄治郎 依田様御内	午極月	横切継紙・1通	878-29-8
覚（払残代金勘定）	椽屋長兵衛 依田様御内	午12月	横切紙・1枚	878-29-9
覚（代金勘定）	車や友左衛門 依田忠之進様御内	午極月	横切継紙・1通	878-29-10
覚（代金勘定）	車や佳作 依田様御内	午12月	横切継紙・1通	878-29-11
覚（代金勘定）	さし物栄治郎 馬場丁依田様御内	未7月	横切継紙・1通	878-31
覚（しら菊5升5合代受取）	きく屋佐助 上	5月7日	横切紙・1枚	878-42
記（食品代勘定）	のとや富作 上	7月5日	横切継紙・1通	878-43
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之丞様御内	酉12月	横切継紙・1通	878-44
覚（代金受取勘定）	松屋安右衛門 依田様御内	戌1月29日	横切紙・1枚	878-45
（辰暮払方書上）			横切継紙・1通	880-4
記（齒7回治療代）	高野車		横切継紙・1通	881-9
（小森山崎分材木本数・代金書上）			折紙・1枚	884-16
覚（金銭受払、依田氏分）			横切紙・1枚	804-22
調書（白柄龍雲頭脇差払覚）			横切継紙・1通	878-9
（金銭勘定）			横切紙・1枚	878-21
（山雑用、山中入用勘定）			折紙・1枚	878-26

藩 札

信濃国全国通用札（600文） 方	藩県引換所・松代藩会計	（明治2年カ）	（11.7×3.9）・1枚	774-4
信濃国全国通用札（100文） 方	藩県引換所・松代藩会計	（明治2年カ）	（11.1×3.5）・1枚	774-5
金為替手形（金1両）	松代藩商法社 破損大、下部裁断	（明治2年カ）	（欠損×4）・1枚	774-6

金手形（金1分） 松代藩計政局 「支配所済急」とあり	（明治3年）午3月限	（10.5×3.7）・2枚	774-2
金手形（金1朱） 松代藩計政局 「支配所済急」とあり	（明治3年）午3月限	（9.4×3.5）・1枚	774-3
金札（金1両） 松代藩計政局	明治3年4月	（欠損×4.2）・1枚	774-1
覚（有合藩札・商社札） 依田忠之進	（明治4年）辛未正月3日	横切紙・1枚	862-4

経営

年中細工物并仕入物覚帳 一輪亭 忠	嘉永5年正月吉辰	横長半・1冊	793-8
年中諸用日記 一輪亭 忠 天部見出付	嘉永7年正月吉辰	横長半・1冊	793-9
辰年中諸用記録 一輪亭	慶応4年正月	横長半・1冊	793-10
（公証証書御下ケ願下書） 依田稠美他4名 東京府知事 楠本正隆代理大書記官千田貞陸殿	明治12年10月	縦紙・1枚	792-5
雇人日数覚 依田	明治21年1月	横半半折・1冊	264
明治22年養蚕成績御届 依田稠美 埴科郡長中島精一殿	明治23年1月27日	縦紙・1枚	884-35
家屋及畑地代請取記 依田稠美 鈴木雄之助	明治30・31年	横半半折・1冊	353
金銭出納日記 日雇扣	明治32年1月～12月	横半半折・2冊合綴	274
五齡桑切出し覚	明治32年6月18日～28日	横切小型（9.5×14）・1冊	881-3
金銭出納日記 雇人日数扣	明治33年1月～12月	横半半折・2冊合綴	271
（公債証書番号、融通会社利子渡賦紙、白紙委任状等） 折封	明治33年	縦紙、横切紙、横切縦紙・6通、6枚	792-6
雇人日数扣	明治34年1月～同35年8月	横半半折（295と合綴）・1冊	296
家賃并桑畑小作代金請取扣 依田氏	明治35年9月5日～同38年8月13日	横長半・1冊	304
養鶏覚帳 依田	大正11年4月～大正13年3月	横半半折・1冊	347
記（桑代金請取） 玉井 依田様	8月5日	縦切紙・1枚	881-8
（桑摘賃銭覚） 末尾断裁		折紙・1枚	881-10
（繭量・養蚕費用書上）		折紙・1枚	884-15
金銭出納雇人日数扣帳 依田		袋・1袋	881

記録・学芸／諸記録

日記（伊勢参宮） 十五百々村つくはり右衛門	寛延2年2月28日～3月21日	縦小型（13.2×8.8）1冊	311
（万留書帳） 「御納戸上納金通帳」等反故紙	宝暦10年正月吉日帳	横半半折・1冊	580

(諸家秘聞集抜萃)	天明～寛政	半・1冊	547
天明3年12月18日殿様四品被仰付候節之次第、翌正月辰元旦御装束之次第、御礼被仰上候次第 中川九平次殿方も写借留置候	天明3年12月18日～天明4年正月朔日	半・1冊	631
(海津侯臣鈴木重履歴書)	(寛政9年) 丁巳冬	美・1冊	455
覚書(手習指南書、末尾に茂菅通、川東通、有旅通、大岡通、川南通村名書上)	寛政10年7月18日	横切半・1冊	206
本朝武芸小伝 西沢源明擎	文化13年12月写	半・1冊	586
御道中記(上屋敷より松代までの里程調) 金井清令控	文政元年5月	横切半・1冊	179
風怪状写(筑前福岡藩中桑野半五右衛門より江戸同藩親類方へ申越候書状写、文政11年8月9日大風被害状況、郡中潰家死人之覚)	文政11年8月19日	半・1冊	630
義士銘々伝 依田源之丞	弘化2年5月写	横半半折・1冊	442
御軍役大積	弘化3年	半・1冊	211
仁孝天皇尊儀御葬送御当夜役者備忘	(弘化3年)	横半半折・1冊	538
道程記 全一(肥後まで35か国巡歴里程調) 依田源之丞利継	嘉永2年春	横半半折・1冊	177
合衆国書翰 漢文和解 全 依田源之丞利継 破損大	嘉永6年8月写	半・1冊	622
御軍役御定 依田源之丞利継写	嘉永6年10月	半・1冊	210
(和蘭新聞記事聞書留) フケ大	(安政4年) 丁巳	半・1綴	617-2
江戸御本城炎上記	(安政6年)	横切紙・1枚	862-3
(御大老、御老中、御側御用人、若年寄名面)	安政6年5月改	横切紙・1枚	818-2-5-6
伊勢町狂言番附	安政6年8月	横小型(8×25)・1冊	571
(万国旗)	万延元年写	半・1冊	626
(水戸浪士一件公明正大之御沙汰願写) 一部欠損	万延元年閏3月	半・1綴	620-7
(文久辛酉新板チヨボクレふし) 上原屋佐善主 京都-而写、フケあり	文久元年	半・1綴	617-6
(よこはまかけのりはるのもようし) フケ・破損大	文久2年4月3・4日	半仮綴・1綴	521
御両敬・御間線外・御駕籠入 依田忠継	慶応元年8月中旬改正	横切小型(7×10)1冊	437
御両敬・御間線外・御駕籠入		横切小型(5.6×12)・1冊	438
(御両敬・御間線外・御駕籠入、官位次第、城中詰所、御規式御成定日等留書)		横半半折(列帖綴)・1冊	440
御簾本御両敬		横切半・1冊	190
(城下各町居住人留) 依田姓 付:家老・中老・差立衆等宛書状案 黒台紙貼込帳	嘉永2年2月改置(慶応2年10月改正)	加除式(13.5×22)1冊	443
閣老松山侯御役御辞退書写 久松隠岐守定昭 後欠、破損	(慶応3年)	半・1枚	619-3

米藩名義世運論解 フケ大	慶応3年12月 (異本)	半・1綴	615-1
職員令	明治2年8月	半仮綴・1冊	221
(御遺勅、学体写)	明治3年5月20日写	半・1綴	617-1
西郷氏論 端書朱書「辛未季春廿日東京に達ス 四月廿一日写」、表題下朱書「一薩州見込書」	(明治4年) 辛未4月21日写	半・1綴	615-4
士族卒給禄ノ義ニ付山口県に建言書ノ写 新聞雑誌第54号付録、青野紙 (片面10行)	明治5年	半・1綴	617-3
公用文 (留) 依田知代 (出生届、生糸仲買営業届、出寄留届、末尾に日本小史問答あり) 「長野県尋常師範学校」赤野紙 (片面12行)	明治22年・同23年	半・1冊	607
清酒及各種酢製造法 (抜書) 香川県高松市中酒造家ヨリ議院へ請願書之内ヨリ抜写、明治24年3月1日官報	明治24年3月写	半・1冊	456
郵便報知新聞 第16008号写 教育新報社	明治31年2月4日発行	堅紙・1枚	884-30
ゆめの世	(明治) 32年1月稿	堅小型 (仮綴) (20×14)・1綴	556
海防愚存 よし継写 (別称「水公存意書十箇条」)		半・1冊	615-3
従江戸松代迄行程付 正徳元年5月江戸日本橋御制札之写あり		横小型 (8×16) 1冊	306
(中山道宿附道法附)		横切小型 (8×16) 1冊	313
(法朗西文典訳字)		横切小型 (8×16.5)・1冊	386
刺工抄 全 見台、衣桁、将棋盤、碁盤等		半・1冊	418
(久能山宝物見聞記)		半・1冊	449
(漢詩習作帳)		横半半折・1冊	464
婚礼法式 [中・後欠]		半 (仮綴)・1冊	554
(養蚕之準備他種々飲食物製法) 乱丁		半 (仮綴)・1綴	557
崇道天皇 (略歴)		半・1冊	558
陸前多賀城碑 「真田家」青野紙 (片面9行)		半・1冊	559
滋野親王考		半 (仮綴)・1綴	560
滋野親王後胤海野氏系図 破損大		半・1冊	561
秀良親王 (系図)		半・1冊	562
六雄論 青山延光著 後欠		半 (仮綴)・1綴	563
(滋野姓氏権輿) 破損大		半 (仮綴)・1綴	564
(法朗西文典訳書) 破損大		横半半折・1冊	572
(天皇系譜) [文武～順徳天皇]		横半半折・1冊	573
九々之書 「松代文庫」蔵書印		堅切美・1冊	575
(紅塵集、泊泊舎集抜書) 末尾に「御家中知行所収納之大概」あり		堅小型 (19.5×13.5)・1冊	576
(羅句語教本) 表紙欠損		横半半折・1冊	578

(説話3題) (杜若屋敷亡魂、大亀の怪、一目坊)	横美半折・1冊	581
筆法帖 乾	半・1冊	582
筆法帖 坤	半・1冊	583
日本中臣拔弁書 全 「松林蔵書」印	半・1冊	584
(夢窓国師のカナ法語 二十三問答) 表紙破損大	半・1冊	587
祢津城 祢津賦	升形 (18.5×17.5) ・1冊	594
歌稿 [綴紐破損]	半・1冊	599
牛込古諺記 依田忠順	半・1冊	600
躰事亀毛之歌 池村氏	美・1冊	602
諸家深秘録 フケ大	横美半折・1冊	604
ふみの文 フケ大	美・1冊	608
評物定会入句扣	半・1冊	609
(本能寺間取図)	縦紙・1枚	618-2
第4区疑問題 (寄留、嫡孫承祖等書式)	縦紙・1枚	619-5
(漢文武田信玄)	美・1綴	621-7
大鳥圭介獄中日記書抜 (葡萄酒製造法、大藩中藩小藩 総高、磨粉砥石産地、石鹼製法)	折紙・1枚	629-5
(儉約論)	半・1冊	632
(西国地名里程図) 大坂～白杵	(49.8×140.3)・1 鋪	680
(小牧戦の図)	(98×80)・1鋪	723
(療法諸作法指南) 前欠	1巻	736
唐音歌	横切継紙・1通	813-6
麻疹療法書類 紙繕一括		834-6
(麻疹治法) 灰色宿紙	横切継紙・1通	834-6-1
(麻疹之節食合等)	横切継紙・1通	834-6-2
(三豆湯) 灰色宿紙	横切継紙・1通	834-6-3
(横浜市金丸謙次郎銃器値段書上)	横切継紙・1通	865-2
(五行説書留)	横切紙・2枚	868-12
(金銀匁方調書) 金銀貨図共	横切継紙、切紙・ 1通、1枚	868-13
(元号覚書) 天正～文久	横切紙・1枚	868-19
書会案文	横切継紙・1通	868-31
銀ヲ錢ニナス早算	横切紙・1枚	868-38
(千曲川出水記) 25日	横切継紙・1通	868-44

(紙勘定仕方) 断簡		横切半半折・1枚	884-1
(漆用途製法覚)		横切美・1冊	884-19
(謡本曲名目録) 内22番110曲、外13番62曲		横長半・1冊	884-20
藩史修正材料拾聚會概則試稿 茶色罫紙(片面13行)、 「本社資産調」の裏書、貼紙		縦紙・1枚	884-22
詠草		縦紙・1枚	884-31

風聞・聞書

品々聞書 破損大	天明5年～天明7年	半・1冊	227
見聞抜書集 式 フケ大		半・1冊	451
天狗党、防長征伐書類		1綴	612
(天狗党探索留書)		半・1冊	612-1
(長州征伐留書)		半・1冊	612-2
(寄留人覚書)		半・1綴	612-3
長州留守居へ御渡しニ相成候御沙汰書之御請書写 長州京留守居役乃美織江	5月	半・1枚	612-4
(所司代古高俊太郎事升屋喜右衛門探索及び在京 家夫又者書上御達ニ付写)	6月	半・1枚、1綴	612-5
因州家幕府江建白之写 松平相模守黒田日向	5月23日	半・1綴	612-6
因州之土肥謙藏差出候問策十則江尾州之周旋方某其 席ニ而即答之書付写	元治元年3月	半・1綴	612-7
(備前少将殿より歎願書之写、水府藩中野州大平山 籠居之者共ニ備前少将殿江差出候嘆願書写)	元治元年3月・4月	半・1綴	612-8
(宇都宮より水浪士名面等来翰、下野・下総・常陸 諸侯警衛向嚴重ニ可心得達書等写)	元治元年4月	半・1綴	612-9
宇佐奉幣使ニ付長州より差出し候書付写 毛利左京 亮内村上衛士	子4月	半・1枚	612-10
亀井隠岐守建白 亀井隠岐守源茲監	子5月	半・1綴	612-11
(毛利淡路守小性松野力次男松野頼申口御札、高松 藩ニ而被召捕長州村岡伊助、吉川監物芸州江罷越 申込之大意等願末書)		半・1綴	612-12
松平筑前守殿建言 松平筑前守	6月6日	縦紙・1枚	612-13
水府沈淪党趣意書写 諸生共		半・1綴	612-14
松平備前侯建白 松平備前守	子3月	半・1綴	612-15
(毛利一家長崎蔵屋敷召上ニ付老中連署状及び京都暴 発之末召捕ニ相成候長州藩村岡伊助申立書)	子9月23日	美・1冊	612-16
防長事情(備後福山家中長州へ探索として罷越候手 続書)	(元治元年8月)	美・1冊	612-17
元治元甲子年9月10日朝日本橋高麗橋之両所江張紙 致有之候写 天下万民中 有志諸大名様	(元治元年) 甲9月上旬	美・1冊	612-18

(桜田門外一件留)	安政7年	半・仮1綴	614-2
(幕末上方筋風評写留) 袋綴内糊付史料あり、一部フケ	(文久)	半 (仮合綴) ・9 綴	616
(渡辺友右衛門之嘶 (赤穂義士顛末) 留書) 下部欠損		半綴・1綴	619-14

蔵書

早字二重鑑 東都書肆崇文堂日本橋南2町目前川六左衛門 小口「依田忠順」、版本	宝暦12年5月	堅切半・1冊	548
(古註新註大成四書字引) 浪華書林柏原屋清右衛門・ 柏原屋佐兵衛 裏表紙「馬場町依田姓蔵書」、版本	明和7年11月再板	豆本 (11×8) ・1 冊	549
道中小遺帳 (堺、大坂) 信州松代家中長谷川甚太夫内 柴田象吉	天保3年正月27日～4月 27日	横小型 (5.8×16.4) (茶表紙) ・1冊	307
千字文 長善継写	天保13年5月20日終	半・1冊	565
古士残夢嘶 下 野村光貞写 フケ大	天保15年10月10日	半・1冊	593
習礼抄 全 依田源之丞源利継 奥書に嘉永2年7月20日、 飯島與作勝休が伝写許可した文言あり	嘉永2年7月19日写	半・1冊	545
算勘術 全 依田源之丞利継写 奥書は「初学日用算」	嘉永3年6月写	半・1冊	363
八算除乘法	安政5年11月	横半半折・1冊	364
(伊勢暦) 伊勢度会郡山田瀬川舎人	元治2年	折本 (26.5×8) ・1冊	590
(武鑑) 御書物師出雲寺万次郎板 裏表紙「松藩依田忠 継」	慶応元年	横切半・1冊	535
(伊勢暦) 伊勢度会郡山田瀬川舎人	慶応4年	折本 (26.5×8) ・1冊	591
(書籍一見扣) 一輪堂	明治元年	横小型 (6×16) ・1冊	796
東京地学協会規則案 鍋島直大他4名 刷物	明治12年3月	半・1冊	595
木賀温泉松阪 眺海楼松坂寿平治 刷物	明治14年仲春	縦小型 (18×12) ・1冊	592
小学唱歌集 初編 文部省音楽取調掛編纂 版本	明治14年11月	横切半・1冊	577
(壇之浦夢物語 上・中・下巻)	大正6年5月28日成	半・1冊	555
(東海道木曾街道里程) 版本		横切半 (版本) ・ 1冊	203
(武家攬要) 版本		横切美・1冊	441
明君家訓 (上カ) フケ大		美・1冊	452
明君家訓 下 フケ大		美・1冊	453
覚 (日誌・新聞在庫書上) 「書林村上店」青罌紙 (片 面8行)		縦小型 (20.5× 14.5) ・1冊	513
(国名尽、諏訪の七不思議神事等故事来歴録)		横半・1冊	536
(謡国分題号、寛文12年親世大夫於京都勸進能振合)		縦小型 (20×13.5)	537

		・1冊	
国楽唱歌 (富士・桜樹・国之光他) 依田		半・1冊	540
国楽唱歌 (国見・花鳥・若菜他) 後欠		半・1冊	541
国楽唱歌 (御芳野・園生梅・秋ノ稻葉他)		半・1冊	542
(国楽唱歌)		半・1冊	544
(闇雲愚抄卷一) 裏表紙「朽原所持」		豆本 (13×9) ・1冊	550
南柯夢優妓舞衣 二編下 団扇地本問屋江戸芝神明町丸屋清郎 版本、破損大		豎小型 (17.5×11.5) ・1冊	551
慶応義塾社中之約束 刷物		豎小型 (18.5×13) ・1冊	552
(五行方取・日取・地相・井田八陣秘伝、他吉凶占覚書) 「松杖蔵書」		豎小型 (20×14) ・1冊	553
伊勢土産志那戸能風 長谷川子静 (奥書) 序「明和9年辰正月吉日 遊鶴」		半・1冊	585
橋弁慶 (謡本)		半・1冊	588
唱歌集		半・1冊	596
三字経 依田氏		半・1冊	597
本朝三字経 依田氏		半・1冊	598
(仮名手本忠臣庫写)		半・1冊	601
一休はなし 卷之一		半・1冊	603
翁物語 卷之一・二 小早川式部編輯 フケ大		美 (仮綴) ・1綴	605
翁物語 卷之三・四 小早川式部編輯		美 (仮綴) ・1綴	606
(甲陽軍艦末書下卷下九品之三) 小幡勘右兵衛		美・1冊	610
(甲陽軍艦末書下卷之下九品之五) フケ大		美・1冊	611
末書結要本 五 (甲陽軍艦末書結要本 五之卷)		半・1冊	589
御進発一ツトせぶし 刷物		横切紙・2枚	628-1
(江戸府内及周辺渡場御備御役人附) 刷物		豎紙・1枚	628-2
高野山独案内 刷物		(68.5×39.7) ・1冊	679
遠州秋葉山境内の図 御堂平河村蔵板 刷物		(33.3×43.9) ・1枚	683
日光関係刷物貼込 (日光迄里程、日光山之絵図、日光山旧事来歴) 反故紙台紙		横切継紙・1通	865-7
祭文 泉岳寺蔵梓		豎紙・1枚	865-8
新堀遊女競 (番付) 写		豎紙・1枚	865-9

蔵書目録

書物出入覚 依田利継	弘化3年8月11日～嘉永 2年6月	横切小型 (8.5× 16.5) ・1冊	439
(書籍貸出・拝借覚帳)	(明治4・5年)	横長半・1冊	579

史料館所蔵史料目録 第69集

信濃国松代真田家中依田家文書目録（その1）

印刷発行 平成12年3月31日

編集兼 国文学研究資料館
発行者 史料館

〒142-8585

東京都品川区豊町1丁目16番10号

電話 03-3785-7131(代)

印刷所 株式会社 三協社

〒164-0011

東京都中野区中央4丁目8番9号

(本文用紙は中性紙を使用)

政之進書状（歳暮御礼） 御母上様	2月2日	横切継紙・1通	831-35-1
政之進書状（足袋送付礼、江戸表御変革ニ付世情向） 父上殿 灰色宿紙	9月5日	切継紙・1通	831-18
雪松書状（不在詫状） 依田君	4月24日	横切紙・1枚	884-28
大日向正司書状（江戸猛風被害死失人写）	8月28日	堅紙・1枚	620-10
忠継書状（鎌二郎道中無滞着、此度之御変一切不存残念、見舞送付礼） 御祖父様 灰色宿紙	正月22日	横切継紙・1通	858-7
忠健書状（臨時出府ニ付厄介願）	3月8日	横切継紙・1通	861-17
直太郎書状（叔父凶変ニ付御悔） 大叔父様	正月26日	横切継紙・1通	861-19
日本銀行代理店田中銀行長野支店書状（金禄公債証書押印願） 依田稠美殿 封書、罫紙（「田中銀行」10行）共	明治19年10月7日	堅紙・2枚	884-32
繁書状（金子無心） 御父上様	3月22日	横切継紙・1通	861-16
武貞書状（京都ニ而出奔致候念仏寺村八作取扱、京都帰り道中駄賃調書等） 依田君	6月朔日	横切継紙・1通	880-16
武貞書状（大坂ニ而金子要用拝借） 政之進様	12月23日	横切継紙・1通	880-12
法如庵書状（御参詣御来駕之節不在詫、御酒料御備礼、御祈禱御札御守頂戴被成下度） 依田又兵衛様	正月22日	横切紙・1枚	858-5
某書状（5月始帰国、入料多く10両送付願他） 下書カ	3月16日	折紙・1枚	629-4
某書状（ドイケルスコロツクの発明人姓名製作法等）		横切継紙・1通	865-10
某書状（御上洛ニ付神奈川宿保土ヶ谷宿混雑・送物御礼・諸役被仰付勤方・佐久間ノ預書物等）	亥2月26日届	堅紙・1枚	831-35-5
某書状（御武具方役人勤方） 灰色宿紙		横切継紙・1通	831-35-6
某書状下書（貞直高借財措置ニ付）		半綴・1綴（3枚）	618-10
又兵衛書状（異国船渡来風説、貞松院御発輿動向、漬物送付礼等） 源之丞殿	3月15日	横切継紙・1通	813-3
又兵衛書状（異国船横浜帰帆状況、京都御守衛方名面御廻し報知） 源之丞殿	7月20日	堅切紙・1枚	813-4
又兵衛書状（御悔状） お繁殿	正月22日	横切継紙・1通	880-1-1
又兵衛書状（御悔状） お繁との	13日	横切継紙・1通	880-1-2
又兵衛書状（江府市中近況・御台場勤等） 又兵衛源之丞殿 灰色宿紙	10月21日	横切継紙・1通	831-35-3
又兵衛書状（歳暮御礼・異人館居留地乱妨一件風聞・佐久間京都風聞等） 又兵衛 源之丞殿	正月13日	横切継紙・1通	831-35-4
又兵衛書状（若党を召連出奔致候体動静、国太郎ごたごた致候風説、小山田重大夫立帰出府、御上御機嫌能御様子等） 源之丞殿	4月22日	横切継紙・1通	833-9-5
又兵衛書状（諸家御供増、彦根様御沙汰一向無之、水戸表今以一揆治り兼、綿内氏堀田氏氣之毒、其表賑々敷様子等） 源之丞殿	閏3月13日	横切継紙・1通	818-2-5-5
又兵衛書状（生麦殺傷事件報知） 又兵衛 源之丞	閏8月3日	切継紙・1通	831-19

依田家／家計・経営／帳簿

又兵衛書状(祐太郎祭礼乗馬御世話御礼、古帷子遣被下度、佐久間老人死去結構之臨終、齊藤公5麦粉頂戴御礼、祭礼日天候等) 源之丞殿	8月22日	横切継紙・1通	833-9-6
又兵衛書状(祐太郎祭礼無滞乗馬致候段目出度、鎌次郎江戸見物御遣被下度等) 源之丞殿 桃色宿紙	9月6日	横切継紙・1通	833-9-7
友衛書状(年始・歳暮御礼) 源之丞様	正月3日	横切継紙・1通	868-45
老人書状(御悔状) お繁との	4月4日	横切継紙・1通	880-1-3
老人書状(御悔状) お繁との	4月23日	横切継紙・1通	880-1-4
脩理書状(婿養子存念無御座旨) 脩理 甚兵衛	6月27日	横切継紙・1通	881-7

家計・経営／帳簿

年中諸用日記 依田氏	文久2年2月吉辰日	横半半折・1冊	793-6
年中諸用日記 依田忠継	文久3年正月2日	横半半折・1冊	793-2
歳準諸帳 忠継控	文久4年正月吉辰	横半半折・1冊	793-3
諸用留(内借覚、良之助江金銭渡覚、納物覚) 忠継 扣	元治元年12月	横美半折・1冊	199
月々円出納録 依忠	慶応元年中秋	横半半折・1冊	793-7
諸用料遺日記(金銭出納覚) 依田忠継	慶応元年6月14日～7月晦日	横半半折・1冊	258
御扶持請取通帳 依田政之進使新之丞	慶応元年6月25日	横半半折・1冊	793-4
出納日録 花蝶亭	慶応2年正月元旦	横半半折・1冊	793-1
歳中聚揚録 家計司 [破損大]	明治元年12月	横美半・1冊	3
諸入費并諸税差出記 依田氏	明治4年～同8年	横半半折・1冊	792-2
買物帳 馬場丁依田内	(明治4年) 辛未8月	横半半折・1冊	349
上京二付諸用日記(出金簿) 一輪亭	明治8年10月	横半半折・1冊	244
雑記(出納簿) 依田扣	明治10年4月15日～23日	横小型半折(10×12)・1冊	238
諸払元帳	明治10年7月～同12年1月	半・1冊	357
金銭遣払扣帳 依田氏	明治18年1月1日～同19年10月	横長半・1冊	301
金銭請取扣簿 依田氏	明治18年1月13日～同19年10月5日	横長半・1冊	302
金銭出納簿 依田氏	明治21年5月～同22年4月	横半半折・1冊	270
手扣(金銭出納簿)	明治25年10月22日～同26年1月	横半半折・1冊	285
金銭受納扣	明治26年1月～9月	横半半折・1冊	352
金銭出納日記	明治28年10月～同31年12月	横半半折・1冊	279

金銭出納日記	明治34年1月～12月	横半半折（296と合綴）・1冊	295
金銭出納日記	明治36年1月～12月	横半半折・1冊	350
金銭出納日記 よた	明治37年1月～12月	横半半折・1冊	289
金銭出納日記 依田	明治38年1月～12月	横半半折・1冊	351
金銭出納日記 依田氏	明治39年1月～12月	横半半折（ザラ紙）・1冊	269
日記帳（出納簿） 依田	明治40年1月～12月	横半半折・1冊	243
日記帳（出納簿） 依田	明治41年1月～12月	横半半折・1冊	247
おぼえ（金銭出納帳） 依田 （金銭出納帳）	大正7年3月～同9年7月 11月～翌年12月（明治）	横半半折・1冊	345 343
（金銭出納簿） 香典帳反故紙 （金銭出納簿）	8月～10月	横切美半折・1冊 横切小型（82×121）・1冊	884-17 884-34

諸費勘定・請取

刀装関係書類 紙繕一括			878-30
覚（代金受取勘定） 白銀師清次郎 上	寅11月13日	横切継紙・1通	878-30-1
覚（代金受取勘定） 白銀師清次郎 上	寅8月23日	横切継紙・1通	878-30-2
覚（刀代金勘定） 熊谷五郎	3月29日	横切継紙・1通	878-30-3
覚（刀代金落手勘定） 熊谷 仲藤様 桃色宿紙	7月4日	横切継紙・1通	878-30-4
覚（代金受取勘定） 鞘ぬりし六助 湯田様御内	寅12月13日	横切紙・1枚	878-30-5
覚（代金受取勘定） 山崎国治郎 ゆた様御屋敷	寅12月23日	横切紙・1枚	878-30-6
袋 上書「金賦入 よた」		1袋	882-1
明治15年・明治16年・明治17年租税符紙 地租、協議費、学資金、地方税		1袋	882-1-0
明治15年租税符紙 埴科郡松代町役場 依田稠美殿 地租、協議費、学資金、地方税	明治15年	横切紙（11×13）・1綴（12枚）	882-1-1
明治16年租税符紙 埴科郡松代町役場 依田稠美殿 地租、協議費、学資金、地方税	明治16年	横切紙（11×13）・1綴（15枚）	882-1-2
明治17年租税符紙 埴科郡松代町役場 依田稠美殿 地租、協議費、学資金、地方税	明治17年	横切紙（11×13）・1綴（11枚）	882-1-3
租税請取類 （依田稠美）	明治8年～明治15年	横切紙・7綴（74枚）、2枚	882-1-4
租税請取類 （西沢春吉）	明治8年～明治14年	横切紙・5綴（28枚）、6枚	882-1-5
記（公債証書請取御渡） 懐雄	（明治）11年10月8日	横切継紙・1通	882-1-6
町方店払残覚手控 依田源之丞	嘉永4年12月調	横半半折・1冊	793-5
覚（代金勘定） まつや安右衛門 依田様御内	明治4年2月13日	横切紙・1枚	878-27-5

(東京依田稠美・忠致宛金銭請取綴)	明治9年・10年	横切継紙、横切紙 共・1綴(18通)	859
よろづ扣(金銭受取)	明治7年1月17日～12月 27日	横半半折・1冊	293
金銭請取帳 依田氏	明治10年9月2日～明治 17年7月29日	横長半・1冊	300
金銭請取帳	明治10年9月～同12年	半・1冊	358
閉穀積金受取通 齊藤重因他3名 依田稠美殿	明治11年5月3日～同16 年4月5日	横半半折・1冊	284
(養魚会社積金受取簿) 信濃松代養魚会社 依田稠美殿	明治15年2月28日～同 17年12月28日	横半半折・1冊	286
雑用払扣(竹代金) 依田	明治18年4月～10月	横美半折・1冊	348
(下屋敷手入代金、桑切代金綴)	(明治24年)	横切紙、横切継紙、 堅継紙・1綴(1枚、 2通)	884-27
穀物類買入扣	明治26年1月～11月	横半半折・1冊	291
(雇人賃銭覚) 袖断裁	明治31年	折紙・1枚	881-1
(金銭出納扣)	明治31年・32年	折紙・1枚	881-2
盆前土屋喜作勘定扣	明治32年	横切紙、折紙・1 綴	881-5
(日用品代受取帳) 大島や 藤田様、依田様	丑11月25日	横長半・1冊	305
覚(代金勘定) 駿河屋錠吉 与田様御内御役人中様	申12月29日	横切紙・1枚	878-3
覚(代金勘定) 駿河屋喜太郎 依田甚兵衛様御内御役人中様	申12月	横切紙・1枚	878-4-1
覚(代金勘定) 椽屋長兵衛 依田甚兵衛様御内	申12月	横切継紙・1通	878-4-2
記(荒物代金勘定) 篠屋藤作 依田忠之進様御内御役人中様	戌8月	横切継紙・1通	878-5
覚(代金勘定) 車や佳作 ば、丁依田様御内 灰色宿紙	未7月	横切継紙・1通	878-7
覚(刀装品代金) 喜三郎 依田源之丞様御内	10月16日	横切紙・1枚	878-8
覚(代金勘定) 坂屋賀助 依田甚兵衛様御内	申極月	横切紙・1枚	878-10
覚(代金受取勘定) 車屋清左衛門 依田忠之進様御内	申7月	横切継紙・1通	878-14
覚(代金勘定) 車屋清左衛門 依田忠之進様御内	未極月	横切継紙・1通	878-15
覚(代金勘定) 鞆塗師喜三郎 依田忠之進様御内	亥12月	横切継紙・1通	878-16
覚(代金受取勘定) 車屋清左衛門 依田忠之進様御内	酉1月	横切継紙・1通	878-17
覚(代金受取勘定) 依田様	申7月	横切紙・1枚	878-19
覚(代金勘定) 駿河や喜太郎 依田甚兵衛様御内御役人中様	申12月	横切継紙・1通	878-22
覚(手問賃請取勘定) 横町文吉 上	未7月	横切紙・1枚	878-25
覚(代金勘定) まつや安右衛門 依田様御内	未10月29日	横切継紙・1通	878-27-1
覚(代金勘定) まつや安右衛門 依田政之丞様御内	午7月	横切継紙・1通	878-27-2

覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之丞様	酉7月	横切紙・1枚	878-27-3
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之進様御内	辰7月	横切継紙・1通	878-27-4
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之丞様御内	未7月	横切継紙・1通	878-27-6
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之進様御内	巳12月	横切継紙・1通	878-27-7
覚（代金勘定）	笹屋栄次郎 依田様御内	酉1月	横切紙・1枚	878-28
覚（水鉢・土びん代金勘定）	せと房藏 依田様御内御役人中様	酉1月	横切紙・1枚	878-29-1
覚（水鉢代金勘定）	せと焼房藏 依田様御内御役人中様	午12月	横切紙・1枚	878-29-3
覚（下駄2足代金勘定）	和助 与田様御内	午極月	横切紙・1枚	878-29-4
覚（内取差引勘定）	現金屋祖吉 依田様御内御役人中様	午12月	横切継紙・1通	878-29-5
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之丞様御内	午12月	横切継紙・1通	878-29-6
覚（代金勘定）	西条村久兵衛 依田様御内	午12月	横切紙・1枚	878-29-7
覚（代金勘定）	さし物栄治郎 依田様御内	午極月	横切継紙・1通	878-29-8
覚（払残代金勘定）	椽屋長兵衛 依田様御内	午12月	横切紙・1枚	878-29-9
覚（代金勘定）	車や友左衛門 依田忠之進様御内	午極月	横切継紙・1通	878-29-10
覚（代金勘定）	車や佳作 依田様御内	午12月	横切継紙・1通	878-29-11
覚（代金勘定）	さし物栄治郎 馬場丁依田様御内	未7月	横切継紙・1通	878-31
覚（しら菊5升5合代受取）	きく屋佐助 上	5月7日	横切紙・1枚	878-42
記（食品代勘定）	のとや富作 上	7月5日	横切継紙・1通	878-43
覚（代金勘定）	松屋安右衛門 依田政之丞様御内	酉12月	横切継紙・1通	878-44
覚（代金受取勘定）	松屋安右衛門 依田様御内	戌1月29日	横切紙・1枚	878-45
（辰暮払方書上）			横切継紙・1通	880-4
記（齒7回治療代）	高野車		横切継紙・1通	881-9
（小森山崎分材木本数・代金書上）			折紙・1枚	884-16
覚（金銭受払、依田氏分）			横切紙・1枚	804-22
調書（白柄龍雲頭脇差払覚）			横切継紙・1通	878-9
（金銭勘定）			横切紙・1枚	878-21
（山雑用、山中入用勘定）			折紙・1枚	878-26

藩 札

信濃国全国通用札（600文） 方	藩県引換所・松代藩会計	（明治2年カ）	（11.7×3.9）・1枚	774-4
信濃国全国通用札（100文） 方	藩県引換所・松代藩会計	（明治2年カ）	（11.1×3.5）・1枚	774-5
金為替手形（金1両）	松代藩商法社 破損大、下部裁断	（明治2年カ）	（欠損×4）・1枚	774-6

金手形（金1分） 松代藩計政局 「支配所済急」とあり	（明治3年）午3月限	（10.5×3.7）・2枚	774-2
金手形（金1朱） 松代藩計政局 「支配所済急」とあり	（明治3年）午3月限	（9.4×3.5）・1枚	774-3
金札（金1両） 松代藩計政局	明治3年4月	（欠損×4.2）・1枚	774-1
覚（有合藩札・商社札） 依田忠之進	（明治4年）辛未正月3日	横切紙・1枚	862-4

経営

年中細工物并仕入物覚帳 一輪亭 忠	嘉永5年正月吉辰	横長半・1冊	793-8
年中諸用日記 一輪亭 忠 天部見出付	嘉永7年正月吉辰	横長半・1冊	793-9
辰年中諸用記録 一輪亭	慶応4年正月	横長半・1冊	793-10
（公証証書御下ケ願下書） 依田稠美他4名 東京府知事 楠本正隆代理大書記官千田貞陸殿	明治12年10月	縦紙・1枚	792-5
雇人日数覚 依田	明治21年1月	横半半折・1冊	264
明治22年養蚕成績御届 依田稠美 埴科郡長中島精一殿	明治23年1月27日	縦紙・1枚	884-35
家屋及畑地代請取記 依田稠美 鈴木雄之助	明治30・31年	横半半折・1冊	353
金銭出納日記 日雇扣	明治32年1月～12月	横半半折・2冊合綴	274
五齡桑切出し覚	明治32年6月18日～28日	横切小型（9.5×14）・1冊	881-3
金銭出納日記 雇人日数扣	明治33年1月～12月	横半半折・2冊合綴	271
（公債証書番号、融通会社利子渡賦紙、白紙委任状等） 折封	明治33年	縦紙、横切紙、横切縦紙・6通、6枚	792-6
雇人日数扣	明治34年1月～同35年8月	横半半折（295と合綴）・1冊	296
家賃并桑畑小作代金請取扣 依田氏	明治35年9月5日～同38年8月13日	横長半・1冊	304
養鶏覚帳 依田	大正11年4月～大正13年3月	横半半折・1冊	347
記（桑代金請取） 玉井 依田様	8月5日	縦切紙・1枚	881-8
（桑摘賃銭覚） 末尾断裁		折紙・1枚	881-10
（繭量・養蚕費用書上）		折紙・1枚	884-15
金銭出納雇人日数扣帳 依田		袋・1袋	881

記録・学芸／諸記録

日記（伊勢参宮） 十五百々村つくはり右衛門	寛延2年2月28日～3月21日	縦小型（13.2×8.8）1冊	311
（万留書帳） 「御納戸上納金通帳」等反故紙	宝暦10年正月吉日帳	横半半折・1冊	580

(諸家秘聞集抜萃)	天明～寛政	半・1冊	547
天明3年12月18日殿様四品被仰付候節之次第、翌正月辰元旦御装束之次第、御礼被仰上候次第 中川九平次殿方も写借留置候	天明3年12月18日～天明4年正月朔日	半・1冊	631
(海津侯臣鈴木重履歴書)	(寛政9年) 丁巳冬	美・1冊	455
覚書(手習指南書、末尾に茂菅通、川東通、有旅通、大岡通、川南通村名書上)	寛政10年7月18日	横切半・1冊	206
本朝武芸小伝 西沢源明擎	文化13年12月写	半・1冊	586
御道中記(上屋敷より松代までの里程調) 金井清令控	文政元年5月	横切半・1冊	179
風怪状写(筑前福岡藩中桑野半五右衛門より江戸同藩親類方へ申越候書状写、文政11年8月9日大風被害状況、郡中潰家死人之覚)	文政11年8月19日	半・1冊	630
義士銘々伝 依田源之丞	弘化2年5月写	横半半折・1冊	442
御軍役大積	弘化3年	半・1冊	211
仁孝天皇尊儀御葬送御当夜役者備忘	(弘化3年)	横半半折・1冊	538
道程記 全一(肥後まで35か国巡歴里程調) 依田源之丞利継	嘉永2年春	横半半折・1冊	177
合衆国書翰 漢文和解 全 依田源之丞利継 破損大	嘉永6年8月写	半・1冊	622
御軍役御定 依田源之丞利継写	嘉永6年10月	半・1冊	210
(和蘭新聞記事聞書留) フケ大	(安政4年) 丁巳	半・1綴	617-2
江戸御本城炎上記	(安政6年)	横切紙・1枚	862-3
(御大老、御老中、御側御用人、若年寄名面)	安政6年5月改	横切紙・1枚	818-2-5-6
伊勢町狂言番附	安政6年8月	横小型(8×25)・1冊	571
(万国旗)	万延元年写	半・1冊	626
(水戸浪士一件公明正大之御沙汰願写) 一部欠損	万延元年閏3月	半・1綴	620-7
(文久辛酉新板チヨボクレふし) 上原屋佐善主 京都-而写、フケあり	文久元年	半・1綴	617-6
(よこはまかけのりはるのもようし) フケ・破損大	文久2年4月3・4日	半仮綴・1綴	521
御両敬・御間線外・御駕籠入 依田忠継	慶応元年8月中旬改正	横切小型(7×10)1冊	437
御両敬・御間線外・御駕籠入		横切小型(5.6×12)・1冊	438
(御両敬・御間線外・御駕籠入、官位次第、城中詰所、御規式御成定日等留書)		横半半折(列帖綴)・1冊	440
御簾本御両敬		横切半・1冊	190
(城下各町居住人留) 依田姓 付:家老・中老・差立衆等宛書状案 黒台紙貼込帳	嘉永2年2月改置(慶応2年10月改正)	加除式(13.5×22)1冊	443
閣老松山侯御役御辞退書写 久松隠岐守定昭 後欠、破損	(慶応3年)	半・1枚	619-3

米藩名義世運論解 フケ大	慶応3年12月 (異本)	半・1綴	615-1
職員令	明治2年8月	半仮綴・1冊	221
(御遺勅、学体写)	明治3年5月20日写	半・1綴	617-1
西郷氏論 端書朱書「辛未季春廿日東京に達ス 四月廿一日写」、表題下朱書「一薩州見込書」	(明治4年) 辛未4月21日写	半・1綴	615-4
士族卒給禄ノ義ニ付山口県に建言書ノ写 新聞雑誌第54号付録、青野紙 (片面10行)	明治5年	半・1綴	617-3
公用文 (留) 依田知代 (出生届、生糸仲買営業届、出寄留届、末尾に日本小史問答あり) 「長野県尋常師範学校」赤野紙 (片面12行)	明治22年・同23年	半・1冊	607
清酒及各種酢製造法 (抜書) 香川県高松市中酒造家ヨリ議院へ請願書之内ヨリ抜写、明治24年3月1日官報	明治24年3月写	半・1冊	456
郵便報知新聞 第16008号写 教育新報社	明治31年2月4日発行	堅紙・1枚	884-30
ゆめの世	(明治) 32年1月稿	堅小型 (仮綴) (20×14) ・1綴	556
海防愚存 よし継写 (別称「水公存意書十箇条」)		半・1冊	615-3
従江戸松代迄行程付 正徳元年5月江戸日本橋御制札之写あり		横小型 (8×16) 1冊	306
(中山道宿附道法附)		横切小型 (8×16) 1冊	313
(法朗西文典訳字)		横切小型 (8×16.5) ・1冊	386
刺工抄 全 見台、衣桁、将棋盤、碁盤等		半・1冊	418
(久能山宝物見聞記)		半・1冊	449
(漢詩習作帳)		横半半折・1冊	464
婚礼法式 [中・後欠]		半 (仮綴) ・1冊	554
(養蚕之準備他種々飲食物製法) 乱丁		半 (仮綴) ・1綴	557
崇道天皇 (略歴)		半・1冊	558
陸前多賀城碑 「真田家」青野紙 (片面9行)		半・1冊	559
滋野親王考		半 (仮綴) ・1綴	560
滋野親王後胤海野氏系図 破損大		半・1冊	561
秀良親王 (系図)		半・1冊	562
六雄論 青山延光著 後欠		半 (仮綴) ・1綴	563
(滋野姓氏権輿) 破損大		半 (仮綴) ・1綴	564
(法朗西文典訳書) 破損大		横半半折・1冊	572
(天皇系譜) [文武～順徳天皇]		横半半折・1冊	573
九々之書 「松代文庫」蔵書印		堅切美・1冊	575
(紅塵集、泊泊舎集抜書) 末尾に「御家中知行所収納之大概」あり		堅小型 (19.5×13.5) ・1冊	576
(羅句語教本) 表紙欠損		横半半折・1冊	578

(説話3題) (杜若屋敷亡魂、大亀の怪、一目坊)	横美半折・1冊	581
筆法帖 乾	半・1冊	582
筆法帖 坤	半・1冊	583
日本中臣拔弁書 全 「松林蔵書」印	半・1冊	584
(夢窓国師のカナ法語 二十三問答) 表紙破損大	半・1冊	587
祢津城 祢津賦	升形 (18.5×17.5) ・1冊	594
歌稿 [綴紐破損]	半・1冊	599
牛込古諺記 依田忠順	半・1冊	600
躰事亀毛之歌 池村氏	美・1冊	602
諸家深秘録 フケ大	横美半折・1冊	604
ふみの文 フケ大	美・1冊	608
評物定会入句扣	半・1冊	609
(本能寺間取図)	縦紙・1枚	618-2
第4区疑問題 (寄留、嫡孫承祖等書式)	縦紙・1枚	619-5
(漢文武田信玄)	美・1綴	621-7
大鳥圭介獄中日記書抜 (葡萄酒製造法、大藩中藩小藩 総高、磨粉砥石産地、石鹼製法)	折紙・1枚	629-5
(儉約論)	半・1冊	632
(西国地名里程図) 大坂～白杵	(49.8×140.3)・1 鋪	680
(小牧戦の図)	(98×80)・1鋪	723
(療法諸作法指南) 前欠	1巻	736
唐音歌	横切継紙・1通	813-6
麻疹療法書類 紙繕一括		834-6
(麻疹治法) 灰色宿紙	横切継紙・1通	834-6-1
(麻疹之節食合等)	横切継紙・1通	834-6-2
(三豆湯) 灰色宿紙	横切継紙・1通	834-6-3
(横浜市金丸謙次郎銃器値段書上)	横切継紙・1通	865-2
(五行説書留)	横切紙・2枚	868-12
(金銀匁方調書) 金銀貨図共	横切継紙、切紙・ 1通、1枚	868-13
(元号覚書) 天正～文久	横切紙・1枚	868-19
書会案文	横切継紙・1通	868-31
銀ヲ錢ニナス早算	横切紙・1枚	868-38
(千曲川出水記) 25日	横切継紙・1通	868-44

(紙勘定仕方) 断簡		横切半半折・1枚	884-1
(漆用途製法覚)		横切美・1冊	884-19
(謡本曲名目録) 内22番110曲、外13番62曲		横長半・1冊	884-20
藩史修正材料拾聚會概則試稿 茶色罫紙(片面13行)、 「本社資産調」の裏書、貼紙		縦紙・1枚	884-22
詠草		縦紙・1枚	884-31

風聞・聞書

品々聞書 破損大	天明5年～天明7年	半・1冊	227
見聞抜書集 式 フケ大		半・1冊	451
天狗党、防長征伐書類		1綴	612
(天狗党探索留書)		半・1冊	612-1
(長州征伐留書)		半・1冊	612-2
(寄留人覚書)		半・1綴	612-3
長州留守居へ御渡しニ相成候御沙汰書之御請書写 長州京留守居役乃美織江	5月	半・1枚	612-4
(所司代古高俊太郎事升屋喜右衛門探索及び在京 家夫又者書上御達ニ付写)	6月	半・1枚、1綴	612-5
因州家幕府江建白之写 松平相模守黒田日向	5月23日	半・1綴	612-6
因州之土肥謙藏差出候問策十則江尾州之周旋方某其 席ニ而即答之書付写	元治元年3月	半・1綴	612-7
(備前少将殿より歎願書之写、水府藩中野州大平山 籠居之者共ニ備前少将殿江差出候嘆願書写)	元治元年3月・4月	半・1綴	612-8
(宇都宮より水浪士名面等来翰、下野・下総・常陸 諸侯警衛向嚴重ニ可心得達書等写)	元治元年4月	半・1綴	612-9
宇佐奉幣使ニ付長州より差出し候書付写 毛利左京 亮内村上衛士	子4月	半・1枚	612-10
亀井隠岐守建白 亀井隠岐守源茲監	子5月	半・1綴	612-11
(毛利淡路守小性松野力次男松野頼申口御札、高松 藩ニ而被召捕長州村岡伊助、吉川監物芸州江罷越 申込之大意等願末書)		半・1綴	612-12
松平筑前守殿建言 松平筑前守	6月6日	縦紙・1枚	612-13
水府沈淪党趣意書写 諸生共		半・1綴	612-14
松平備前侯建白 松平備前守	子3月	半・1綴	612-15
(毛利一家長崎蔵屋敷召上ニ付老中連署状及び京都暴 発之末召捕ニ相成候長州藩村岡伊助申立書)	子9月23日	美・1冊	612-16
防長事情(備後福山家中長州へ探索として罷越候手 続書)	(元治元年8月)	美・1冊	612-17
元治元甲子年9月10日朝日本橋高麗橋之両所江張紙 致有之候写 天下万民中 有志諸大名様	(元治元年) 甲9月上旬	美・1冊	612-18

(桜田門外一件留)	安政7年	半・仮1綴	614-2
(幕末上方筋風評写留) 袋綴内糊付史料あり、一部フケ	(文久)	半 (仮合綴) ・9 綴	616
(渡辺友右衛門之嘶 (赤穂義士顛末) 留書) 下部欠損		半綴・1綴	619-14

蔵書

早字二重鑑 東都書肆崇文堂日本橋南2町目前川六左衛門 小口「依田忠順」、版本	宝暦12年5月	堅切半・1冊	548
(古註新註大成四書字引) 浪華書林柏原屋清右衛門・ 柏原屋佐兵衛 裏表紙「馬場町依田姓蔵書」、版本	明和7年11月再板	豆本 (11×8) ・1 冊	549
道中小遺帳 (堺、大坂) 信州松代家中長谷川甚太夫内 柴田象吉	天保3年正月27日～4月 27日	横小型 (5.8×16.4) (茶表紙) ・1冊	307
千字文 長善継写	天保13年5月20日終	半・1冊	565
古士残夢嘶 下 野村光貞写 フケ大	天保15年10月10日	半・1冊	593
習礼抄 全 依田源之丞源利継 奥書に嘉永2年7月20日、 飯島與作勝休が伝写許可した文言あり	嘉永2年7月19日写	半・1冊	545
算勘術 全 依田源之丞利継写 奥書は「初学日用算」	嘉永3年6月写	半・1冊	363
八算除乘法	安政5年11月	横半半折・1冊	364
(伊勢暦) 伊勢度会郡山田瀬川舎人	元治2年	折本 (26.5×8) ・1冊	590
(武鑑) 御書物師出雲寺万次郎板 裏表紙「松藩依田忠 継」	慶応元年	横切半・1冊	535
(伊勢暦) 伊勢度会郡山田瀬川舎人	慶応4年	折本 (26.5×8) ・1冊	591
(書籍一見扣) 一輪堂	明治元年	横小型 (6×16) ・1冊	796
東京地学協会規則案 鍋島直大他4名 刷物	明治12年3月	半・1冊	595
木賀温泉松阪 眺海楼松坂寿平治 刷物	明治14年仲春	縦小型 (18×12) ・1冊	592
小学唱歌集 初編 文部省音楽取調掛編纂 版本	明治14年11月	横切半・1冊	577
(壇之浦夢物語 上・中・下巻)	大正6年5月28日成	半・1冊	555
(東海道木曾街道里程) 版本		横切半 (版本) ・ 1冊	203
(武家攬要) 版本		横切美・1冊	441
明君家訓 (上カ) フケ大		美・1冊	452
明君家訓 下 フケ大		美・1冊	453
覚 (日誌・新聞在庫書上) 「書林村上店」青罌紙 (片 面8行)		縦小型 (20.5× 14.5) ・1冊	513
(国名尽、諏訪の七不思議神事等故事来歴録)		横半・1冊	536
(謡国分題号、寛文12年親世大夫於京都勸進能振合)		縦小型 (20×13.5)	537

		・1冊	
国楽唱歌（富士・桜樹・国之光他）	依田	半・1冊	540
国楽唱歌（国見・花鳥・若菜他）	後欠	半・1冊	541
国楽唱歌（御芳野・園生梅・秋ノ稻葉他）		半・1冊	542
（国楽唱歌）		半・1冊	544
（闇雲愚抄卷一）	裏表紙「朽原所持」	豆本（13×9）・1冊	550
南柯夢優妓舞衣 二編下	団扇地本問屋江戸芝神明町丸屋清郎 版本、破損大	豎小型（17.5×11.5）・1冊	551
慶応義塾社中之約束	刷物	豎小型（18.5×13）・1冊	552
（五行方取・日取・地相・井田八陣秘伝、他吉凶占覚書）	「松杖蔵書」	豎小型（20×14）・1冊	553
伊勢土産志那戸能風	長谷川子静（奥書） 序「明和9年辰正月吉日 遊鶴」	半・1冊	585
橋弁慶（謡本）		半・1冊	588
唱歌集		半・1冊	596
三字経 依田氏		半・1冊	597
本朝三字経 依田氏		半・1冊	598
（仮名手本忠臣庫写）		半・1冊	601
一休はなし 卷之一		半・1冊	603
翁物語 卷之一・二	小早川式部編輯 フケ大	美（仮綴）・1綴	605
翁物語 卷之三・四	小早川式部編輯	美（仮綴）・1綴	606
（甲陽軍艦末書下卷下九品之三）	小幡勘右兵衛	美・1冊	610
（甲陽軍艦末書下卷之下九品之五）	フケ大	美・1冊	611
末書結要本 五（甲陽軍艦末書結要本 五之卷）		半・1冊	589
御進発一ツトせぶし	刷物	横切紙・2枚	628-1
（江戸府内及周辺渡場御備御役人附）	刷物	豎紙・1枚	628-2
高野山独案内	刷物	（68.5×39.7）・1冊	679
遠州秋葉山境内の図	御堂平河村蔵板 刷物	（33.3×43.9）・1枚	683
日光関係刷物貼込（日光迄里程、日光山之絵図、日光山旧事来歴）	反故紙台紙	横切継紙・1通	865-7
祭文 泉岳寺蔵梓		豎紙・1枚	865-8
新堀遊女競（番付）	写	豎紙・1枚	865-9

蔵書目録

書物出入覚 依田利継	弘化3年8月11日～嘉永 2年6月	横切小型 (8.5× 16.5) ・1冊	439
(書籍貸出・拝借覚帳)	(明治4・5年)	横長半・1冊	579

史料館所蔵史料目録 第69集

信濃国松代真田家中依田家文書目録（その1）

印刷発行 平成12年3月31日

編集兼 国文学研究資料館
発行者 史料館

〒142-8585

東京都品川区豊町1丁目16番10号

電話 03-3785-7131(代)

印刷所 株式会社 三協社

〒164-0011

東京都中野区中央4丁目8番9号

(本文用紙は中性紙を使用)